

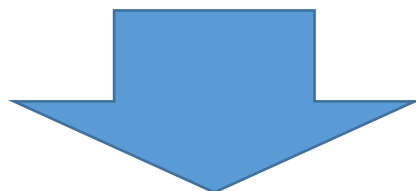
令和 8 年度

通信教育実施計画

新潟産業大学附属高等学校
通信制課程

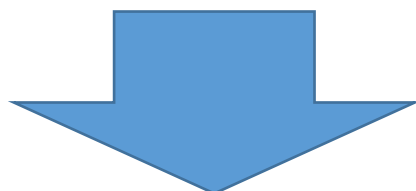
1 通信教育の方法

添削指導(レポート課題)	面接指導(スクーリング)	単位認定試験(テスト)
--------------	--------------	-------------



下記の条件を満たすことで高校を卒業することができます。

在籍期間が合計3年以上	修得単位数が 74単位以上	特別活動に30単位時間 以上参加
-------------	------------------	---------------------



卒業（3月または9月に卒業できます）

*①必履修の教科、科目をすべて履修し、74単位以上修得すること

*②本校に3か月以上在籍し、10単位以上修得すること

2 教育課程表

教科	科目	標準単位数	開講単位数	添削指導回数	面接指導時数	メディア視聴
国語	現代の国語	2	2	6	1	1
	言語文化	2	2	6	1	1
	論理国語	4	4	1 2	2	2
	古典探究	4	4	1 2	2	2
	漢字基礎	学校設定	2	6	1	1
	実用国語	学校設定	2	6	1	1

教科	科目	標準単位数	開講単位数	添削指導回数	面接指導時数	メディア視聴
地理歴史	地理総合	2	2	6	1	1
	地理探究	3	3	9	2	1
	歴史総合	2	2	6	1	1
	日本史探究	3	4	1 2	2	2
	柏崎探究	学校設定	2	6	1	1

教科	科目	標準単位数	開講単位数	添削指導回数	面接指導時数	メディア視聴
公民	公共	2	2	6	1	1
	政治・経済	2	2	6	1	1

教科	科目	標準単位数	開講単位数	添削指導回数	面接指導時数	メディア視聴
数学	数学Ⅰ	3	3	9	2	1
	数学Ⅱ	4	4	1 2	2	2
	数学Ⅲ	3	3	9	2	1
	数学A	2	2	6	1	1
	数学B	2	2	6	1	1
	キャリア数学	学校設定	2	6	1	1

教科	科目	標準単位数	開講単位数	添削指導回数	面接指導時数	メディア視聴
理科	科学と人間生活	2	2	6	4	4
	生物基礎	2	2	6	4	4
	化学基礎	2	2	6	4	4
	物理基礎	2	2	6	4	4
	生物	4	4	1 2	7	9
	化学	4	4	1 2	7	9
	物理	4	4	1 2	7	9

教科	科目	標準単位数	開講単位数	添削指導回数	面接指導時数	メディア視聴
保健体育	体育1	3	3	3	6	9
	体育2	2	2	2	4	6
	体育3	2	2	2	4	6
	保健	2	2	6	1	1

教科	科目	標準単位数	開講単位数	添削指導回数	面接指導時数	メディア視聴
芸術	音楽Ⅰ	2	2	6	4	4
	美術Ⅰ	2	2	6	4	4
	書道Ⅰ	2	2	6	4	4

教科	科目	標準単位数	開講単位数	添削指導回数	面接指導時数	メディア視聴
外国語	英語コミュニケーション Ⅰ	3	3	9	5	7
	英語コミュニケーション Ⅱ	4	4	1 2	7	9
	論理・表現Ⅰ	2	2	6	4	4
	英語探究	学校設定	1	3	2	2

教科	科目	標準単位数	開講単位数	添削指導回数	面接指導時数	メディア視聴
家庭	家庭基礎	2	2	6	2	2

教科	科目	標準単位数	開講単位数	添削指導回数	面接指導時数	メディア視聴
情報	情報Ⅰ	2	2	6	2	2

教科	科目	標準単位数	開講単位数	添削指導回数	面接指導時数	メディア視聴
総合的な 探究の時間	総合的な探究の時間 1	1	1	3	1	
	総合的な探究の時間 2	1	1	3	1	
	総合的な探究の時間 3	1	1	3	1	

教科	科目	標準単位数	開講単位数	添削指導回数	面接指導時数	メディア視聴
体験学習	体験学習Ⅰ	学校設定	1	1	1	
	体験学習Ⅱ	学校設定	2	2	2	
	体験学習Ⅲ	学校設定	2	2	2	

3 年間行事計画

*入学時に希望した会場のスクーリングにすべて参加となります。

*予備回：欠席のあった授業がある生徒が参加対象となります。

		4月					5月					6月		
		新潟会場	東京会場	大阪会場			新潟会場	東京会場	大阪会場			新潟会場	東京会場	大阪会場
1	水				1	金				1	月	休校日		
2	木	新年度オリエンテーション			2	土				2	火			
3	金				3	日				3	水			
4	土	【オンライン】令和8年度入学式			4	月				4	木			
5	日				5	火				5	金			
6	月				6	水				6	土			
7	火				7	木				7	日		スクーリング②	
8	水				8	金				8	月	休校日		
9	木				9	土				9	火			
10	金				10	日		スクーリング①		10	水			
11	土				11	月	休校日			11	木			
12	日				12	火				12	金	オンライン保護者会		
13	月				13	水				13	土	オンライン説明会⑩～⑪		
14	火				14	木				14	日			
15	水				15	金				15	月			
16	木				16	土	オンライン説明会⑩～⑪			16	火			
17	金				17	日				17	水			
18	土	オンライン説明会⑩～⑪			18	月				18	木			
19	日				19	火				19	金			
20	月				20	水				20	土			
21	火				21	木				21	日		スクーリング②	
22	水	レポート第Ⅰ期分_公開開始			22	金	レポート第Ⅱ期分_公開開始			22	月	レポート第Ⅲ期分_公開開始		
23	木				23	土				23	火			
24	金	オンラインHR10:30～11:20			24	日		スクーリング①		24	水			
25	土				25	月	休校日			25	木			
26	日				26	火				26	金	オンラインHR10:30～11:20		
27	月				27	水				27	土			
28	火				28	木				28	日	スクーリング② オープンスクール		
29	水				29	金	オンラインHR10:30～11:20			29	月	休校日		
30	木				30	土				30	火			
					31	日	スクーリング①							
備考					備考					備考				



		7月					8月					9月		
		新潟会場	東京会場	大阪会場			新潟会場	東京会場	大阪会場			新潟会場	東京会場	大阪会場
1	水				1	土			スクーリング④	1	火			
2	木				2	日			スクーリング欠席回	2	水			
3	金				3	月	休校日			3	木			
4	土				4	火				4	金			
5	日				5	水				5	土			
6	月				6	木		スクーリング④		6	日	9卒単位認定試験	9卒単位認定試験	スクーリング⑤ 9卒単位認定試験
7	火				7	金		スクーリング欠席回		7	月	休校日		
8	水				8	土				8	火			
9	木				9	日	スクーリング④			9	水			
10	金				10	月	休校日			10	木			
11	土				11	火				11	金			
12	日		スクーリング③		12	水				12	土			
13	月	休校日			13	木				13	日		スクーリング⑤ 9卒単位認定試験	
14	火				14	金				14	月	休校日		
15	水				15	土				15	火			
16	木				16	日				16	水			
17	金				17	月				17	木			
18	土				18	火				18	金			
19	日			スクーリング③	19	水				19	土			
20	月				20	木				20	日	スクーリング⑤ 9卒単位認定試験	9卒単位認定試験	9卒単位認定試験
21	火				21	金				21	月	単位認定試験返却		
22	水				22	土				22	火			
23	木				23	日	スクーリング欠席回			23	水			
24	金	休校日			24	月	休校日			24	木			
25	土				25	火				25	金	オンラインHR10:30～11:20		
26	日	スクーリング③			26	水				26	土	【オンライン】令和8年度_9月卒業式		
27	月	休校日			27	木				27	日			
28	火				28	金	オンラインHR10:30～11:20			28	月			
29	水				29	土				29	火			
30	木				30	日				30	水			
31	金	オンラインHR10:30～11:20			31	月								
備考					備考					備考		3年【9卒・3卒】特別活動実施予定		

		10月					11月					12月		
		新潟会場	東京会場	大阪会場			新潟会場	東京会場	大阪会場			新潟会場	東京会場	大阪会場
1	木				1	日		スクーリング⑦		1	火			
2	金				2	月	休校日			2	水			
3	土				3	火				3	木			
4	日		スクーリング⑥		4	水				4	金			
5	月	休校日			5	木				5	土			
6	火				6	金				6	日		スクーリング⑧	
7	水				7	土				7	月	休校日		
8	木				8	日				8	火			
9	金				9	月				9	水			
10	土				10	火				10	木			
11	日				11	水				11	金			
12	月				12	木				12	土			
13	火				13	金				13	日			
14	水				14	土				14	月			
15	木				15	日			スクーリング⑦	15	火			
16	金	オンライン保護者会			16	月	休校日			16	水			
17	土				17	火				17	木			
18	日			スクーリング⑥	18	水				18	金	オンラインHR10:30～11:20		
19	月	休校日			19	木				19	土			スクーリング⑧
20	火				20	金				20	日	スクーリング⑧		
21	水				21	土				21	月	休校日		
22	木				22	日	スクーリング⑦		スクーリング欠席回	22	火			
23	金				23	月				23	水			
24	土				24	火				24	木			
25	日	スクーリング⑥			25	水				25	金			
26	月	休校日			26	木				26	土			
27	火				27	金	オンラインHR10:30～11:20			27	日			
28	水				28	土				28	月			
29	木				29	日	スクーリング欠席回	スクーリング欠席回		29	火			
30	金	オンラインHR10:30～11:20			30	月	休校日			30	水			
31	土										31	木		
備考					備考					備考		特別活動実施予定（10/1入学者まで）		

		1月							2月							3月		
		新潟会場	東京会場	大阪会場			新潟会場	東京会場	大阪会場			新潟会場	東京会場	大阪会場				
1	金				1	月	休校日			1	月	スクーリング予備回 単位認定試験						
2	土				2	火				2	火	スクーリング予備回 単位認定試験						
3	日				3	水				3	水	スクーリング予備回 単位認定試験						
4	月				4	木				4	木	スクーリング予備回 単位認定試験						
5	火				5	金				5	金	スクーリング予備回 単位認定試験						
6	水				6	土	単位認定試験		スクーリング予備回	6	土							
7	木				7	日	単位認定試験	スクーリング予備回 単位認定試験	スクーリング予備回 単位認定試験	7	日							
8	金				8	月	休校日			8	月							
9	土			スクーリング予備回	9	火				9	火	単位認定試験返却						
10	日			スクーリング予備回	10	水				10	水							
11	月				11	木				11	木							
12	火				12	金				12	金							
13	水				13	土	スクーリング予備回			13	土	【オンライン】令和8年度_卒業式						
14	木				14	日	スクーリング予備回	スクーリング予備回 単位認定試験		14	日							
15	金	レポート提出締切日（12/1入学まで）			15	月	休校日			15	月							
16	土	スクーリング予備回			16	火				16	火							
17	日	スクーリング予備回	スクーリング予備回		17	水				17	水							
18	月	休校日			18	木				18	木							
19	火				19	金				19	金							
20	水				20	土	単位認定試験	単位認定試験		20	土							
21	木				21	日	単位認定試験	単位認定試験	単位認定試験	21	日							
22	金				22	月				22	月							
23	土				23	火	単位認定試験返却			23	火							
24	日		スクーリング予備回		24	水				24	水							
25	月	休校日			25	木				25	木							
26	火				26	金	オンラインHR10:30～11:20			26	金	オンラインHR10:30～11:20						
27	水				27	土	レポート提出締切（2/1入学まで）			27	土							
28	木				28	日				28	日							
29	金	オンラインHR10:30～11:20									29	月						
30	土										30	火						
31	日			単位認定試験							31	水						
備考					備考					備考		特別活動実施予定（2/1入学者まで）						

4 単位認定試験日程及び時間割

■令和8年度単位認定試験日程

令和8年度（2026年度）						
単位認定試験 日程						
	新潟		東京		大阪	
9月卒業対象	9/6（日） 9/20（日）	新潟産業大学 附属高等学校	9/6（日）	明星学苑高等学校	9/6（日）	追手門学院 高等学校
年度末	2/6（土） 2/7（日）		9/13（日）	宝仙学園高校	9/20（日）	
			2/7（日）	情報科学専門学校	1/31（日）	
1～2生対象	2/20（土） 2/21（日）		2/14（日）	宝仙学園高校	2/7（日）	
			2/20（土） 2/21（日）	横浜デジタル アーツ専門学校	2/7（日） 2/21（日）	

■単位認定試験時間割【見本】

【新潟会場】

1日目							2日目						
試験教室：新潟会場							試験教室：講堂（新潟産業大学附属高等学校）						
1限	2限	3限	4限	5限	6限	7限	1限	2限	3限	4限	5限	6限	7限
現代の国語	論理国語	言語文化	柏崎探究	実用国語	論理国語	数学Ⅰ	現代の国語	政治経済	漢字基礎	漢字基礎	漢字基礎	言語文化	数学A
言語文化	実用国語	論理国語	政治経済	体育1	実用国語	数学A	言語文化	科学と人間生活	柏崎探究	公共	化学基礎	古典探究	家庭基礎
古典探究	漢字基礎	数学Ⅰ	保健	体育2	漢字基礎	保健	論理国語	物理基礎	公共	数学A	生物基礎	体育2	情報Ⅰ
漢字基礎	地理総合	数学Ⅱ	書道Ⅰ	体育3	地理総合	書道Ⅰ	漢字基礎	生物基礎	化学	科学と人間生活	体育3	体育3	
実用国語	日本史探究	数学Ⅲ	英語コミュニケーションⅡ		数学Ⅰ	英語コミュニケーションⅡ	実用国語	生物	英語コミュニケーションⅠ	生物基礎	保健	英語コミュニケーションⅠ	
地理総合	歴史総合	数学A	家庭基礎		化学基礎	論理・表現Ⅰ	歴史総合	保健	英語コミュニケーションⅡ	体育1	論理・表現Ⅰ	英語コミュニケーションⅡ	
政治経済	柏崎探究	キャリア数学	情報Ⅰ		書道Ⅰ		数学Ⅱ	論理・表現Ⅰ	論理・表現Ⅰ	体育3	家庭基礎		
化学基礎	地理探究	科学と人間生活			英語探究		数学B		英語探究	家庭基礎			
英語コミュニケーションⅡ	数学Ⅰ	体育2					体育3			情報Ⅰ			
英語探究	体育1	体育3					英語コミュニケーションⅠ						
	体育2	保健											
	英語コミュニケーションⅡ	情報Ⅰ											
	論理・表現Ⅰ												

【東京会場】

1日目							2日目						
試験教室：東京会場							試験教室：東京会場						
1限	2限	3限	4限	5限	6限	7限	1限	2限	3限	4限	5限	6限	7限
現代の国語	言語文化	現代の国語	漢字基礎	日本史探究	言語文化	漢字基礎	言語文化	歴史総合	キャリア数学	漢字基礎	言語文化	論理国語	漢字基礎
言語文化	地理総合	漢字基礎	実用国語	生物	古典探究	柏崎探究	論理国語	柏崎探究	保健	実用国語	漢字基礎	実用国語	実用国語
論理国語	地理探究	柏崎探究	柏崎探究	体育1	漢字基礎	政治経済	実用国語	政治経済	英語コミュニケーションⅠ	歴史総合	日本史探究	柏崎探究	歴史総合
古典探究	歴史総合	数学Ⅰ	政治経済	体育2	実用国語	保健	歴史総合	科学と人間生活	英語コミュニケーションⅡ	日本史探究	柏崎探究	公共	日本史探究
漢字基礎	日本史探究	数学Ⅱ	科学と人間生活	体育3	歴史総合	家庭基礎	公共	化学基礎	論理・表現Ⅰ	柏崎探究	政治経済	数学A	キャリア数学
実用国語	柏崎探究	数学Ⅲ	物理基礎		日本史探究		数学Ⅱ	生物基礎	英語探究	公共	保健	キャリア数学	保健
地理総合	公共	数学A	体育2		公共		保健	家庭基礎	家庭基礎	科学と人間生活	英語コミュニケーションⅠ	科学と人間生活	論理・表現Ⅰ
歴史総合	政治経済	数学B	体育3		科学と人間生活		英語探究			生物基礎		生物基礎	
化学基礎	数学B	キャリア数学	保健		化学基礎					体育3		英語コミュニケーションⅡ	
英語探究	科学と人間生活	科学と人間生活	書道Ⅰ		生物基礎					英語探究	情報Ⅰ	家庭基礎	情報Ⅰ
	体育1	体育1	英語コミュニケーションⅠ		体育2								
	英語コミュニケーションⅠ	体育2	英語コミュニケーションⅡ		保健								
	保健	英語探究	英語探究		英語コミュニケーションⅡ								
		情報Ⅰ	家庭基礎		論理・表現Ⅰ								
			情報Ⅰ		英語探究								
					情報Ⅰ								

【大阪会場】

1日目							2日目						
試験教室：大阪会場							試験教室：大阪会場						
1限	2限	3限	4限	5限	6限	7限	1限	2限	3限	4限	5限	6限	7限
現代の国語	地理総合	漢字基礎	古典探究	実用国語	古典探究	政治経済	言語文化	公共	数学Ⅱ	漢字基礎	漢字基礎	漢字基礎	古典探究
言語文化	歴史総合	数学Ⅰ	漢字基礎	柏崎探究	地理総合	キャリア数学	論理国語	政治経済	生物	公共	実用国語	科学と人間生活	情報Ⅰ
論理国語	日本史探究	数学Ⅱ	柏崎探究	キャリア数学	柏崎探究	体育3	実用国語	科学と人間生活	英語コミュニケーションⅠ	体育2	保健	化学基礎	
古典探究	柏崎探究	数学Ⅲ	数学B	生物基礎	科学と人間生活	書道Ⅰ	数学Ⅱ	生物基礎	英語コミュニケーションⅡ	体育3	英語コミュニケーションⅠ	生物基礎	
漢字基礎	公共	数学A	物理基礎	化学	保健		数学A	物理	論理・表現Ⅰ	保健	論理・表現Ⅰ		
実用国語	化学基礎	キャリア数学	体育1	体育1	英語コミュニケーションⅡ		数学B			情報Ⅰ	英語探究		
地理総合	生物	体育3	体育2	体育2	家庭基礎		科学と人間生活						
地理探究	保健	保健	書道Ⅰ	体育3			体育2						
化学基礎	家庭基礎	英語探究	英語コミュニケーションⅡ										
生物基礎		情報Ⅰ	家庭基礎										
英語探究													

5 2026 年度レポート及び映像授視聴報告提出締切について

教科	科 目	数定単位	レポート回	レポート												映像視聴報告	
				0 1 回	0 2 回	0 3 回	0 4 回	0 5 回	0 6 回	0 7 回	0 8 回	0 9 回	1 0 回	1 1 回	1 2 回	視聴報告回数	映像授業視聴報告
国 語	現代の国語	2	6	6月26日	6月26日	8月28日	10月23日	12月18日	1月15日							1	1月15日
	言語文化	2	6	6月26日	6月26日	8月28日	10月23日	12月18日	1月15日							1	1月15日
	論理国語	4	12	6月26日	6月26日	6月26日	8月28日	8月28日	8月28日	10月23日	10月23日	10月23日	12月18日	12月18日	1月15日	2	1月15日
	実用国語	2	6	6月26日	6月26日	8月28日	10月23日	12月18日	1月15日							1	1月15日
	漢字基礎	2	6	6月26日	6月26日	8月28日	10月23日	12月18日	1月15日							1	1月15日
	古典探究	4	12	6月26日	6月26日	6月26日	8月28日	8月28日	8月28日	10月23日	10月23日	10月23日	12月18日	12月18日	1月15日	2	1月15日
地 歴	地理総合	2	6	6月26日	6月26日	8月28日	10月23日	12月18日	1月15日							1	1月15日
	地理探究	3	9	6月26日	6月26日	8月28日	8月28日	8月28日	10月23日	10月23日	12月18日	1月15日				2	1月15日
	歴史総合	2	6	6月26日	6月26日	8月28日	10月23日	12月18日	1月15日							1	1月15日
	日本史探究	4	12	6月26日	6月26日	6月26日	8月28日	8月28日	8月28日	10月23日	10月23日	10月23日	12月18日	12月18日	1月15日	2	1月15日
	柏崎探究	2	6	6月26日	6月26日	8月28日	10月23日	12月18日	1月15日							1	1月15日
公 民	公共	2	6	6月26日	6月26日	8月28日	10月23日	12月18日	1月15日							1	1月15日
	政治経済	2	6	6月26日	6月26日	8月28日	10月23日	12月18日	1月15日							1	1月15日
数 学	数学Ⅰ	3	9	6月26日	6月26日	8月28日	8月28日	8月28日	10月23日	10月23日	12月18日	1月15日				1	1月15日
	数学Ⅱ	4	12	6月26日	6月26日	6月26日	8月28日	8月28日	8月28日	10月23日	10月23日	10月23日	12月18日	12月18日	1月15日	2	1月15日
	数学Ⅲ	3	9	6月26日	6月26日	8月28日	8月28日	8月28日	10月23日	10月23日	12月18日	1月15日				1	1月15日
	数学A	2	6	6月26日	6月26日	8月28日	10月23日	12月18日	1月15日							1	1月15日
	数学B	2	6	6月26日	6月26日	8月28日	10月23日	12月18日	1月15日							1	1月15日
	キャリア数学	2	6	6月26日	6月26日	8月28日	10月23日	12月18日	1月15日							1	1月15日
理 科	科学と人間生活	2	6	6月26日	6月26日	8月28日	10月23日	12月18日	1月15日							4	1月15日
	物理基礎	2	6	6月26日	6月26日	8月28日	10月23日	12月18日	1月15日							4	1月15日
	物理	4	12	6月26日	6月26日	6月26日	8月28日	8月28日	8月28日	10月23日	10月23日	10月23日	12月18日	12月18日	1月15日	9	1月15日
	化学基礎	2	6	6月26日	6月26日	8月28日	10月23日	12月18日	1月15日							4	1月15日
	化学	4	12	6月26日	6月26日	6月26日	8月28日	8月28日	8月28日	10月23日	10月23日	10月23日	12月18日	12月18日	1月15日	9	1月15日
	生物基礎	2	6	6月26日	6月26日	8月28日	10月23日	12月18日	1月15日							4	1月15日
	生物	4	12	6月26日	6月26日	6月26日	8月28日	8月28日	8月28日	10月23日	10月23日	10月23日	12月18日	12月18日	1月15日	9	1月15日
保健体育	体育1	3	3	6月26日	10月23日	1月15日										9	1月15日
	体育2	2	2	10月23日	1月15日											6	1月15日
	体育3	2	2	10月23日	1月15日											6	1月15日
	保健	2	6	6月26日	6月26日	8月28日	10月23日	12月18日	1月15日							1	1月15日
芸術	書道Ⅰ	2	6	6月26日	6月26日	8月28日	10月23日	12月18日	1月15日							4	1月15日
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	9	6月26日	6月26日	8月28日	8月28日	8月28日	10月23日	10月23日	12月18日	1月15日				7	1月15日
	英語コミュニケーションⅡ	4	12	6月26日	6月26日	6月26日	8月28日	8月28日	8月28日	10月23日	10月23日	10月23日	12月18日	12月18日	1月15日	9	1月15日
	論理・表現Ⅰ	2	6	6月26日	6月26日	8月28日	10月23日	12月18日	1月15日							4	1月15日
	英語探究	1	3	6月26日	10月23日	1月15日										2	1月15日
家庭	家庭基礎	2	6	6月26日	6月26日	8月28日	10月23日	12月18日	1月15日							2	1月15日
情報	情報Ⅰ	2	6	6月26日	6月26日	8月28日	10月23日	12月18日	1月15日							2	1月15日
体験学習	体験学習1	2	2	10月23日	1月15日											-	-
	体験学習2	2	2	10月23日	1月15日											-	-
	体験学習3	2	2	10月23日	1月15日											-	-
総合的な探究の時間	探究1	1	3	6月26日	10月23日	1月15日										-	-
	探究2	1	3	6月26日	10月23日	1月15日										-	-
	探究3	1	3	6月26日	10月23日	1月15日										-	-
特別活動	特別活動1	-	-	1月15日												1	1月15日
	特別活動2	-	-	1月15日												1	1月15日
	特別活動3	-	-	1月15日												1	1月15日

5 教科指導計画（シラバス）

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
国語	現代の国語	2単位	6	1	東京書籍 新編現代の国語	

学習の目標

言葉による見え方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目標とする。その上で、実社会に必要な知識や技能、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自ら発信する力も向上させ、言葉を通して他者や社会に関わる態度を養う。

添削指導	学習内容
第1回	作品「こそそめスープ」、「ルリボシカミキリの青」について
第2回	作品「未来をつくる想像力」、「水の東西」について
第3回	作品「スキマが育む都市の緑と生命のつながり」、「無彩の色」「ハサミ—左利きだからこそ見えた世間」について
第4回	作品「鍋洗いの日々」、「森で染める人」、「動きを引き出す言葉の力」について
第5回	作品「美しさの発見」、「りんごのほっぺ」「人生という旅の豊かな人間関係」について
第6回	作品「天動説はなぜ『正しかった』か?」、「真の自立とは」について
面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 「思考ツール・発想の方法」 2. 本時の学習 (1) 目標 ・内容への理解を深め、試行する。
メディア視聴	学習内容
1時間	作品「スキマが育む都市の緑と生命のつながり」 塚谷裕一 作品「森で染める人」 鈴木菜々子 作品「美しさの発見」 高階秀爾 作品「天動説はなぜ『正しかった』か?」 多田将

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。
思考・判断・表現	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理展開などについて、叙述を基に的確に捉え、趣旨や要点を把握している。
主体的に学習に取り組む態度	進んで筆者の気持ちの変化や考えを理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめている。日本語の特徴や使い方を学び、それを普段の生活に活かすことができている。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導） : 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング） : 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点 : 所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

現代の国語 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

（別紙教科書解説動画映像参照）

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
1 自己を見つめる	生きる原点としての自己への理解を深めよう。 こそめスープ	導入・学習目標	5	03:30
		こそめスープ①	6	06:00
		こそめスープ②	7	05:00
		こそめスープ③	8	04:30
		こそめスープ④	9	06:30
		こそめスープ⑤	10	04:30
		学習の手引き 漢字と語彙 言語活動	11	04:30
		ルリボシカミキリの青①	12	05:30
		ルリボシカミキリの青②	13	04:30
		ルリボシカミキリの青③	14	06:00
		ルリボシカミキリの青④	15	06:00
		ルリボシカミキリの青⑤	16	06:00
		学習の手引き 漢字と語彙 言語活動	17	06:00
	【話す・聞く】気になるニュースについて話そう	学習の流れ	18	05:00
		活動のポイント	19	06:30
		分かりやすく伝える準備をする	20	06:00
		ニュースを伝え合う	21	05:30
		発表を聞いて知ったことを伝える	22	05:00
2 他者に出会う	評論を読んで筆者の考えを読み取り、関心の幅を広げよう。 未来をつくる想像力	導入・学習目標	23	04:30
		未来をつくる想像力①	24	05:30
		未来をつくる想像力②	25	06:00
		未来をつくる想像力③	26	05:00
		未来をつくる想像力④	27	05:30
		未来をつくる想像力⑤	28	05:00
		未来をつくる想像力⑥	29	06:00
		学習の手引き 漢字と語彙 言語活動	30	06:00
	◆考えよう メディアとの付き合い方	メディアとの付き合い方を考える①	31	06:30
		メディアとの付き合い方を考える②	32	06:00
	水の東西	水の東西①	33	09:30
		水の東西②	34	05:00
		水の東西③	35	06:00
		水の東西④	36	04:30
		水の東西⑤	37	08:30
		学習の手引き 漢字と語彙 言語活動	38	06:30
	論評の読み方	論評の読み方 ポイント①	39	04:30
		論評の読み方 ポイント②	40	06:30
		論評の読み方 ポイント③	41	04:30
		論評の読み方 ポイント④	42	04:00
	◆やってみよう 文章を要約してみよう	ポイント	43	06:00
	【書く】集めた情報の内容を検討して意見文を書こう	学習の流れ	44	04:30
		テーマを見つける テーマに沿った情報を集める	45	05:00
		集めた情報の内容を検討する 自分の意見をまとめ文章の構成を考える	46	06:00
		序論・本論・結論について	47	04:30
		考えた構成に従って意見文を書く	48	05:00
3 言葉と生活 1	説明をしたり、読み比べたりすることを通して、コミュニケーションの基礎となる力を養おう。 【話す・聞く】分かりやすい説明をしよう	導入・学習目標	49	04:30
		学習の流れ	50	05:00
		「分かりにくい説明」と「分かりやすい説明」の違いを考える	51	04:30
		「分かりやすい説明」のポイントを知る①	52	04:00
		「分かりやすい説明」のポイントを知る②	53	05:00
		ロールプレーを行い、相互評価をする	54	04:00
		活動を振り返って、気づいたことを話し合う	55	04:00
	【読む】異なる種類の文章を読み比べよう	学習の流れ	56	05:30
		活動のポイント	57	05:30
		読み比べるときのポイントを押さえる①	58	06:00
		読み比べるときのポイントを押さえる②	59	07:00
		読み比べるときのポイントを押さえる③	60	05:30
		三つの文章を読み比べる	61	05:00
		読み取ったことを表の形に整理する	62	05:30
	◆考えよう グラフや写真の読み取り方	グラフの読み取り	63	05:00
		確認・比較したことについて考える①	64	06:00
		確認・比較したことについて考える②	65	04:30
		写真の読み取り	66	05:00
4 視野を広げる	新鮮な着眼点や発想に触れて、視野を広げよう。 スキマが育む都市の緑と生命のつながり	導入・学習目標	67	05:00
		スキマが育む都市の緑と生命のつながり①	68	05:30
		スキマが育む都市の緑と生命のつながり②	69	06:00
		スキマが育む都市の緑と生命のつながり③	70	05:30
		スキマが育む都市の緑と生命のつながり④	71	05:00
		スキマが育む都市の緑と生命のつながり⑤	72	04:30
		スキマが育む都市の緑と生命のつながり⑥	73	06:00
		スキマが育む都市の緑と生命のつながり⑦	74	05:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
	無彩色の色	スキマが育む都市の緑と生命のつながり⑥	75	05:30
		スキマが育む都市の緑と生命のつながり⑥	76	04:30
		学習の手引き 漢字と語彙 言語活動	77	06:00
		無彩色の色①	78	06:00
		無彩色の色②	79	05:00
		無彩色の色③	80	05:30
		無彩色の色④	81	06:00
		無彩色の色⑤	82	05:30
		無彩色の色⑥	83	05:30
		無彩色の色⑦	84	06:30
	ハサミで左利きだからこそ見えた世間	学習の手引き 漢字と語彙	85	04:00
		学習の手引き 漢字と語彙	86	07:00
		ハサミで左利きだからこそ見えた世間①	87	05:30
		ハサミで左利きだからこそ見えた世間②	88	05:00
		ハサミで左利きだからこそ見えた世間③	89	08:00
		ハサミで左利きだからこそ見えた世間④	90	05:30
		ハサミで左利きだからこそ見えた世間⑤	91	05:00
		学習の手引き 漢字と語彙 言語活動	92	04:30
	【話す・聞く】情報を整理しながら話し合おう	学習の流れ	93	05:00
		話し合いの目的を明確にする	94	05:30
		話し合いの進め方を確認する	95	05:00
		検討事項を整理しながら話し合う①	96	05:30
		検討事項を整理しながら話し合う②	97	05:00
		決まったことや今後の課題を確認する	98	06:00
5 社会と関わる	働く人の思いを理解し、社会の中で生きる自分の将来について考えよう。	導入・学習目標	99	04:30
	錆洗いの日々	錆洗いの日々①	100	06:00
		錆洗いの日々②	101	06:00
		錆洗いの日々③	102	05:00
		錆洗いの日々④	103	05:00
		錆洗いの日々⑤	104	06:00
		学習の手引き 漢字と語彙 言語活動	105	05:30
	森で染める人	森で染める人①	106	05:00
		森で染める人②	107	05:30
		森で染める人③	108	05:00
		森で染める人④	109	04:30
		森で染める人⑤	110	05:30
		森で染める人⑥	111	05:30
		森で染める人⑦	112	05:00
		森で染める人⑧	113	06:00
		森で染める人⑨	114	05:00
		学習の手引き 漢字と語彙 言語活動	115	04:30
	動きを引き出す言葉の力	動きを引き出す言葉の力①	116	05:30
		動きを引き出す言葉の力②	117	05:00
		動きを引き出す言葉の力③	118	05:00
		動きを引き出す言葉の力④	119	06:00
		動きを引き出す言葉の力⑤	120	06:00
		動きを引き出す言葉の力⑥	121	05:30
		動きを引き出す言葉の力⑦	122	05:30
		動きを引き出す言葉の力⑧	123	05:30
	◆考えよう 言葉と社会	学習の手引き 漢字と語彙 言語活動	124	06:30
		言葉を使う際の工夫	125	05:30
	【書く】世の職業について調べ、整理してまとめよう	学習の流れ	126	06:30
		基本となる客観情報を集める	127	05:30
		集めた情報をもとに選択肢を絞る	128	05:30
		体験談など詳しい情報を集める	129	05:00
		構成を工夫し、自分の考えを説明する①	130	05:00
		構成を工夫し、自分の考えを説明する②	131	05:30
	【ブックガイド】働くとは？	作品の紹介	132	06:00
6 言葉と生活 2	話し合いをしたり、自分の考えを書いたりすることを通して、表現する力を養おう。	導入・学習目標	133	05:00
	【話す・聞く】発想を広げる方法を使って話し合おう	学習の流れ	134	05:00
		思考・発想を広げるための方法を知る	135	05:00
		「ブレインストーミング」と「カードによるグルーピング」を使ってディスカッションをする①	136	07:00
		「ブレインストーミング」と「カードによるグルーピング」を使ってディスカッションをする②	137	05:00
		「ブレインストーミング」と「カードによるグルーピング」を使ってディスカッションをする③	138	05:30
		活動を振り返り、気づいたことを話し合う	139	06:00
	【書く】新聞記事を読んで意見文を書こう	学習の流れ	140	06:00
		要点を押さえて新聞記事を読む	141	05:00
		新聞記事本文	142	07:00
		見出しの持つ意味を考える	143	04:30

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
	●グループで問い作りに挑戦 ◆考えよう 相手に応じた言葉の選び方	読み取ったことをもとに意見文の内容を考える	144	05:30
		意見文を書く	145	05:00
		QFTによる問いづくり①	146	05:30
		QFTによる問いづくり②	147	05:30
		ある高校での文化祭準備中の出来事①	148	05:30
		ある高校での文化祭準備中の出来事②	149	04:30
		ある高校での文化祭準備中の出来事③	150	05:30
		導入・学習目標	151	04:30
		美しさの発見①	152	06:00
		美しさの発見②	153	06:00
7 世界とつながる	多様な価値観に目を開き、周囲に広がる世界への理解を深めよう。 美しさの発見 りんごのほっぺ 人生という旅の豊かな人間関係 【書く】読み手のアドバイスを生かして紹介文を書こう	美しさの発見③	154	06:00
		美しさの発見④	155	04:30
		美しさの発見⑤	156	05:00
		美しさの発見⑥	157	06:00
		美しさの発見⑦	158	05:30
		学習の手引き 漢字と語彙 言語活動	159	05:00
		りんごのほっぺ①	160	07:00
		りんごのほっぺ②	161	05:00
		りんごのほっぺ③	162	05:00
		りんごのほっぺ④	163	05:30
		りんごのほっぺ⑤	164	06:00
		りんごのほっぺ⑥	165	04:30
		りんごのほっぺ⑦	166	05:30
		りんごのほっぺ⑧	167	06:00
		学習の手引き 漢字と語彙 言語活動	168	06:30
		人生という旅の豊かな人間関係①	169	05:30
		人生という旅の豊かな人間関係②	170	05:30
		人生という旅の豊かな人間関係③	171	04:30
		人生という旅の豊かな人間関係④	172	04:30
		人生という旅の豊かな人間関係⑤	173	05:00
		人生という旅の豊かな人間関係⑥	174	05:30
		人生という旅の豊かな人間関係⑦	175	05:30
		学習の手引き 漢字と語彙 言語活動	176	05:30
		学習の流れ	177	05:30
		紹介する対象の情報を集める	178	05:00
		集めた情報の中から活用する情報を集める	179	04:00
		文章の構成を考え、紹介文を書く	180	05:30
		読み手の意見を聞いて書き直す①	181	06:00
		読み手の意見を聞いて書き直す②	182	04:30
8 未来に目を向ける	既存の価値観を新たな観点から捉え直し、社会の未来を考えよう。 天動説はなぜ「正しかった」か？ ◆考えよう 推論の仕方 真の自立とは 【話す・聞く】資料を活用して発表しよう	導入・学習目標	183	04:30
		天動説はなぜ「正しかった」か？①	184	06:00
		天動説はなぜ「正しかった」か？②	185	06:00
		天動説はなぜ「正しかった」か？③	186	06:30
		天動説はなぜ「正しかった」か？④	187	06:00
		天動説はなぜ「正しかった」か？⑤	188	05:30
		学習の手引き 漢字と語彙 言語活動	189	05:00
		学習の流れ①	190	05:30
		学習の流れ②	191	04:30
		学習の流れ③	192	05:00
		真の自立とは①	193	06:00
		真の自立とは②	194	05:00
		真の自立とは③	195	05:30
		真の自立とは④	196	04:30
		真の自立とは⑤	197	05:00
		真の自立とは⑥	198	05:00
		真の自立とは⑦	199	05:00
		真の自立とは⑧	200	04:30
		学習の手引き 漢字と語彙 言語活動	201	06:00
		学習の流れ	202	05:30
		さまざまな発表の形式を知る	203	06:00
		ポスターセッションの準備をする①	204	04:30
		ポスターセッションの準備をする②	205	05:30
		ポスターセッションによる発表を行う	206	04:30

総時間 18:38:30

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
国語	言語文化	2単位	6	1	東京書籍 新編言語文化	

学習の目標

言葉による見え方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目標とする。その上で、言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

添削指導	学習内容
第1回	作品「さくらさくらさくら」、「心の自由」、「とんかつ」「オレンジの実る中庭」について
第2回	詩歌（短歌）（俳句）、作品「冬が来た」、「少年の日」、「I was born」について
第3回	作品「羅生門」、「夢十夜」、「デューク」について
第4回	作品「児のそら寝」（宇治拾遺物語）、「奥山に、猫またというものありて」、「雪のおもしろう降りたりし朝」、「今日はそのことをなさんと思へど」（徒然草）、和歌「折々の歌」、作品「うつくしきもの」（枕草子）について
第5回	作品「芥川」「筒井筒」（伊勢物語）、「木曾の最期」（平家物語）、「平泉」（奥の細道）について
第6回	漢文訓読の基本、作品「贈汪倫」、「論語」、「史話」について
面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 作品「うつくしきもの（枕草子）」 2. 本時の学習 （1）目標 ・本文を読解し、内容への理解を深める。
メディア視聴	学習内容
1時間	作品「さくらさくらさくら」、俵万智 詩歌（短歌）（俳句） 作品「少年の日」佐藤春夫 作品「羅生門」芥川龍之介 作品「夢十夜」夏目漱石 作品「徒然草」兼好法師 作品「枕草子」清少納言 作品「平泉」（奥の細道）松尾芭蕉 作品「故事」、「論語」、「史話」

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、日本の言論文化に対する理解を深めている。
思考・判断・表現	「読み」「書き」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を身に付け、他者との関わりを通して伝える力を高めることができる。
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者と関わり、言葉が持つ価値への認識を深めようとしている。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

言語文化 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。（別紙教科書解説動画映像参照）

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
1 随筆 生きる喜び		随筆を読んで、筆者のものの見方や感じ方を読み取る。	9	5:00
	さくらさくらさくら	さくらさくらさくら①	10	6:00
		さくらさくらさくら②	11	5:00
		さくらさくらさくら③	12	5:00
		さくらさくらさくら④	13	6:00
		さくらさくらさくら⑤	14	5:30
		学習の手引き	15	5:00
	言語活動「花」といえば「桜」?	調べ発表する。	16	6:00
	心の自由	心の自由①	18	5:30
		心の自由②	19	6:00
		心の自由③	20	6:30
		学習の手引き	22	5:30
小説1 触れ合う心		表現に注意しながら登場人物の心情を読み取り、小説に親しむ。	23	5:00
	とんかつ	とんかつ①	24	7:00
		とんかつ②	25	5:30
		とんかつ③	26	6:00
		とんかつ④	27	5:00
		とんかつ⑤	28	6:00
		とんかつ⑥	29	5:30
		とんかつ⑦	30	5:00
		とんかつ⑧	31	5:00
		とんかつ⑨	32	5:30
		とんかつ⑩	33	5:30
		とんかつ⑪	34	6:30
		学習の手引き	35	5:00
	オレンジの実る中庭	オレンジの実る中庭 ①	36	5:30
		オレンジの実る中庭 ②	37	6:00
		オレンジの実る中庭 ③	38	5:30
		オレンジの実る中庭 ④	39	5:00
		オレンジの実る中庭 ⑤	40	5:30
		オレンジの実る中庭 ⑥	41	5:30
		オレンジの実る中庭 ⑦	42	5:30
		オレンジの実る中庭 ⑧	43	4:30
		オレンジの実る中庭 ⑨	44	5:00
		オレンジの実る中庭 ⑩	45	6:00
		オレンジの実る中庭 ⑪	46	5:00
		学習の手引き	48	6:30
	小説の読み方	小説の読み方：「作り話」から学べること	49	5:30
		小説の読み方：小説の「時」と「場所」・登場人物	50	5:30
		小説の読み方：小説における「視点」・想像する楽しみ	51	4:30
詩歌		詩や短歌、俳句に親しみ、深く読み味わう力を養う。	53	5:00
	柳あをめる【短歌】	柳あをめる【短歌】①	54	5:00
		柳あをめる【短歌】②	55	5:30
		柳あをめる【短歌】③	56	5:30
	短歌の読み方	短歌の読み方：自分の感情に重ねて読む	57	5:00
	雪の深さを【俳句】	雪の深さを【俳句】①	58	5:30
		雪の深さを【俳句】②	59	6:00
		雪の深さを【俳句】③	60	5:30
		雪の深さを【俳句】④	61	5:00
	俳句の読み方	俳句の読み方：季節のおもしろさにふれる	62	6:00
	冬が来た	冬が来た	64	6:00
	少年の日	少年の日	66	5:00
	I was born	I was born①	68	5:00
		I was born②	69	4:30
	言語活動 歌詞の意味や表現技法について考えよう	歌詞の中に含まれる表現技法を調べ歌詞の意味を考える。	70	5:30
	詩の読み方	詩の読み方：比喩を理解する	72	5:00
		詩の読み方：詩の中の直喩と隠喩	73	5:00
		詩の読み方：詩の形式と本質	74	5:00
小説2 葛藤する心		描かれている情景や心情から主題を読み取り、小説を深く味わう。	75	5:30
	羅生門	羅生門①	76	6:30
		羅生門②	77	5:00
		羅生門③	78	5:30
		羅生門④	79	5:30
		羅生門⑤	80	5:30
		羅生門⑥	81	5:30
		羅生門⑦	82	6:00
		羅生門⑧	83	5:30
		羅生門⑨	84	5:30
		羅生門⑩	85	5:30
		羅生門⑪	86	5:30
		羅生門⑫	87	5:30

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
	言語活動 元になった古典作品を読み比べよう	源生門①	88	6:00
		源生門②	90	5:30
		源生門③	91	5:30
		古典作品を元にした小説について	92	5:00
		今昔物語集より	93	4:30
		源生門と原作の比較①	94	5:30
		源生門と原作の比較②	95	5:00
		多様な小説を読んで、読書の幅を広げ、豊かな感性を養う。	97	5:00
		夢十夜①	98	6:00
		夢十夜②	99	5:30
小説3 現実の向こう側	夢十夜	夢十夜③	100	5:30
		夢十夜④	101	6:30
		夢十夜⑤	102	5:30
		夢十夜⑥	104	5:00
		夢十夜⑦	105	5:00
		夢十夜⑧	106	5:30
		夢十夜⑨	107	5:30
	現代文の窓1 小説へのいざない	現代文の窓1 小説へのいざない：近代文学をどうつくるか	108	5:00
		現代文の窓1 小説へのいざない：さまざまな表現手法の試み	109	5:00
		現代文の窓1 小説へのいざない：文化の欧米化の中で	110	4:30
	デューク	デューク①	111	6:30
		デューク②	112	5:30
		デューク③	113	5:30
		デューク④	114	5:30
		デューク⑤	115	5:30
		デューク⑥	116	5:30
		デューク⑦	117	5:30
		デューク⑧	118	5:00
		デューク⑨	119	5:30
	現代文の窓2 小説の冒頭—さまざまな工夫	現代文の窓2 小説の冒頭—さまざまな工夫：インパクトのある冒頭	121	6:00
		現代文の窓2 小説の冒頭—さまざまな工夫：説明・紹介から始める冒頭	122	5:00
		文語のまじりを理解し古文の世界に親しむ。	123	5:30
古文入門 古文の世界へ	古文に親しむ	古文に親しむ：竹取物語	124	6:00
		古文に親しむ：枕草紙・源氏物語	125	6:00
		古文に親しむ：方丈記・平家物語	126	6:00
		古文に親しむ：徒然草・奥の細道	127	5:30
	児のそら寝『宇治拾遺物語』	児のそら寝 ①	128	7:00
		児のそら寝 ②	129	6:30
	古文学習のしるべ1 古文の言葉と仮名遣い	古文学習のしるべ1 古文の言葉と仮名遣い①	130	5:30
		古文学習のしるべ1 古文の言葉と仮名遣い②	131	5:00
	検非違使忠明『今昔物語集』	検非違使忠明 ①	132	6:00
		検非違使忠明 ②	133	5:30
	用光と白波『今鏡』	用光と白波①	134	6:30
		用光と白波②	135	6:00
	古文学習のしるべ2 古語を調べるために	古文学習のしるべ2 古語を調べるために：文節・単語の分類	136	6:00
		古文学習のしるべ2 古語を調べるために：活用形・古語辞典の引き方	137	6:00
	絵仏師良秀『宇治拾遺物語』	絵仏師良秀①	138	6:30
		絵仏師良秀②	139	5:00
		絵仏師良秀③	140	5:30
	古文学習のしるべ3	古文の窓1 古典から生まれた近現代の小説を読む①	141	5:00
		古文学習のしるべ3：用言の活用：動詞の活用	142	5:30
		古文学習のしるべ3：用言の活用：形容詞の活用	143	6:30
		古文学習のしるべ3：用言の活用：形容動詞の活用	144	5:30
		筆者の考えを捉え、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。	145	5:00
2 随筆 日々の思い	徒然草	龜山殿の御池に①	146	5:30
		龜山殿の御池に②	147	5:00
		龜山に、猶またといふものありて	148	5:30
		古文の窓2 猶また	149	6:30
		雪のおもしろし降りたりし朝	150	6:00
		古文の窓3 兼好法師、こんな一面も	151	6:00
		今日はそのことをなさんと思へど①	152	6:30
		今日はそのことをなさんと思へど②	153	5:00
	枕草子	うつくしきもの①	154	7:00
		うつくしきもの②	155	6:00
		五月ばかりなどに山嵐に歩く	156	6:00
		古文の窓4 牛車	157	5:00
		古文の窓5『源氏物語』に触れる①	158	5:30
		古文の窓5『源氏物語』に触れる②	159	4:30
		古文学習のしるべ4：助動詞①	160	5:30
		古文学習のしるべ4：助動詞②	161	6:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
3 詩歌 うたの心		古文学習のしるべ4：助詞	162	5:30
		詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。	163	5:00
	折々のうた 万葉集	万葉集①	164	5:30
		万葉集②	165	5:30
		古今和歌集①	166	5:00
		古今和歌集②	167	5:30
		新古今和歌集①	168	6:00
		新古今和歌集②	169	5:00
		学習の手引き	170	4:30
		万葉集・古今和歌集・新古今和歌集について	171	5:30
		古文学習のしるべ5 和歌：和歌の形式・基礎知識	172	5:00
		古文学習のしるべ5 和歌：和歌の解釈	173	5:00
		古文学習のしるべ5 和歌：和歌の修辭	174	5:00
	言語活動 短歌を作る	言語活動 短歌を作る：フレームを使って短歌を読む	175	5:00
		言語活動 短歌を作る：短歌を短冊に書く	176	5:30
4 物語 古人の生き方		物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。	177	5:00
	伊勢物語	芥川①	178	6:00
		芥川②	179	5:30
		簡井①	180	6:00
		簡井②	181	6:30
		簡井③	182	5:00
		簡井④	183	5:30
	言語活動 和歌を自分の言葉で書き換える 言語活動 「伊勢物語」と絵画・工芸	現代のコミュニケーションツールを想定する。	184	4:30
		どの部分を取り上げたものか確認する。	185	5:30
		古文の巻6 恋愛と結婚	186	5:00
	平家物語	木曾の最期①	187	5:30
		木曾の最期②	188	6:00
		木曾の最期③	189	6:00
		木曾の最期④	190	6:00
		木曾の最期⑤	191	5:30
		木曾の最期⑥	192	5:30
		学習の手引き	193	5:00
		古文の巻7 「平家物語」のあらまし①	194	5:30
		古文の巻7 「平家物語」のあらまし②	195	5:00
		古文学習のしるべ6 歌謡	196	5:30
5 紀行 旅の心		作品の内容を読み取り、作者の思いを捉える。	197	5:00
	奥の細道	疎立ち	198	6:00
		平泉①	199	5:30
		平泉②	200	6:00
		平泉③	201	6:00
		『奥の細道』旅程図①	202	5:30
		『奥の細道』旅程図②	203	6:30
	言語活動 文学碑を調べる	地域と文学の関わりについて理解を深める。 自分の住む地域にどんな文学碑があるか確かめる。	204	5:00
	古典芸能へのいざない	古典芸能へのいざない：能	205	5:00
		古典芸能へのいざない：狂言	207	4:30
		古典芸能へのいざない：人形浄瑠璃	208	5:30
		古典芸能へのいざない：歌舞伎	209	5:00
	言語活動 古典芸能に触れる	古典芸能の作品について調べ発表する。	210	4:30
	文体の変遷	文体の変遷：古典の文体	211	5:00
		文体の変遷：和文の誕生	212	5:00
		文体の変遷：文体の多様化	213	4:30
		文体の変遷：近代の文体①	214	5:00
		文体の変遷：近代の文体②	215	4:00
		文体の変遷：近代の文体③	216	5:00
1 漢文入門 漢文に親しむ		漢文の特色を知り、まじりを理解する。	217	5:30
	訓読の基本	訓読①	218	6:00
		訓読②	219	6:00
		格言①	220	5:00
		格言②	221	5:30
		格言③	222	5:30
		格言④	223	5:30
		再読文字①	224	5:30
		再読文字②	225	6:00
	言語活動 漢字の読みと意味―漢和辞典を活用しよう	言語活動 漢字の読みと意味―漢和辞典を活用しよう①	226	6:00
		言語活動 漢字の読みと意味―漢和辞典を活用しよう②	227	5:00
	故事成語一三編	守株「韓非子」	228	6:30
		参考 待ちぼうけ／北原白秋	229	4:30
		五十歩百歩「孟子」①	230	6:00
		五十歩百歩「孟子」②	231	5:00
		借虎威「韓非子」①	232	7:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
2 漢詩 漢詩を味わう	絶句と律詩一七言 参考 注倫に読む 漢詩と日本文学	崔颢『長安道』①	233	5:30
		漢文の意1 名前の表し方	234	5:00
		漢詩にうたわれた情景や作者の心情を読み取る。	235	5:30
		陳子昂 / 主観	236	5:30
		春望 / 孟浩然	237	6:30
		貴州樓送孟浩然之廣陵 / 李白	238	6:30
		贈汪倫 / 李白	239	5:30
		涼州詞 / 王翰	240	5:00
		春望 / 杜甫	241	6:30
		香奩詩下新・山房草堂初成、偶題東壁 / 白居易	242	6:30
		言語活動 訳詩を書く	243	5:30
		漢文の意2 漢詩の形式とまじり	244	5:00
		孔子の学問・人間・政治の在り方についての考えを読み考え方を豊かにする。	245	5:00
		漢文の意3 孔子と弟子たち	254	5:00
3 論語 論語のことば	論語一八章 『論語』の注釈を読む	学ぶということ	246	7:00
		人間を思つめる	247	6:30
		政治を考える①	248	6:00
		政治を考える②	249	7:00
		『論語』の注釈を読む①	250	5:00
		『論語』の注釈を読む②	251	5:00
		『論語』の注釈を読む③	252	5:30
		漢文の意1 孔子と弟子たち	254	5:00
		登場人物の考え方を読み取り史話のおもしろさを味わう。	255	5:00
		書公教於白馬『三國志』①	256	7:00
4 史話 史話をあしむ	史話一三編	書公教於白馬『三國志』②	257	7:00
		書公以鄧羽為義『三國志』①	258	7:00
		書公以鄧羽為義『三國志』②	259	6:00
		魏武授刀『世説新語』	260	7:30
		言語活動『三國志』の英雄ポスターを作る	262	5:00

総時間 15:00:00

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
国語	論理国語	4単位	1 2	2	東京書籍 新編論理国語	

学習の目標

言葉による見え方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目標とする。その上で、実社会に必要な知識や技能、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自ら発信する力も向上させ、言葉を通して他者や社会に関わる態度を養う。

添削指導	学習内容
第1回	作品「対話とは何か」、「世界をつくり替えるために」について
第2回	作品「少女たちの『ひろしま』、『ふしぎ』ということ」について
第3回	作品「学ぶことと人間の知恵」、「ラップトップ抱えた『石器人』」について
第4回	作品「思考の肺活量」、「安心について」について
第5回	作品「弱肉強食は自然の摂理か」、「複数の『わたし』」について
第6回	作品「はじめに『言葉』がある」、「楽に働くこと、楽しく働くこと」について
第7回	作品「最初のペンギン」、「豊かさと生物多様性」について
第8回	作品「物語の外から」、「カフェの開店準備」について
第9回	作品「鏡としてのアンドロイド」、「ロボットが隣人になるとき」について
第10回	作品「言葉は『ものの名前』ではない」、「科学的『発見』とは」について
第11回	作品「知識における作者性と構造的」、「もう一つの知性」について
第12回	作品「ホンモノのおカネの作り方」、「未来のありか」について

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 「論理とは何か1.2（論理の力）」 2. 本時の学習 （1）目標 ・内容への理解を深め、試行する。
2時間	1. 単元（題材）名 「論理とは何か3.4（論理の力）」 2. 本時の学習 （1）目標 ・内容への理解を深め、試行する。
メディア視聴	学習内容
1時間	学ぶことと人間の知恵
2時間	ホンモノのおカネの作り方

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識や技能が身についている。
思考・判断・表現	論理的、批判的に考える力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり高めたりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、国語に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会にかかわろうとしている。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。

3 単位認定試験の得点 : 所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

論理国語 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

(別紙教科書解説動画映像参照)

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
I 部 1 広がる風景	対話とは何か	対話とは何か①	7	2:30
		対話とは何か②	8	4:30
		対話とは何か③	9	4:30
		対話とは何か④	10	5:00
		対話とは何か⑤	11	4:00
		対話とは何か⑥	12	3:00
		対話とは何か⑦	13	5:00
		学習の手引き	14	4:30
	世界をつくり替えるために	世界をつくり替えるために①	15	3:30
		世界をつくり替えるために②	16	5:00
		世界をつくり替えるために③	17	5:30
		世界をつくり替えるために④	18	4:00
		世界をつくり替えるために⑤	19	6:00
		世界をつくり替えるために⑥	20	4:00
		世界をつくり替えるために⑦	21	3:30
		学習の手引き	22	5:00
		論議の力を鍛えよう①	23	4:00
		論議の力を鍛えよう②	24	4:00
	I 部 2 考える手がかり	少女たちの「ひろしま」①	25	3:00
		少女たちの「ひろしま」②	26	6:30
		少女たちの「ひろしま」③	28	8:00
		少女たちの「ひろしま」④	30	3:30
		少女たちの「ひろしま」⑤	31	3:00
		少女たちの「ひろしま」⑥	32	4:30
		少女たちの「ひろしま」⑦	33	4:30
		少女たちの「ひろしま」⑧	34	3:00
		少女たちの「ひろしま」⑨	35	4:30
		学習の手引き	36	4:30
	「ふしぎ」ということ	「ふしぎ」ということ①	37	4:30
		「ふしぎ」ということ②	38	6:30
		「ふしぎ」ということ③	39	4:00
		「ふしぎ」ということ④	40	4:00
		「ふしぎ」ということ⑤	41	6:00
		「ふしぎ」ということ⑥	42	6:30
		「ふしぎ」ということ⑦	43	6:30
	言葉の語①慣用句の意味	言葉の語①慣用句の意味①	44	7:00
		言葉の語①慣用句の意味②	45	5:00
	資料を整理し、テーマを吟味しよう	資料を整理し、テーマを吟味しよう①	46	4:00
		資料を整理し、テーマを吟味しよう②	47	4:30
		資料を整理し、テーマを吟味しよう③	48	6:00
		資料を整理し、テーマを吟味しよう④	50	4:00
		資料を整理し、テーマを吟味しよう⑤	52	3:00
		資料を整理し、テーマを吟味しよう⑥	53	3:00
		資料を整理し、テーマを吟味しよう⑦	54	4:00
I 部 3 人間と知性	学ぶことと人間の知性	学ぶことと人間の知性①	55	2:30
		学ぶことと人間の知性②	56	7:00
		学ぶことと人間の知性③	57	3:30
		学ぶことと人間の知性④	58	4:00
		学ぶことと人間の知性⑤	59	4:00
		学ぶことと人間の知性⑥	60	3:30
		学ぶことと人間の知性⑦	61	4:00
		学ぶことと人間の知性⑧	62	3:30
		学ぶことと人間の知性⑨	63	3:00
		学ぶことと人間の知性⑩	64	4:00
		学ぶことと人間の知性⑪	65	5:00
	ラップトップを抱えた「右衛門」	ラップトップを抱えた「右衛門」①	66	6:30
		ラップトップを抱えた「右衛門」②	67	5:30
		ラップトップを抱えた「右衛門」③	68	3:30
		ラップトップを抱えた「右衛門」④	69	4:00
		ラップトップを抱えた「右衛門」⑤	70	2:30
		ラップトップを抱えた「右衛門」⑥	71	5:30
	文章を読み比べるために	学習の手引き	72	5:00
		文章を読み比べるために①	73	5:30
		文章を読み比べるために②	74	4:30
I 部 4 現実の中で	思考の訪活量	思考の訪活量①	75	3:00
		思考の訪活量②	76	6:30
		思考の訪活量③	77	7:00
		思考の訪活量④	78	5:30
		思考の訪活量⑤	79	4:30
		思考の訪活量⑥	80	5:00
		思考の訪活量⑦	81	5:30

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
	安心について	学習の手引き	82	5:00
		安心について①	83	5:00
		安心について②	84	5:00
		安心について③	86	5:30
		安心について④	87	6:30
		安心について⑤	88	5:30
		安心について⑥	89	5:00
		安心について⑦	90	3:30
	考える楽しみ	学習の手引き	91	5:00
		言葉にすると、しないとき	92	5:00
	仮説を立てて検証しよう	仮説を立てて検証しよう①	93	4:00
		仮説を立てて検証しよう②	94	4:00
		仮説を立てて検証しよう③	95	5:00
		仮説を立てて検証しよう④	96	3:30
		仮説を立てて検証しよう⑤	97	4:00
		仮説を立てて検証しよう⑥	98	3:30
		仮説を立てて検証しよう⑦	99	4:00
		仮説を立てて検証しよう⑧	100	5:00
I 部5ものの見方	弱肉強食は自然の摂理か	弱肉強食は自然の摂理か①	101	3:00
		弱肉強食は自然の摂理か②	102	4:30
		弱肉強食は自然の摂理か③	103	4:00
		弱肉強食は自然の摂理か④	104	4:00
		弱肉強食は自然の摂理か⑤	105	3:30
		弱肉強食は自然の摂理か⑥	106	4:30
		弱肉強食は自然の摂理か⑦	107	5:30
		弱肉強食は自然の摂理か⑧	108	4:00
		弱肉強食は自然の摂理か⑨	109	5:00
		弱肉強食は自然の摂理か⑩	110	3:00
		弱肉強食は自然の摂理か⑪	111	4:00
		弱肉強食は自然の摂理か⑫	112	4:30
	複数の「わたし」	複数の「わたし」①	114	5:00
		複数の「わたし」②	115	6:00
		複数の「わたし」③	116	5:00
		複数の「わたし」④	117	5:00
		複数の「わたし」⑤	118	3:00
		複数の「わたし」⑥	119	4:30
		複数の「わたし」⑦	120	5:00
		複数の「わたし」⑧	121	4:30
	学びの恩をひらいて		122	4:00
I 部6働くよろこび	はじめに「言葉」がある	はじめに「言葉」がある①	123	2:30
		はじめに「言葉」がある②	124	5:00
		はじめに「言葉」がある③	125	6:00
		はじめに「言葉」がある④	126	3:30
		はじめに「言葉」がある⑤	127	5:00
		はじめに「言葉」がある⑥	128	4:00
		はじめに「言葉」がある⑦	129	6:00
		はじめに「言葉」がある⑧	130	4:30
		はじめに「言葉」がある⑨	131	5:00
	楽に働くこと、楽しく働くこと	楽に働くこと、楽しく働くこと①	132	4:30
		楽に働くこと、楽しく働くこと②	133	5:30
		楽に働くこと、楽しく働くこと③	134	4:30
		楽に働くこと、楽しく働くこと④	135	6:30
		楽に働くこと、楽しく働くこと⑤	136	4:30
	情景のなかの労働	学習の手引き	137	4:30
		情景のなかの労働①	138	5:00
		情景のなかの労働②	139	6:30
		情景のなかの労働③	140	3:30
	鉄、千年のいのち	鉄、千年のいのち①	141	5:00
		鉄、千年のいのち②	142	5:00
	言葉の羅②知っておきたいカタカナ語		143	6:00
	論理の力	言葉の羅②知っておきたいカタカナ語①	144	3:30
		論理の力①	145	3:00
		論理の力②	146	3:30
		論理の力③	147	4:30
		論理の力④	148	3:30
		論理の力⑤	149	5:00
		論理の力⑥	150	4:30
		論理の力⑦	151	4:00
		論理の力⑧	152	4:00
		論理の力⑨	153	4:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		論議の力⑧	154	3:30
		論議の力⑨	155	4:30
		論議の力⑩	156	6:00
		論議の力⑪	157	3:00
		論議の力⑫	158	4:30
		論議の力⑬	159	3:30
		論議の力⑭	160	4:00
		論議の力⑮	161	3:00
		論議の力⑯	162	3:30
		論議の力⑰	163	4:00
		論議の力⑱	164	4:30
		論議の力⑲	165	4:30
		論議の力⑳	166	3:00
II 部 1 時代をひらく	最初のペンギン	最初のペンギン①	167	2:30
		最初のペンギン②	168	4:00
		最初のペンギン③	169	3:30
		最初のペンギン④	170	5:30
		最初のペンギン⑤	171	4:30
		最初のペンギン⑥	172	4:00
		最初のペンギン⑦	173	4:30
		最初のペンギン⑧	174	4:00
		最初のペンギン⑨	175	5:00
		最初のペンギン⑩	176	5:30
	豊かさとは生物多様性	豊かさとは生物多様性①	177	3:30
		豊かさとは生物多様性②	178	4:00
		豊かさとは生物多様性③	179	8:00
		豊かさとは生物多様性④	180	4:00
		豊かさとは生物多様性⑤	181	5:30
		豊かさとは生物多様性⑥	182	4:00
		学習の手引き	183	5:00
	考える楽しみ②	考える楽しみ②	184	4:30
II 部 2 新しい視点から	物語の外から	物語の外から①	185	2:30
		物語の外から②	186	4:00
		物語の外から③	187	5:30
		物語の外から④	188	3:30
		物語の外から⑤	189	4:30
		物語の外から⑥	190	3:30
		物語の外から⑦	191	3:00
		学習の手引き	192	4:30
	カフェの開店準備	カフェの開店準備①	193	4:00
		カフェの開店準備②	194	3:30
		カフェの開店準備③	195	5:00
		カフェの開店準備④	196	3:30
		カフェの開店準備⑤	197	3:30
		カフェの開店準備⑥	198	4:30
		学習の手引き	199	4:30
	言葉の語彙からわしい漢字	言葉の語彙からわしい漢字①	200	4:30
		言葉の語彙からわしい漢字②	201	4:00
		言葉の語彙からわしい漢字③	202	8:00
	短い論文を書いて読み合おう	短い論文を書いて読み合おう①	203	4:30
		短い論文を書いて読み合おう②	204	7:00
		短い論文を書いて読み合おう③	205	5:30
		短い論文を書いて読み合おう④	208	4:00
		短い論文を書いて読み合おう⑤	209	2:30
II 部 3 科学と人間	鏡としてのアンドロイド	鏡としてのアンドロイド①	210	4:00
		鏡としてのアンドロイド②	211	4:00
		鏡としてのアンドロイド③	212	3:30
		鏡としてのアンドロイド④	213	5:00
		鏡としてのアンドロイド⑤	214	4:30
		鏡としてのアンドロイド⑥	215	3:30
		鏡としてのアンドロイド⑦	216	3:00
		鏡としてのアンドロイド⑧	217	4:30
		鏡としてのアンドロイド⑨	218	5:00
	ロボットが隣人になるとき	ロボットが隣人になるとき①	219	4:30
		ロボットが隣人になるとき②	220	5:00
		ロボットが隣人になるとき③	221	4:00
		ロボットが隣人になるとき④	222	3:30
		ロボットが隣人になるとき⑤	223	4:30
		ロボットが隣人になるとき⑥	224	4:00
		ロボットが隣人になるとき⑦	225	4:30
		ロボットが隣人になるとき⑧	226	4:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
	言葉の語④的確に表現するために	学習の手引き	227	5:00
		言葉の語④的確に表現するために①	228	5:30
		言葉の語④的確に表現するために②	229	4:00
		言葉の語④的確に表現するために③	230	3:30
II 部 4 豊かな認識	言葉は「ものの名前」ではない	言葉は「ものの名前」ではない①	231	3:00
		言葉は「ものの名前」ではない②	232	5:00
		言葉は「ものの名前」ではない③	233	5:30
		言葉は「ものの名前」ではない④	234	4:30
		言葉は「ものの名前」ではない⑤	235	3:00
		言葉は「ものの名前」ではない⑥	236	4:30
		言葉は「ものの名前」ではない⑦	237	4:00
		言葉は「ものの名前」ではない⑧	238	4:00
		学習の手引き	239	4:30
	科学的「発見」とは	科学的「発見」とは①	240	4:00
		科学的「発見」とは②	241	5:00
		科学的「発見」とは③	242	3:30
		科学的「発見」とは④	243	4:30
		科学的「発見」とは⑤	244	5:30
		科学的「発見」とは⑥	245	3:30
		科学的「発見」とは⑦	247	5:30
		学習の手引き	248	4:00
	図表の読み取り方	図表の読み取り方①	249	5:00
		図表の読み取り方②	250	3:30
		図表の読み取り方③	251	5:00
		図表の読み取り方④	252	5:00
	資料を活用して論述しよう	資料を活用して論述しよう①	253	3:30
		資料を活用して論述しよう②	254	7:30
		資料を活用して論述しよう③	255	5:30
		資料を活用して論述しよう④	256	5:30
		資料を活用して論述しよう⑤	258	4:30
		資料を活用して論述しよう⑥	259	3:30
		資料を活用して論述しよう⑦	260	3:30
		学習の手引き	261	5:00
II 部 5 知のゆえ	知識における作者性と構造化	知識における作者性と構造化①	261	2:30
		知識における作者性と構造化②	262	5:00
		知識における作者性と構造化③	263	6:00
		知識における作者性と構造化④	264	5:00
		知識における作者性と構造化⑤	265	6:00
		知識における作者性と構造化⑥	266	4:00
		知識における作者性と構造化⑦	267	3:00
		知識における作者性と構造化⑧	268	4:30
		知識における作者性と構造化⑨	269	5:00
		学習の手引き	270	5:00
	もう一つの知性	もう一つの知性①	271	5:30
		もう一つの知性②	272	4:30
		もう一つの知性③	273	6:30
		もう一つの知性④	274	4:00
		もう一つの知性⑤	275	4:00
		もう一つの知性⑥	276	4:30
		もう一つの知性⑦	277	4:00
		もう一つの知性⑧	278	4:00
		もう一つの知性⑨	279	3:00
		現代を生きるために	280	4:00
II 部 6 明日をみつめて	ホンモノのおカネの作り方	ホンモノのおカネの作り方①	281	3:00
		ホンモノのおカネの作り方②	282	3:00
		ホンモノのおカネの作り方③	283	6:00
		ホンモノのおカネの作り方④	284	5:00
		ホンモノのおカネの作り方⑤	285	6:00
		ホンモノのおカネの作り方⑥	286	5:00
		ホンモノのおカネの作り方⑦	287	5:30
		ホンモノのおカネの作り方⑧	288	5:00
		ホンモノのおカネの作り方⑨	289	7:00
		学習の手引き	290	4:30
	未来のありか	未来のありか①	291	5:30
		未来のありか②	292	4:00
		未来のありか③	293	5:00
		未来のありか④	294	5:00
		未来のありか⑤	295	4:30
		未来のありか⑥	296	6:00
		未来のありか⑦	297	4:00
		未来のありか⑧	298	4:30
		未来のありか⑨	299	5:00
		未来のありか⑩	300	3:00
	やさしい日本語	やさしい日本語①	301	4:30

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		やさしい日本語②	302	7:30
		やさしい日本語③	304	9:00
		やさしい日本語⑤	306	8:30
	考える楽しみ③	考える楽しみ③	308	4:30
				総時間 11:00:00

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
国語	古典探究	4単位	1 2	2	東京書籍 新編古典探究	

学習の目標

言葉による見え方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目標とする。その上で、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。また、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方を学ぶ。

添削指導	学習内容
第1回	作品「小野篁、広才のこと『宇治拾遺物語』」、「大江山の歌『十訓抄』」、「花は盛りに『徒然草』」について
第2回	作品「ゆく河の流れ『方丈記』」、「富士の山『竹取物語』」、和歌（小倉百人一首より）について
第3回	作品「馬のはなむけ『土佐日記』」、「門出『更級日記』」、「壇ノ浦の合戦『平家物語』」について
第4回	作品「蛸売りの八助『世間胸算用』」、「幼子さと『おらが春』」、「雪のいと高う降りたるを『枕草子』」について
第5回	作品「初冠『伊勢物語』」、「姨捨『大和物語』」、「道真の左遷『大鏡』」について
第6回	作品「能因と節信『袋草紙』」、「出で映えすべき歌のこと『無名抄』」、「光源氏の誕生『源氏物語』」について
第7回	近世の俳句、作品「去来抄」、「倭建命『古事記』」について
第8回	作品「蛇足」、唐詩、作品「雑説」について
第9回	作品「四面楚歌『史記』」、「出藍誉」、「侵官之害」について
第10回	作品「水魚之交『十八史略』」、「鼓腹撃壤」、「燕雀安知鴻鵠之志哉」について
第11回	古体詩、作品「長恨歌」、「勿頸之交」について
第12回	作品「不忍人之心」、日本の漢詩文、作品「所争不在米塩」について

面接指導	学習内容
1 時間	1. 単元（題材）名 作品「小話一四編」 2. 本時の学習 （1）目標 ・ 漢文の表現に触れ、訓読法や句形、漢文独特の語句や表現の知識を身につける。 ・ 本文を読解し、内容への理解を深める。
2 時間	1. 単元（題材）名 作品「竹取物語」 2. 本時の学習 （1）目標 ・ 古文の表現に触れ、文法や古文独特の語句の知識を身につける。 ・ 本文を読解し、内容への理解を深める。

メディア視聴	学習内容
1 時間	壇ノ浦の合戦『平家物語』
2 時間	能因と節信『袋草紙』

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、日本の言論文化に対する理解を深めている。
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方について、自分の思いや考えを広げて深めることができる。
主体的に学習に取り組む態度	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、古典に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会にかかわろうとする態度が見られる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

古典探究 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

（別紙教科書解説動画映像参照）

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
古文編 Ⅰ 部 1 脱離に戦む	学習目標・導入	学習目標・導入	9	2:00
		平治拾遺物語 小野篁、広才のこと①	10	2:30
	十訓抄 大江山の歌	平治拾遺物語 小野篁、広才のこと②	11	4:30
		十訓抄 大江山の歌①	12	3:00
	平治拾遺物語 空を飛ぶ巻	十訓抄 大江山の歌②	13	5:30
		平治拾遺物語 空を飛ぶ巻①	14	2:30
		平治拾遺物語 空を飛ぶ巻②	15	4:00
		平治拾遺物語 空を飛ぶ巻③	16	3:30
		平治拾遺物語 空を飛ぶ巻④	17	2:30
		平治拾遺物語 空を飛ぶ巻⑤	18	3:30
古文編 Ⅰ 部 2 随筆を読む	学習目標・導入	学習目標・導入	19	2:30
		徒然草 丹波に出雲といふ所あり①	20	3:00
	徒然草 丹波に出雲といふ所あり	丹波に出雲といふ所あり②	21	5:30
		九月二十日のころ①	22	3:30
	徒然草 九月二十日のころ	九月二十日のころ②	23	5:00
		花は掃りに①	24	4:00
	徒然草 花は掃りに	花は掃りに②	25	4:00
		書簡活動『徒然草』と『玉葉閑』を読み比べる①	26	3:00
		書簡活動『徒然草』と『玉葉閑』を読み比べる②	27	2:00
		書簡活動『徒然草』と『玉葉閑』を読み比べる③	28	3:00
	方式記 ゆく河の流れ	ゆく河の流れ①	29	3:00
		ゆく河の流れ②	30	5:30
古文編 Ⅰ 部 3 作り物語を読む	学習目標・導入	学習目標・導入	31	2:30
		竹取物語 参考 なよたけのかぐや姫	32	3:30
	竹取物語 天の羽衣	天の羽衣①	33	4:00
		天の羽衣②	34	3:30
		天の羽衣③	35	5:00
	竹取物語 富士の山	富士の山①	36	4:00
		富士の山②	37	4:00
	古文の窓① 羽衣伝説		38	4:00
古文編 Ⅰ 部 4 和歌の世界	学習目標・導入	学習目標・導入	39	2:00
		小倉百人一首の世界①	40	2:30
	小倉百人一首の世界	小倉百人一首の世界②	41	2:30
		小倉百人一首の世界③	42	3:00
		小倉百人一首の世界④	43	2:30
		小倉百人一首の世界⑤	44	1:30
		小倉百人一首の世界⑥	45	3:00
		小倉百人一首の世界⑦	46	2:00
		小倉百人一首の世界⑧	47	3:00
	『小倉百人一首』より	『小倉百人一首』より①	48	5:30
		『小倉百人一首』より②	49	7:00
		『小倉百人一首』より③	50	3:30
古文編 Ⅰ 部 5 日記を読む	書簡活動 和歌を読み比べる ― 封筒会形式の「歌合」		51	2:30
	書簡活動 和歌を読み比べる ― 封筒会形式の「歌合」②		52	2:00
	学習目標・導入	学習目標・導入	53	2:00
		土佐日記 馬のはなむけ①	54	4:30
古文編 Ⅰ 部 6 軍記物語を読む	土佐日記 馬のはなむけ	馬のはなむけ②	55	2:30
		徳京①	56	5:00
	土佐日記 徳京	徳京②	57	5:00
		門山①	58	4:30
	更級日記 門山	門山②	59	4:30
		物類①	60	4:30
	更級日記 物類	物類②	61	4:30
		物類③	62	4:00
	古文の窓② 日記文学 ― 『蜻蛉日記』と『更級日記』		63	3:00
	古文の窓③ 日記文学 ― 『蜻蛉日記』と『更級日記』		64	4:30
古文編 Ⅰ 部 7 近世文学の世界	学習目標・導入	学習目標・導入	65	2:00
		平家物語 権の浦の合戦①	66	2:30
	平家物語 権の浦の合戦	権の浦の合戦②	67	4:00
		権の浦の合戦③	68	4:30
		権の浦の合戦④	69	2:30
		権の浦の合戦⑤	70	4:00
		権の浦の合戦⑥	71	3:00
		権の浦の合戦⑦	72	2:00
	古文の窓④ 受け継がれる『平家物語』	古文の窓④ 受け継がれる『平家物語』①	73	3:30
		古文の窓④ 受け継がれる『平家物語』②	74	3:30
古文編 Ⅰ 部 7 近世文学の世界	学習目標・導入	学習目標・導入	75	2:00
		世襲御重用 納売りの八助①	76	5:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
	おらが夢 幼子さと	納書りの八歌②	77	7:00
		納書りの八歌③	78	4:30
		幼子さと①	79	3:00
		幼子さと②	80	4:00
		幼子さと③	81	3:30
		幼子さと④	82	4:30
	ご当地キャラクターと古典	ご当地キャラクターと古典①	83	2:30
		ご当地キャラクターと古典②	84	4:30
古文編 II 部 1 随筆を味わう	学習目標・導入		85	2:30
	枕草子	ありがたきもの	86	5:30
	枕草子	九月ばかり	87	2:30
		九月ばかり②	88	2:30
	枕草子	中納言参り給ひて	89	5:30
	枕草子	雪のいと薫う降りたるを	90	4:00
	古文の窓①『枕草子』のパロディ	古文の窓①『枕草子』のパロディ	91	3:00
	書籍活動 現代版「ありがたきもの」を文脈で書く	書籍活動 現代版「ありがたきもの」を文脈で書く	92	2:30
古文編 II 部 2 歌物語を楽しむ	学習目標・導入		93	2:00
	伊勢物語 初段	初段①	94	3:00
		初段②	95	4:30
	伊勢物語 東下り	東下り①	96	3:30
		東下り②	97	4:00
		東下り③	98	4:30
		東下り④	99	3:00
	伊勢物語 渚の院	渚の院①	100	4:00
		渚の院②	101	4:00
		渚の院③	102	2:30
	大和物語 略摘	略摘①	103	3:30
		略摘②	104	2:30
		略摘③	105	3:00
	書籍活動 書写の文脈を調べる		106	3:00
古文編 II 部 3 歴史物語を讀む	学習目標・導入		107	2:30
	大鏡 道真の左遷	道真の左遷①	108	2:30
		道真の左遷②	109	5:00
	大鏡 三船の才	三船の才	110	6:00
	大鏡 道長、伊周の競争	道長、伊周の競争①	112	3:30
		道長、伊周の競争②	113	3:30
		道長、伊周の競争③	114	3:00
	書籍活動 道真伝説を調べる	書籍活動 道真伝説を調べる①	115	3:00
		書籍活動 道真伝説を調べる②	116	4:00
古文編 II 部 4 歌謡・歌謡を讀む	学習目標・導入		117	1:30
	源氏物語 桐壺と御儀	桐壺と御儀①	118	2:00
		桐壺と御儀②	119	4:30
	舞名抄 出で映えすべき歌のこと	出で映えすべき歌のこと①	120	3:30
		出で映えすべき歌のこと②	121	5:00
	古文の窓① 和歌と「すき」	古文の窓① 和歌と「すき」	122	3:30
	古今和歌集 巻名序	古今和歌集 巻名序	123	3:00
	古文の窓② 勅撰和歌集の歴史	古文の窓② 勅撰和歌集の歴史	124	3:00
	学習目標・導入		125	2:30
	源氏物語 光源氏の誕生	光源氏の誕生①	126	3:30
		光源氏の誕生②	127	3:00
		光源氏の誕生③	128	6:30
古文編 II 部 5 作り物語を味わう	源氏物語 若紫	若紫①	129	3:30
		若紫②	130	4:30
		若紫③	131	1:30
		若紫④	132	4:30
		若紫⑤	133	5:00
		若紫⑥	134	3:30
		若紫⑦	135	4:00
		古文の窓① その後の若紫	136	2:30
	『源氏物語』一現代語訳の世界	『源氏物語』一現代語訳の世界①	137	2:30
		『源氏物語』一現代語訳の世界②	138	3:00
古文編 II 部 6 俳諧に親しむ	学習目標・導入		139	2:00
	近世俳句抄	芭蕉①	140	2:30
		芭蕉②	141	2:30
		蕨村	142	2:30
		一茶①	143	2:30
		一茶②	144	4:00
	去来抄	去来抄①	145	4:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
	三冊子	去来抄②	146	3:30
		三冊子①	147	3:30
		三冊子②	148	3:00
		三冊子③	149	3:00
古文編 II 部 7 伝承の世界	学習目標・導入	学習目標・導入	149	3:00
		伝承①	150	5:00
		伝承②	151	6:30
		伝承③	152	5:00
		伝承④	153	5:00
		伝承⑤	154	5:00
		伝承⑥	155	6:30
		伝承⑦	156	5:30
		伝承⑧	157	4:00
		伝承⑨	158	6:30
漢文編 I 部 1 故事と小説	学習目標・導入	学習目標・導入	157	4:00
		蛇足①	158	6:30
		蛇足②	159	3:00
		断藤	160	4:30
		知音	161	5:00
		無縁①	162	6:30
		無縁②	163	3:00
		漢文の形① 漢文と古典関係	164	4:00
		漢文の形② 漢文と古典関係	165	3:00
		漢文の形③ 漢文と古典関係	166	5:30
漢文編 II 部 2 漢詩と文	学習目標・導入	学習目標・導入	165	3:00
		漢詩 宿建德江	166	5:30
		漢詩 勸学	167	4:30
		漢詩 静夜思	168	3:00
		漢詩 送元二使安西	169	4:00
		漢詩 送元二使安西	170	4:30
		漢詩 送元二使安西	171	5:00
		漢詩 送元二使安西	172	5:00
		漢詩 送元二使安西	173	6:30
		漢詩 送元二使安西	174	3:30
漢文編 III 部 3 史記を読む	学習目標・導入	学習目標・導入	181	3:30
		漢門之会①	182	5:30
		漢門之会②	183	6:00
		漢門之会③	184	5:30
		漢門之会④	185	4:00
		漢門之会⑤	186	7:00
		漢門之会⑥	187	7:00
		漢門之会⑦	188	6:30
		漢門之会⑧	189	4:30
		漢門之会⑨	190	4:30
漢文編 IV 部 4 中国の知恵	学習目標・導入	学習目標・導入	197	3:00
		出師表①	198	5:30
		出師表②	199	3:00
		出師表③	200	5:30
		出師表④	201	4:30
		出師表⑤	202	6:00
		出師表⑥	203	5:00
		出師表⑦	204	4:30
		出師表⑧	205	6:00
		出師表⑨	206	5:00
漢文編 V 部 5 三国志の世界	学習目標・導入	学習目標・導入	207	3:30
		水魚之交①	208	5:00
		水魚之交②	209	6:00
		水魚之交③	210	5:00
		水魚之交④	211	4:30
		水魚之交⑤	212	6:30
		水魚之交⑥	213	5:00
		水魚之交⑦	214	5:00
		水魚之交⑧	215	5:00
		水魚之交⑨	216	5:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
	十八史略 死語集定生仲達	死語集定生仲達①	214	6:00
		死語集定生仲達②	215	7:00
		参考 落秋風五丈原	217	6:30
		漢文の窓③ 三國志	218	4:30
漢文編 II部 1 小説を読む	学習目標・導入	学習目標・導入	219	3:00
		新漢書①	220	5:30
		新漢書②	221	6:00
	小説 新漢書	新漢書③	222	7:00
		宋書之仁	223	4:30
	参考 兵書助道也	参考 兵書助道也	224	4:30
漢文編 II部 2 古詩を味わう	学習目標・導入	学習目標・導入	225	3:00
		漢書安和清議之志①	226	5:00
	古体詩 桃天	漢書安和清議之志②	227	3:30
		桃天	228	4:30
	古体詩 上邪	上邪	229	3:30
	古体詩 飲酒	飲酒	230	4:30
	古体詩 子夜吳歌	子夜吳歌	231	3:30
	古体詩 長恨歌	長恨歌①	232	7:00
		長恨歌②	233	5:30
		長恨歌③	234	7:30
		長恨歌④	235	5:00
		長恨歌⑤	236	7:00
		長恨歌⑥	237	5:00
		長恨歌⑦	238	7:30
		長恨歌⑧	239	5:30
	参考 桐露	参考 桐露	240	4:30
漢文編 II部 3 史記を味わう	学習目標・導入	学習目標・導入	241	3:00
		漢書と蘭相如 滄海之會	242	4:30
	漢書と蘭相如 滄海之會	滄海之會①	243	7:00
		滄海之會②	244	4:00
		滄海之會③	245	4:30
		滄海之會④	246	6:00
		滄海之會⑤	247	3:00
		滄海之會⑥	248	3:00
		滄海之會⑦	249	3:00
		滄海之會⑧	250	3:30
漢文編 II部 4 中国の思想	学習目標・導入	学習目標・導入	251	4:00
		儒教と道家 性相近也	252	5:30
	儒教と道家 性相近也	性相近也①	253	3:30
		性相近也②	254	7:00
	儒教と道家 不惑人之心	不惑人之心①	255	4:30
		不惑人之心②	256	4:00
	儒教と道家 無用之用	無用之用①	257	5:30
		無用之用②	258	5:00
	儒教と道家 大道無有仁義・小国寡民	大道無有仁義・小国寡民①	259	3:30
		大道無有仁義・小国寡民②	260	3:30
	漢文の窓④ 儒教と道家	漢文の窓④ 儒教と道家	261	3:00
		漢文の窓④ 儒教と道家	262	3:30
漢文編 II部 5 日本の漢詩文	学習目標・導入	学習目標・導入	263	4:30
		送夏口東石之伊予	264	6:30
	書簡活動 漢詩の作り方を知る	書簡活動 漢詩の作り方を知る	265	5:00
	漢文の窓⑤ 明治の文藝と漢詩	漢文の窓⑤ 明治の文藝と漢詩	266	6:00
	漢文と蘭語 所争不在米價	所争不在米價	267	4:30
	漢文と蘭語 蘭語版漢文	蘭語版漢文①	268	4:00
	参考 四端蘭語漢文	蘭語版漢文②	269	4:00
		四端蘭語漢文	270	3:30

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
国語 (学校設定科目)	漢字基礎	2単位	6	1	東京書籍 精選言語文化	

学習の目標

読む力・書く力の基盤となる大切な知識を認識しながら、漢字を活用する力、文や文章の中で漢字を適切に使う力を養うことを目標とする

添削指導	学習内容
第1回	読み書きの演習。熟語の構成について。
第2回	読み書きの演習。熟語の構成について。同じ読みの漢字を訂正する。
第3回	読み書きの演習。対義語・類義語。部首の選択問題。
第4回	読み書きの演習。対義語・類義語。部首の選択問題。
第5回	読み書きの演習。熟語の選択問題。同じ読みの漢字を訂正する。
第6回	読み書きの演習。熟語の構成について。同じ読みの漢字を訂正する。

面接指導	学習内容
1時間	読み書きの演習、熟語の演習、対義語・類義語について。

メディア視聴	学習内容
1時間	読み書きの演習、熟語の構成について。

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	正しい漢字の使い方を知り、会話や本にある漢字の「読み・書きの力」がある
思考・判断・表現	学習した知識を利用して、より多くの言葉を言語化することで、深く考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	漢字の使い方（読み・書き）を学び、それを普段の生活に活かすことができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

漢字基礎 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

(別紙教科書解説動画映像参照)

漢字基礎 教科書解説動画映像一覧

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
第1回	漢字の読みを学ぶ	注意すべき音読み、訓読み、特別な読み、熟字訓、当て字	—	10:13
第2回	熟語の構成を学ぶ(1)	同じような意味・反対または対応の意味を表す漢字を重ねたものなど	—	07:23
第3回	熟語の構成を学ぶ(2)	目的語になっている・打ち消している漢字など	—	09:02
第4回	同音・同訓異字・送りがな	同じ読みで異なる意味の漢字・送りがなの演習	—	13:01
第5回	対義語・類義語	正反対/対の関係の漢字、意味する範囲が一部重なる、近い関係にある漢字	—	11:44

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
国語 (学校設定科目)	実用国語	2単位	6	1	東京書籍 精選現代の国語	

学習の目標	
普段何気なく使用している日本語を正しく理解、使用できるようにすることで、読み解く力を養い、コミュニケーション力向上を目標とする。	
添削指導	学習内容
第1回	漢字の演習、尊敬語の演習。
第2回	漢字の演習、敬語使った文章問題、言葉の意味を理解する、慣用句について。
第3回	漢字の演習、主語を文節で答える問題、言葉の並び替え問題。
第4回	類義語、対義語、動詞の未然形と活用の種類について。
第5回	漢字の演習、類義語、対義語、慣用句について。
第6回	漢字の演習、敬語を使った文章問題、言葉の活用について。

面接指導	学習内容
1時間	漢字の演習、敬語の活用について、類義語・対義語について。

メディア視聴	学習内容
1時間	漢字の演習、敬語、類義語、対義語、慣用句について。

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	正しい日本語の使い方を知り、会話や本にある言葉の「読み解く力」がある。
思考・判断・表現	考えたことを、より多くの言葉で言語化することで、深く考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	日本語の特徴や使い方を学び、それを普段の生活に活かすことができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

実用国語 教科書解説動画
指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。
(別紙教科書解説動画映像参照)

実用国語

教科書解説動画映像一覧

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
第1回	敬語の種類	尊敬語・謙譲語・丁寧語	6-15	08:11
第2回	敬語の言い表し方	普通の言い方から尊敬語の言い換え方	6-15	12:24
第3回	文法	敬語を整理する	22-31	10:35
第4回	文の組み立て	主語、述語、修飾語について	22-31	11:40
第5回	敬語の言い表し方(謙譲語)	「御(ご)～いたす」の使い方について	6-15	11:22

総時間 0:54:12

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
地理歴史	地理総合	2単位	6	1	東京書籍 地理総合	

学習の目標	
社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目標とする。その上で、世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取り組みを理解、調査や諸資料から地理に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付ける。	
添削指導	学習内容
第1回	地球上の位置や範囲のとらえ方、地図の種類と用途、国内や国家の結び付きの変容
第2回	生活文化の多様性と国際理解、生活文化と自然環境（地形）
第3回	生活文化と自然環境（気候）、生活文化と産業
第4回	地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口問題
第5回	食料問題、居住・都市問題、民族問題、持続可能な社会の実現を目指して
第6回	自然環境の特色をふまえた防災への取り組み

面接指導	学習内容
1時間	文化の地域的多様性について

メディア視聴	学習内容
1時間	地図の経度・緯度。経度と時差について。

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・地図や地理情報システム（GIS）を考察し、活用に必要な技能を身に付けることができる。 ・諸課題の解決を目指した各国の取り組みや国際協力の必要性を理解することができる。
思考・判断・表現	・世界の人々の生活文化の多様性を知ること、自他の文化を尊重し国際理解を図ることができる。 ・地球規模の自然環境にかかわる諸課題の現状や要因、解決に向けた取り組みが理解できる。 ・日本が抱える地理的な諸課題の解決や未来について考え、表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	・地理的・歴史的な知識を理解し、現代的な諸課題に結びつけながら自分自身の課題として意識し、主体的に探究し続けることができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

地理総合 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

（別紙教科書解説動画映像参照）

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
第1編 第1章 地図と地理情報システム	1節 私たちが暮らす世界	導入	7	5:30
		WARM UP① オンライン会議の時間を設定しよう	8	7:30
		① 24時間。地球は眠らない。	10	6:30
		緯度と時差	11	5:00
		② 丸い地球を、平らな紙に正しく描けるだろうか。	12	4:00
		世界地図の特徴	13	7:30
		③ 小さな島が、大きな意味をもつのはなぜ？	14	6:00
		海洋国家としての日本	15	6:00
	2節 地図や地理情報システムの役割	④ 地図を使わない人は、ほとんどいない。	16	7:30
		デジタル地図の普及	17	4:30
		⑤ 地形や土地利用の歴史がひと目でわかる。	18	6:30
		地理院地図	19	6:00
		⑥ このテーマ、どんな地図で表すべきか。	20	5:30
		主題図を読み取る	21	5:30
		⑦ 地図の可能性は、まだまだ広がる。	22	6:30
		GISのしくみ	23	6:30
		SKILL UP 地形図から景観を想像しよう	24	6:30
		SKILL UP 階級区分図をつくろう	25	7:00
		SKILL UP Web GISを使ってみよう②	26	5:30
		TRY① 紹介する物件を地図から探そう	28	4:00
		まとめ・確認	30	6:00
		ミニ探究	31	4:30
		SKILL UP 新旧地形図から土地の変化を読み取ろう	32	6:30
第1編 第2章 資料から読み取る現代世界	導入	導入	33	4:30
		WARM UP② 貿易ルートを検討しよう	34	6:30
		⑧ 車、鉄道、船、飛行機が地球を駆けめぐる。	36	5:30
		交通機関の発達と生活の変容	37	7:00
		⑨ 世界中が、ネットでつながりはしたけれど。	38	8:30
		情報化による変化と課題	39	4:00
		⑩ 仕事に、旅行に。人々は外国をめざす。	40	5:00
		観光産業のグローバル化	41	7:00
		⑪ 国どうしの貿易は、どう変化しているのか。	42	6:30
		世界の貿易と地域経済圏	43	6:00
		⑫ 国どうしの結び付きは、世界をいかに変えるか。	44	7:00
		多極化する世界	45	5:30
		SKILL UP 統計資料から現代世界を読み解こう	46	7:00
		TRY② 海外の生産拠点の経営を考えよう	48	7:30
		まとめ・確認	50	7:00
		ミニ探究	51	5:00
		SKILL UP 写真を読み取ろう	52	4:00
第2編 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境	導入	導入	53	5:00
		WARM UP③ 観光パンフレットをつくろう	54	6:00
	1節 生活文化の多様性と国際理解	⑬ 肉じゃがといえど「牛肉だ!」「豚肉だ!」	56	5:30
		なぜ文化は地域的に多様なのか	57	6:00
		もっと学ぼう!世界の暮らし①	58	5:30
		もっと学ぼう!世界の暮らし②	60	6:00
	2節 生活文化と自然環境① 地形	⑭ 山に住むには、どんな工夫が必要なのか。	62	7:30
		山地のめぐみ	63	5:30
		⑮ 流れる川が、地形を変えていく。	64	7:30
		河川がつくる平野の地形と暮らし	65	5:30
		⑯ さまざまな海岸と、そこでの暮らしとは。	66	6:00
		砂浜海岸とその利用	67	6:30
		発展 世界の大地形	68	6:30
		発展 多彩な地形	70	6:30
	3節 生活文化と自然環境② 気候	⑰ なぜこれほど違う? 暑さ、寒さ、雨の量。	72	7:00
		雨の多い地域と少ない地域	73	6:30
		⑱ 強い日差しと激しい雨。人の暮らしと農業は?	74	6:30
		人々の暮らしと農業	75	6:00
		⑲ 雨が少ない! どうやって水を得る?	76	5:00
		人々の暮らしと乾燥への対応	77	5:30
		⑳ 冷房不要の地域からストーブ不要の地域まで。	78	7:30
		温帯の環境と人々の暮らし	79	5:30
		㉑ 良い冬を過ごすための食料や、町の工夫とは。	80	7:00
		寒さと人々の暮らし	81	6:00
		発展 風の流れと降水の季節変化	82	6:30
		発展 世界の植生と気候	84	6:30
	4節 生活文化と社会環境① 産業	㉒ 人の食生活は何によって決まるのだろうか。	86	6:30
		食文化の多様性と変容	87	5:00
		発展 諸農業の特徴	88	6:00
		㉓ 工場は、どんな理由でどんな場所に建つのか。	90	7:00
		拡大する工業立地と国際分業	91	6:00
		発展 工業立地の特徴	92	6:00
		㉔ 売り方も、買い方も、社会とともに変化する。	94	6:00
		インターネットの普及による変化	95	6:30
		㉕ ものづくりも働き方も、ICTが変えていく。	96	5:30
		情報化社会における働き方	97	6:00
	5 生活文化と社会環境② 宗教・民族	㉖ 宗教に根ざした、習慣や文化がある。	98	5:00
		宗教文化の変容	99	6:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
第2編 第2章 さまざまな地球 的課題と国際協力	GLOBAL REPORT	発展 世界の民族と言語	100	6:00
		CASE1 変化を先どりする未来都市	102	6:00
		CASE2 社会の実態を映す文化産業	104	5:30
		CASE3 人や物の集まる結節点	106	5:30
		CASE4 移民文化と多様性	108	5:30
		CASE5 高地に暮らす工夫	110	5:00
		TRY3 仮想の国に産業を立地させよう	112	4:30
		まとめ	114	7:30
		確認	115	6:30
		ミニ探究	116	5:00
	1節 地球環境問題	導入	117	4:00
		WARM UP4 国際協力のプランを考えよう	118	4:30
		① 大気と海に。何が起きているのだろう。	120	8:00
		海洋のプラスチックごみ汚染	121	4:30
		② 森林減少と砂漠化。その原因を探る。	122	6:00
		進行する砂漠化	123	7:00
		発展 水資源・生物多様性をめぐる問題	124	6:30
		③ 誰もが、欲しがる。だから、取り合いに。	126	5:30
		資源をめぐる国家間の対立	127	6:30
		④ 地球を。「電池切れ」にさせないために。	128	6:00
		再生可能エネルギーへの期待と課題	129	5:30
		発展 日本の資源・エネルギー問題	130	6:30
		⑤ 人が増えたのはなぜ？何が問題なのだろう。	132	6:00
		人口増加の影響	133	7:00
		⑥ 若者が減り。高齢者が増えるとどうなる？	134	6:00
		スウェーデンの少子高齢化対策	135	7:00
		発展 日本の人口問題	136	5:30
		⑦ 増産しても、まだ足りない。なぜだろう。	138	5:30
第2編 第2章 さまざまな地球 的課題と国際協力	2節 資源・エネルギー問題	多様化する食糧問題	139	6:30
		発展 食料問題の解決に向けて	140	5:30
		⑧ 人は、何を求めて都市に向かうのか。	142	5:30
		新中間層の成長	143	6:00
		⑨ なぜ、再開発が必要なのか。	144	5:00
		インナーシティ問題	145	6:00
		⑩ くり返す対立で、国を追われる人々がいる。	146	5:30
		紛争のさまざまな背景	147	6:00
		発展 民族問題をどう乗り越えるのか	148	6:00
		発展 平和な社会の構築をめざして	150	6:30
		⑪ グローバルな課題を、解きほぐす糸口とは。	152	5:30
		政府や市民による国際協力	153	5:30
		発展 持続可能な社会とSDGs	154	6:30
		CASE6 農業と熱帯林の開発	156	6:30
		CASE7 食料生産の変革と生活文化への影響	158	5:30
		CASE8 難民危機が揺るがす統合の理念	160	6:30
		CASE9 資源大国が世界におよぼす影響	162	6:30
		CASE10 人の移動と受け入れ社会の変化	164	6:30
		CASE11 変わる国際関係と技術協力	166	6:00
第3編 第1章 自然環境と防災	GLOBAL REPORT	TRY4 電源のベストミックスを提案しよう	168	6:00
		まとめ	170	7:00
		確認	171	5:30
		ミニ探究	172	4:00
	1節 日本の自然環境の特色	導入	173	4:00
		WARM UP5 災害想像力ゲーム(DIG)	174	6:00
		⑫ 火山や、流れの速い川。日本は動き続けている。	176	7:00
		日本の河川と海岸	177	4:30
		⑬ 四季ある国の、季節ごとの気候は？	178	6:00
		季節と天候の変化	179	6:30
	2節 さまざまな自然災害と防災	⑭ 地震が発生するメカニズムとは。	180	6:30
		液状化と土砂災害	181	7:30
		⑮ くり返す地震を、災害史から学ぶ。	182	6:00
		地震の被害とその対策	183	6:00
		⑯ 火山をよく知り、共存していくために。	184	7:00
		火山のめぐみ	185	4:30
		⑰ 雪、猛暑、水不足、台風。どんな被害をもたらす？	186	6:00
		台風の季節と強風災害	187	7:30
		⑱ 大雨で、あふれる水。何が起ころうの。	188	6:00
		土砂災害	189	5:00
		⑲ 都市を襲う災害。危険はどこにある？	190	5:30
		都市特有の暑さに対応	191	6:00
		⑳ 地域を災害から守るためいま、できることは？	192	6:30
		復旧・復興	193	5:00
		もっと学ぼう！災害の仕組み	194	7:00
		防災アクション	196	4:00
		SKILL UP 地図から自然災害を読み解こう①	197	4:00
		SKILL UP 地図から自然災害を読み解こう②	198	7:30
第3編 第1章 自然環境と防災	TRY5 災害に強い都市計画をつくろう	まとめ	202	6:30
		確認	203	5:30
		ミニ探究	204	4:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
第3編 第2章 生活圏の調査と地域の展望		導入	205	4:00
		④ 学校のまわりの、地理的テーマを探せ！	206	7:00
		課題の発見と調査テーマの設定	207	6:30
		⑥ 「○○かな？」 まずは仮説を立ててスタート。	208	5:30
		仮説の設定・検証	209	7:30
		⑧ どこを歩いて誰に聞くか。計画が大切だ。	210	6:00
		野外調査の実施	211	6:30
		⑩ 地域のこれからを、皆で考えていくために。	212	7:00
		調査結果の発表	213	5:30
		①	214	6:00
総合問題にチャレンジ		②	215	6:00
		③	216	6:00
		④	217	6:00
		⑤	218	6:00
		⑥	219	6:30

総時間 17:08:30

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
地理歴史	地理探究	3単位	9	2	東京書籍 地理探究	

学習の目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目標とする。その上で、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や世界の諸地域の地域的特色や課題を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付ける。

添削指導	学習内容
第1回	・地理探求へのステップ ・地形を作る力（プレート運動とさまざまな境界線、変動帯の地形について） ・さまざまな地形（安定陸塊、河川がつくるもの、海岸と海で見られるもの）
第2回	・気温と降水量、及び風の流れと降水量の分布 ・水の循環、植生と土壌の分布 ・ケッペンの気候区分について
第3回	・日本の地形と自然災害について ・世界の環境問題 ・産業の発展と社会的分業
第4回	・農林水産業、及び食料問題について ・エネルギーと鉱産資源について
第5回	・資源、エネルギー問題 ・工場の立地と工業地域の変容について ・第三次産業について

第6回	・交通、通信について ・貿易と経済連携、観光について ・人口について
第7回	・人口問題、村落、都市について ・居住、都市問題 ・生活文化の地域性について
第8回	・民族、言語、宗教、民族問題について ・現代の国家と領土問題 ・地域区分の意義と方法
第9回	・東アジア、東南アジア、南アジアについて
第10回	・西アジアと中央アジアについて ・北アフリカとサハラ以南アフリカについて ・ヨーロッパについて
第11回	・ロシア、アングロアメリカ、ラテンアメリカについて
第12回	・オセアニア、北極、南極について ・日本の地理的諸課題 ・持続可能な国土像の研究

面接指導	学習内容
1時間	生活文化の地域性
2時間	アジアについて（東・東南・南・西・中央）

メディア視聴	学習内容
1時間	地形を作る力、気温と降水量、世界の環境問題、民族、言語、宗教、民族問題、現代の国家と領土問題

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・地図や地理情報システム（GIS）を考察し、活用に必要な技能を身に付けることができる。 ・諸課題の解決を目指した各国の取り組みや国際協力の必要性を理解することができる。
思考・判断・表現	・世界の人々の生活文化の多様性を知ること、自他の文化を尊重し国際理解を図ることができる。 ・地球規模の自然環境にかかわる諸課題の現状や要因、解決に向けた取り組みが理解できる。 ・日本が抱える地理的な諸課題の解決や未来について考え、表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	・地理的・歴史的な知識を理解し、現代的な諸課題に結びつけながら自分自身の課題として意識し、主体的に探究し続けることができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全9回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

地理探究 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

（別紙教科書解説動画映像参照）

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		地理探究へのステップ 1 球体としての地球	5	06:00
		緯度と経度	6	06:00
		地理探究へのステップ2 地図の見方・活用方法	7	06:30
		地図投影法（図法）	8	08:30
		地理探究へのステップ 3 地形図・主題図の読み取り	9	04:30
		主題図・統計地図	10	04:00
		1 地形をつくる力	12	06:30
		地球の大地形	13	07:00
		2 プレートの運動とさまざまな境界	14	07:00
		プレート境界の類型	15	06:30
第1編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境	1節 世界の地形	3 変動帯の地形	16	06:30
		変動帯と火山	17	07:00
		4 安定隆塊(安定地塊)の地形	18	06:30
		安定地域の山地	19	07:30
		5 河川がつくる地形	20	06:00
		氾濫原	21	07:30
		6 海岸と海にみられる地形	22	05:30
		サンゴ礁	23	07:00
		7 気候や地質の影響が強い地形	24	05:00
		乾燥地形	25	08:00
		自然災害Ⅰ 地震と津波	26	05:00
		地形図を読み取る①	28	04:30
		地形図を読み取る②	30	04:00
		地形図を読み取る③	32	05:30
	2節 気候と自然環境	1 気候の見方	34	07:00
		降水と降水量分布	35	08:30
		2 大気大循環と気候	36	07:30
		気圧帯と降水域の季節変化	37	08:00
		3 海洋と陸水	38	05:00
		地球規模の水循環	39	08:00
		4 世界の植生・土壌	40	07:00
		植生と土壌	41	07:30
	3節 気候と人々の生活	1 ケッペンの気候区分	42	04:00
		ケッペンの気候区分の方法	43	07:30
		2 熱帯の特徴と人々の生活	44	08:30
		熱帯の生活・文化	45	08:30
		3 乾燥帯の特徴と人々の生活	46	08:00
		乾燥帯（B）の特徴	47	06:30
		4 温帯の特徴と人々の生活(1)	48	06:30
		温帯地域を覆う熱帯低気圧	49	07:30
		5 温帯の特徴と人々の生活(2)①	50	07:30
		温帯の特徴と人々の生活（2）②	51	08:00
		6 亜寒帯(冷帯)・寒帯の特徴と人々の生活	52	07:30
		寒帯（E）の特徴	53	06:30
		7 高山気候の特徴と人々の生活	54	06:00
		高山気候区の植生と生活	55	06:30
		ハイサーグラフの読み取りと作成／写真から情報を読み取る	56	07:00
	4節 日本の自然環境と自然災害	自然災害Ⅱ 異常気象と気候変化	58	05:30
		1 日本の地形と自然災害	60	07:30
		日本の自然災害－火山・地震・津波－	61	04:30
		2 日本の気候と自然災害	62	08:30
		日本の気象災害	63	07:00
		3 自然災害と防災・減災の取り組み	64	04:30
		自助・共助の強化	65	06:30
	5節 世界の環境問題	1 地球規模の環境問題	66	05:30
		グローバルな環境問題とローカルな環境問題	67	06:30
		2 地球温暖化の背景と影響	68	05:30
		地球温暖化をめぐる国際協力	69	06:30
		3 オゾンホール、大気汚染の背景と影響	70	04:30
		国境をこえて広がる大気汚染	71	07:30
		4 森林破壊の背景と地域性	72	06:30
		森林の保全に向けた取り組み	73	06:30
		5 砂漠化・水問題の背景と地域性	74	06:00
		世界の水資源	75	05:00
		6 日本の環境問題	76	06:30
		福島第一原子力発電所の事故	77	08:30
		資料から考える③(自然環境)	78	08:30
第2章 産業と資源	1節 産業の発展と社会的分業	1 産業の変遷	80	06:00
		産業の高度化	81	07:30
		2 産業構造と地域構造	82	07:00
		現代の地域構造	83	06:30
		散布図と三角グラフ	84	08:00
	2節 農林水産業	1 農業の立地と形態	86	04:30
		農業政策と農業の立地	87	06:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		2 世界のさまざまな農業地域	88	05:30
		企業農業の台頭	89	08:00
		3 グローバル化と農業地域の変容	90	06:30
		グローバル化とアジアの農業生産	91	07:30
		4 拡大する世界の農産物流通	92	05:00
		世界の畜産物貿易	93	06:00
		5 世界の林業・水産業	94	04:30
		水産資源の分布	95	05:30
		6 日本の農林水産業	96	08:00
		日本の林業	97	06:00
	3節 食料問題	1 食料問題の背景と地域性	98	07:00
		食料供給の地域的偏り	99	05:30
		2 食料問題の解決に向けて	100	06:00
		食料不足解消に向けた国際協力	101	04:00
		3 日本の食料問題	102	06:00
		食の安全性をめぐる問題	103	07:30
	4節 エネルギーと鉱産資源	1 世界のエネルギー需要	104	05:00
		エネルギー消費の地域差	105	07:30
		2 化石燃料	106	06:00
		増加する天然ガスの需要と生産	107	04:00
		3 電力生産	108	05:00
		効率的な電力供給をめざして	109	07:00
		4 金属資源	110	05:00
		重要性を増すレアメタル	111	06:30
	5節 資源・エネルギー問題	1 化石燃料への依存と国家間の対立	112	04:30
		国際政治に揺れる石油	113	07:30
		2 化石燃料から再生可能エネルギーへ	114	05:30
		再生可能エネルギーをめぐる課題	115	04:30
		3 日本の資源・エネルギー問題	116	04:30
		新たな資源の開発	117	08:30
	6節 工業の立地と工業地域の変容	1 工業の立地と工業地域	118	09:00
		工業立地の変化	119	07:30
		2 繊維・鉄鋼・石油化学	120	04:30
		鉄鋼業の特徴	121	05:00
		3 自動車・エレクトロニクス	122	07:00
		エレクトロニクス産業と分業	123	07:00
		4 新しい技術と工業	124	06:30
		環境規制による新技術の開発と産業構造の変化	125	05:00
		5 グローバル化と工業地域の再編	126	09:30
		グローバル化と国際分業の変化	127	06:00
		6 工業の知識集約化	128	06:00
		産業の集積とネットワーク	129	07:30
		7 日本の工業とその変容	130	06:00
		知識集約化が進む日本の工業	131	07:30
		資料から考える②(農業・工業)①	132	06:30
		資料から考える②(農業・工業)②	134	07:30
	7節 第三次産業	1 サービス経済化の進展と流通産業の発達	136	04:30
		流通産業の発達	137	08:00
		2 情報通信業とその集積	138	05:30
		海外における集積地域	139	05:30
		3 医療・福祉産業の課題	140	06:00
		保育の国際比較と待機児童	141	07:00
第3章 交通・通信、貿易、観光	1節 交通・通信	1 交通の発達(1)	142	03:30
		陸上交通の発達	143	08:00
		2 交通の発達(2)	144	04:30
		交通の発達と地域間格差	145	08:00
		3 情報通信技術の発達	146	07:00
		高度情報化社会の問題	147	06:30
		4 観光の発展と地域間格差	148	05:30
	2節 貿易と経済連携	経済連携の拡大	149	07:30
		2 現代貿易の課題	150	04:30
		日本の貿易と課題	151	08:00
	3節 観光	1 観光の発達と地理的展開	152	04:30
		観光の地理的展開	153	07:00
		2 さまざまな観光	154	06:00
		日本における観光	155	08:30
		資料から考える③(第三次産業、交通・通信、貿易)	156	07:00
第1編 第4章 人口、村落・都市	1節 人口	1 世界の人口分布と人口増加	158	04:00
		増え続ける世界の人口	159	05:00
		2 人口動態と人口ピラミッド	160	06:00
		人口ピラミッドから読み解く社会状況	161	05:00
		3 人口移動の変遷と今日の姿	162	06:00
		日本における外国人労働者	163	07:30
		4 発展途上国の人口問題	164	05:30
	2節 人口問題			

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
	3節 村落・都市	人口増加とその影響	165	06:30
		2 先進国の人口問題	166	05:30
		日本における人口の地域間格差	167	08:30
		1 村落の機能と形態	168	04:30
		村落の変化と課題	169	05:30
		2 都市の機能と都市システム	170	06:30
		世界都市とハブ空港	171	05:30
		3 都市の内部構造と大都市圏	172	06:00
		大都市圏の発展段階	173	07:00
		地形図・写真から集落を読み取る	174	09:00
	4節 居住・都市問題	1 発展途上国の居住・都市問題	176	04:00
		インドネシアの首都都市ジャカルタの都市問題	177	04:30
		2 先進国の居住・都市問題	178	05:00
		新しい都市政策	179	05:30
		3 日本の居住・都市問題	180	03:30
		都市の縮退	181	07:30
		資料から考える④(人口、村落・都市)	182	08:30
		地理学のフロンティア 疾病・健康と地理学	184	06:30
第1編 第5章 生活文化、民族・宗教	1節 生活文化の地域性	1 文化と環境	186	05:30
		文化と環境の相互作用	187	07:00
		2 世界の食生活	188	05:00
		食文化の変容	189	03:30
		3 世界の住居・衣服	190	05:30
		衣服と環境	191	05:30
		2節 民族・言語・宗教	192	07:00
	2節 民族・言語・宗教	国家と民族・言語	193	07:00
		2 世界の宗教	194	04:30
		文化としての宗教	195	08:00
	3節 民族問題	1 世界の多様な民族問題	196	05:00
		宗教と民族問題	197	04:30
		2 紛争と難民	198	05:30
		難民問題	199	05:30
		3 民族問題をどう乗り越えるか	200	03:30
		同化主義と多文化主義	201	06:30
		4節 現代の国家と領土問題	202	06:00
	4節 現代の国家と領土問題	1 国家の領域と国境線	203	04:30
		さまざまな種類の国境線	204	05:30
		2 領土問題の要因と解決への取り組み	205	05:00
		領土問題の解決に向けて	206	06:00
		資料から考える⑤(世界の諸課題)	208	04:30
		グローバル化と「文化」	210	06:00
		1 地域区分の意義	212	04:00
第2編 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分	1節 地域区分の意義と方法	2 さまざまな地域区分の方法	214	06:30
		3 地域の考察方法	216	04:30
第2章 現代世界の諸地域	1節 東アジア	東アジアの自然	216	04:30
		1 中国の改革開放と急速に進む工業化	217	06:00
		2 中国の農業・農村の近代化と都市化	218	04:30
		中国の都市の成長と人口問題	219	05:30
		3 環境問題などの課題	220	05:30
		中国の経済成長と環境問題	221	05:30
		4 経済成長により広がる中国の影響	222	06:00
		留學生の帰還と産業の知識集約化	223	05:30
		5 韓国の経済成長と地域構造	224	05:00
		韓国の地域構造	225	08:00
		6 韓国の都市・農村の変化と生活文化	226	07:30
		韓国の生活文化	227	07:00
	2節 東南アジア	東南アジアの自然	228	05:00
		1 東南アジアの多様な文化	229	05:30
		2 東南アジアの地域性と農業	230	06:00
		東南アジアにおける商業的農業の展開	231	06:30
		3 ASEANの政治と経済発展	232	07:00
		マレーシアの工業化	233	07:00
		4 国家間の格差などの課題	234	07:30
		華人問題と都市・農村の格差	235	06:00
	3節 南アジア	南アジアの自然	236	04:30
		1 グローバル化と南アジアの経済発展	237	06:00
		2 大都市の形成と格差の問題	238	05:00
		経済成長にともなう中間層の台頭	239	05:00
		3 インドの人口増加と農村の変化	240	04:30
		農業の発展と農村の変化	241	07:00
		4 南アジア世界の多様性と統一性	242	07:00
	4節 西アジアと中央アジア	南アジアの地域間関係	243	06:30
		西アジアと中央アジアの自然	244	04:30
		1 交易の歴史と人々の生活	245	06:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		2 乾燥地に適応した生活文化と宗教	246	05:30
		ソ連の影響が残る中央アジアの文化	247	08:00
		3 資源開発にみられる二つの地域の違い	248	06:00
		中央アジアの資源開発	249	07:00
	5節 北アフリカとサハラ以南アフリカ	アフリカの自然	250	05:30
		1 多様な文化の成り立ち	251	06:30
		2 モノカルチャー経済克服の課題	252	04:30
		北アフリカの産業	253	05:00
		3 アフリカの発展と新たな課題	254	07:30
		ヨーロッパと結びつく北アフリカ	255	08:00
	6節 ヨーロッパ	ヨーロッパの自然	256	05:00
		1 ヨーロッパ統合の流れ	257	05:30
		2 ヨーロッパの農業とその変容	258	05:30
		EUの共通農業政策とその見直し	259	05:30
		3 ヨーロッパの産業とその変容	260	07:00
		産業の高度化とサービス経済化	261	06:30
		4 EUの拡大と地域格差	262	05:30
		EUの対外関係と課題	263	06:00
		5 揺らぐ「一つのヨーロッパ」	264	07:30
		イギリスのEU離脱	265	05:30
	7節 ロシア	ロシアの自然	266	07:30
		1 多様な民族と宗教	267	05:30
		2 ポスト社会主義時代の暮らし	268	06:30
		近年の経済発展と人々の暮らし	269	06:30
		3 周辺国との産業・資源をめぐる関係の変化	270	07:30
		産業地域の変化と地域格差	271	06:00
	8節 アングロアメリカ	アングロアメリカの自然	272	06:30
		1 アングロアメリカの農業	273	05:30
		2 多民族社会がかかえる問題	274	05:00
		多民族・多文化社会	275	07:00
		3 世界最大のアングロアメリカ経済	276	03:30
		資源メジャーとICT企業	277	07:00
		4 先端産業の発展と鉱工業地域の変化	278	05:00
		特色ある鉱工業地域	279	06:30
		5 情報社会に移行する大都市圏	280	07:30
		大都市圏の変容－郊外化と都心回帰－	281	06:00
	9節 ラテンアメリカ	ラテンアメリカの自然	282	04:30
		1 ラテンアメリカの成り立ち	283	07:30
		2 ラテンアメリカの産業の発展と経済成長	284	06:30
		工業化と財政危機	285	06:30
		3 森林破壊などの問題	286	06:00
		都市の発展と貧富の格差	287	05:00
	10節 オセアニア	オセアニアの自然	288	06:00
		1 多文化共生の課題	289	05:00
		2 オセアニアの資源と産業	290	05:00
		国際競争力の高いオセアニアの農業	291	06:00
		3 オセアニアと他地域との結び付き	292	05:30
		国際観光地としてのオセアニア	293	06:00
		北極・南極	294	06:30
		世界の美しい風景	295	03:30
第3編 現代世界と日本の国土像 第1章	1節 日本の地理的諸課題を読み解く	1 日本の地域構造	298	05:00
		現代日本の地域構造	299	07:30
		2 日本の国土政策	300	07:30
		国土形成計画と国土のグランドデザイン	301	05:30
	2節 持続可能な国土像の探究	1 課題と仮説の設定	302	06:30
		資料から日本の地理的諸課題を読み解く① 現実世界の課題を読み解こう	304	06:00
		資料から日本の地理的諸課題を読み解く② 調査テーマ(課題)の設定の仕方を考えよう	306	08:30
		資料から日本の地理的諸課題を読み解く③ 仮説の設定の仕方を考えよう	308	07:00
		資料から日本の地理的諸課題を読み解く④ 自然・国土について収集したデータから読み解く	310	07:00
		2 仮説の検証と考察、さらなる探究へ	312	06:00
			総時間	28:57:00

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
地理歴史	歴史総合	2単位	6	1	東京書籍 新選歴史総合	

学習の目標	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目標とする。その上で、近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する情報を調べまとめる力を身に付けるようにする。	
添削指導	学習内容
第1回	近代化について、世界と日本の開国。
第2回	国民国家と明治維新。
第3回	国際秩序の変化、第一次世界大戦と大衆社会。
第4回	経済危機と第二次世界大戦。
第5回	グローバル化、冷戦と世界経済。
第6回	世界秩序の変容と日本。

面接指導	学習内容
1時間	産業革命のはじまり

メディア視聴	学習内容
1時間	第一次世界大戦の展開

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・文書・図像などの諸資料を活用して情報を読み取ることができる。 ・日本・世界の歴史から、日本と世界の相互関係を構造的に整理することができる。
思考・判断・表現	・諸資料を活用し、課題を追求・解決しながら、歴史の変化や日本を含む世界の歴史の関連性について考察し、表現することができる。 ・各時代にかかわる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりしながら読み解き、主体的に考察し、表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	・地理的・歴史的知識を理解し、現代的な諸課題に結びつけながら自分自身の課題として意識し、主体的に探究し続けることができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

歴史総合 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

（別紙教科書解説動画映像参照）

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
序章 歴史の星		導入	5	3:00
	1節 歴史と私たち	世界とつながる旅行の歴史	6	5:30
		近代化する旅行	8	6:30
	2節 歴史の特質と資料	①歴史と資料	10	5:30
		今日この教室でできごとはどう記録されるか	11	5:30
		②資料の読み取り方	12	5:00
		③歴史と現在	13	7:30
	18世紀までのさまざまな世界	日本の幕藩体制と身分制社会	14	6:00
		東アジアの伝統的な華夷秩序	15	6:00
		イスラーム世界におけるカリフと秩序	16	6:30
		ヨーロッパにおける主権国家体制の形成	17	7:00
		世界の一体化の進展と領土の流通	18	8:00
		18世紀の世界	20	6:30
第1章 近代化と私たち		近代的世界の成立	22	4:00
	1節 近代化への問い	近代という時代	23	6:00
		産業と人口：北海道各地域の人口動態と産業	24	6:30
		労働と家族：19世紀の中流家庭と労働者の家庭	25	7:30
		学校教育：近代国家における教育	26	5:00
		移民：グローバルな人の移動と衛生問題	27	6:30
		概要	28	4:00
	2節 アジアの繁栄と西洋近代の形成	中学校のふり回り	29	5:00
		①18世紀の東アジア	30	5:30
		日本の「鎖国」と貿易・経済	31	6:30
		②結びつくアジア諸地域	32	6:00
		18世紀アジア諸地域間の経済的結び付き	33	5:30
		③18世紀のヨーロッパとアジア	34	5:30
		大西洋に成立した新たな経済関係	35	6:00
		歴史のまなざし アジアの興、追いかけるヨーロッパ	36	6:30
		④市民革命と近代社会	38	5:30
		フランス革命とナポレオン体制	39	7:00
		⑤産業革命のはじまり	40	6:00
		産業革命による社会の変化	41	6:30
		⑥世界市場の形成	42	6:00
		従属化する諸地域	43	7:00
		⑦自由主義とナショナリズム	44	5:30
		ラテンアメリカ諸国とアメリカ合衆国	45	6:00
		17歳の肖像 エルンスト・ツィン	46	5:00
		歴史の舞台 ラテンアメリカ	47	6:00
	3節 世界の一体化と多様な近代化	概要	48	4:30
		中学校のふり回り	49	5:30
		⑧東アジアの国際秩序の変化と日本の開国	50	6:00
		日本の開国と開国後の社会の変化	51	6:30
		⑨アジアの諸国家とその変容	52	6:00
		幕末日本の動揺	53	5:30
		⑩明治維新と東アジアの国際関係	54	6:00
		東アジアの国際関係	55	7:00
		歴史のまなざし アイヌと琉球・沖縄	56	6:30
		⑪立憲制の広まり	58	5:30
		アジアにおける立憲制と大日本帝国憲法	59	6:00
		⑫世界経済の変化と日本の産業革命	60	4:00
		アジアの工業化と日本の産業革命	61	6:30
		資料からよみとる 絵画資料から近代の都市のようすをよみとろう	62	6:00
		⑬帝国主義と植民地	64	6:00
		世界分割の進行と世界秩序の変容	65	5:30
		歴史のまなざし アフリカの分割と自立	66	6:00
		歴史の舞台 オセアニア	67	5:00
		⑭日清戦争と華夷秩序の終結	68	5:30
		日清戦争と東アジアのナショナリズム	69	6:30
		⑮帝国主義諸国の競合と国際関係	70	5:30
		義和団戦争から日露戦争へ	71	6:30
		⑯植民地支配と植民地の近代	72	5:30
		日本の植民地支配	73	6:30
		17歳の肖像 ホダー・シャアラウィー	74	6:00
		歴史のまなざし 女性と近代	75	6:00
		⑰20世紀はじめの世界	76	5:00
		国際関係の再編とアジア諸国の動向	77	6:30
		生活と文化 近代化	78	6:30
	4節 近代化と現代的な諸課題	平等・格差	80	5:00
		統合・分化	81	6:30
第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち		近代化から大衆化へ	82	5:30
	1節 国際秩序の変化や大衆化への問い	大衆化とは何か。国際秩序の変化とは何か	83	6:30
		世界大戦への反省と再発防止の試み	84	6:00
		大衆の政治的、経済的、社会的地位の変化	85	7:00
		アメリカ合衆国での新たな生活様式と世界	86	6:00
		アメリカ合衆国とソ連の台頭と秩序の変容	87	6:30
	2節 第一次世界大戦と大衆社会	概要	88	4:30
		中学校のふり回り	89	4:00
		①第一次世界大戦の展開	90	5:00
		総力戦体制	91	6:30
		②国際協調体制の形成	92	6:00
		ワシントン体制と軍縮	93	6:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		⑧ソヴィエト連邦の成立	94	4:30
		⑨社会主義運動の拡大	95	6:00
		⑩アメリカ合衆国の台頭	96	6:00
		⑪大衆文化の広がり	97	5:30
		⑫アジアの経済成長と移動する人々	98	6:00
		⑬国境をこえて移動する人々	99	7:00
		⑭歴史の舞台 東南アジア	100	5:30
		⑮17歳の肖像 山川菊栄	101	5:00
		⑯反植民地主義の高揚と国際秩序の変容	102	5:30
		⑰対立へと向かう日中関係	103	6:00
		⑱民主主義の進展と社会変革の動き	104	5:30
		⑳大正デモクラシー	105	6:30
		㉑大衆化を支えるテクノロジー	106	5:30
		日常生活に対する関心の高まり	107	6:00
	3節 経済危機と第二次世界大戦	概要	108	4:30
		中学校のふり返り	109	4:30
		①世界恐慌	110	6:00
		②各国の対応	111	6:00
		歴史のまなざし 国際金本位制とブレトン・ウッズ体制	112	9:00
		暮らしのなかの歴史 イズと私たち	113	6:00
		③アジア・アフリカと大衆社会	114	5:30
		消費文化の発展と経済格差	115	6:00
		④国際協調体制の崩壊	116	6:30
		満州事変と日本における軍部の台頭	117	7:00
		⑤日中戦争と深刻化する世界の危機	118	6:30
		ファシズムの対外拡張	119	6:00
		⑥第二次世界大戦の展開	120	6:00
		日中戦争と第二次世界大戦	121	6:30
		⑦連合国の戦後構想	122	5:30
		新たな国際秩序と人権の理念	123	6:00
		⑧アジア太平洋戦争と日本の敗戦	124	6:00
		大日本帝国の崩壊	125	7:00
		資料からよみとる 風刺画から国際状況をよみとろう	126	7:00
		⑨連合国の占領政策	128	5:30
		冷戦と日本の主権回復	129	6:30
		歴史のまなざし 日本とドイツの戦後	130	5:30
		歴史のまなざし 戦争と記憶	131	5:00
		⑩再編されるアジアと冷戦	132	6:00
		世界の結節点としてのアジア	133	7:30
	4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	生活と文化 大衆化	134	6:30
		自由・制限	136	5:30
		開発・保全	137	7:00
第3章 グローバル化と私たち		近代化・大衆化、そしてグローバル化へ	138	5:30
		グローバル化とは何か	139	6:30
	1節 グローバル化への問い	植民地からの独立と冷戦	140	5:30
		感染症	141	7:00
		食料と人口	142	6:00
		資源・エネルギーと地球環境	143	7:00
	2節 冷戦と世界経済	概要	144	4:30
		中学校のふり返り	145	5:00
		①冷戦の拡大と第三勢力	146	5:30
		第三勢力の台頭	147	6:00
		②キューバ危機と核兵器の管理	148	6:30
		キューバ危機と核兵器の管理	149	5:00
		③脱植民地化の進展と地域紛争	150	6:00
		中東における脱植民地化と冷戦の影響	151	6:30
		歴史のまなざし パレスティナ	152	6:30
		暮らしのなかの歴史 野球と私たち	153	5:00
		④計画経済と開発	154	4:30
		開発途上国の経済政策と開発援助	155	6:30
		⑤冷戦下の日本とアジア	156	6:00
		冷戦と日本のアジア外交	157	6:00
		⑥日本と欧米先進国の経済成長	158	5:30
		経済成長と社会の変容	159	5:00
		歴史のまなざし 万博博覧会	160	6:00
		歴史の舞台 アフリカ	161	6:00
		⑦地域連携の拡大	162	6:00
		アジアにおける地域連携	163	4:00
		⑧ベトナム戦争と冷戦構造の変容	164	5:30
		中ソ対立と東側陣営の変容	165	6:30
	3節 世界秩序の変容と日本	概要	166	4:30
		中学校のふり返り	167	5:00
		①問い直される近代	168	6:00
		日本の動向	169	6:00
		歴史のまなざし 女性と現代	170	5:00
		17歳の肖像 鄧小平	171	6:00
		②石油危機と経済の自由化	172	6:00
		経済の自由化と経済大国日本	173	6:00
		③アジアの経済発展と日本	174	5:00
		中国の改革・開放路線	175	6:00
		④冷戦の終結と世界	176	5:30

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		東アジアの分断状況	177	6:30
		拡散する地域紛争	178	5:30
		国連・アメリカ・日本	179	5:30
		歴史のまなざし 国民国家と民族問題	180	6:30
		暮らしのなかの歴史 タビオカと私たち	181	4:30
		資料からよみとる グラフや地図から現代の課題についてよみとろう	182	6:00
		国民主義の進展	184	6:30
		政治改革と政権交代	185	5:30
		④グローバル化と地域統合	186	4:30
		地域統合の進展	187	5:30
		強岐路に立つ世界と日本	188	5:30
		これからの世界	189	5:30
		生活と文化 グローバル化	190	7:30
		「持続可能な社会」をどのように実現するのか	192	5:00
		民主主義は世界に広がるのか	193	5:30
	4節 現代的な諸課題の形成と展望			
				総時間 17:17:00

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
地理歴史	日本史探究	4単位	1 2	2	東京書籍 日本史探究	

学習の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目標とする。その上で、我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理や世界史と関連付けながら総合的に理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する情報を効果的に調べまとめる力を身に付けるようにする。

添削指導	学習内容
第1回	・先史社会の生活と文化 ・歴史資料と先史、古代の展望 ・律令国家の形成と古代文化の展開
第2回	・律令国家の形成と白鳳文化及び平城京と天平文化 ・摂関政治と貴族文化
第3回	・中世社会の成立及び中世社会の展開 ・中世の日本と世界、中世社会の展開

第4回	・武家社会の広がり と国際交流
第5回	・近世社会の形成 ・江戸幕府と大名、朝廷
第6回	・幕藩体制の確立
第7回	・近世社会の成熟と幕藩体制の動揺
第8回	・近代社会の幕開け、及び近現代社会の展開
第9回	・国民国家と資本主義の成立 ・日露戦争後の社会と政治について
第10回	・両大戦間期の日本 ・国際社会の中の日本
第11回	・占領と改革 ・国際社会への復帰と高度経済成長
第12回	・アジア情勢の変化と経済大国日本 ・新しい国際秩序と日本の課題

面接指導	学習内容
1時間	モンゴルの襲来と社会の変貌
2時間	江戸時代の暮らし

メディア視聴	学習内容
1時間	律令国家の形成と古代文化の展開、白鳳文化及び平城京と天平文化、摂関政治と貴族文化、中世社会の成立及び中世社会の展開
2時間	近世社会の形成、江戸幕府と大名、朝廷、幕藩体制の確立、近世社会の成熟と幕藩体制の動揺、近代社会の幕開け、及び近現代社会の展開

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・遺物、文書、図像などの諸資料を活用して情報を読み取りまとめることができる。 ・近現代の地域、日本と世界の相互関係を構造的に整理することができる。
思考・判断・表現	・各時代の社会の展開について事象の意味や意義を理解し、それぞれがどのような時代であるのか理解することができる。 ・持続可能な社会の実現を視野に入れ、地域社会や身の回りの事象と関連させて主題を設定することができる。 ・様々な諸資料を用いて過去と現在を比較し、どのような違いがあるかを考察し表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	・身の回りの生活や社会の変化について資料より情報を読み取り、現代のグローバル化について考察し、課題解決に向けて自ら取り組むことができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

日本史探究 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

（別紙教科書解説動画映像参照）

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
第1編 先史・古代の日本と東アジア	第1章 先史社会の生活と文化	導入	7	05:00
		1 旧石器時代の日本	8	04:30
		日本列島の旧石器時代	9	04:00
		2 縄文文化	10	04:30
		縄文時代の生活	11	04:30
		縄文時代の信仰	12	05:00
		歴史を語る 縄文人の生活を探る―三内丸山遺跡	13	05:00
		3 弥生文化と小国家の形成	14	04:30
		稲と鉄	15	06:00
		戦争と国の始まり	16	05:30
		邪馬台国	17	04:00
	第2章 歴史資料と先史・古代の展望	1 先史・古代の歴史を組み立てる資料の特質	18	05:00
		年代決定と時代区分	19	05:00
		2 東アジアとの交流のなかでうかがえる歴史	20	04:00
		東アジア世界で歴史を考える	21	03:30
		3 木簡が語る律令国家の実態	22	06:30
		木簡が伝えること	23	04:30
	第3章 古代社会の形成と展開 1節 律令国家の形成と古代文化の展開	1 大和王権と古墳文化	24	05:00
		大和王権と朝鮮・中国	25	04:00
		古墳文化の発展	26	04:30
		大陸文化の摂取と渡来人	27	03:30
		大和王権の支配のしくみ	28	06:30
		民俗信仰の展開	29	04:00
		2 飛鳥の朝廷と文化	30	05:30
		遣隋使の派遣と国政の改革	31	05:00
		飛鳥文化	32	04:30
		3 律令国家の形成と白鳳文化	34	04:30
		律令国家の形成	35	06:00
		白鳳文化	36	04:00
		律令国家の統治組織	38	04:30
		戸籍と班田収授法	39	05:00
		地域の窓 出雲国意宇郡中心部の古代の景観	40	05:30
		4 平城京と天平文化	41	04:00
		地方支配の拡充	42	05:00
		律令政治の進展	43	03:30
		政治と仏教の結びつき	44	04:30
		遣唐使	45	05:00
		天平文化	46	05:30
		記紀と万葉集	47	04:00
		歴史を語る 奈良時代の貴族と庶民	48	06:00
	2節 摂関政治と貴族文化	1 平安遷都と唐風文化	50	04:00
		蝦夷との戦い	51	04:00
		律令から格式へ	52	06:00
		平安仏教と密教美術	53	04:30
		2 貴族社会と摂関政治	55	05:00
		摂関政治のしくみ	56	05:00
		地方政治の転換と受領	57	04:00
		武士の誕生	58	06:00
		地域の窓 古代・中世の日本の玄関口 博多	59	05:30
		3 国風文化	60	04:30
		貴族の生活	61	05:30
		浄土教の流布	62	06:00
		世界を見た日本人 長期留学の経験をかきた二人の若者	64	07:00
第2編 中世の日本と世界	第1章 中世社会の成立	導入	65	04:30
		1 朝廷政治の変容	66	05:00
		荘園の発達	67	05:30
		公領の変化	68	04:30
		寺社の勢力拡大	69	05:00
		2 武士の政治進出	70	06:00
		平氏の台頭	71	05:30
		平氏政権	72	07:00
		院政期の文化	73	04:30
	第2章 歴史資料と中世の展望	1 武家権力による日本社会の変容	74	07:00
		権力のイメージ	75	06:30
		2 厳しい自然環境での人々の生存戦略	76	04:30
		荘園領主と荘民	77	05:00
		3 中世日本の国際交流	78	05:00
		境界に生きる人々「倭人」金元珍のアイデンティティ	79	05:00
	第3章 中世社会の展開 1節 武家政権の成立と朝廷	1 鎌倉幕府の誕生	80	04:30
		鎌倉殿と御家人	81	07:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		幕府の成立	82	04:30
		幕府と朝廷	83	05:30
		武士の生活	84	04:00
		地域の窓 伯耆国東郷荘	85	06:00
		2 執権による政治	86	06:00
		承久の乱	87	04:00
		執権政治の確立	88	06:00
		武士の土地支配	89	04:30
		3 モンゴル襲来と社会の変貌	90	06:30
		モンゴル襲来	91	04:30
		農業と商品流通の発達	92	04:30
		分裂する社会	93	05:00
		4 鎌倉の仏教と文化	94	05:30
		新しい文芸と学問	95	05:30
		新しい技術と芸術	96	04:30
		歴史を語る 全国に展開する御家人の所領	97	04:30
	2節 武家支配の広がり国際交流	1 南北朝の動乱と室町幕府の成立	98	06:00
		室町幕府の成立	99	05:30
		守護とその領国支配	100	04:30
		幕府と地方との関係	101	06:00
		2 倭寇と東アジア国際交流	102	05:00
		明の海禁・朝貢体制と勘合貿易	103	04:00
		多くの勢力が参加した日朝貿易	104	06:30
		蝦夷島と北方交易	105	05:30
		3 室町時代の社会と経済活動	106	06:00
		商業・流通の発展	107	05:30
		惣の自治と一揆	108	06:00
		地域の窓 自治都市としての堺	109	06:00
		4 自立する戦国大名	110	06:00
		下剋上の風潮	111	05:00
		群雄割拠	112	05:00
		戦国大名の分国支配	113	06:00
		都市の発達と町人の成長	114	05:00
		歴史を語る 自力救済の抑制―暴力の連鎖を断ち切るために	115	05:00
		5 室町文化	116	04:30
		室町前期 北山文化	117	05:30
		室町中・後期 東山文化	118	04:30
		戦国期の文化	119	06:00
		宗教界の変容	120	05:30
		歴史を語る 狂言がもたらした中世社会	121	06:00
		世界を見た日本人 中国滞在を経て自信を強めた禅僧画家 雪舟	122	05:30
第3編 近世の日本と世界	導入	導入	123	05:30
	第1章 近世社会の形成	1 地球的世界の形成と日本	124	05:00
		大航海時代とアジア	125	06:30
		キリスト教の伝来	126	03:30
		歴史を語る 海を渡った安土の屏風	127	05:00
		2 織豊政権による全国統一	128	05:00
		豊臣秀吉の全国統一	129	04:00
		倭寇と刀狩	130	05:30
		朝鮮侵略	131	06:00
		3 桃山文化	132	04:30
		南蛮文化	133	04:00
	第2章 歴史資料と近世の展望	1 参勤交代と幕藩体制	134	04:30
		参勤の効果	135	03:30
		2 百姓たちの生活世界	136	03:30
		生活の維持を求める訴え	137	02:00
		3 江戸時代の対外関係	138	05:00
		鎖国の国法化	139	02:00
	第3章 近世社会の展開 1節 幕藩体制の確立	1 江戸幕府と大名・朝廷	140	03:30
		大名の統制	141	05:30
		朝廷・寺社の統制	142	04:30
		幕府の組織	143	03:00
		寛永文化	144	04:00
		2 近世の身分と人々の暮らし	145	05:30
		村と百姓	146	07:00
		町と町人	147	03:00
		歴史を語る 江戸時代の村の生活	148	06:00
		歴史を語る 江戸時代の村の生活②	149	05:00
		3 アジアのなかの幕藩体制	150	05:00
		通信の国 朝鮮・琉球	151	05:30
		禁教と貿易統制の強化	152	07:00
		島原・天草一揆の衝撃	153	05:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		東アジア情勢の変化と長崎貿易	154	05:30
		地域の窓 城下町 飯田	155	06:00
		4 武断政治から文治政治へ	156	06:00
		正徳の治	157	08:00
		5 幕藩体制下の社会の発展	158	04:30
		諸産業の発達	159	04:30
		金融業の発達	160	06:30
		三都と城下町の繁栄	161	06:00
		文通の発達	162	04:30
		元禄文化	163	04:00
		美術・工芸の発達	164	05:00
		幕藩体制をささえた思想	165	05:30
	2節 近世社会の成熟と幕藩体制の動揺	1 享保の改革と経済の発展	166	05:30
		手工業生産の発展	167	03:30
		儒学から経世論へ	168	04:00
		地域の窓 四国の農書	169	04:30
		2 近世社会の成熟と危機の始まり	170	04:30
		宝暦・天明期の文化	171	04:30
		蘭学の始まり	172	05:00
		田沼意次の政治	173	05:00
		百姓一揆と村方騒動	174	05:00
		3 幕藩体制の立て直し	175	05:00
		ロシア船の来航と北方探検	176	04:30
		化政文化	177	02:30
		地方文化の発展①	178	02:30
		地方文化の発展②	179	04:00
		4 幕藩体制の動揺	180	04:30
		家斉の政治と大塩平八郎の乱	181	06:30
		地域経済の発展	182	03:30
		天保の改革	183	07:00
		雄藩の誕生	184	05:30
		庶民の生活と信仰	185	06:00
		世界を見た日本人 ロシアと単独交渉 高田屋嘉兵衛	186	08:00
第4編 近現代の地域・日本と世界	第4編 近現代の地域・日本と世界	導入	187	03:30
		1 開国と開港	188	03:00
		ペリーの来航	189	05:00
		不平等な通商条約	190	05:30
		貿易の開始とその影響	191	05:30
		2 幕府の崩壊と明治維新	192	04:30
		尊王攘夷運動から倒幕運動へ①	193	05:00
		尊王攘夷運動から倒幕運動へ②	194	05:00
		大政奉還と戊辰戦争	195	06:00
		明治維新と新政府	196	05:30
		廃藩置県	197	06:30
	第2章 歴史資料と近現代の展望	1 資本主義の発展と生活	198	02:30
		日本経済のイメージ	199	03:30
		2 国民国家と政治参加	200	03:30
		メディアの役割	201	03:30
		3 世界のなかの近現代日本	202	03:00
		貿易のあり方	203	03:30
		1 制度改革と殖産興業政策	204	06:30
	第3章 近現代社会の展開 1節 近代的制度の導入と新しい国際関係	近代産業の移植①	205	03:30
		近代産業の移植②	206	03:00
		2 文明開化と教育制度の整備	207	04:30
		教育の普及	208	03:00
		近代思想の広まり	209	04:30
		3 東アジア世界のなかの明治政府	210	04:00
		清と朝鮮	211	05:00
		沖縄県の設置	212	03:30
		歴史を語る 岩倉使節団	213	03:30
		4 政府専制への批判	214	06:00
		明治十四年の政変	215	04:30
		松方財政	216	05:30
		西南戦争と庶民	217	05:00
	2節 国民国家と資本主義の成立	1 立憲政治の成立	218	04:00
		憲法の制定	219	06:00
		法典の整備	220	04:00
		地域の窓 福島県喜多方市域の変遷	221	05:00
		2 対外関係の変容と日清戦争	222	04:00
		朝鮮の問題	223	04:30
		日清戦争	224	05:30
		立憲政友会の成立	225	05:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		3 産業革命と資本主義の定着	226	03:30
		重工業と交通網整備	227	03:30
		資本家と労働者	228	05:00
		歴史を語る 義務教育が定着したのはいつか？	229	03:00
		4 教育制度の整備と新しい文化	230	05:30
		近代文学の成立	231	03:30
		新時代の芸術	232	03:30
		宗教の動向	233	04:30
		5 日露戦争と帝国日本	234	03:30
		日英同盟と日露戦争	235	04:00
		韓国併合	236	03:00
		帝国日本の構造	237	04:30
		6 日露戦争後の社会と政治	238	06:00
		柱国体制から大正政変へ	239	03:30
	3節 両大戦間期の日本	1 都市化・重工業化と生活の変化	240	04:00
		新産業の成長	241	05:00
		都市化の進展と大衆文化①	242	04:30
		都市化の進展と大衆文化②	243	06:30
		教育・学問・思想の発展	244	04:30
		地域の窓 新潟の米づくりと近代農業技術	245	06:00
		2 政党政治とデモクラシー	246	03:30
		デモクラシーの思潮	247	05:00
		政党政治の展開と社会政策	248	05:30
		金融恐慌と政府の介入	249	04:30
		3 国際社会のなかの日本	250	04:00
		日本への抵抗と植民地政策	251	04:30
		ワシントン体制と協調外交	252	04:00
		田中内閣の対中強硬政策	253	05:00
	4節 第二次世界大戦と日本	1 昭和恐慌と立憲政治の動揺	254	04:00
		高橋財政と景気の回復	255	05:00
		立憲政治の動揺とテロ事件	256	04:30
		学問・思想の自由の動揺	257	04:30
		2 中国侵略と戦時体制への移行	258	04:30
		日中戦争への道のり	259	05:00
		日中戦争の長期化	260	05:00
		戦時下の国民生活	261	04:00
		3 戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開	262	04:00
		三国同盟と新体制運動	263	04:30
		日米関係の推移	264	04:00
		アジア太平洋戦争の勃発	265	06:30
		総力戦と国民生活	266	04:30
		敗戦への道	267	03:30
		日本の降伏	268	04:00
		歴史を語る 沖縄戦	269	04:30
	5節 占領と改革	1 占領と日本国憲法の成立	270	06:30
		財閥の解体と農地改革	271	05:00
		教育の民主化	272	06:00
		大衆運動と政党の復活	273	06:00
		日本国憲法の制定	274	05:30
		労働運動の激化と社会党内閣	275	06:00
		2 冷戦の開始と経済復興	276	06:30
		経済安定政策	277	06:00
		朝鮮戦争の勃発	278	05:30
		戦後文化の形成	279	05:00
	6節 国際社会への復帰と高度経済成長	1 国際社会への復帰と対米協調	280	03:30
		日米安全保障条約	281	03:30
		保守・革新の対立の激化	282	08:30
		安保改定と国内の対立	283	06:00
		平和共存と多極化の時代	284	06:00
		ベトナム戦争	285	05:30
		2 高度経済成長	286	06:00
		高度成長の要因	287	07:30
		高度成長期の文化と社会①	288	07:30
		高度成長期の文化と社会②	289	03:30
		歴史を語る 戦後の子どもの世界	290	04:30
		地域の窓 旧軍用地の戦後	291	05:00
		7節 アジア情勢の変化と経済大国日本	292	06:30
		1 1970年代の国際社会と日本	293	05:30
		中華人民共和国との国交正常化	294	05:00
		2 安定成長への転換	295	06:30
		石油危機と狂乱物価	296	08:00
		貿易摩擦の激化	297	06:00
		混迷する経済	297	06:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
	8節 新しい国際秩序と日本の課題	昭和の終わりの文化と社会	298	04:00
		歴史を巡る 戦後日本の保守と革新	299	07:00
		1 激変する世界と日本	300	04:30
		新たな国際環境における日本の役割	301	05:00
		揺れ動く政党政治	302	07:00
		長びく不況	303	05:30
		2 21世紀の日本	304	07:30
		東日本大震災とその後の政治	305	04:30
		現代日本の社会と文化	306	05:30
		世界を見た日本人 日本人初と2番目のノーベル賞受賞者	307	08:00
	第4章 現代の日本の課題の探究	1 社会や集団と個人 人はどのようなつながりのなかで生きているのだろうか	308	06:30
		歴史のなかの社会的つながり	309	06:00
		2 世界のなかの日本 日本の国際協力はどうあるべきだろうか	310	06:30
		21世紀の日本の国際協力	311	05:30
		3 伝統や文化の継承と創造 伝統文化はなぜ大切なのか	312	05:30
		新たな文化の創出	313	05:30
	歴史に学ぶ	歴史探究の方法	314	06:30
		1 地震と日本人	316	05:00
		近代の地震	317	07:00
		2 感染症の歴史	318	06:00
		結核の流行と「スペイン風邪」の世界的流行	319	06:30
		3 歴史のなかの男性と女性	320	04:30
		ジェンダーと仕事	321	05:00
総時間				25:45:30

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
地理歴史 (学校設定科目)	柏崎探究	2単位	6	1	東京書籍 詳解歴史総合	

学習の目標

柏崎の自然や文化の魅力とそれを語る人々の生き方を学び、さらにキャリア教育として柏崎の良さに気づき、未来の柏崎を切り拓く人材、活性化を図る人材を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容
第1回	柏崎市の立地、人口について
第2回	柏崎市長、有名な人物について
第3回	人口推移、エネルギーについて
第4回	市章、シンボルマークについて
第5回	柏崎刈羽原子力発電所について、
第6回	SDGs、柏崎市の制度について

面接指導	学習内容
1時間	柏崎市の概要

メディア視聴	学習内容
1時間	柏崎刈羽原子力発電所について

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	柏崎地域の情報を読み取り、地球的な視野から地理的事象の規則性、傾向性や関連する課題の発生要因について理解することができる。
思考・判断・表現	柏崎地域の地理的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所などに着目して、概念などを活用し、考察、構想したことを効果的に説明したり、議論を深めたりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う姿勢がみられる。また、自らの学習についても調整する姿が見られる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

柏崎探究 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

（別紙教科書解説動画映像参照）

柏崎探究		教科書解説動画映像一覧	
大分類	中分類	小分類	時間
柏崎探究 映像視聴授業	柏崎について	柏崎について	47:00:00

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
公民	公共	2	6	1	東京書籍 公共	
学習の目標						
人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目標とする。その上で、現代の諸課題を考察し、理解するとともに、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付けるようにする。						

添削指導	学習内容
第1回	・青年期と自己形成の課題の「青年期の特徴について」 ・現代の世界と宗教の「三大世界宗教について」

第2回	・民主政治と政治参加の「私たちの民主政治」 ・民主政治と政治参加の「国会のしくみと役割」「内閣のしくみと役割」
第3回	・法や規範の意義と役割の「法と社会規範の役割」 ・市民生活と私法の「市民生活と法」 ・国民の司法参加の「司法のしくみと役割」
第4回	・現代の経済と市場の「私たちと経済」 ・市場経済における働きの「金融のしくみと働き」 ・財政の役割と持続可能な社会保障制度の「財政の働き」
第5回	・働くことの意義と職業選択の「働くということ」 ・国際社会のルールとしくみの「国際社会の成り立ち」 ・国際社会と平和主義の「日本の平和主義」
第6回	・グローバル化する国際経済の「貿易のしくみ」 ・グローバル化する国際経済の「グローバル化と今日の国際経済」 ・グローバル化する国際経済の「国際経済の諸課題」

面接指導	学習内容
1時間	国際社会の成立

メディア視聴	学習内容
1時間	◆公共的な空間をつくる私たち—社会の中の自己 (1) 現代社会に生きる青年 (2) 社会的な関係の中で生きる人間

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。
思考・判断・表現	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり表現したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を深めようとしている。

【単位修得認定基準】

- ② 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- ② 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。
- ③ 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

公共 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

（別紙教科書解説動画映像参照）

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
第1部 公共のとびら	第1章 青年期を生きる私たち	「公共」を学ぶ	1	4:30
		導入	8	4:30
		③ 青年期における自己形成	10	4:00
		自己形成の課題	11	5:00
		② キャリア開発と社会参画	12	4:30
	第2章 他者とともに生きる人間としてのあり方	人間関係の形成と社会への参画	13	4:30
		③ 個人として尊重しあう人間	14	6:00
		個性や自発性の尊重	15	4:00
		④ 公共的な空間をつくる人間	16	5:30
		「間柄」と信頼	17	3:30
		⑤ 伝統・文化のなかで生きる人間	18	5:00
		多様化のなかの伝統・文化	19	4:30
		ステップアップ 倫理 現代の世界と宗教	20	6:00
		現代社会と宗教	21	5:00
	第3章 公共的な空間における倫理	⑥ 功利主義と幸福の原理	22	4:30
		徳倫理学	23	4:30
		⑦ 義務論と公正の原理	24	4:30
		公正としての正義	25	4:30
		活用してみよう 生命倫理について考える	26	4:00
		エンハンスメントの是非	27	4:30
		活用してみよう 環境倫理について考える	28	5:00
		環境保護と開発のジレンマに対する判断	29	4:30
		ステップアップ 倫理 先哲の思想に学ぶ	30	6:00
		近代科学の考え方	31	5:30
		民主社会と自由をめぐる	32	6:00
		人間性の回復を求めて	33	6:00
		中国の思想	34	6:30
		日本の思想	35	6:00
	第4章 公共的な空間における基本的原理	⑧ 公共的な空間における協働	36	5:30
		国家の役割	37	4:00
		トピック 「ゲーム」で考える協働の利益	38	5:30
		ステップアップ 政経 近代政治の原理と民主主義	39	5:30
		⑨ 民主主義の原理	40	5:30
		直接民主制と間接民主制	41	4:30
		⑩ 立憲主義の原理	42	5:30
		憲法と民主主義	43	4:00
		⑪ 人権保障の原理	44	6:00
		人権保障の広がり	45	4:00
		⑫ 日本国憲法の理念	46	5:30
		立憲主義と権力分立	47	4:00
		ステップアップ 政経 日本国憲法と基本的人権	48	5:00
		平等権	49	5:30
		自由権	50	5:00
		社会権	51	4:30
		基本的人権を実現するための権利	52	4:00
		新しい人権	53	6:30
		トピック ジェンダー平等と性の多様性	54	5:00
		法整備による男女格差の是正	55	5:30
第2部 自立した主体として社会に参画する私たち	第1章 民主政治と私たち / テーマ1 民主政治と政治参加	導入	56	4:00
		民意と政治のギャップ	58	4:00
		国民投票制度を導入することの是非	59	5:00
		⑬ 私たちの民主政治	60	5:00
		現代の民主主義の課題	61	3:30
		⑭ 地方自治のしくみと役割	62	5:30
		住民参加の地方自治へ	63	5:00
		トピック 住民参加でつくる地方自治	64	6:00
		住民投票の可能性と限界	65	5:30
		社会参画のメソッド 模擬選挙をやってみよう	66	4:00
		請願書をつくってみよう	67	3:30
		⑮ 国会のしくみと役割	68	5:00
		国会の構成と運営	69	5:00
		⑯ 内閣のしくみと役割	70	6:30
		行政国家化と行政改革	71	4:00
		⑰ 政治参加と選挙	72	6:00
		日本の選挙制度と課題	73	5:30
		⑱ 政党と利益集団	74	5:00
		政治資金と政治活動	75	4:30
		⑲ メディアと世論	76	6:30
		インターネット時代の世論	77	4:00
		社会参画のメソッド 模擬選挙をやってみよう	78	4:00
		投票の基礎知識	79	6:30
		投票を体験してみよう	80	6:30
		トピック 情報社会のリテラシー	81	5:30
		ステップアップ 政経 戦後日本政治の動き	82	6:00
		ステップアップ 政経 世界の政治体制	83	5:30
		議院内閣制	84	5:00
		大統領制	85	5:00
	第2章 法の働きと私たち / テーマ2 法や規範の意義と役割	「歩きスマホ」の危険性と法規制	86	3:30
		「歩きスマホ」に対して罰則を設けることの是非	87	4:30
		② 法と社会規範の役割	88	6:30
		法の分類	89	3:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		20 法の成立と適用	90	6:30
		民事裁判と刑事裁判	91	3:00
		社会参画のメソッド 模擬立法をやってみよう	92	4:30
		法律をつくり、適用してみよう	93	5:00
	テーマ3 市民生活と私法	転売仲介サイトで購入した不正転売チケットは、契約を取り消せるか？	94	4:30
		買主・売主・チケット転売仲介サイトの責任分担	95	4:30
		22 私法の原則	96	5:00
		故意と過失	97	4:30
		トピック 家族法と現代的課題	98	5:30
		トピック 民事トラブルにあったら	99	5:30
		23 多様な契約	100	5:30
		契約自由の原則の修正	101	5:00
		24 消費者の権利と責任	102	5:30
		消費者市民社会の形成	103	4:30
		ライフデザイン 消費者トラブルにあったらどうする？	104	4:00
		消費者トラブルへ対応するしくみは？	105	5:00
	テーマ4 国民の司法参加	日本は死刑制度を廃止すべきか？	106	3:00
		死刑制度の是非	107	4:30
		25 司法のしくみと役割	108	5:00
		違憲審査権	109	5:00
		26 刑事司法と司法参加の意義	110	4:30
		刑事司法の課題	111	5:00
		社会参画のメソッド 刑事模擬裁判をやってみよう	112	5:00
		裁判員裁判の流れ	113	4:30
		社会参画のメソッド 裁判員になって考えよう	114	4:30
		刑事裁判の原則を確認しよう	115	4:30
	第3章 経済社会で生きる私たち / テーマ5 現代の経済と市場	現代の経済と市場	116	4:30
		最低賃金引き上げのメリットとデメリット	117	4:30
		27 私たちと経済	118	4:30
		グローバル化のなかの経済活動	119	5:00
		28 現代の企業	120	5:00
		企業の社会的責任	121	4:00
		29 市場経済のしくみ	122	5:00
		政府の役割	123	5:00
		やさしい経済セミナー 需要曲線・供給曲線から価格を考える	124	5:00
		供給曲線のシフトと需要曲線の傾き	125	5:00
		30 国民所得と経済成長	126	5:30
		経済成長の要因と景気変動	127	4:30
		やさしい経済セミナー GDPから国の経済の大きさを考える	128	6:00
		ステップアップ 政経 資本主義の歴史と経済思想	129	6:30
		ステップアップ 政経 戦後日本経済の動き	130	5:00
		円高不況とバブル景気から平成不況へ	131	5:00
	テーマ6 市場経済における金融の働き	起業家を取り巻く金融環境	132	4:00
		起業家による効果的な資金調達の方法	133	5:00
		31 金融のしくみと働き	134	4:00
		金融市場の現在	135	4:00
		32 中央銀行の役割と金融環境の変化	136	5:00
		金融の自由化とさまざまな金融商品	137	3:30
		ライフデザイン 将来の資産形成をどうする？	138	4:30
	テーマ7 財政の役割と持続可能な社会保障制度	豊かな人生に向けた資産形成のためには？	139	5:30
		日本の財政状況	140	4:00
		持続可能な財政への道	141	4:30
		33 財政の働き	142	5:00
		財政のしくみ	143	4:00
		34 財政の課題	144	5:00
		財政問題と財政危機	145	4:30
		35 社会保障の考え方	146	5:00
		日本の社会保障制度	147	4:30
		36 社会保障の課題とこれから	148	5:00
		福祉社会の実現に向けて	149	4:30
		トピック 将来に備える年金制度	150	4:00
	第4章 私たちの職業生活 / テーマ8 働くことの意義と職業選択	公的年金のしくみと特徴	151	6:30
		AIが労働・雇用に与える影響	152	4:00
		AI時代の職業キャリアデザイン	153	5:00
		37 働くということ	154	5:30
		労働市場とは	155	5:00
	テーマ9 労働者の権利と雇用・労働問題	38 多様な職業選択	156	5:00
		これからのキャリア形成の課題	157	5:00
		労働環境をめぐる課題	158	4:00
		働きがいのある労働環境を実現するために	159	4:30
		39 労働者の権利	160	5:00
		労働条件の改善に向けて	161	5:00
		40 現代の雇用・労働問題	162	5:30
		働きやすい労働環境に向けて	163	4:00
	第5章 国際社会のなかで生きる私たち / テーマ10 国際社会のルールとしくみ	漁業をめぐる国際的な課題とルール	164	3:30
		漁業資源の国際的な管理の方策	165	4:30
		41 国際社会の成り立ち	166	5:00
		国際法の意義と国際社会の定着	167	4:00
		トピック 日本の領域と領土をめぐる問題	168	5:30
		北方領土と尖閣諸島をめぐる問題	169	3:30
		42 国際連合の役割	170	5:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
	テーマ11 国際社会と平和主義	安全保障と国際連合の課題	171	4:30
		核兵器をめぐる世界の動き	172	4:00
		核兵器禁止条約に参加することの是非	173	4:30
		④ 日本の平和主義と冷戦	174	5:00
		戦後日本の防衛政策	175	4:00
		④ 冷戦後の世界と日本	176	5:30
		日本の安全保障政策と自衛隊の海外派遣	177	5:00
		ステップアップ 政経 戦後国際政治の動き	178	5:00
		冷戦の終結と冷戦後の動き	179	5:30
	テーマ12 国際平和への課題	主権国家内部で起こる人権侵害	180	4:00
		人権保護のための国際社会の介入の是非	181	5:00
		④ 現代の紛争とその影響	182	5:30
		紛争の解決と難民問題	183	4:30
		④ 平和な国際社会に向けて	184	5:30
		外交を通じた平和の実現と日本の役割	185	4:30
		トピック 国境をこえて広がるNGOの活動	186	6:00
		ステップアップ 政経 世界の紛争地図	187	5:00
	テーマ13 グローバル化する国際経済	分断化が進む世界経済	188	4:00
		世界経済の分断化への対応	189	5:00
		④ 貿易のしくみ	190	6:00
		自由貿易の推進と国際収支	191	3:30
		④ 国際金融のしくみと動向	192	5:30
		国際通貨体制の変容と共通通貨導入の動き	193	5:30
		やさしい経済セミナー 為替と国際収支から経済を考える	194	5:00
		国際収支からみた日本経済	195	5:00
		④ グローバル化と今日の国際経済	196	5:00
		地域統合と台頭する新興国	197	4:30
		④ 国際経済の諸課題	198	6:00
		人口・食糧問題と格差の是正	199	3:30
		ステップアップ 政経 戦後国際経済の動き	200	5:30
		GATT体制の変容とグローバル化する世界経済	201	4:00
		ステップアップ 政経 地球環境問題	202	5:00
		「持続可能な開発」に向けて	203	6:30
		ステップアップ 政経 資源・エネルギー問題	204	5:00
		トピック SDGsの達成に向けて	205	5:30
第3部 持続可能な社会づくりに 参画するために		探究のイメージとプロセス	206	5:30
		探究課題の策定と仮の主張	208	6:00
		探究方法の策定と計画立案	209	4:00
		探究に必要な情報収集	210	5:00
		インターネット検索と図書館の使い方	211	6:30
		情報の読み取りと整理	212	5:30
		探究をとおして得た情報や考え方と自分の主張	213	5:00
		論証・説明の流れと論述	214	4:30
		学習のふり返りと成果・課題の確認	215	3:00
		課題設定と説明・論述の例	216	4:00
	統計・図表の読み方・使い方	探究の成果発表の例	217	4:00
		統計・図表を読み取る際に確認すべきポイント	218	4:30
		統計を読み解く手法	219	5:30

総時間 17:03:30

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
公民	政治・経済	2単位	6	1	東京書籍 政治・経済	

学習の目標

社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目標とする。その上で、社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付けるようにする。

添削指導	学習内容
第1回	・民主政治の基本原則、 ・日本国憲法の制定と基本原則、及び基本的人権の保障 ・憲法や法律の新しい動きや争点について
第2回	・立法と行政、及び裁判所と司法 ・地方自治と現代政治の特質と課題について
第3回	・資本主義経済と現代の経済の仕組み ・国民所得と経済成長、金融・財政の仕組みと課題について
第4回	・日本経済の発展と現状、福祉社会と日本経済の課題 ・労働問題と社会保障について
第5回	・現代日本の課題 ・国際政治と日本の諸問題について
第6回	・貿易・国際収支・国際経済体制 ・世界経済の現状と課題 ・国際社会の諸課題について
面接指導	学習内容
1時間	地方自治
メディア視聴	学習内容
1時間	民主政治の基本原則、日本国憲法、立法と行政、労働問題と社会保障について。

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・法律や政治体制など社会における基本的な知識を身に付け、日々の生活に関連付けていくことができる。 ・グラフを読み取り、経済の移り変わりや世界情勢の流れを読み解くことができる。
思考・判断・表現	・現代における政治・経済の課題について、一つの要点からだけでなく広い視野を持って考えることができる。 ・民主主義の本質を捉えて考え、現代における労働問題や環境問題などの諸課題を良識のある公民として判断し、自己表現できるようになる。
主体的に学習に取り組む態度	・日々の生活の中で、法律や政治制度などの変化や、その社会情勢に対応し、環境問題などの社会問題の解決のために自ら考え、主体的に行動することができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

政治経済 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

（別紙教科書解説動画映像参照）

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
第1編 現代日本の政治と経済	第1章 現代日本の政治	政治の目的	4	03:00
		1 民主政治の成立	6	03:30
	1節 民主政治の基本原則	民主政治への道のり①	7	03:30
		民主政治への道のり②	8	04:30
		国民主権と権力分立	9	05:00
		2 法と民主政治	10	04:00
		法の支配	11	04:30
		立憲主義	12	04:30
		社会生活と法	13	04:00
		18歳からの社会参加① 18歳になるとできること	14	05:00
		3 基本的人権の確立	15	03:00
		人権の歴史的展開	16	04:30
		人権の国際化	17	04:00
		4 現代の民主政治	18	04:00
		大衆民主主義とファシズム	19	05:00
		ポピュリズム	20	05:30
		5 世界のおもな政治体制	21	06:00
		自由民主主義体制	22	04:30
		権力集中体制	23	04:30
		開発独裁の政治体制	24	04:00
		イスラーム諸国の政治体制	25	04:00
	2節 日本国憲法の基本原則	1日本国憲法の制定と基本原理	26	04:30
		日本国憲法の成立	27	05:00
		日本国憲法の基本原則	28	05:30
		憲法の最高法規性と憲法改正①	29	06:00
		憲法の最高法規性と憲法改正②	30	04:30
		2 基本的人権の保障	31	06:00
		法の下での平等	32	08:00
		自由権①	33	09:00
		自由権②	34	04:30
		自由権③	35	05:00
		自由権④	36	07:30
		新しい人権①	37	04:00
		新しい人権②	38	06:30
		新しい人権③	39	04:30
		人権を実現するための権利	40	05:00
		基本的人権と「公共の福祉」	41	05:30
		3 平和主義	42	03:30
		自衛隊と防衛政策	43	03:30
		日米安全保障条約	44	04:00
		自衛隊の海外派遣	45	03:30
		安全保障関連法の制定	46	06:00
		平和に向けた課題	47	03:30
	3節 日本の政治機構	1 国会と立法	48	04:00
		二院制と衆議院の優越	49	04:00
		国会の権限	50	05:00
		国会の運営	51	04:30
		2 内閣と行政	52	03:30
		内閣総理大臣と大臣との関係	53	05:00
		内閣の機能	54	04:00
		日本の行政の課題	55	03:30
		3 裁判所と司法	56	04:30
		裁判所と三審制	57	03:30
		裁判の種類	58	05:00
		違憲審査権	59	04:00
		司法の課題と国民の司法参加①	60	03:30
		司法の課題と国民の司法参加②	61	04:30
		4 地方自治	62	04:00
		地方自治の運営	63	04:30
		地方財政の現状	64	03:30
		地方自治の課題	65	05:30
	4節 現代政治の特質と課題	1 戦後政治と政党	66	06:30
		利益集団	67	03:30
		55年体制	68	04:00
		連立政権の時代	69	05:00
		2 選挙と政治意識	70	05:00
		日本の選挙制度	71	05:30
		選挙をめぐる諸問題	72	04:00
		政治的無関心と無党派層	73	04:00
		3 世論と政治参加	74	05:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		世論とマスメディア	75	04:00
		政治参加をめざして①	76	05:30
		政治参加をめざして②	77	04:00
		18歳からの社会参加② 選挙権の行使に向けて	78	05:00
	第2章 現代日本の経済	日本経済のあり方	80	03:30
	1節 現代の資本主義経済	1 経済活動の意義	82	04:00
		経済活動の特徴	83	06:00
		2 資本主義経済の発展と変容	84	05:30
		資本主義の成立	85	04:00
		資本主義経済の変容	86	04:30
		資本主義経済の修正	87	06:00
		社会主義経済	88	05:30
		新自由主義の台頭とその帰結	89	04:30
		2節 現代経済のしくみ	90	04:00
		経済主体	91	04:30
		2 生産のしくみと企業	92	04:00
		株式会社のしくみ	93	05:00
		現代の企業	94	06:30
		企業の社会的責任	95	04:30
		3 市場経済の機能と限界	96	05:00
		市場メカニズム	97	04:30
		市場の失敗	98	04:30
		寡占化・独占化①	99	07:00
		寡占化・独占化②	100	05:00
		4 国民所得と経済成長	101	06:30
		国民経済の活動水準	102	04:30
		経済成長と景気変動	103	04:30
		物価と国民生活	104	06:00
		5 金融のしくみと機能	105	05:00
		金融市場と金融機関	106	04:00
		銀行の役割	107	07:00
		中央銀行の役割	108	05:30
		金融政策	109	06:30
		金融の自由化	110	04:30
		非伝統的金融政策	111	04:00
		18歳からの社会参加③ ライフプランと金融	112	07:00
		6 財政のしくみと機能	114	05:00
		財政の役割	115	05:00
		租税と公債	116	04:30
		財政の課題と財政改革①	117	04:00
		財政の課題と財政改革②	118	05:30
	3節 日本経済の発展と現状	1 戦後日本経済の発展	119	05:00
		高度経済成長	120	05:00
		高度経済成長から安定成長へ	121	05:00
		産業構造の転換	122	05:00
		バブル経済とその崩壊	123	05:00
		2 日本経済の現状	124	05:00
		世界金融危機以降の経済	125	04:30
		日本経済の課題	126	06:00
	4節 福祉社会と日本経済の課題	格差を解消するにはどうすればよいか	127	04:30
		1 公害と環境保全	128	04:30
		公害規制と被害救済	129	04:30
		公害から環境問題へ	130	04:00
		2 農業・食料問題	131	05:00
		これからの日本の農業と食料	132	05:00
		日本の林業・水産業の課題	133	04:30
		3 中小企業の現状と課題	134	06:00
		中小企業の現状と課題	135	04:00
		4 情報化の進展と社会の変化	136	04:30
		デジタル社会の課題	137	05:00
		5 消費者問題	138	04:30
		消費者保護と行政	139	05:30
		18歳からの社会参加④ 消費者市民社会の実現に向けて	140	05:30
		6 雇用と労働問題	142	04:30
		日本の労働運動	143	05:00
		労働基本法と労働三法	144	05:00
		雇用環境の変化	145	04:30
		現代の労働問題	146	06:00
		労働と社会参加	147	05:30
		18歳からの社会参加⑤ 働き方について考える	148	05:30

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		7 社会保障と福祉	150	04:30
		日本の社会保障	151	05:00
		社会保障制度の現状と課題①	152	05:30
		社会保障制度の現状と課題②	153	05:30
		社会保障制度の現状と課題③	154	04:30
		福祉社会の実現に向けて	155	05:30
	第3章 現代日本の諸課題	日本社会における諸課題	156	04:30
		1 少子高齢社会における社会保障	158	04:00
		日本の子育て支援のあるべき姿を考えよう	159	06:00
		2 地域社会の活性化	160	04:00
		地域社会を活性化させる方法を考えよう	161	05:00
		3 多様な働き方・生き方の実現	162	04:30
		性別にかかわらず働きやすい職場を考えよう	163	06:00
		4 中小企業の意義と課題	164	05:00
		中小企業の強みを活かす方法を考えよう	165	06:00
		5 日本の財政の健全化	166	04:30
		日本の「福祉国家」としてのあり方を考えよう	167	05:00
		6 持続可能な食料・農業の実現	168	04:30
		農業を魅力ある産業にする方策を考えよう	169	06:00
		7 防災と安全・安心な社会の実現	170	04:30
		地域の防災・減災対策を考えよう	171	06:30
第2編 グローバル化する国際	第1章 現代の国際政治	日本と諸外国の関係	172	04:00
	1節 国際政治のしくみ	1 国際政治の特質	174	04:30
		主権国家と国際社会	175	05:30
		2 国際社会と国際法	176	04:30
		国際法	177	04:30
		3 国際連合の役割と課題	178	04:30
		国際連合の成立と組織	179	04:30
		国際連合と平和の維持	180	05:30
		国際連合の課題	181	04:30
	2節 複雑化する国際政治と日本	1 戦後国際関係の展開と日本	182	04:30
		冷戦の進展	183	05:00
		平和共存と多極化①	184	04:30
		平和共存と多極化②	185	04:30
		2 冷戦後の国際関係と日本	186	04:30
		アメリカ一極集中体制	187	04:30
		一極から再び多極へ	188	05:30
		中国の台頭	189	05:30
		3 地域主義の動き	190	04:30
		ヨーロッパ統合の進展	191	05:00
		ヨーロッパ統合の危機	192	05:00
		4 軍縮の動向と課題	193	05:00
		軍備管理から軍縮へ	194	04:00
		冷戦終結後の軍縮の課題	195	05:00
		5 紛争・難民・テロリズム	196	04:30
		難民問題	197	04:30
		世界の紛争地図	198	05:30
		6 国際社会における日本の役割	200	04:00
		日本の領土をめぐる問題	201	06:00
		国際社会と日本	202	04:30
		日本のODAはどうあるべきか	203	05:00
	第2章 現代の国際経済	グローバル化の進む国際社会	204	04:00
	1節 国民経済と国際経済	1 貿易と国際収支	206	05:00
		自由貿易と国際分業	207	04:30
		為替相場と外国為替市場	208	05:00
		国際収支のしくみ	209	05:00
		国際収支表	210	05:00
		2 戦後国際経済体制の展開	211	05:00
		国際通貨体制の変容	212	04:30
		ブラザ合意と政策協調	213	04:00
		GATTからWTOへ	214	04:30
		地域経済統合とFTA・EPA①	215	04:30
		地域経済統合とFTA・EPA②	216	04:30
		3 発展途上国の経済	217	05:30
		NIESの発展と南南問題	218	05:30
		中国の台頭	219	05:30
	2節 世界経済の現状と課題	1 グローバル化する世界経済	220	04:00
		金融の自由化と世界金融危機	221	05:30
		自国中心主義の台頭	222	06:00
		2 地球環境問題	223	05:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		地球環境問題とは	224	05:00
		地球環境保護の取り組みと課題	225	05:00
		3 資源・エネルギー問題	226	04:30
		日本の資源・エネルギー問題	227	04:30
		資源・エネルギー問題の解決に向けて	228	05:00
		日本のエネルギー供給はどうあるべきか	229	05:00
		4 人口・貧困・感染症	230	05:00
		貧困問題	231	05:30
		国際人口移動の増加	232	05:00
		グローバル化と感染症	233	05:30
		持続可能な社会の形成に向けて	234	04:30
		持続可能な開発目標	235	04:00
	第3章 国際社会の諸課題	地球規模の課題	236	04:00
		1 グローバル化にともなう社会実容	238	04:00
		日本における多文化共生のあり方を考えよう	239	05:30
		2 地球環境と資源・エネルギー問題	240	05:00
		地球温暖化を食い止める方策を考えよう	241	05:30
		3 国際的な経済格差の是正	242	04:30
		これからの開発援助のあり方を考えよう	243	06:00
		4 イノベーションの促進と成長市場	244	04:00
		医療のイノベーションを促進する方策を考えよう	245	06:00
		5 民族問題と紛争の解決	246	04:00
		パレスチナ問題の解決に必要なことを考えよう	247	05:00
		6 持続可能な社会の実現	248	04:30
		SDGs達成に向けて自分にできることを考えよう	249	05:00
		探究のスキル	250	03:30
		探究課題の設定	251	04:00
		つかむ・考える（調査・研究）	252	05:00
		まとめる	253	05:30
		発表する・討論する	254	05:30

2019年10月1日現在

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
数学	数学 I	3単位	9	2	東京書籍 新数学 I	

学習の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目標とする。その上で、数と式、図形と軽量、二次関数及びデータ分析についての基本的な概念や原理を理解し、数学的に表現、処理力を身に付けるようにする。

添削指導	学習内容
第1回	文字と式
第2回	実数
第3回	方程式と不等式
第4回	2次関数とそのグラフ
第5回	2次関数の値の変化
第6回	三角比
第7回	三角比の応用
第8回	データの分析
第9回	集合と論証

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元名 「2次関数の最大値・最小値」 2. 本時の学習 (1) 目標 2次関数の最大値・最小値についてグラフを利用して理解し、それらの値を求めることができる。
2時間	1. 単元名 「三角比の相互関係」 2. 本時の学習 (1) 目標 三角比の相互関係について理解し、1つの三角比の値から他の2つの三角比の値を求めることができる。

メディア視聴	学習内容
1時間	◆ 方程式と不等式 (1) 1次方程式を解く (2) 不等式を解く (3) 2次方程式を解く

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	数学における基本的な概念や原理・法則を既習の知識と関連付け、より深く理解するとともに、日常生活や社会事象の問題発見・解決に向けての基礎となる技能が身についている。
思考・判断・表現	様々な事象を数理的に捉え、数学的な推論によって問題を解決し、解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考え、物事の特徴や事象の変化を抽象し簡潔・明瞭に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	数学を学ぶ楽しさを実感し粘り強く考え、数学を日常生活や社会事象に活用し、問題解決の過程

り組む態度	を振り返って考察を深めたり評価・改善したりしている。
-------	----------------------------

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導） : 全9回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング） : 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点 : 所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

数学Ⅰ 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

（別紙教科書解説動画映像参照）

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
数の計算	「数の計算」で学ぶこと	導入	3	2:30
		整数のたし算	4	5:00
		整数のひき算	5	4:30
		九九	6	3:30
		整数のかけ算	7	4:30
		整数のわり算	8	6:30
		いくつかの数の計算 (1)	9	4:30
		いくつかの数の計算 (2)	10	4:00
		公因数、公約数	11	5:30
		小数のたし算、ひき算	12	4:00
		小数のかけ算、わり算	13	5:30
	2. 小数・分数の計算	分数の約分、通分	14	4:30
		分数のたし算とひき算 (分母が同じ場合)	15	4:30
		分数のたし算とひき算 (分母が異なる場合)	16	4:30
		分数のかけ算	17	3:30
		分数のわり算	18	3:00
	3. 計算の利用	計算のくふう	19	6:00
		割合	20	4:00
		速さ	21	2:30
		単位	22	3:30
		四捨五入、四捨六入	23	3:30
	4. 正負の数の計算	正負の数の大小とたし算	24	4:00
		正負の数のひき算、いくつかの数の計算 (1)	25	4:30
		正負の数のかけ算、乗除	26	4:30
		正負の数のわり算、いくつかの数の計算 (2)	27	5:00
		いくつかの数の計算 (3)	28	3:30
		正負の数の利用	29	5:30
1章 数と式	「1節 文字と式」で学ぶこと	導入	31	2:30
		文字を使った式	32	2:30
		式の表し方、式の表し方	33	6:00
		単項式、多項式	34	6:00
		同類項をまとめる	35	5:30
		多項式と数のかけ算、多項式どうしのたし算、ひき算①	36	7:30
		多項式どうしのたし算、ひき算②	37	4:00
		乗数法則	38	5:00
		単項式どうしのかけ算、多項式のかけ算	39	6:00
		乗法公式①	40	8:30
		乗法公式②、乗法公式のつながり	41	6:30
	「2節 関数」で学ぶこと	関数分解 (1) 共通な関数をくりだす	42	4:00
		関数分解 (1) 公式を利用する関数分解	43	5:30
		関数分解 (2) たすきがけの関数分解①	44	3:30
		関数分解 (2) たすきがけの関数分解②	45	5:30
		関数、関数分解のくふう	46	4:30
		数の計算への利用	47	6:00
		導入	31	2:00
		平方根①	48	3:00
		平方根②	49	4:30
		根号をふくむ式のかけ算、わり算	50	3:30
		根号をふくむ式のたし算、ひき算①	51	4:30
		根号をふくむ式のたし算、ひき算②	52	5:00
	「3節 方程式と不等式」で学ぶこと	分母の有理化	53	4:30
		数の分類、数の範囲と四則	54	3:30
		関数	55	4:00
		分数と小数	56	3:30
		循環小数	57	4:30
		導入	31	2:30
		1 次方程式の解き方	58	3:00
		1 次方程式の利用	59	4:30
		不等式	60	4:00
		不等式と数直線	61	3:00
		不等式の性質①	62	4:00
	2章 2次関数	不等式の性質②	63	4:00
		不等式の解①	64	3:30
		不等式の解②	65	5:30
		不等式の解き方	66	4:30
		不等式の利用	67	4:30
		2 次方程式とその解き方①	68	4:30
		2 次方程式とその解き方②	69	5:30
		2 次方程式の解の公式①	70	5:00
		2 次方程式の解の公式②	71	5:30
		量のまとめ	72	6:30
		導入	73	2:30
2章 2次関数	「1節 2次関数とそのグラフ」で学ぶこと	関数	74	2:30
		関数の値	75	4:00
		座標	76	3:00
		1 次関数のグラフ	77	2:30
		2 次関数	78	3:30
		$y=ax^2$ のグラフ	79	2:00
		$y=ax^2$ のグラフ	80	3:30
		$y=ax^2$ のグラフ②	81	3:30

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		$y=ax^2+q$ のグラフ	82	3:00
		$y=ax^2+q$ のグラフ②	83	3:00
		$y=a(x-p)^2$ のグラフ	84	3:30
		$y=a(x-p)^2$ のグラフ②	85	3:30
		$y=a(x-p)^2+q$ のグラフ①	86	4:00
		$y=a(x-p)^2+q$ のグラフ②	87	3:30
		$y=ax^2+bx+c$ の定形①	88	6:00
		$y=ax^2+bx+c$ の定形②	89	6:30
		$y=ax^2+bx+c$ のグラフ	90	4:30
		2次関数のグラフのまとめ	91	3:30
		導入	73	2:00
		2次関数の最大値・最小値①	92	3:00
		2次関数の最大値・最小値②	93	5:00
		限られた範囲での最大値・最小値①	94	5:00
		限られた範囲での最大値・最小値②	95	6:00
		2次関数のグラフと2次方程式①	96	4:00
		2次関数のグラフと2次方程式②	97	5:00
		2次関数のグラフと2次不等式①	98	4:30
		2次関数のグラフと2次不等式②	99	4:30
		いろいろな2次不等式①	100	6:30
		いろいろな2次不等式②	101	4:30
		章のまとめ	102	3:30
		導入	103	2:30
3章 三角比	1章 三角比	相似な三角形	104	3:30
		三平方の定理	105	4:00
		タンジェント①	106	3:30
		タンジェント②	107	3:00
		サインとコサイン①	108	2:30
		サインとコサイン②	109	4:30
		三角比の表	110	3:30
		タンジェントの利用	111	4:00
		サイン・コサインの利用①	112	6:00
		サイン・コサインの利用②	113	3:00
		三角比の相互関係①	114	3:00
		三角比の相互関係②	115	4:00
		90° - Aの三角比	116	3:00
		導入	103	2:30
		2章 三角比の応用	117	3:30
		三角形の面積	118	3:00
		正弦定理①	119	4:00
		正弦定理②	120	4:30
		余弦定理①	121	5:00
		余弦定理②	122	3:30
		三角比と座標	123	4:30
		鋭角の三角比	124	4:30
		三角比の相互関係 (鋭角の三角形)	125	4:00
		180° - Aの三角比	126	5:00
		鋭角の三角比の利用	127	4:30
		面積図形と三角比	128	3:30
		章のまとめ	129	3:00
4章 データの分析	1章 データの分析	導入	130	3:00
		データにもとづいた問題解決の進め方①	131	3:00
		データにもとづいた問題解決の進め方②	132	3:00
		ドットプロット	133	3:30
		度数分布表とヒストグラム①	134	2:30
		度数分布表とヒストグラム②	135	4:00
		相対度数	136	3:30
		代表値	137	3:30
		外れ値	138	4:00
		四分位数	139	5:30
		箱ひげ図	140	3:00
		分散と標準偏差①	141	3:30
		分散と標準偏差②	142	3:00
		相関関係①	143	2:30
		相関関係②	144	3:00
		相関係数①	145	3:30
		相関係数②	146	2:30
		データにもとづく考え方①	147	4:00
		データにもとづく考え方②	148	3:00
		章のまとめ	149	2:00
5章 集合と論理	1章 集合と論理	導入	150	3:30
		集合	151	5:00
		部分集合、空集合と補集合	152	4:00
		共通部分と和集合	153	2:30
		空集合、閉路のまとめ	154	4:00
		命題と真・偽	155	4:30
		命題「p→q」、否定	156	5:00
		必要条件と十分条件	157	5:00
		命題と集合	158	4:00
		逆と対偶	159	4:00
		対偶を使った証明法	160	4:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
数Ⅰ学習		管理法	160	3:00
		量のまとめ	161	3:00
		どちらが大きい	162	4:00
		売り上げを最大にするには	163	3:30
		基準を満たす傾斜路を考えよう	164	3:30
		隣点と隣位の関係は？	165	3:00

総時間 11:11:00

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
数学	数学Ⅱ	4単位	1 2	2	東京書籍 新数学Ⅱ	

学習の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目標とする。その上で、色々な式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分積分についての基本的な概念や原理を理解し、数学的に表現、処理したりする力を身に付けるようにする。

添削指導	学習内容
第1回	式の計算
第2回	2次方程式
第3回	高次方程式
第4回	座標と直線の方程式
第5回	円の方程式・軌跡と領域
第6回	三角関数
第7回	加法定理
第8回	指数関数
第9回	対数関数

第10回	微分係数と導関数
第11回	導関数の応用
第12回	積分

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元名 「等式の証明」 2. 本時の学習 (1) 目標 左辺と右辺をそれぞれ計算することで、等式を証明し、論理的な思考力を養う。
2時間	1. 単元名 「不等式の証明」 2. 本時の学習 (1) 目標 左辺と右辺の差をとることで、不等式を証明し、論理的な思考力を養う。また、相加平均と相乗平均の間に成り立つ関係について理解し、それを用いて不等式を証明することができる。

メディア視聴	学習内容
1時間	◆2次方程式 (1) 複素数の計算 (2) 2次方程式の解
2時間	◆加法定理 (1) 加法定理の応用 (2) 弧度法

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	計算方法について理解を深め、数学的に問題解決することができる。
思考・判断・表現	- 問題の本質を理解し、表現することができる。 - 解決の過程を振り返り、事象の関係性について考察することができる。
主体的に学習に取り組む態度	粘り強く柔軟に考え、数学の楽しさを改めて認識することができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

数学Ⅱ 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

（別紙教科書解説動画映像参照）

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
1章 方程式・式と証明	1節 式の計算	3次の乗法公式	4	10:00
		3次の因数分解	5	13:00
		パスカルの三角形	6	08:30
		二項定理	7	09:00
		分数式とその約分	8	05:30
		分数式のかけ算とわり算	9	08:30
		分数式のたし算とひき算①	10	04:30
		分数式のたし算とひき算②	11	11:00
	2節 2次方程式	複素数①	12	04:30
		複素数②	13	05:30
		複素数の計算①	14	07:30
		複素数の計算②	15	09:30
		2次方程式の解の種類の種類	16	05:30
		判別式と解の種類	17	06:00
		解と係数の関係①	18	03:30
		解と係数の関係②	19	09:00
	3節 高次方程式	多項式のわり算①	20	06:00
		多項式のわり算②	21	11:00
		因数定理①	22	07:00
		因数定理②	23	10:00
		高次方程式①	24	06:00
		高次方程式②	25	09:00
		高次方程式③	26	11:30
		高次方程式④	27	07:30
	4節 式と証明	等式の証明①	28	05:00
		等式の証明②	29	07:30
		不等式の証明①	30	06:30
		不等式の証明②	31	09:00
	章のまとめ	章のまとめ	32	04:30
2章 図形と方程式	1節 座標と直線の方程式	2点間の距離	34	04:30
		線分の内分	35	05:00
		内分する点の座標	36	05:00
		外分する点の座標	37	05:00
		平面上の点の座標	38	05:00
		平面上の2点間の距離	39	04:30
		平面上の内分する点の座標①	40	03:30
		平面上の内分する点の座標②	41	05:00
		外分する点の座標	42	05:00
		三角形の重心の座標	43	05:00
		直線の方程式	44	05:30
		1点を通り、傾きがmの直線	45	05:30
		2点を通る直線①	46	06:30
		2点を通る直線②	47	03:00
		2直線の交点	48	05:00
	2節 円の方程式	2直線の平行	49	06:00
		2直線の垂直①	50	03:30
		2直線の垂直②	51	06:30
		円の方程式①	52	06:00
	3節 軌跡と領域	円の方程式②	53	09:00
		円の方程式③	54	09:30
		円と直線①	55	06:00
		円と直線②	56	05:30
		軌跡	57	04:30
		直線を境界とする領域①	58	03:30
		直線を境界とする領域②	59	05:30
		円を境界線とする領域①	60	04:00
	章のまとめ	円を境界線とする領域②	61	05:30
		連立不等式の表す領域①	62	03:00
		連立不等式の表す領域②	63	04:00
		章のまとめ	64	04:30
3章 三角関数	1節 三角関数	一般角①	66	06:00
		一般角②	67	05:00
		三角関数①	68	05:00
		三角関数②	69	07:30
		三角関数の相互関係①	70	05:00
		三角関数の相互関係②	71	06:30
		三角関数のグラフ①	72	06:00
		三角関数のグラフ②	73	05:00
		三角関数のグラフ③	74	06:00
		三角関数のグラフ④	75	07:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
	2章 加法定理	三角関数の性質①	76	08:00
		三角関数の性質②	77	08:00
		加法定理①	78	08:30
		加法定理②	79	09:30
		加法定理の応用①	80	07:30
		加法定理の応用②	81	06:00
		弧度法①	82	06:00
		弧度法②	83	08:00
		章のまとめ	84	06:00
		章のまとめ	84	06:00
4章 指数関数と対数関数	1節 指数関数	整数の指数①	86	07:00
		整数の指数②	87	09:00
		累乗根①	88	04:30
		累乗根②	89	05:30
		分数の指数①	90	07:00
		分数の指数②	91	08:30
		指数関数とそのグラフ①	92	05:30
		指数関数とそのグラフ②	93	06:30
		指数関数の利用①	94	06:00
		指数関数の利用②	95	07:00
	2節 対数関数	対数①	96	06:00
		対数②	97	08:00
		対数の性質①	98	05:00
		対数の性質②	99	08:30
		対数関数とそのグラフ①	100	06:30
		対数関数とそのグラフ②	101	07:00
		常用対数①	102	08:00
		常用対数②	103	07:30
		章のまとめ	104	04:30
		章のまとめ	104	04:30
5章 微分と積分	1節 微分係数と導関数	平均変化率①	106	06:00
		平均変化率②	107	06:00
		微分係数①	108	06:30
		微分係数②	109	08:00
		導関数①	110	05:30
		導関数②	111	06:30
		導関数の計算①	112	07:00
		導関数の計算②	113	08:30
		微分係数と接線の傾き	114	05:00
		接線の方程式	115	06:00
	2節 導関数の応用	関数の増加・減少①	116	06:00
		関数の増加・減少②	117	07:00
		関数の増加・減少③	118	08:00
		関数の極大・極小①	119	05:30
		関数の極大・極小②	120	08:30
		関数のグラフ	121	07:30
		関数の最大・最小①	122	07:30
		関数の最大・最小②	123	07:00
	3節 積分	不定積分①	124	05:00
		不定積分②	125	07:00
		不定積分③	126	09:00
		不定積分④	127	07:30
		定積分①	128	08:00
		定積分②	129	11:00
		面積①	130	04:00
		面積②	131	08:00
		面積③	132	09:30
		章のまとめ	133	04:30
課題学習		費用を最小に	134	06:30
		利益を最大に	135	05:00
		池が見えるのは何分間？	136	06:00
		計算尺を作ろう	137	05:00
		落下したときの瞬間の速さは？	138	05:00

総時間 14:15:00

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
数学	数学Ⅲ	3単位	9	2	東京書籍 新編数学Ⅲ	

学習の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目標とする。その上で、極限、微分法及び積分法についての基本的な概念や原理を理解し、数学的に表現、処理したりする力を身に付けるようにする。

添削指導	学習内容
第1回	関数
第2回	数列の極限
第3回	関数の極限
第4回	微分法・いろいろな関数の導関数
第5回	関数の増減
第6回	微分のいろいろな応用
第7回	不定積分
第8回	定積分
第9回	面積・体積・長さ

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元名 「導関数」 2. 本時の学習 (1) 目標 導関数の定義に基づき、三角関数、指数関数及び対数関数の導関数を考察することができるようにする。
2時間	1. 単元名 「接線の方程式」 2. 本時の学習 (1) 目標 導関数を用いて、いろいろな曲線の接線の方程式を求めることができるようにする。

メディア視聴	学習内容
1時間	(1) 関数と極限 (2) 微分 (3) 微分の応用 (4) 積分とその応用

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・概念や原理・法則などを体系的に理解することができる。 ・既習の知識と関連付け、より深く技能を身に着けることができる。
思考・判断・表現	・いろいろな関数の性質に着目し、事象を数学的に考察することができる。 ・問題解決の過程や結果を振り返り発展的に考察することができる。
主体的に学習に取り組む態度	・積極的に数学を活用し、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとすることができる。 ・「数学Ⅱ」の内容より深い内容を取り扱い、全体を通じて質的な向上ができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導） : 全9回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング） : 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点 : 所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

数学Ⅲ 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

（別紙教科書解説動画映像参照）

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
1章 関数と極限	グラフの形を予想してみよう	導入	8	06:30
		1 分数関数とそのグラフ①	10	04:30
	1節 関数	1 分数関数とそのグラフ②	11	06:30
		1 分数関数とそのグラフ③	12	07:30
		1 分数関数とそのグラフ④	13	09:00
		2 無理関数とそのグラフ①	14	06:30
		2 無理関数とそのグラフ②	15	07:30
		2 無理関数とそのグラフ③	16	06:00
		2 無理関数とそのグラフ④	17	06:00
		2 無理関数とそのグラフ⑤	18	08:30
		3 逆関数と合成関数①	19	05:00
		3 逆関数と合成関数②	20	08:00
		3 逆関数と合成関数③	21	05:00
		3 逆関数と合成関数④	22	07:30
		Training①	23-1	07:30
		Training②	23-2	08:00
	2節 数列の極限	1 数列の極限①	24	05:00
		1 数列の極限②	25	05:30
		1 数列の極限③	26	04:00
		1 数列の極限④	27	04:30
		1 数列の極限⑤	28	08:30
		1 数列の極限⑥	29	08:30
		1 数列の極限⑦	30	05:30
		2 無限等比数列①	31	04:00
		2 無限等比数列②	32	06:00
		2 無限等比数列③	33	08:00
		2 無限等比数列④	34	06:30
		2 無限等比数列⑤	35	06:30
		3 無限級数①	36	03:30
		3 無限級数②	37	06:00
		3 無限級数③	38	05:30
		3 無限級数④	39	05:30
		3 無限級数⑤	40	06:30
		3 無限級数⑥	41	05:00
		3 無限級数⑦	42	06:30
		3 無限級数⑧	43	05:00
		Training①	44-1	07:30
		Training②	44-2	08:30
	3節 関数の極限	1 いろいろな関数と極限①	45	04:00
		1 いろいろな関数と極限②	46	08:00
		1 いろいろな関数と極限③	47	07:00
		1 いろいろな関数と極限④	48	06:30
		1 いろいろな関数と極限⑤	49	05:30
		1 いろいろな関数と極限⑥	50	05:30
		1 いろいろな関数と極限⑦	51	07:30
		1 いろいろな関数と極限⑧	52	07:00
		1 いろいろな関数と極限⑨	53	06:00
		1 いろいろな関数と極限⑩	54	06:00
		1 いろいろな関数と極限⑪	55	05:30
		1 いろいろな関数と極限⑫	56	05:00
		1 いろいろな関数と極限⑬	57	06:00
		2 関数の連続性①	58	05:30
		2 関数の連続性②	59	04:30
		2 関数の連続性③	60(60-61)	10:00
		2 関数の連続性④	61	04:30
		2 関数の連続性⑤	62	05:00
		Training①	63-1	08:00
		Training②	63-2	08:00
		Level Up①	64-1	07:30
		Level Up②	64-2	04:00
		Level Up③	65-1	08:00
		Level Up④	65-2	06:30
		課題学習 Investigation 中点を結んでいくと？①	66	03:00
		課題学習 Investigation 中点を結んでいくと？②	67	11:00
2章 微分	導関数のグラフは？	導入	68	07:30
	1節 微分法	1 導関数①	70	03:30
		1 導関数②	71	05:00
		1 導関数③	72	04:30
		1 導関数④	73	05:30
		2 積・商の微分①	74	04:30

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		2 積・商の微分法②	75	06:00
		2 積・商の微分法③	76	07:30
		3 合成関数の微分法①	77	04:30
		3 合成関数の微分法②	78	07:30
		3 合成関数の微分法③	79	04:00
		3 合成関数の微分法④	80	05:00
		3 合成関数の微分法⑤	81-1	04:00
		Training	81-2	11:00
	2節 いろいろな関数の導関数	1 三角関数の導関数①	82(82-83)	07:30
		1 三角関数の導関数②	83	05:00
		2 対数関数・指数関数の導関数①	84	03:30
		2 対数関数・指数関数の導関数②	85	03:30
		2 対数関数・指数関数の導関数③	86	06:30
		2 対数関数・指数関数の導関数④	87	05:30
		2 対数関数・指数関数の導関数⑤	88	06:30
		3 高次導関数①	89	05:30
		3 高次導関数②	90	06:30
		Training①	91-1	08:30
		Training②	91-2	07:00
		Level Up①	92-1	04:30
		Level Up②	92-2	05:00
		Level Up③	93-1	03:30
		Level Up④	93-2	06:00
		課題学習 Investigation 積の微分法についての考察を深めよう①	94(94-95)	11:00
		課題学習 Investigation 積の微分法についての考察を深めよう②	95	06:00
3章 微分応用	グラフの形を予想してみよう	導入	96	08:00
	1節 関数の増減	1 接線の方程式①	98	03:30
		1 接線の方程式②	99	05:30
		1 接線の方程式③	100(100-101)	06:00
		1 接線の方程式④	101	04:00
		1 接線の方程式⑤	102	03:00
		1 接線の方程式⑥	103	05:00
		1 接線の方程式⑦	104	06:00
		1 接線の方程式⑧	105	03:30
		1 接線の方程式⑨	106	04:30
		1 接線の方程式⑩	107	05:00
		2 関数の増減①	108	02:30
		2 関数の増減②	109	04:30
		2 関数の増減③	110(110-111)	09:00
		2 関数の増減④	111	03:30
		2 関数の増減⑤	112	05:00
		2 関数の増減⑥	113	05:00
		3 第2次導関数とグラフ①	114	02:30
		3 第2次導関数とグラフ②	115	03:30
		3 第2次導関数とグラフ③	116	06:00
		3 第2次導関数とグラフ④	117	04:30
		3 第2次導関数とグラフ⑤	118	06:00
		3 第2次導関数とグラフ⑥	119	04:30
		Training①	120-1	10:30
		Training②	120-2	06:30
	2節 微分のいろいろな応用	1 最大・最小①	121	05:00
		1 最大・最小②	122	04:00
		2 方程式・不等式への応用①	123	05:30
		2 方程式・不等式への応用②	124	07:00
		2 方程式・不等式への応用③	125	03:30
		3 速度・加速度①	126	03:30
		3 速度・加速度②	127	04:00
		3 速度・加速度③	128	02:30
		3 速度・加速度④	129	06:30
		3 速度・加速度⑤	130	04:00
		4 近似式①	131	03:30
		4 近似式②	132	05:00
		4 近似式③	133-1	03:00
		Training	133-2	11:30
		Level Up①	134-1	06:30
		Level Up②	134-2	09:00
		Level Up③	135-1	06:00
		Level Up④	135-2	07:30
		課題学習 Investigation 円錐の体積が最大になるのは？①	136	02:30
		課題学習 Investigation 円錐の体積が最大になるのは？②	137	09:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
4章 積分とその応用	速さの変化から進んだ距離の変化を捉えよう	導入	138	05:30
		1 不定積分①	140	03:00
		1 不定積分②	141	04:30
		1 不定積分③	142	06:00
		1 不定積分④	143	04:30
		1 不定積分⑤	144	04:30
		2 置換積分法①	145	03:30
		2 置換積分法②	146	08:00
		2 置換積分法③	147	07:30
		2 置換積分法④	148	05:30
		3 部分積分法①	149	03:30
		3 部分積分法②	150	09:00
		4 いろいろな関数の不定積分①	151	06:30
		4 いろいろな関数の不定積分②	152	05:00
		4 いろいろな関数の不定積分③	153	05:30
		Training①	154-1	07:00
		Training②	154-2	06:30
	2節 定積分	1 定積分①	155	03:30
		1 定積分②	156	06:30
		1 定積分③	157	05:30
		2 定積分の置換積分法と部分積分法①	158	03:00
		2 定積分の置換積分法と部分積分法②	159	05:30
		2 定積分の置換積分法と部分積分法③	160	05:30
		2 定積分の置換積分法と部分積分法④	161	04:00
		2 定積分の置換積分法と部分積分法⑤	162	04:30
		2 定積分の置換積分法と部分積分法⑥	163	07:00
		2 定積分の置換積分法と部分積分法⑦	164	05:00
		3 定積分で表された関数①	165	02:30
		3 定積分で表された関数②	166	06:00
		3 定積分で表された関数③	167	04:00
		4 定積分と区分求積法①	168	02:30
		4 定積分と区分求積法②	169	04:30
		4 定積分と区分求積法③	170	03:30
		4 定積分と区分求積法④	171	06:00
		4 定積分と区分求積法⑤	172(172-173)	09:00
		4 定積分と区分求積法⑥	173	04:30
		Training①	174-1	10:00
		Training②	174-2	10:00
	3節 面積・体積・長さ	1 面積①	175	03:00
		1 面積②	176	03:30
		1 面積③	177	04:30
		1 面積④	178	04:30
		1 面積⑤	179	03:30
		2 体積①	180	04:00
		2 体積②	181	04:30
		2 体積③	182	04:30
		2 体積④	183(183-184)	05:00
		2 体積⑤	184	06:00
		2 体積⑥	185	08:00
		3 曲線の長さとのり①	186	05:00
		3 曲線の長さとのり②	187(187-188)	05:30
		3 曲線の長さとのり③	188	04:00
		3 曲線の長さとのり④	189	06:00
		3 曲線の長さとのり⑤	190	05:00
		Training①	191-1	07:00
		Training②	191-2	08:00
		Level Up①	192-1	07:00
		Level Up②	192-2	06:00
		Level Up③	193-1	08:00
		Level Up④	193-2	05:30
		課題学習 Investigation どのくらいすくえば大きじ2分の1?①	194	01:30
		課題学習 Investigation どのくらいすくえば大きじ2分の1?②	195	11:00
		発展 微分方程式①	196	02:30
		発展 微分方程式②	197	04:30
		発展 微分方程式③	198	04:00
巻末付録		探究しよう 1 二等分線の長さの極限値	200	06:30
		2 「〇回に1回無料!」を〇回行って一度も無料にならない確率	201	05:30
		3 球の表面積	202	08:30
		入試に備えよう 1章 関数と極限	204	11:30
		入試に備えよう 2章 微分	205	09:30

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		入試に備えよう 3章 積分の応用	206	14:00
		入試に備えよう 4章 積分とその応用	207	13:00
		数学を深めよう 1 三角関数の和や差を積の形に直す	208	04:30
		数学のパノラマ 和・差を積に直す公式とうなり	209	03:00
		仕事に活かそう 数学を使う人とつくる人	210	08:00
		総時間	21:01:00	

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
数学	数学 A	2 単位	6	1	東京書籍 新数学 A	

学習の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目標とする。その上で、図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理を理解し、数学的に表現、処理できる力を身に付けるようにする。

添削指導	学習内容
第1回	場合の数
第2回	確率
第3回	平面図形（1）
第4回	平面図形（2）
第5回	約数と倍数
第6回	整数の性質の応用

面接指導	学習内容
1 時間	1. 単元名 「ユークリッドの互除法」 2. 本時の学習 (1) 目標 整数を中心とした数学的な要素を見出し、数学の内容の理解を深めると同時に、現実の事象を、数学を用いて考察できるような力を培う。

メディア視聴	学習内容
1 時間	◆確率 (1) 確率の計算 (2) 余事象の確率

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、現実の世界の事象を数学と結び付け数学的に解釈し、表現・処理する技能を身につけることができる。
思考・判断・表現	・数学の性質について思考を深め、自らそれを見出し論理的に考察し、適切な活用方法を判断することができる。
主体的に学習に取り組む態度	・数学のよさを認識し数学を活用し、粘り強く考え数学的根拠に基づいて問題解決をすることができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導） : 全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング） : 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1 単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点 : 所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

数学A 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

（別紙教科書解説動画映像参照）

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
1章 場合の数と確率	「1節 場合の数」で学ぶこと	導入	3	3:00
	1節 場合の数	場合①	4	3:30
		場合②	5	5:00
		場合の要素の個数①	6	4:30
		場合の要素の個数②	7	6:00
		個数の数え方①	8	2:30
		個数の数え方②	9	2:30
		和の法則と積の法則①	10	3:30
		和の法則と積の法則②	11	3:30
		順列①	12	3:30
		順列②	13	4:00
		順列の利用①	14	4:00
		順列の利用②	15	4:00
		いろいろな順列①	16	4:00
		いろいろな順列②	17	2:30
		組合せ①	18	4:00
		組合せ②	19	5:30
		組合せの利用①	20	3:00
		組合せの利用②	21	4:00
	「2節 確率」で学ぶこと	導入	3	2:30
	2節 確率	事象と確率①	22	3:30
		事象と確率②	23	4:00
		確率の計算①	24	4:00
		確率の計算②	25	4:30
		排反事象の確率①	26	4:30
		排反事象の確率②	27	2:30
		余事象の確率①	28	3:30
		余事象の確率②	29	5:00
		独立な試行の確率①	30	2:30
		独立な試行の確率②	31	3:30
		反復試行の確率①	32	3:00
		反復試行の確率②	33	5:30
		条件つき確率①	34	3:00
		条件つき確率②	35	3:00
		期待値①	36	3:00
		期待値②	37	5:00
	章のまとめ	章のまとめ	38	3:30
2章 図形の性質	「1節 平面図形の基礎」で学ぶこと	導入	39	1:30
	1節 平面図形の基礎	直線と角①	40	3:00
		直線と角②	41	3:00
		多角形の角①	42	3:30
		多角形の角②	43	3:00
		三角形の合同と相似①	44	2:30
		三角形の合同と相似②	45	3:30
		基本の作図①	46	2:00
		基本の作図②	47	3:00
		作図の利用①	48	3:30
		作図の利用②	49	3:30
	「2節 三角形の性質」で学ぶこと	導入	39	2:00
	2節 三角形の性質	三角形と比①	50	4:30
		三角形と比②	51	3:30
		三角形の重心①	52	4:00
		三角形の重心②	53	3:30
		三角形の外心と内心①	54	4:00
		三角形の外心と内心②	55	3:00
		角の二等分線と線分の比①	56	2:30
		角の二等分線と線分の比②	57	3:00
	「3節 円の性質」で学ぶこと	導入	30	2:30
	3節 円の性質	円の接線①	58	3:00
		円の接線②	59	2:30
		円周角の定理①	60	3:00
		円周角の定理②	61	5:00
		円に内接する四角形①	62	3:30
		円に内接する四角形②	63	3:00
		接線と弦のつくる角①	64	2:30
		接線と弦のつくる角②	65	4:30
		方べきの定理①	66	4:00
		方べきの定理②	67	3:00
		2つの円①	68	2:30
		2つの円②	69	3:00
	「4節 空間図形」で学ぶこと	導入	30	2:00
	4節 空間図形	直線や平面の位置関係①	70	3:00
		直線や平面の位置関係②	71	3:30
		直線や平面の位置関係③	72	3:30
		直線や平面の位置関係④	73	2:30
		多面体①	74	2:00
		多面体②	75	2:30
	章のまとめ	章のまとめ	76	4:00
3章 数と人間の活動	「1節 数や位置を表す」で学ぶこと	導入	77	1:30

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
	1節 数や位置を表す	数を表す①	78	4:00
		数を表す②	79	2:00
		数の表し方のしくみ①	80	4:00
		数の表し方のしくみ②	81	3:30
		2進法①	82	5:00
		2進法②	83	5:00
		位置を表す①	84	3:30
		位置を表す②	85	3:30
	「2節 数のつくりを調べる」で学ぶこと	導入	77	2:00
	2節 数のつくりを調べる	約数と倍数①	86	3:00
		約数と倍数②	87	3:30
		最大公約数と最小公倍数①	88	4:30
		最大公約数と最小公倍数②	89	5:00
		ユークリッドの互除法①	90	2:00
		ユークリッドの互除法②	91	2:30
	「3節 はかる」で学ぶこと	導入	77	1:30
	3節 はかる	測る①	92	3:30
		測る②	93	4:30
		量る①	94	5:00
		量る②	95	4:30
		計る①	96	4:00
		計る②	97	4:30
		導入	77	1:30
	4節 数で遊ぶ	数で遊ぼう（魔方陣）①	98	4:00
		数で遊ぼう（魔方陣）②	99	5:00
		図形で遊ぼう（64＝65?）①	100	3:30
		図形で遊ぼう（64＝65?）②	101	5:00
		規則性で遊ぼう（ハノイの塔）①	102	3:30
		規則性で遊ぼう（ハノイの塔）②	103	4:00
		論理で遊ぼう（樗子の色あて）①	104	5:00
		論理で遊ぼう（樗子の色あて）②	105	4:00
		和算で遊ぼう（塵劫記）①	106	3:30
		和算で遊ぼう（塵劫記）②	107	6:00
		和算で遊ぼう（塵劫記）③	108-1	4:00
		和算で遊ぼう（塵劫記）④	108-2	4:30
	章のまとめ	章のまとめ	109	5:00
				総時間 22:00:00

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
数学	数学B	2単位	6	1	東京書籍 新編数学B	

学習の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目標とする。その上で、数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理を理解し、数学的に表現、処理したりする力を身に付けるようにする。

添削指導	学習内容
第1回	数列・いろいろな数列
第2回	漸化式と数学的帰納法
第3回	確率分布
第4回	正規分布
第5回	統計的な推測
第6回	数学と社会生活

面接指導	学習内容
1 時間	1. 単元名 「いろいろな数列」 2. 本時の学習 (1) 目標 等差数列、等比数列を理解したうえで、階差数列をはじめとしたいろいろな数列の一般項や和を求める力を養う。
メディア視聴	学習内容
1 時間	◆数列 (1) 数列 (2) 等差数列 (3) 等差数列の和 (4) 等比数列 (5) 等比数列の和

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・事象の変化に注目し、問題発見・解決のための基礎をなす技能を身に付けることができる。
思考・判断・表現	・規則性に着目し、事象を数学的に表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え、問題解決のためにさらに数学を活用しようとすることができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

数学B 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

（別紙教科書解説動画映像参照）

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
1章 数列	1節 数列	導入	8	05:30
		数列の基礎	10	05:30
		一般項	11	07:00
		等差数列	12	06:00
		等差数列の一般項①	13	04:30
		等差数列の一般項②	14	05:30
		等差数列の一般項③	15	08:30
		等差数列の和①	16	05:30
		等差数列の和②	17	05:30
		倍数の和	18	07:00
		等差数列の和③	19	05:30
		等比数列	20	05:00
		等比数列の一般項①	21	05:00
		等比数列の一般項②	22	07:00
		等比数列の和①	23	04:30
		等比数列の和②	24	05:00
		等差数列の和と公比	25	07:30
		数列の演習問題①	26-1	05:00
		数列の演習問題②	26-2	05:00
	2節 いろいろな数列	数列の和と記号①	27	04:30
		数列の和と記号②	28	05:30
		数列の和と記号③	29	07:00
		数列の和と記号④	30	05:00
		数列の和と記号⑤	31	05:30
		数列の和と記号⑥	32	05:30
		いろいろな数列	33	04:00
		階差数列	34	04:30
		階差数列と一般項	35	08:00
		数列の和と一般項	36	05:00
		分数で表された数列の和	37	05:30
		等差数列×等比数列	38	05:00
		階差数列	39	05:00
		いろいろな数列の演習問題①	40-1	08:30
		いろいろな数列の演習問題②	40-2	05:30
		和の公式の別の導き方	41	04:00
	3節 漸化式と数学的帰納法	漸化式	42	03:30
		漸化式と一般項①	43	04:30
		漸化式と一般項②	44	07:00
		漸化式と一般項③	45	04:00
		漸化式と一般項④	46	05:30
		数学的帰納法	47	03:30
		数学的帰納法による整数の性質の証明	48	03:30
		数学的帰納法による等式の証明	49	11:30
		数学的帰納法による不等式の証明	50	05:00
		漸化式と数学的帰納法	51	04:30
		漸化式と数学的帰納法の演習問題①	52-1	08:00
		漸化式と数学的帰納法の演習問題②	52-2	12:30
		3項間の漸化式	53	09:00
		1章のまとめと応用問題①	54-1	04:30
		1章のまとめと応用問題②	54-2	06:00
		1章のまとめと応用問題③	55-1	05:30
		1章のまとめと応用問題④	55-2	07:30
		階差を利用した数列の和①	56	03:30
		階差を利用した数列の和②	57	09:00
2章 統計的な推測	1節 標本調査	導入	58	04:30
		標本調査と母集団	60	03:30
	2節 確率分布	標本と抽出	61	04:00
		確率分布①	62	03:00
		確率分布②	63	04:30
		確率変数と確率変数の平均	64	04:00
		確率変数の平均	65	05:00
		確率変数の分散	66	04:00
		分散の計算	67	05:00
		平均と分散・標準偏差	68	04:30
		確率変数の平均と分散の性質	69	04:00
		確率変数の分散と標準偏差①	70	04:00
		確率変数の分散と標準偏差②	71	04:00
		確率変数の和の平均①	72	03:30
		確率変数の和の平均②	73	03:30
		独立な確率変数	74	03:30

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		独立な確率変数の積の平均	75	05:00
		独立な確率変数の和の分散	76	05:30
		二項分布	77	03:30
		二項分布の平均	78	04:00
		二項分布の平均と分散①	79	04:00
		二項分布の平均と分散②	80	04:30
		確率分布の演習問題①	81-1	05:00
		確率分布の演習問題②	81-2	05:30
	3節 正規分布	正規分布と連続分布	82	04:30
		連続分布	83	04:00
		正規分布	84	05:00
		標準正規分布	85	03:30
		正規分布と標準・標準化①	86	07:30
		正規分布と標準・標準化②	87	06:00
		二項分布の正規分布による近似①	88	06:00
		二項分布の正規分布による近似②	89	06:00
		二項分布の正規分布による近似③	90	05:00
		正規分布の演習問題①	91-1	06:30
		正規分布の演習問題②	91-2	05:30
	4節 統計的な推測	母平均の推定とその分布	92	03:00
		母平均の推定とその分布・標準平均	93	04:30
		標準平均	94	04:00
		標準平均の平均と分散	95	03:30
		標準平均の分布と正規分布	96	03:00
		標準平均の分布	97	04:30
		標準平均と正規分布	98	03:30
		信頼度95%の信頼区間	99	03:30
		母平均の推定	100	05:00
		標準の大きさの決定	101	04:00
		母比率の推定	102	05:00
		仮説検定・母平均の検定	103	04:00
		仮説検定	104	04:00
		母平均の検定	105	03:30
		母比率の検定	106	06:00
		統計的な推測の演習問題①	107-1	05:00
		統計的な推測の演習問題②	107-2	04:30
		2章のまとめと応用問題①	108-1	06:00
		2章のまとめと応用問題②	108-2	04:30
		2章のまとめと応用問題③	109-1	04:30
		2章のまとめと応用問題④	109-2	03:00
		1か月間に何冊の本を読むか①	110	05:00
		1か月間に何冊の本を読むか②	111	10:30
3章 数学と社会生活		導入	112	02:30
			113	02:30
	1節 数学的モデル化	数学的モデルを用いた予測①	114	02:30
		数学的モデルを用いた予測②	115	02:00
		数学的モデルを用いた予測③	116	03:30
		数学的モデルを用いた予測④	117	03:00
		数学的モデルを用いた予測⑤	118	02:30
		数学的モデルを用いた予測⑥	119	03:00
	2節 関数モデル	関数モデルを用いた予測①	120	02:30
		関数モデルを用いた予測②	121	02:30
		関数モデルを用いた予測③	122	03:00
		関数モデルを用いた予測④	123	03:00
		関数モデルを用いた予測⑤	124	03:30
		関数モデルを用いた予測⑥	125	03:30
	3節 確率モデル	確率モデルを用いた予測①	126	02:30
		確率モデルを用いた予測②	127	03:00
		確率モデルを用いた予測③	128	03:00
		確率モデルを用いた予測④	129	04:30
		軟布回・回帰直線・シミュレーション	130	03:00
	4節 幾何モデル	幾何モデルを用いた考察①	131	02:30
		幾何モデルを用いた考察②	132	03:00
		幾何モデルを用いた考察③	133	03:00
		幾何モデルを用いた考察④	134	03:00
		幾何モデルを用いた考察⑤	135	03:30
		幾何モデルを用いた考察⑥	136	05:00
	5節 フェルミ推定	フェルミ推定による推定①	137	02:30
		フェルミ推定による推定②	138	03:00
		フェルミ推定による推定③	139	03:30
		フェルミ推定による推定④	140	03:30

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
巻末付録		導の活用①	142	02:30
		導の活用②	143	08:30
		漸化式と一般項	144	04:30
		自転車と徒歩で差はある？	145	04:00
		容量の平均は200より少ない？①	146	02:30
		容量の平均は201より少ない？②	147	04:30
		トマト作りと数学①	148	03:30
		トマト作りと数学②	149	04:30

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
数学 (学校設定科目)	キャリア数学	2単位	6	1	東京書籍 数学 I Essence	

学習の目標

基礎的な知識の習得と技能を図り、数学的な見方や考え方の良さを認識し、活用できるようにすることを目標とする。

添削指導	学習内容
第1回	計算問題、及び多項式の演習
第2回	多項式の展開と因数分解。立体の表面積と体積。
第3回	方程式の演習。文章問題から方程式を求める。
第4回	比例・反比例、変化の割合について。変域から最小値を求める。
第5回	確率・円の性質・平面図形の角について。
第6回	相似な図形、三角形と四角形、相似比・面積比・体積比について。

面接指導	学習内容
1時間	計算問題、多項式の展開と因数分解について。

メディア視聴	学習内容
1時間	多項式の展開と因数分解、方程式の演習。比例・反比例、変化の割合。

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	数学の基本的な計算を身につけ、活用することができる。
思考・判断・表現	・多面的かつ論理的に考察することができる。 ・目的に応じて適切に判断することができる。

主体的に学習に取り組む態度	・粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとすることができる。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めることができる。
---------------	---

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

キャリア数学 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

（別紙教科書解説動画映像参照）

キャリア数学

教科書解説動画映像一覧

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
第1章 数と式に関する問題	1-6 式の展開と因数分解	式の展開と因数分解(1)	50-1	13:41
		式の展開と因数分解(2)	50-2	12:10
		式の展開と因数分解(3)	51-1	12:04
		式の展開と因数分解(4)	51-2	25:01
第3章 図形に関する問題	3-6 相似な図形	平行線と三角比の相似	128-137	16:45
			総時間	1:19:41

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
理科	科学と人間生活	2単位	6	4	東京書籍 科学と人間生活	

学習の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験を行うことを通して、必要な資質・能力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容
第1回	・身のまわりの微生物 ・生態系における微生物のはたらき ・窒素と微生物のはたらき ・水中の微生物のはたらき ・発酵 ・医薬品と微生物
第2回	・ヒトの視覚 ・血糖濃度を調節するしくみ ・遺伝子とDNA ・遺伝子とそのはたらき
第3回	・金属の性質 ・金属の製錬とさびを防ぐ方法 ・プラスチックについて ・繊維の種類 ・体に必要な栄養素 ・脂質の性質 ・タンパク質の性質 ・リサイクルについて
第4回	・光の進み方とその見え方 ・光の波としての性質 ・目に見える光と色の見え方 ・電磁波の利用
第5回	・熱運動 ・熱容量と比熱および熱の伝わり方 ・エネルギーについて ・エネルギーの有効利用
第6回	・太陽と月がつくる暦 ・太陽の放射エネルギー，および太陽がつくる大気と海洋の循環 ・移り変わる地球の景観，山地や低地のでき方，および太陽のエネルギーがつくる景観 ・地震による災害，および火山による災害

面接指導	学習内容
1時間	微生物とその利用
2時間	体を守る免疫のしくみ
3時間	生命現象の大もととなる遺伝子のはたらき
4時間	金属の性質とその再利用

メディア視聴	学習内容
1時間	水中の微生物のはたらき

2時間	遺伝子とそのはたらき
3時間	体に必要な栄養素
4時間	太陽と月がつくる暦

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・自然と人間生活とのかかわり及び化学技術と人間生活とのかかわりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技術を身に着けることができる。
思考・判断・表現	・観察・実験などを行い、人間生活と連づけて科学的に探究する力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

科学と人間生活 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

（別紙教科書解説動画映像参照）

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
	科学技術の発展	科学技術の歴史と発展	6	5:00
	エネルギーや情報技術の発展	エネルギーや情報技術の発展①	8	4:30
		エネルギーや情報技術の発展②	10	4:30
	持続可能な未来のために	持続可能な未来のために	12	4:00
1編 生命の科学	1章 微生物とその利用	導入	14	3:00
		復習	15	4:00
		①さまざまな微生物 / A 身のまわりの微生物	16	4:30
		微生物の観察	17	4:00
		いろいろな微生物とその大きさ	18	3:00
		さまざまな微生物	19	5:30
		B 生態系における微生物のはたらき	20	4:30
		微生物のはたらきと炭素の循環	21	6:30
		C 窒素と微生物のはたらき	22	4:30
		微生物のはたらきと窒素の循環	23	5:00
		D 水中の微生物のはたらき	24	4:00
		微生物を用いた環境の浄化	25	3:00
		②私たちの暮らしへの微生物の利用 / A 食品と微生物	26	4:30
		発酵食品と微生物の関わり	27	5:00
		B 発酵のしくみ	28	3:00
		酵母による発酵の反応	29	4:30
		アルコール発酵とその利用例	30	4:30
		乳酸発酵とその利用例	31	4:00
		C 微生物の発見の歴史	32	4:30
		ウイルスの発見	33	5:00
		D 医薬品と微生物	34	4:00
		微生物からつくられるさまざまな医薬品	35	5:00
		学習内容の発展	36	4:30
		章末確認テスト	37	6:30
	2章 ヒトの生命現象	導入	38	2:30
		復習	39	3:30
		①ヒトの視覚と光による影響 / A 視覚とは何か	40	4:30
		なぜ錯覚が起こるのか	41	5:30
		B 目の構造とはたらき	42	2:30
		ヒトの眼球の構造	43	4:30
		遠近の調節	44	6:00
		体内時計	45	5:30
		②血糖濃度を調節するしくみ / A 血糖とは何か	46	3:00
		血糖濃度	47	5:00
		B 血糖濃度の調節	48	4:00
		インスリンとグルカゴンのはたらきを考察しよう	49	4:30
		血糖濃度の調節のしくみ	50	4:00
		糖尿病	51	4:30
		③生命現象の大本となる遺伝子のはたらき / A 遺伝子とDNA	52	4:30
		遺伝子とDNAの関係	53	6:00
		B DNAの遺伝情報からタンパク質へ	54	5:00
		転写と翻訳	55	4:00
		④体を守る免疫のしくみ / A 免疫ではたらく抗体	56	4:30
		B 細胞の飛び道具としてはたらく抗体	57	4:30
		B 免疫記憶	58	5:00
		免疫反応によって起こるアレルギー	59	4:30
		C 感染症の予防	60	4:00
		ワクチン開発で続く感染症との戦い	61	5:30
		学習内容の発展	62	6:30
		章末確認テスト	63	6:00
2編 物質の科学	1章 衣料と食品	導入	64	3:00
		復習	65	3:30
		①衣料の科学 / A 繊維の種類と性質	66	2:30
		繊維の利用	67	5:00
		繊維を見分ける	68	3:00
		繊維の種類	69	5:30
		B 生物からつくられる天然繊維	70	5:00
		動物繊維	71	5:30
		C 石油からつくられる合成繊維	72	4:30
		再生繊維・半合成繊維	73	6:30
		②食品の科学 / A 体に必要な栄養素	74	5:30
		エネルギーとカロリー	75	5:00
		無機質（ミネラル）とビタミン	76	5:00
		三大栄養素の消化と吸収	77	5:30
		B 脂質の性質	78	5:30
		油脂の分解	79	6:00
		C 炭水化物の性質	80	6:00
		炭水化物の種類とデンプンの消化	81	5:30
		D タンパク質の性質	82	4:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
	2章 材料とその再利用	タンパク質の抽出	83	6:00
		学習内容の総復習	84	5:30
		章末確認テスト	85	6:00
		導入	86	3:30
		復習	87	4:30
		①リサイクルとは何か / A 資源の再利用と3R	88	5:00
		マテリアルリサイクル以外の方法はあるか	89	5:00
		②金属の性質とその再利用 / A 金属の性質	90	5:00
		金属が電気を通すのはなぜだろうか	91	6:00
		B 異なる金属の区別	92	4:30
		金属の性質による区別	93	4:00
		金属の陽イオンへのなりやすさ	94	5:30
		周期表と原子の電子配置の関係	95	7:00
		C 金属の製錬	96	4:30
		鉄・アルミニウムの精錬	97	5:30
		D さびとその防止	98	5:00
		さびを防ぐ方法	99	6:00
		E 金属の再生利用	100	4:30
		アルミニウム缶の再生利用（リサイクル）	101	5:30
		③プラスチックの性質とその再利用 / A プラスチックの性質と分類	102	5:00
		プラスチックの種類と特徴	103	3:30
		プラスチックの分類	104	3:30
		プラスチックは何かからできているのか	105	6:30
		B プラスチックはどのようにつくるのか	106	4:30
		複合重合	107	4:30
		C さまざまな機能をもつプラスチック	108	4:30
		高級水溶性分子化合物	109	5:30
		D プラスチックの再生利用	110	4:00
		サーマルリサイクル	111	5:00
		学習内容の総復習	112	6:00
		章末確認テスト	113	5:00
3編 光や熱の科学	1章 光の性質とその利用	導入	114	3:00
		復習	115	3:00
		①光の進み方とその基本的な性質 / A 光の進み方	116	5:00
		境界面における光の進み方	117	6:00
		B 光の分散	118	5:30
		波長とは何だろうか	119	6:30
		C 光の回折と干渉	120	5:30
		シャボン玉の虹模様のはしくみ	121	4:00
		D 偏光	122	4:30
		身のまわりの偏光	123	5:30
		②目に見える光と色の見え方 / A さまざまなスペクトル	124	5:30
		線スペクトル	125	5:30
		B 光の3原色と色	126	4:30
		物体の色を決めるもの	127	6:00
		③目に見えない光とその利用 / A 電磁波の利用①	128	4:00
		電磁波の種類と性質	129	4:30
		赤外線とその利用	130	4:30
		紫外線とその利用	131	5:30
		B 電磁波の利用②	132	5:00
		X線とガンマ線	133	5:30
		学習内容の総復習	134	5:30
		章末確認テスト	135	5:30
	2章 熱の性質とその利用	導入	136	2:30
		復習	137	4:00
		①熱とは何か / A 原子や分子の熱運動	138	5:30
		温度の表し方	139	5:30
		B 熱の伝わり方	140	5:00
		熱伝導	141	6:30
		C 熱容量と比熱	142	5:00
		物体の温度変化に必要な熱量	143	4:30
		物質による温度の上がりやすさ	144	7:00
		水の比熱と人間生活	145	5:30
		②エネルギーの利用と私たちの暮らし / A 力学的エネルギーから熱エネルギー	146	5:00
		力学的エネルギーによる熱の発生を確認しよう	147	6:00
		B ほかのエネルギーから熱エネルギーへ	148	6:30
		家庭での電気の使い方を考えよう	149	6:00
		C 熱エネルギーから仕事への変換	150	4:30
		可逆変化と不可逆変化	151	4:30
		D エネルギーの有効利用	152	4:30
		太陽エネルギーの利用	153	5:00
		学習内容の総復習	154	6:00
		章末確認テスト	155	8:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
4編 宇宙や地球の科学	1章 自然景観と自然災害	導入	156	3:00
		復習	157	4:00
		①身近な自然景観の成り立ち / A 移り変わる地球の景観	158	7:00
		B 山地や低地のでき方	160	6:00
		断層が作る隆起と低地	161	5:30
		C 火山がつくる景観	162	4:00
		山脈も火山も地球内部の熱がもたらす	163	5:30
		D 太陽のエネルギーがつくる景観	164	4:30
		流水が地表にもたらす作用	165	6:00
		②自然災害と防災 / A 自然災害とは	166	5:00
		自然災害は対策によって軽減できる	167	4:00
		B 地震による災害	168	4:00
		プレート境界の地震と内陸の地震	169	4:30
		プレート境界の地震は繰り返し、ときに連鎖する	170	4:30
		地震による被害を小さくするための取り組み	171	4:30
		C 火山による災害と防災	172	4:00
		噴火の監視とハザードマップ	173	5:30
		D 気象災害・土砂災害と防災	174	4:00
		暴風・大雪・雹など	175	4:00
		気象災害を軽減する対策	176	4:00
		注意報・警報・特別警報を知る	177	5:30
		E 自然災害との付き合い方	178	4:00
		自分の命は自分で守る	179	4:30
		学習内容の整理	180	5:30
		章末確認テスト	181	6:00
	2章 太陽と地球	導入	182	2:30
		復習	183	4:30
		①太陽と月がもたらすリズム / A 太陽と月がつくる潮	184	5:00
		太陽がつくる1年・月がつくるひと月	185	5:30
		B 海水面の変動と潮の満ち干をもたらす力	186	4:00
		潮の満ち干と月	187	5:30
		潮位の変動と周期性	188	5:30
		潮の満ち干と塩分の濃縮	189	5:00
		②太陽が動かす大気と水 / A 太陽の放射エネルギー	190	4:30
		太陽活動の変動	191	6:00
		B 地球を暖める太陽の放射エネルギー	192	5:00
		気候変動	193	5:00
		C 太陽がつくる大気の大循環	194	5:00
		太陽がつくる大気の大循環	195	6:30
		D 大気と海洋の循環がつくる気候	196	4:00
		気候は何によって決まるか考えよう	197	6:30
		E 日本の四季と気象災害	198	4:00
		季節風と季節による気圧配置の変化	199	5:30
		季節の変化と気象災害	200	3:30
		さまざまな気象災害	201	5:00
		学習内容の整理	202	6:00
		章末確認テスト	203	7:00
5編 課題研究		探究活動の進め方①	204	4:00
		探究活動の進め方②	205	4:00
		探究活動の進め方③	206	4:30
		探究活動の進め方④	207	3:00
		課題研究① 酵母について調べよう①	208	5:00
		課題研究① 酵母について調べよう②	210	4:30
		課題研究② 地域の自然災害と防災について考えよう①	211	4:00
		課題研究② 地域の自然災害と防災について考えよう②	212	5:00
		課題研究テーマ事例①	213	4:30
		課題研究テーマ事例②	214	5:00

総時間 16:22:30

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
理科	生物基礎	2単位	6	4	東京書籍 新編生物基礎	

学習の目標	
生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験を行うことを通して、必要な資質・能力を育成することを目標とする。	
添削指導	学習内容
第1回	生物の多様性と共通性、及び生物とエネルギー
第2回	遺伝情報とDNA、遺伝情報とタンパク質の合成
第3回	ヒトの体を調整するしくみ
第4回	免疫の仕組み
第5回	植生と遷移
第6回	生態系と生物の多様性

面接指導	学習内容
1時間	生物の多様性と共通性
2時間	生物とエネルギー
3時間	免疫のはたらき
4時間	植生と遷移

メディア視聴	学習内容
1時間	生体とATP、酵素の働き
2時間	生物と遺伝子、及びDNAの構造
3時間	免疫のしくみ、及び免疫の応用とさまざまな疾患
4時間	生態系と生物の多様性

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解することができる。
思考・判断・表現	生物や生物現象を対象に、探究の過程を通じて問題を見出し考察することができる。
主体的に学習に取り組む態度	- 生物に対する興味関心を持っている。 - 生物や生物現象に対して主体的に探究しようとしている。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

生物基礎 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

（別紙教科書解説動画映像参照）

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
	中学理科	中学理科①	5	4:00
		中学理科②	6	4:00
		中学理科③	7	5:30
	顕微鏡の使い方	顕微鏡の使い方①	8	6:00
		顕微鏡の使い方②	9	6:30
		導入	12	4:00
1 綱 生物の特徴	1章 生物の多様性と共通性	1節 生物の多様性	14	5:00
		生物の世界の見方	15	5:00
		脊椎動物の特徴の比較	16	4:30
		進化の証拠	17	6:30
		2節 生物の共通性	18	5:30
		実習1 さまざまな生物の顕微鏡観察	19	5:30
		生物の特性	20	6:00
		実習2 DNAの抽出	21	6:00
		3節 細胞の特徴	22	4:00
		真核細胞の構造	23	7:30
		原核細胞の構造	24	7:30
		発展 生物 電子顕微鏡で明らかになった真核細胞の構造	25	7:30
		1編1章 まとめ①	26	7:30
		1編1章 まとめ②	27	8:00
		1節 生物とATP	28	3:00
		生命活動とエネルギー	29	6:00
		ATPの構造	30	6:00
		代謝	31	5:30
		2節 酵素のはたらき	32	5:30
		カタラーゼの実験	33	7:30
		知能としてはたらく酵素・酵素の基質特異性	34	7:00
		発展 生物 最適温度と最適pH	35	8:30
		3節 呼吸と光合成	36	3:00
		呼吸	37	8:00
		光合成	38	6:30
		発展 生物 細胞内共生説	39	8:00
		1編2章 まとめ①	40	6:30
		1編2章 まとめ②	41	7:00
		生物基礎・仕事	42	6:00
		生物基礎の本題	43	5:30
2 綱 遺伝子とそのはたらき	1章 遺伝情報とDNA	導入	44	4:00
		1節 生物と遺伝子	45	4:00
		遺伝情報と形質・DNAと染色体	47	7:00
		ゲノム	48	5:00
		遺伝情報を扱う遺伝物質	49	9:00
		2節 DNAの構造	50	5:00
		実習2 DNA模型の作成	51	7:00
		塩基の相補性	52	6:30
		DNAの構造	53	8:00
		塩基の並び方	54	6:00
		DNAの構造を模った科学者たち	55	6:00
		3節 DNAの複製と分配	56	4:30
		DNAが2倍になるしくみ	57	8:30
		細胞の分裂とDNA①	58	7:00
		細胞の分裂とDNA②	59	8:00
		2編1章 まとめ①	60	8:00
		2編1章 まとめ②	61	5:30
	2章 遺伝情報とタンパク質	1節 タンパク質	62	5:30
		発展 生物 タンパク質の構造	63	6:30
		2節 DNAとタンパク質の合成	64	5:00
		実習3 DNAの塩基とアミノ酸の対応	65	6:00
		DNAからタンパク質へ	66	6:30
		RNAとDNAの違い	67	7:30
		転写と翻訳	68	6:30
		遺伝子発現	69	8:00
		発展 生物 転写・翻訳のしくみ	70	7:00
		遺伝子の発現	71	8:30
		3節 細胞の分化と遺伝子	72	4:00
		細胞の分化・遺伝子の発現	73	7:30
		2編2章 まとめ①	74	7:30
		2編2章 まとめ②	75	7:30
		生物基礎・仕事	76	6:30
		生物基礎の本題	77	5:00
3 綱 ヒトの体の調節	1章 ヒトの体を調節するしくみ	導入	78	4:30
		1節 体内環境	80	5:00
		体内環境をつくる体液	81	8:00
		体内環境を維持するしくみ	82	4:30
		人体図鑑（循環系）	83	6:00
		酵素の調節	84	8:00
		血液のしくみ	85	8:00
		2節 神経系による情報伝達	86	6:30
		実習4 運動前後の体の変化	87	4:30
		神経系	88	6:00
		自律神経系による調節	89	7:30
		脳の構造とはたらき	90	7:30

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
	2章 免疫のはたらき	免疫について	91	6:30
		3節 ホルモンによる情報伝達	92	6:00
		ホルモンの分泌量の調節	93	7:30
		おもな内分泌腺とホルモンのおもなはたらき	94	5:30
		体内環境の維持にかかわるさまざまなホルモンとそのはたらき	95	7:30
		4節 血糖濃度の調節	96	6:00
		実習5 血糖濃度の調節	97	6:30
		血糖濃度を調節するしくみ①	98	5:30
		血糖濃度を調節するしくみ②	99	6:00
		糖尿病とは	100	7:30
		体温の調節	101	6:00
		人体の臓器（肝臓・腎臓）	102	4:30
		腎臓のはたらき	103	8:30
		3章1章 まとめ①	104	8:00
		3章1章 まとめ②	105	6:00
		1節 免疫のしくみ	106	5:00
		体を守るしくみ・自然免疫	107	6:30
		適応免疫①	108	6:30
		適応免疫②	109	6:30
		免疫のしくみ	110	7:00
		免疫 生物 情報伝達を扱う物質	111	6:30
		2節 免疫の応用	112	4:00
		実習6 体内の抗体量の変化	113	4:30
		記憶細胞と二次応答	114	7:00
		免疫グロブリン	115	7:30
		予防接種とワクチン	116	5:30
		血清療法	117	6:30
		3節 免疫とさまざまな疾患	118	5:00
		アレルギー	119	7:30
		自己免疫疾患・HIVとAIDS	120	7:30
		パンデミックを防ぐ戦い	121	6:00
		3章2章 まとめ①	122	8:30
		3章2章 まとめ②	123	5:00
		生物基礎×仕事	124	5:30
		生物基礎の本棚	125	5:00
4章 生物の多様性と生態系	1章 種と遷移	導入	126	4:00
		1節 種とその遷移	128	3:00
		遷移形成作用	129	6:30
		種と光の関係	130	7:30
		種と土壌の関係	131	6:00
		2節 種の遷移	132	3:30
		実習7 三宅島における種の遷移	133	6:00
		植物の侵入と土壌の形成	134	6:00
		光環境の変化と遷移の進行	135	7:30
		ギャップによる森林の更新・二次遷移・遷移と光合成	136	6:30
		光合成速度	137	8:00
		3節 遷移とバイオーム	138	4:00
		森林・草原・砂漠が成立する気候	139	5:30
		遷移とバイオーム	140	4:00
		世界のバイオーム	141	6:00
		世界のおもな陸上のバイオーム①	142	6:00
		世界のおもな陸上のバイオーム②	143	6:00
		日本のバイオーム①	144	5:30
		日本のバイオーム②	145	6:30
		日本のおもなバイオームと特徴的な樹木①	146	5:30
		日本のおもなバイオームと特徴的な樹木②	147	6:00
		4章1章 まとめ①	148	7:30
		4章1章 まとめ②	149	5:30
	2章 生態系と生物の多様性	1節 環境と生物のかかわり	150	5:30
		実習8 土壌に生息する生物の観察	151	8:00
		環境と生物の関係性	152	7:30
		免疫 生物 生物の多様性の3つの視点	153	6:30
		2節 生物間の関係	154	4:30
		食物連鎖と食物網	155	7:00
		生態ピラミッド	156	7:30
		生態系から特定の生物を除去したときの影響	157	6:00
		生物間の関係性	158	5:30
		ラッコと海狸	159	6:30
		3節 生態系とかく乱	160	5:00
		人為的かく乱	161	6:00
		生態系のバランス・人為的かく乱による影響	162	7:00
		実習9 森林の減少と私たちの生活	163	6:00
		外来生物が生態系に与える影響	164	4:30
		人為的かく乱と気候変動	165	7:00
		4節 生態系の保全	166	4:30
		生態系サービス	167	8:00
		環境アセスメント	168	6:00
		里山の取り組み	169	7:30
		4章2章 まとめ①	170	6:00
		4章2章 まとめ②	171	7:30
		生物基礎×仕事	172	5:30

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
	総量 生物基礎と未来への行動	生物基礎の本質	173	5:30
		導入	174	3:00
		多様な価値や知識の融合が、今までの延長にはないアイデアと行動を生み出す。	175	7:00
		あなたらしい、あなたにしかできない『未来への行動』を考える。	176	5:30
		考えを行動に移すための必要な視点は何だろうか。	177	4:30
		フィードバック 学習の質とポイント29①	178	6:30
		フィードバック 学習の質とポイント29②	179	8:00
		チャレンジ問題①	180	5:30
		チャレンジ問題②	181	6:30
		チャレンジ問題③	182	6:00
		チャレンジ問題④	183	7:00
		チャレンジ問題⑤	184	7:00
		チャレンジ問題⑥	185	5:30
		総時間		18:01:00

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
理科	化学基礎	2単位	6	4	東京書籍 新編化学基礎	

学習の目標

物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験を行うなどを通して、必要な資質・能力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容
第1回	物質の成分と構成元素。物質の三態について。
第2回	原子の構造。電子配置と周期表。
第3回	化学結合と物質の分類について。
第4回	物質と化学反応式、及び化学反応式の表す量的関係について。
第5回	酸と塩基、及び中和反応と塩の生成。
第6回	酸化還元反応について。

面接指導	学習内容
1 時間	物質量
2 時間	化学反応式
3 時間	酸と塩基
4 時間	酸化還元反応

メディア視聴	学習内容
1 時間	物質の成分、物質の構成元素
2 時間	イオンとイオン結合、化学結合と物質分類
3 時間	酸と塩基
4 時間	酸化と還元、酸化剤と還元剤

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	化学や科学技術が人間生活にどのようにかかわっているか理解することができる。
思考・判断・表現	化学と科学技術との関わりにおける問題を見出し、その解決方法を考察することができる。
主体的に学習に取り組む態度	・化学に対する興味・関心を持っている。 ・主体的、意欲的にこらからの化学との関わり方について認識を深める。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

化学基礎 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

（別紙教科書解説動画映像参照）

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
序章 化学とは何か	巻頭特集 化学と世界～物質で見る世界へ～	ウツニ電通・地盤の門	2	3:30
		オーロラ・バムツカレ・ウルル・イカ監修	4	4:00
		店休・高木	6	3:30
		加床屋山・元乃隠神社・東京スカイツリー・種子島宇宙センター	8	3:30
		導入	16	4:00
		課題の探題（発見）・課題の探題（追及）	18	6:00
		課題の解決	20	2:30
		ちよこぽ！ 物質を区別する方法を考えよう	21	4:00
		導入	22	3:00
		「1章 物質の成分と構成元素」で学ぶこと	24-1	3:00
1編 物質の構成	1章 物質の成分と構成元素	2章 物質の成分	24-2	5:00
		純物質と混合物の性質	25	7:00
		混合物の分離と精製 ろ過・蒸留・分留	26	5:00
		混合物の分離と精製 再結晶	27	6:00
		混合物の分離と精製 昇華法	28	6:00
		混合物の分離と精製 クロマトグラフィー	29	7:00
		2章 物質の構成元素	30	4:30
		単体と化合物	31	7:30
		四素性	32	4:30
		元素記号の習得	33	5:00
2編 物質の変化	2章 物質の成分と構成元素	実験1 さまざまな物質の化学反応を観よう	34	6:00
		沈殿反応	35	6:30
		3章 物質の三態	36	4:30
		物質の三態と状態変化	37	6:00
		物理変化と化学変化・状態変化と熱運動	38	9:00
		ちよこぽ！ 状態変化を観よう	39	4:00
		発展 化学 気体分子の熱運動と絶対温度	40	3:00
		化学を思考しよう 状態変化について考えよう	41	3:30
		3章 まとめ①	42	6:30
		3章 まとめ②	43	7:00
3編 化学結合	3章 原子の構造と元素の周期表	基本確認問題1 物質の成分と構成元素	44	6:00
		化学基礎・仕事おぼろは化学の入り口	45	3:00
		「3章 原子の構造と元素の周期表」で学ぶこと	46-1	3:00
		2章 原子の構造	46-2	5:00
		電荷・原子番号と質量数	47	8:00
		同位体	48	6:00
		14Cによる年代測定	49	6:00
		2章 電子配置と周期表	50	7:00
		貴ガス	51	5:30
		元素の周期表	52	6:30
4編 化学反応	4章 原子の構造と元素の周期表	ちよこぽ！ アルカリ金属の性質を観よう	54	4:30
		メンデレーエフと周期表	55	3:00
		2章 まとめ	56	5:30
		基本確認問題2 原子の構造と元素の周期表	57	5:30
		「3章 化学結合」で学ぶこと	58-1	3:00
		1章 イオンとイオン結合	58-2	7:30
		イオンの表し方	59	8:30
		イオン化エネルギー	60	3:30
		イオン半径	61	4:30
		イオン結合と結晶	62	6:00
5編 物質の性質	5章 化学結合	イオン結晶	63	6:00
		実験2 イオン結晶の性質を観よう	64	4:00
		イオン結晶の主な物質とその用途	65	6:00
		化学を思考しよう 固相性について考えよう	66	4:00
		発展 化学 イオン結晶の構造	67	4:00
		2章 分子と共有結合	68	5:30
		電子式	69	6:00
		結合	70	6:30
		分子からなる物質とその用途	71	6:00
		高分子化合物	72	6:00
6編 物質の反応	6章 化学結合	配位結合	73	6:00
		電気陰性度と分子の極性	74	5:30
		分子の極性	75	6:30
		分子間力と分子結集	76	5:30
		発展 化学 水素結合	77	5:00
		共有結合の結晶①	78	5:00
		共有結合の結晶②	79	5:00
		3章 金属と金属結合	80	6:00
		金属とその用途	81	6:00
		発展 化学 金属結晶の構造	82	5:30
7編 物質の反応	7章 化学結合	4章 化学結合と物質の分類	84	7:00
		3章 まとめ①	86	5:00
		3章 まとめ②	87	5:30
		基本確認問題3 化学結合①	88	5:00
		基本確認問題4 化学結合②	89	8:00
		探究PLUS①・②	90	6:00
		探究PLUS③・④	92	4:00
		導入	94	3:00
		「1章 物質の化学反応式」で学ぶこと	96-1	3:30
		1章 物質の化学反応式	96-2	3:30
8編 物質の反応	8章 物質の化学反応式	2章 原子量・分子量・式量	97	6:00
		原子の相対質量	97	6:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		原子量	98	6:00
		分子量・式量	99	7:00
		2問 物質量	100	4:00
		物質量と粒子の数	101	5:30
		物質量と質量	102	7:30
		化学を思考しよう 単分子間からアゾバジロ酸を求めよう	103	4:30
		1molの気体の体積	104	5:00
		気体の密度と分子量	105	9:30
		物質量を中心とした量的関係	106	7:30
		ドリル 物質量の計算	107	6:00
		3問 溶液の濃度	108	4:00
		モル濃度	109	7:00
		質量パーセント濃度とモル濃度の変換	110	6:30
		固体の溶解度	111	7:00
		4問 化学反応の表し方	112	7:00
		化学反応式の書き方	113	7:30
		5問 化学反応式の原子量が関係	114	3:30
		実験3 化学反応における量の関係を調べよう	115	3:30
		反応式の係数の比	116	4:30
		反応物の過不足	117	8:30
		原子量から分子量へ	118	5:30
		化学を思考しよう 量的関係について考えよう	119	4:30
		1章 まとめ①	120	5:00
		1章 まとめ②	121	5:30
		章末確認問題5 物質量と化学反応式①一次	122-1	6:30
		章末確認問題5 物質量と化学反応式②一次	122-2	6:00
		化学基礎×仕事 研究・開発・産業の三刀流	123	3:30
	[2章 酸と塩基]で学ぶこと	目次	124-1	3:30
2章 酸と塩基		1問 酸と塩基	124-2	5:00
		酸と塩基の定義	125	3:30
		広い意味での酸・塩基	126	6:30
		ブレンステッドとローリーによる酸・塩基の定義	127	6:30
		酸と塩基の強弱	128	6:30
		酸と塩基の強弱	129	5:30
		2問 水素イオン濃度とpH	130	5:30
		水素イオン濃度の求め方	131	4:00
		水素イオン濃度とpH	132	5:00
		希釈によるpHの変化	133	5:00
		pH指示薬とpHの測定	134	4:00
		身のまわりの物質のpH	135	5:00
		3問 中和反応と塩の生成	136	6:00
		中和反応と塩の生成	137	5:30
		塩の強弱	138	6:30
		弱酸・弱塩基の強弱	139	5:00
		4問 中和滴定	140	4:30
		中和の関係式	141	4:30
		中和滴定	142	5:00
		実験4 食酢中の酢酸の濃度を調べよう	144	5:00
		滴定曲線	146	7:30
		応用①	148	5:30
		化学を思考しよう 滴定実験について考えよう	149	6:30
		2章 まとめ①	150	6:00
		2章 まとめ②	151	6:30
		章末確認問題6 酸と塩基	152	7:00
		化学基礎×仕事 ながくイデステレーターへの道	153	3:30
	[3章 酸化還元反応]で学ぶこと	目次	154-1	3:30
3章 酸化還元反応		1問 酸化と還元	154-2	4:00
		酸化と還元	155	4:30
		酸化数と酸化還元反応	156	5:00
		酸化数の変化	157	7:00
		2問 酸化剤と還元剤	158	4:00
		酸化剤・還元剤のイオン反応式の作り方	159	8:00
		電子の授受と酸化還元反応	160	5:30
		酸化剤と還元剤のはたらきの強さ	162	6:00
		実験5 過酸化水素とヨウ化カリウム水溶液を混ぜてみよう	163	4:30
		酸化還元滴定	164	7:30
		3問 金属の酸化還元反応	166	5:00
		金属のイオン化傾向	167	3:30
		金属の反応性	168	5:00
		酸化力の強い順との反応	169	5:00
		4問 酸化還元反応の応用	170	4:30
		ダニエル電池	171	6:00
		実用電池	172	6:00
		金属の精錬(銅)	174	5:30
		金属の精錬(鉄・アルミニウム)	175	6:00
		電気分解	176	5:30
		水の電気分解	177	3:30
		銅の電解精錬・アルミニウムの溶融電解	178	5:30
		水酸化ナトリウムの製造	179	4:00
		3章 まとめ①	180	5:00
		3章 まとめ②	181	5:30

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
	科学 化学が拓く世界	濃水稀薄問題I 溶き還元反応	182	6:30
		探究PLUS	183	3:30
		探究PLUS	184	3:30
		探究PLUS?	186	3:30
		導入	190	3:30
		水道水が溜るまで	192	5:30
		洗剤～適切な使用について考えよう～	195	4:30
		ちよこラボIS (水道水に含まれる塩素の濃度)・IS (洗剤の適切な使用量)	196	3:00
		化学基礎×仕事 安全でおいしい水を作るに	197	3:30
		CHALLENGE! チャレンジ問題I	198	3:30
		CHALLENGE! チャレンジ問題II	199	2:30
		CHALLENGE! チャレンジ問題III	200	5:30
		CHALLENGE! チャレンジ問題IV	201	4:30
		おうもろボ1～4	202	5:00
		おうもろボ5～8	204	5:30
		おうもろボ9～10	206	3:30
		資料2 国際単位系(SI)と基本定数	207	3:30
		資料2 大きな数と小さな数の数々扱いと計算方法	208	6:00
		資料3 有効数字とその計算方法	209	6:00
		資料4 観察実験を行う際の注意	210	6:00
		資料5 実験の基本操作	212	3:30
		資料6 実験で使う主な試薬のつくり方 / 資料7 グラフのかき方	214	3:30
		資料8 調査書の作成	216	4:00
		SOLusについて	218	3:00
		総時間		16:30:00

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
理科	物理基礎	2単位	6	4	東京書籍 新編物理基礎	

学習の目標

物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験を行うことを通して、必要な資質・能力を育成することを目指す。

添削指導	学習内容
第1回	直線運動の世界（運動・速度・投射）
第2回	力と運動の法則（慣性・作用・反作用の法則）
第3回	力学的エネルギー（運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギー）
第4回	温度と熱、及び熱の移動と保存
第5回	波（横波と縦波・定在波・音波）
第6回	電気、エネルギーとその利用について。

面接指導	学習内容
1時間	運動の表し方
2時間	力学的エネルギー
3時間	電気と磁気
4時間	エネルギーとその利用

メディア視聴	学習内容
1時間	等速直線運動、合成速度と相対速度
2時間	慣性の法則、「運動の変化」と「力」
3時間	運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギー
4時間	電力と電力量

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	物体の運動と様々なエネルギーについて理解している。
思考・判断・表現	物理的な事物・現象に対して科学的に探究できる。
主体的に学習に取り組む態度	・物理的な事物・現象に対する興味関心を持っている。 ・これからの物理的な事物、現象との関わり方について主体的、意欲的に探究を行う。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

物理基礎 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

（別紙教科書解説動画映像参照）

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
1 物体の運動とエネルギー	物理量の測定と扱い方	物理量の測定と扱い方①	2	8:00
		物理量の測定と扱い方②	3	8:00
		導入	8	4:00
	「1章 直線運動の世界」で学ぶこと	目次	10-1	9:30
	1章 直線運動の世界	①運動の表し方	10-2	6:00
2 力と運動の法則		速さ	11	8:40
		②変位と速度	12	7:00
		ある速さでどちら向きに	13	8:00
		③等速直線運動	14	8:00
		等速直線運動のs-tグラフ・v-tグラフ	15	6:00
		④合成速度と相対速度	16	8:30
		私たちが見たものの速度	17	9:00
		⑤速度が変わる運動	18	4:30
		実験1 斜面を下る力学台車①	19	4:30
		実験2 斜面を下る力学台車②	20	5:30
		加速度	21	7:00
		式で表す	22	9:00
		⑥加速度直線運動	23	11:00
		レベルアップドリル ⑥加速度直線運動①	24	6:00
		レベルアップドリル ⑥加速度直線運動②	25	7:30
		⑦自由落下	26	4:30
		自由落下の式	27	11:30
		⑧垂直投射	28	6:00
		投げ上げた物体の運動	29	9:30
		⑨水平投射	30	5:30
		発展 物体 斜め方向に投げられた物体の運動	31	8:30
		1章 まとめ	32	6:00
		章末確認テスト1 直線運動の世界①	33-1	5:30
		章末確認テスト1 直線運動の世界②	33-2	7:00
		「2章 力と運動の法則」で学ぶこと	34-1	4:30
		2章 力と運動の法則	34-2	5:00
		⑩力とつり合い	35	7:30
		力の三要素・力のつり合い	36	7:00
		⑪力の合成と分解	37	9:00
		3つ以上の力の合成と分解	38	4:00
		レベルアップドリル 力の合成と分解①	39	5:00
		レベルアップドリル 力の合成と分解②	40	7:00
		⑫弾性力と弾性力	41	8:30
		弾性力の法則	42	7:30
		⑬弾性の法則	43	8:30
		ものばねの動くのさ？—アリストテレスとガリレオの考え—	44	5:30
		⑭「運動の変化」と「力」	45	3:30
		実験2 力と加速度の関係①	46	5:00
		実験3 質量と加速度的関係	47	4:30
		運動の法則と運動方程式	48	8:00
		⑮力の性質（運動方程式の活用）	49	7:00
		⑯作用・反作用の法則	50	6:00
		ニュートンの運動の3法則	51	7:30
		レベルアップドリル 力の見つけ方①	52	5:00
		レベルアップドリル 力の見つけ方②	53	3:30
		⑰特殊力と物体の運動①	54	9:00
		特殊力と物体の運動②	55	4:00
		特殊力と物体の運動③	56	4:30
		特殊力と物体の運動④	57	7:00
		⑱静止摩擦力和その性質	58	6:00
		最大静摩擦力	59	8:00
		⑳動摩擦力和その性質	60	5:30
		動摩擦力	61	8:00
		㉑空気抵抗	62	5:00
		終端速度	63	7:00
		⑲水圧と浮力	64	6:30
		浮力とアルキメデスの原理	65	7:30
		レベルアップドリル 運動方程式①	66	7:00
		レベルアップドリル 運動方程式②	67	8:00
		2章 まとめ①	68	7:00
		2章 まとめ②	69	5:30
		章末確認テスト2 力と運動の法則①	70-1	6:30
		章末確認テスト2 力と運動の法則②	70-2	5:30
		章末確認テスト3 力と運動の法則①	71-1	6:30
		章末確認テスト3 力と運動の法則②	71-2	6:00
		「3章 力学的エネルギー」で学ぶこと	72-1	3:00
		3章 力学的エネルギー	72-2	5:00
		①仕事	73	8:30
		力の向きと仕事	74	7:30
		②仕事率と仕事の原理	75	8:30
		力でもっとも仕事は同じ	76	8:30
		③運動エネルギー	77	6:30
		仕事と運動エネルギーの関係	78	9:00
		④位置エネルギー	79	7:30
		弾性エネルギー	80	8:00
		⑤力学的エネルギーの保存	81	3:30
		実験4 運動エネルギーと位置エネルギーが同時に変化する運動①	82	5:30

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		実験4 運動エネルギーと位置エネルギーが同時に変化する運動①	84	7:00
		弾性力のみが仕事をする運動	85	8:00
		弾力学的エネルギーが保存されない運動	86	4:00
		エネルギー保存の法則	87	8:00
		レベルアップドリル 力学的エネルギー保存の法則①	88	6:30
		レベルアップドリル 力学的エネルギー保存の法則②	89	8:30
		3章 まとめ	90	7:00
		章末確認テスト4 力学的エネルギー①	91-1	6:30
		章末確認テスト4 力学的エネルギー②	91-2	6:00
		物理のめ	92	7:00
2冊 さまざまな物理現象とエネルギー	導入	94	3:00	
「1章 熱」で学ぶこと	目次	98-1	3:30	
1章 熱		①温度と熱運動	98-2	6:30
		②分子運動と熱運動	99	7:00
		③熱と物質	98	7:30
		物質の三態と変換	99	7:00
		④熱の移動と保存	100	8:30
		実験1 熱の移動①	101	4:30
		実験2 熱の移動②	102	6:30
		実験3 熱の移動③	103	10:00
		⑤熱と仕事	104	6:30
		熱のエネルギー保存則	105	7:30
		⑥熱機関と不可逆変換	106	7:00
		熱効率が1の熱機関	107	6:30
		1章 まとめ	108	8:30
		章末確認テスト5 熱①	109-1	9:30
		章末確認テスト5 熱②	109-2	4:30
「2章 波」で学ぶこと		目次	110-1	6:00
2章 波		①いろいろな波	110-2	4:30
		波に関する用語	111	7:30
		②波のあし方	112	7:30
		媒質の振動のようすを表す	113	9:30
		③横波と縦波	114	6:00
		媒質の動きをグラフに表す	115	8:30
		④波の重ね合わせ	116	8:30
		⑤定常波	118	8:00
		⑥定常波の解法問題	119	4:00
		⑦波の反射	120	8:00
		⑧回折反射と固定端反射の作図の方法	121	5:30
		レベルアップドリル 波の作図①	122	5:30
		レベルアップドリル 波の作図②	123	4:00
		⑨音波	124	6:30
		音を重ね合わせると	125	7:00
		⑩波の固有振動	126	7:30
		実験4 弦の固有振動①	127	5:00
		実験5 弦の固有振動②	128	8:30
		弦楽器のしくみ	129	8:30
		⑪気柱の固有振動	130	5:00
		実験7 気柱の共振①	131	8:30
		実験7 気柱の共振②	132	6:30
		⑫柱の固有振動数	133	8:30
		2章 まとめ	134	9:00
		章末確認テスト6 波①	135-1	6:30
		章末確認テスト6 波②	135-2	4:00
「3章 電気」で学ぶこと		目次	136-1	4:00
3章 電気		①動いていない電気、動いている電気	136-2	6:30
		電気は移動する	137	5:30
		②電流と電気抵抗	138	6:00
		実験6 電気抵抗と物質の形状①	139	5:30
		実験6 電気抵抗と物質の形状②	140	6:30
		物質によって流れていく量が異なる	141	5:00
		③直列接続と並列接続	142	7:00
		並列接続の回路接続	143	9:00
		レベルアップドリル 回路①	144	4:00
		レベルアップドリル 回路②	145	8:30
		④電力と電力量	146	6:00
		ジュールの法則	147	9:00
		⑤電圧がつくる磁場	148	4:30
		電圧は磁場をつくる	149	6:30
		⑥発電機のしくみ	150	7:30
		モーターと発電機は素直に	151	6:30
		⑦電流と交流	152	5:30
		電気エネルギーを効率よく送るには	153	6:30
		⑧電磁波	154	8:00
		3章 まとめ	156	7:30
		章末確認テスト7 電気①	157-1	7:00
		章末確認テスト7 電気②	157-2	4:00
「4章 エネルギーとその利用」で学ぶこと		目次	158-1	2:30
4章 エネルギーとその利用		①エネルギーの変換と保存	158-2	7:00
		エネルギー保存の法則	159	5:30
		②原子核のエネルギー	160	8:30

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		電磁波・電計算・電磁気	161	8:00
		放射線の利用と安全性	162	4:00
		放射線の単位と影響	163	8:00
		誘電率・電場の利用と課題	164	8:30
		エネルギー変換と効率	165	4:30
		面白い電磁気・電場の利用	166	7:00
		エネルギー変換を将来にわたって利用し続けるために、自然環境の保全を助けるために	167	5:00
		物理のめ	168	5:30
		チャレンジ問題①	170	3:30
		チャレンジ問題②	171	3:30
		チャレンジ問題③	172	5:00
		チャレンジ問題④	173	3:00
		チャレンジ問題⑤	174	2:00
		チャレンジ問題⑥	175	3:30
		フィードバック 学習の閉じとポイント50①	176	7:30
		フィードバック 学習の閉じとポイント50②	177	8:30
		フィードバック 学習の閉じとポイント50③	178	7:30
		フィードバック 学習の閉じとポイント50④	179	7:00
		巻末コラム 科学と私たち(社会)とのつながり①	180	4:00
		巻末コラム 科学と私たち(社会)とのつながり②	181	4:00
	辞書 物理学が拓く世界	導入	203	2:30
		これからの私たちの世界と物理学①	204	4:00
		これからの私たちの世界と物理学②	205	4:00
		防災や医療と物理学のかかわり	206	4:00
		環境にやさしいビルと都市の発展と物理学のかかわり	207	4:30
		物理とかわる人々	208-2	4:00
			総時間	19:51:30

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
理科	生物	4単位	1 2	7	東京書籍 生物	

学習の目標

生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験を行うことを通して、必要な資質・能力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容
第1回	生物の共通性と多様性、遺伝的変異について
第2回	多様な遺伝子変異をもたらす有性生殖、及び種分化
第3回	生物の系統と進化、人類の出現と変遷
第4回	細胞を構成する成分（生体膜、細胞・タンパク質の構造）、生命現象とタンパク質
第5回	代謝とエネルギー（呼吸・発酵・光合成について）
第6回	DNAの構造と複製、遺伝子情報の流れと変化について

第7回	原核生物・真核生物の遺伝子発現、及び動物の形と調節遺伝子の発現
第8回	遺伝子を扱う技術、及び遺伝子や細胞を扱う技術の課題
第9回	刺激の需要から反応への流れ、ニューロンの興奮（伝導と伝達）、効果器
第10回	植物の環境反応について（被子植物の生殖と発生、環境要因の影響）
第11回	個体群と生物群集、及び生物群集の成り立ちと多種の共存
第12回	生物多様性と人間社会の変化

面接指導	学習内容
1時間	生命の起源と細胞の進化
2時間	細胞と物質
3時間	呼吸の反応経路と反応の場
4時間	光合成
5時間	遺伝情報の流れ
6時間	ニューロンの興奮
7時間	動物の行動

メディア視聴	学習内容
1時間	生命の起源と細胞の進化
2時間	遺伝子の変化と進化のしくみ
3時間	代謝とエネルギー
4時間	遺伝子情報とその発現
5時間	遺伝子を扱う技術
6時間	動物の行動
7時間	植物の環境反応
8時間	生態系と人間生活
9時間	生物の進化

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・原則を理解することができる。
思考・判断・表現	生物や生物現象を対象に、探究の過程を通じて問題を見出し考察することができる。
主体的に学習に取り組む態度	- 生物に対する興味関心を持っている。 - 生物や生物現象に対して主体的に探究しようとしている。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に7単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

生物 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

（別紙教科書解説動画映像参照）

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
1編 生物の進化	1章 生命の起源と細胞の進化	1節 共通性と多様性をつなぐ進化	10	03:30
		私たちから最も近い生物・進化が生物にもたらすもの	11	04:00
		2節 生命の誕生	12	04:00
		アミノ酸の合成	13	04:30
		核酸やタンパク質の合成・細胞の起源	14	05:30
		RNAワールドからDNAワールドへ	15	04:30
		3節 生物の多様性と地球環境の変化	16	04:00
		生物の出現と大気組成の変化①	17	04:30
		生物の出現と大気組成の変化②	18	05:30
		大気中の酸素濃度の変化と生物の変遷	19	05:30
		真核生物の誕生	20	05:30
		細胞内共生説の証拠	21	05:30
		生物の変遷	22	03:00
		章末まとめ①	24	00:00
		章末まとめ②	25	05:30
	2章 遺伝子の変化と進化のしくみ	1節 遺伝的変異	26	03:00
		実習1 DNAの塩基配列の変化とアミノ酸の対応関係①	27	05:00
		実習1 DNAの塩基配列の変化とアミノ酸の対応関係②	28	03:00
		染色体レベルで起こる突然変異	29	04:30
		2節 多様な遺伝的変異をもたらす有性生殖	30	04:30
		染色体と遺伝子座	31	05:30
		遺伝の法則	32	07:30
		減数分裂	34	05:00
		減数分裂で生じる多様な配偶子・遺伝子の連鎖と独立	35	05:00
		実習2 ショウジョウバエの交配実験	37	06:30
		乗換えで生じる新しい連鎖と組換え①	38	04:00
		乗換えで生じる新しい連鎖と組換え②	39	04:00
		3節 進化の定義と自然選択による進化	40	03:00
		自然選択による進化	41	03:30
		自然選択の例ーガラパゴスフィンチのくちばしー	42	06:00
		適応進化	43	04:30
		4節 遺伝子レベルでみる進化	44	03:00
		遺伝子プールと遺伝子頻度	45	05:00
		実習3 進化のモデル実験	46	09:30
		自然選択による遺伝子頻度の変化	48	04:30
		遺伝的浮動	49	05:30
		分子進化と中立進化	50	04:00
		ハーズ・イムズ・クワンベルグの法則	51	06:00
		5節 種分化	52	03:30
		種分化のしくみ①	53	04:30
		種分化のしくみ②	54	05:30
		種多様化のしくみ	55	05:30
		章末まとめ①	56	05:30
		章末まとめ②	57	05:00
	3章 生物の系統と進化	1節 生物の系統	58	03:30
		実習4 系統樹の作成	59	04:00
		DNAの塩基配列に基づく系統樹	60	00:30
		分子時計	61	05:30
		系統の探索①	62	05:00
		系統の探索②	63	04:00
		2節 生物の系統分類	64	04:00
		生物の分類	65	04:30
		ドメイン①	66	03:30
		ドメイン②	67	05:30
		真核生物の世界ー原生生物・植物ー	68	05:00
		真核生物の世界ー菌類・動物ー	70	05:00
		3節 霊長類のなかのヒト	72	03:00
		霊長類の特徴	73	04:30
		類人猿とヒトの違い	74	04:30
		霊長類の進化と系統	75	04:30
		4節 人類の出現と変遷	76	04:30
		第1人・旧人の出現	77	06:00
		ヒトの出現	78	00:00
		章末まとめ①	80	05:00
		章末まとめ②	81	05:30
		編末問題①	82	10:00
		編末問題②	83	09:30
		生物の本棚	84	04:00
		生物×仕事	85	06:00
2編 生命現象と物質	1章 細胞と物質	1節 細胞を構成する成分①	88	03:30
		細胞を構成する成分②	89	00:00
		化学の基礎知識①	90	04:30

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		化学の基礎知識①	91	08:00
		2節 生体事のはたらき	92	04:00
		生体膜のはたらきと構造	93	04:00
		生体膜の透過	94	05:00
		細胞膜での水の移動	95	07:00
		3節 細胞の構造	96	04:00
		真核細胞の構造とはたらき・遺伝情報にかかわる構造	97	04:30
		エネルギーの変換にかかわる構造	98	06:00
		タンパク質の合成にかかわる構造	99	04:00
		細胞分裂や物質の貯蔵にかかわる構造	100	08:00
		細胞の保護にかかわる構造・細胞の形の維持や運動にかかわる構造	101	04:00
		細胞接着	102	04:30
		4節 タンパク質の構造①	103	03:30
		タンパク質の構造②	104	05:00
		タンパク質の構造③	105	04:00
		タンパク質の構造④	106	05:00
		タンパク質のフォールディングと変性①	107	06:00
		タンパク質のフォールディングと変性②	108	04:00
		プリオン病	109	04:30
		5節 酵素とはたらきタンパク質	110	04:00
		活性部位と基質特異性	111	04:00
		酵素の反応速度	112	04:30
		実習5 カタラーゼのはたらき①	113	06:00
		実習5 カタラーゼのはたらき②	114	04:00
		酵素の活性と変性	115	05:00
		酵素反応の阻害	116	03:30
		酵素と金属	117	04:00
		酵素反応の調節	118	03:30
		さまざまな酵素のはたらき	119	05:30
		6節 生命現象とタンパク質	120	04:30
		生体膜での輸送	121	05:00
		細胞間の情報伝達	122	04:00
		免疫細胞の情報伝達にかかわるタンパク質	123	06:00
		章末まとめ①	124	06:00
		章末まとめ②	125	04:00
		章末まとめ③	126	05:30
		章末まとめ④	127	04:00
	2章 代謝とエネルギー	1節 代謝とエネルギー	128	03:00
		化学反応とエネルギー	129	04:00
		代謝とATP	130	05:30
		酸化還元反応と酵素	131	06:00
		2節 呼吸	132	03:30
		呼吸の反応経路と反応の場	133	05:00
		解糖系	134	04:30
		解糖系におけるエネルギーの変化	135	03:30
		クエン酸回路	136	04:30
		実験1 コハク酸脱水素酵素の実験	137	05:30
		電子伝達系	138	04:00
		呼吸全体のATPの収率	139	06:30
		ATP合成酵素の回転	140	05:30
		3節 発酵	141	03:00
		発酵の種類	142	05:00
		実験2 アルコール発酵	143	04:30
		乳酸発酵	144	04:30
		4節 光合成	145	03:30
		チラコイドでの反応-光合成の第一段階①	146	05:00
		実験3 薄層クロマトグラフィーによる光合成色素の分離	147	05:00
		光合成色素の光吸収とエネルギーのゆくえ	148	04:30
		チラコイドでの反応-光合成の第二段階①	149	06:30
		チラコイドでの反応-光合成の第二段階②	150	03:30
		ストロマでの反応-光合成の第二段階③	151	04:30
		C4植物とCAM植物	152	06:00
		化学合成	153	04:30
		章末まとめ①	154	05:30
		章末まとめ②	155	04:30
		章末問題①	156	08:30
		章末問題②	157	10:00
		生物の本質	158	04:00
		生物 × 仕事	159	05:30
3章 遺伝情報の発現と変異	1章 遺伝情報とその発現	1節 DNAの構造	162	04:30
		DNAの二重らせん構造と方向性	163	04:00
		2節 DNAの複製	164	03:30

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		メセルソンとスタールの実験	165	04:20
		DNAの複製の過程①	166	04:00
		DNAの複製の過程②	167	05:00
		3回 遺伝情報の流れ①	168	03:00
		遺伝情報の流れ②	169	04:30
		4回 RNAと転写	170	02:30
		RNAの構造と機能	171	04:00
		転写のしくみ①	172	04:00
		転写のしくみ②	173	04:30
		真核生物のRNAの加工①	174	03:30
		真核生物のRNAの加工②	175	04:00
		5回 翻訳のしくみ	176	03:30
		コドンと遺伝暗号表	177	03:00
		翻訳のしくみ①	178	04:30
		翻訳のしくみ②	179	04:00
		第1回 動物のタンパク質合成	180	03:00
		ニールンバーグとマティの実験・コロナの実験	181	05:00
		6回 遺伝情報の変化	182	03:00
		突然変異とアミノ酸配列	183	03:00
		DNA多型	184	04:30
		DNAの修復と突然変異	185	04:30
		章末まとめ①	186	05:00
		章末まとめ②	187	05:00
		章末まとめ③	188	05:30
		章末まとめ④	189	04:30
	2章 発生と遺伝子発現	1回 原核生物の遺伝子発現の調節	190	03:00
		大腸菌と培養・大腸菌の増殖に対する応答	191	03:30
		実験6 大腸菌のlacZの発現	192	03:30
		原核生物の基本的な転写調節①	193	06:00
		原核生物の基本的な転写調節②	194	04:00
		トリプトファンオペロンとアラビノースオペロン	195	04:00
		2回 真核生物の遺伝子発現の調節	196	03:00
		真核生物の遺伝子発現の調節	197	05:00
		細胞外の環境に応じた遺伝子発現の調節	198	04:30
		3回 選択的遺伝子発現と細胞分化	199	03:00
		分化した細胞の遺伝子発現・遺伝子発現の調節の変化と細胞の分化	200	04:30
		iPS細胞の誕生につながった選択的遺伝子発現の考え方	201	06:00
		4回 動物の発生	202	02:30
		動物の配子形成	203	03:30
		卵と精子	204	04:00
		受精	205	04:00
		ウニの発生①	206	06:00
		ウニの発生②	207	05:30
		カエルの発生①	208	05:00
		カエルの発生②	209	04:30
		発生初期の特徴	210	04:00
		脊椎動物の胚の分化と胚形成	211	04:30
		5回 胚の細胞の発生過程と遺伝子発現	212	03:00
		原腸形成での細胞の動きと発生過程	213	03:00
		原基分布図と細胞分化	214	05:00
		細胞分化と遺伝子発現	215	05:30
		6回 発生現象と遺伝子発現の調節	216	03:00
		細胞運命決定因子・カエルの受精でみられる卵の細胞質の配置換えと背腹の決定	217	04:00
		背側または腹側だけで発現する遺伝子	218	05:30
		ショウジョウバエの前肢の決定	219	05:30
		誘導①	220	03:30
		誘導②	221	04:30
		誘導③	222	05:30
		誘導の連鎖①	223	03:30
		誘導の連鎖②	224	04:00
		胚芽ではたらく分泌タンパク質と遺伝子・アポトーシス	225	05:00
		7回 動物の形と調節遺伝子の発現	226	03:00
		動物の体の形を決める遺伝子	227	04:00
		Hox遺伝子とホックス遺伝子	228	05:00
		動物の形づくりとホックス遺伝子	229	04:00
		ホックス遺伝子と脊椎動物の形	230	05:30
		章末まとめ①	232	05:00
		章末まとめ②	233	04:30
		章末まとめ③	234	05:30
		章末まとめ④	235	04:30
	3章 遺伝子を扱う技術	1回 遺伝子を増殖する技術	236	06:00
		DNAクローニング	237	06:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		ポリメラーゼ連鎖反応法	238	05:33
		プライマーの設計	239	07:00
		2節 塩基配列を解読する技術	240	04:30
		電気泳動	241	05:30
		サンガー法	242	08:00
		ゲノムプロジェクト	243	06:00
		3節 遺伝子組換え技術の利用	244	05:00
		大腸菌への遺伝子導入①	245	06:30
		生物圏体への遺伝子導入①	246	05:00
		生物圏体への遺伝子導入②	247	09:00
		大腸菌の遺伝子組換え実験①	248	09:00
		大腸菌の遺伝子組換え実験②	250	04:30
		大腸菌の遺伝子組換え実験③	251	05:00
		4節 遺伝子や細胞を扱う技術の課題①	252	04:30
		遺伝子や細胞を扱う技術の課題②	253	05:30
		遺伝子を扱う技術の光と影①	254	06:00
		遺伝子を扱う技術の光と影②	255	06:30
		章末まとめ①	256	08:30
		章末まとめ②	257	08:00
		編末課題①	258	09:30
		編末課題②	259	07:00
		生物の本質	260	05:00
		生物 × 仕事	261	08:00
4編 生物の環境応答	1章 動物の刺激の受容と反応	1節 刺激の受容から反応への流れ	264	05:30
		情報の伝達と反応	265	05:30
		ニューロン	266	05:00
		2節 ニューロンの興奮	267	05:00
		静止電位と活動電位①	268	05:00
		静止電位と活動電位②	269	05:00
		全か無かの法則	270	07:00
		3節 興奮の伝導①	271	05:00
		興奮の伝導②	272	07:00
		遠隔伝導	273	05:30
		4節 興奮の伝達	274	04:00
		シナプスと興奮の伝達①	275	07:30
		シナプスと興奮の伝達②	276	07:30
		シナプスと興奮の伝達③	277	05:30
		5節 刺激の受容と感覚	278	04:30
		光刺激の受容	279	09:30
		視覚野	280	06:00
		実験4 眼の特徴	281	04:00
		眼の調節	282	06:00
		聴覚野としての耳	283	08:00
		さまざまな受容体①	284	06:00
		さまざまな受容体②	285	05:30
		6節 中枢神経系での情報処理	286	08:00
		中枢神経系①	287	05:30
		中枢神経系②	288	05:30
		反射	289	06:00
		7節 効果器	290	05:00
		筋肉の構造	291	05:00
		筋繊維のコントロール	292	09:00
		受容体から効果器への情報の流れ	293	07:30
		章末まとめ①	294	07:00
		章末まとめ②	295	08:00
		章末まとめ③	296	09:00
		章末まとめ④	297	07:00
	2章 動物の行動	1節 動物の行動とは	298	05:30
		動物の行動をめぐる4つのなぜ	299	05:30
		行動発現のしくみ	300	05:00
		行動の生得的な要素と習得的な要素	301	05:00
		2節 刺激の受容と行動	302	05:00
		実験5 超カイコガのフェロモン源の探索行動	303	09:00
		フェロモンと性	304	09:30
		カイコガの神経系と行動の関係	305	05:30
		行動の神経メカニズム	306	04:30
		遺伝工学による神経系の操作技術	307	05:30
		神経科学における移動ロボットの利用	308	05:00
		3節 学習のしくみ	309	04:30
		えらび込み反射のメカニズムを考える	310	07:00
		慣れの神経メカニズム	311	05:30
		記憶と忘却	312	07:30

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
	3章 植物の環境応答	古典的条件付け	314	00:00
		動物の知覚を調べる手法	315	00:00
		章末まとめ①	316	01:00
		章末まとめ②	317	05:00
		1節 種子植物の生殖と発生	318	00:00
		被子植物の配子形成と受精	319	00:00
		被子植物の胚の発生①	320	04:30
		被子植物の胚の発生②	321	00:00
		2節 植物の一生の出来事と環境の影響	322	00:00
		植物を取り巻く環境要因	323	00:00
		3節 植物ホルモンと光受容体	324	04:00
		実習7 リンゴの果実が植物の育ちまに与える影響	325	04:30
		植物ホルモン	326	00:00
		光受容体	327	00:30
		4節 環境要因による発芽の調節	328	04:30
		種子の休眠と発芽	329	00:00
		光による発芽の調節	330	07:30
		実験8 種子の発芽と光の影響	331	00:30
		発芽の調節と植物ホルモン	332	00:00
		ジベレリンの受容体と情報伝達	333	00:30
		5節 茎や根の成長と環境要因の影響	334	04:00
		茎の伸長成長と肥大成長の調節①	335	00:00
		茎の伸長成長と肥大成長の調節②	336	00:00
		屈性と傾性①	337	00:30
		屈性と傾性②	338	00:00
		光屈性の研究の歴史①	339	00:30
		光屈性の研究の歴史②	340	01:00
		頂芽優勢	341	00:00
		6節 気孔の開閉の調節と環境要因の影響	342	04:30
		気孔の開閉のしくみと環境の変化①	343	00:00
		実験9 気孔の開閉の観察	344	04:30
		気孔の開閉のしくみと環境の変化②	345	00:30
		7節 花芽形成と環境要因の影響	346	04:30
		花芽形成と日長の関係	347	00:30
		花成ホルモンとそのはたらき	348	00:00
		花成ホルモンの実験の解明	349	01:00
		花芽形成に影響を及ぼすその他の要因	350	00:00
		生物時計と光周性の花芽形成	351	00:00
		花の形態形成とABCモデル①	352	00:00
		花の形態形成とABCモデル②	353	07:30
		8節 果実の形成と成熟のしくみ	354	00:00
		果実の成熟と植物ホルモン	355	00:30
		植物ホルモンの農業への応用	356	00:00
		9節 樹木の老化と脱落のしくみ	357	00:30
		葉の老化と脱落	358	00:30
		実験10 ツバキの葉の脱落の観察	359	00:30
		章末まとめ①	360	01:00
		章末まとめ②	361	00:30
		章末まとめ③	362	07:30
		章末まとめ④	363	07:30
		章末問題①	364	00:30
		章末問題②	365	07:30
		生物の本質	366	00:00
		生物 × 仕事	367	00:00
3編 生態と環境	1章 個体群と生物群落	1節 生態系からみた生物	370	00:30
		減少する生物	371	00:30
		2節 個体群と環境	372	00:00
		個体群の大きさと個体群密度	373	04:30
		個体の分布	374	00:30
		区画法と標置再捕法	375	00:30
		3節 個体群の構造と成長	376	04:30
		実習8 ハツカダイコンを用いた密度調査の観察①	377	00:00
		実習9 ハツカダイコンを用いた密度調査の観察②	378	00:00
		種内競争・相変位	379	00:00
		個体群密度の変動	380	00:30
		個体の移動による個体群の存続	381	04:30
		生命表と生存曲線	382	00:30
		個体群の年齢区	383	00:00
		4節 個体間の相互作用	384	04:30
		群れ	385	04:00
		縄張り①	386	04:30
		縄張り②	387	00:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		適応率とつがい関係・共生繁殖	388	04:30
		社会性昆虫	389	05:30
		5節 植物の相互作用	390	03:30
		競争	391	05:00
		毒植物の競争回避	392	05:30
		実習9 科属・個体関係と個体数の変動	393	04:30
		競争	394	05:30
		相利共生	395	05:30
		6節 生物群集の成り立ちと多種の共存	396	03:30
		生態的地位（ニッチ）とその分割	397	04:30
		多種の共存をもたらす捕食	398	05:00
		捕食がもたらす共存	399	05:00
		食物連鎖を通じた間接的な関係	400	04:30
		病原体が生物群集に与える影響	401	05:00
		章末まとめ①	402	07:00
		章末まとめ②	403	06:00
		章末まとめ③	404	07:30
		章末まとめ④	405	07:30
	2章 生態系の物質生産と物質循環	1節 食物網と物質生産	406	05:00
		生態系を流れるエネルギー	407	05:00
		次亜の循環①	408	05:30
		炭素の循環②	409	05:00
		窒素の循環③	410	05:30
		窒素の循環④	411	05:30
		2節 生態系の物質収支と生態ピラミッド	412	04:30
		生産者の物質収支・森林生態系の物質収支	413	05:00
		生産構造図	414	05:00
		バイオームと生産量、現存量	415	05:30
		エネルギーの効率	416	04:30
		消費者の物質収支と生態ピラミッド	417	04:30
		章末まとめ①	418	07:00
		章末まとめ②	419	05:00
	3章 生態系と人間生活	1節 生物多様性	420	04:30
		種の多様性	421	06:00
		遺伝的多様性	422	05:00
		生態系の多様性	423	06:00
		2節 人間社会の変化と生態系	424	04:00
		実習10 肥料の中の窒素の調査	425	05:00
		リンや窒素の流入によるアオコの発生	426	05:00
		地球温暖化	427	05:00
		危険な化学物質による環境汚染	428	04:30
		森林の減少・湿地の減少	429	07:00
		3節 生態系の復元	430	04:00
		外来生物の影響とその駆除①	431	05:00
		外来生物の影響とその駆除②	432	05:00
		絶滅した在来生物の再導入	433	05:00
		在来生物の個体数が増えすぎると・・・	434	06:30
		河川や湿地の復元	435	05:30
		4節 人間は自然とどう付き合っていけばよいか	436	04:00
		社会の発展と生態系、そして環境問題	437	06:00
		生物多様性条約：保全と利用の両立・愛知目標	438	05:30
		コロナウイルス禍と生物多様性	439	03:00
		章末まとめ①	440	06:30
		章末まとめ②	441	07:00
		編末問題①	442	03:00
		編末問題②	443	03:00
		生物の本棚	444	05:00
		生物＊仕事	445	05:30

総時間 30:07:00

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
理科	化学	4単位	1 2	7	東京書籍 化学 vol.1/2	

学習の目標

化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験を行うことを通して、必要な資質・能力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容
第1回	① 物質の状態 ② 気体の性質 ③ 蒸気圧曲線 ④ 固体の融点と粒子間にはたらく分子間力や化学結合の大きさ ⑤ ファンデルワールス力 ⑥ 理想気体について
第2回	① 溶解の性質 ② 固体の構造 ③ 希薄溶液の性質 ④ さまざまな物質の溶解について ⑤ 融点について ⑥ 水溶液（溶ける物質）
第3回	① 反応とエンタルピー変化について ② 化学反応式と反応エンタルピー ③ 状態変化に伴うエンタルピー変化 ④ 中和エンタルピーについて ⑤ 光合成と光エネルギー，化学エネルギーの関係について
第4回	① 電池の原理 ② ダニエル電池の構造 ③ 電気分解について ④ ファラデーの電気分解の法則 ⑤ 電気分解における反応について ⑥ 燃料電池の特徴と，燃料と生成物について ⑦ アルミニウムと電気分解
第5回	① 反応の速さ，反応速度を変える条件 ② 反応のしくみ ③ 反応の速さについて ④ 可逆反応と化学平衡 ⑤ 反応速度を変える条件とその理由 ⑥ 触媒のはたらき ⑦ 可逆反応における平衡状態について
第6回	① 平衡の移動 ② 電離平衡 ③ 塩の水への溶解について ④ ハーバー・ボッシュ法 ⑤ 触媒の性質と，平衡の移動 ⑥ 共通イオン効果
第7回	① 非金属元素の単体と化合物 ② 典型金属元素の単体と化合物 ③ 塩素を得るための装置 ④ オストワルト法 ⑤ 石灰水に二酸化炭素を通じると，白濁する現象

第8回	① 遷移元素の単体と化合物 ② 混合溶液からそれぞれのイオンを分離するための実験操作 ③ 遷移元素と典型元素との比較 ④ 錯イオン ⑤ 硫化水素と銀イオン，亜鉛イオン，ナトリウムイオンとの反応
第9回	① 有機化合物の特徴と構造 ② 炭化水素 ③ メタンハイドレート ④ シストランス異性体 ⑤ アルキンの構造について
第10回	① アルコールとエーテル，アルデヒドとケトン ② カルボン酸，エステル ③ 油脂，セッケン ④ エタノール ⑤ アルデヒドの酸化に関する性質 ⑥ カルボン酸の，酸の強さについて
第11回	① 芳香族炭化水素について ② フェノール類と芳香族カルボン酸について ③ 芳香族アミンとアゾ化合物について ④ 高分子化合物 ⑤ ジエチルエーテル溶液 ⑥ アゾ化合物や染料について ⑦ 芳香族炭化水素の反応について ⑧ フェノール類とアルコールの類似点について
第12回	① 単糖類と二糖類，多糖類について ② アミノ酸，タンパク質 ③ 合成高分子化合物 ④ 酵素の最適温度について ⑤ プラスチックのリサイクルについて

面接指導	学習内容
1時間	物質の状態
2時間	気体の性質
3時間	電池と電気分解
4時間	水溶液中の化学平衡
5時間	有機化合物の特徴と構造
6時間	アルコールと関連化合物
7時間	芳香族化合物

メディア視聴	学習内容
1時間	物質の融点・沸点と化学結合・分子間力の関係
2時間	溶解のしくみ、及び固体や気体の溶解度
3時間	発熱反応と吸熱反応の反応エンタルピー、化学反応式と反応エンタルピー
4時間	化学平衡、及び化学平衡の法則について
5時間	アルカリ金属，アルカリ土類金属，アルミニウムの単体および化合物の性質
6時間	遷移元素の性質と特徴や，典型元素との違い
7時間	アルコールの構造，分類，性質，反応

8時間	アミノ酸の分類, 構造, 性質, 反応
9時間	糖類の分類, 構造, 反応について

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	化学的な事物・現象についての基本的な概念や原理・原則を理解することができる。
思考・判断・表現	化学的な事物・現象を対象に、探究の過程を通じて問題を見出し考察することができる。
主体的に学習に取り組む態度	・化学に対する興味関心を持っている。 ・主体的に化学的な事象にかかわり、それらに対する気づきから課題設定と解決を図ることができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導） : 全12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング） : 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に7単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点 : 所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

化学 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

(別紙教科書解説動画映像参照)

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
0編 人間生活のなかの化学		導入	1-6	02:00
1編 物質の状態		導入	1-9	01:30
1編 物質の状態	1章 物質の状態	1節 物質の三態	1-10	04:00
		粒子の熱運動	1-11	02:30
		絶対温度	1-12	04:00
		状態変化と分子間力	1-13	03:00
		分子間力と液体の沸点	1-14	04:30
		化学結合と固体の融点	1-15	02:30
		2節 気体・液体間の状態変化	1-16	04:00
		気液平衡と蒸気圧	1-17	06:00
		沸騰	1-18	04:30
		圧力を下げた条件での水の沸騰を確認しよう	1-19	04:30
		状態図①	1-20	04:30
		状態図②	1-21	05:00
		章末まとめ①	1-22	03:30
		章末まとめ②	1-23	02:00
		章末まとめ③	1-24	04:30
		章末問題	1-25	06:30
	2章 気体の性質	1節 気体	1-26	04:00
		シャルルの法則	1-27	02:30
		絶対温度と気体の体積	1-28	02:30
		ボイル・シャルルの法則	1-29	05:00
		2節 気体の状態方程式	1-30	04:30
		気体の分子量	1-31	04:00
		気体の分子量を測定しよう	1-32	05:30
		混合気体	1-33	04:00
		分圧と物質量の関係	1-34	04:00
		混合気体の平均分子量	1-35	06:30
		混合気体の状態方程式	1-36	03:00
		理想気体と実在気体	1-37	02:00
		実在気体と理想気体のずれ	1-38	04:00
		実在気体の状態変化	1-39	04:00
		章末まとめ①	1-40	04:00
		章末まとめ②	1-41	02:30
		章末問題①	1-42	05:30
		章末問題②	1-43, 1	02:30
		章末問題③	1-43, 2	05:30
	3章 溶液の性質	1節 溶解	1-44	02:00
		極性分子の溶解	1-45	02:00
		無極性分子の溶解	1-46	04:30
		固体の溶解度	1-47	06:00
		再結晶	1-48	03:00
		溶液の濃度	1-49	05:30
		質量モル濃度・例 7	1-50, 1	02:30
		例題 3・例 8	1-50, 2	04:00
		気体の溶解度	1-51	04:30
		例題 4・例 9	1-52	02:30
		炭酸飲料・減圧座	1-53	04:00
		2節 希薄溶液の性質	1-54	04:00
		モル凝固点昇	1-55	05:30
		凝固点降下	1-56	04:30
		冷却曲線	1-57	04:30
		沸点上昇・凝固点降下と分子量	1-58	06:30
		浸透圧	1-59	02:30
		浸透圧と分子量	1-60	03:30
		例題 5	1-61	02:30
		3節 コロイド	1-62	02:30
		コロイドの分類	1-63	04:30
		コロイドの溶液の性質	1-64	05:00
		電気泳動	1-65	01:30
		懸水コロイドと凝析	1-66	04:00
		親水コロイドと塩析	1-67	02:30
		章末まとめ①	1-68	04:30
		章末まとめ②	1-69	05:00
		章末問題①	1-70, 1	06:30
		章末問題②	1-70, 2	02:30
		章末問題③	1-71	04:00
	4章 固体の構造	1節 結晶	1-72	02:00
		結晶の種類	1-73	03:30
		2節 金属結晶の構造	1-74, 1	04:00
		金属結晶の構造	1-74, 2	02:00
		単位格子の一面の長さや原子半径の関係	1-75	04:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		例題1・問1・問2	1-77	06:00
		3問 イオン結晶の構造	1-78	04:30
		イオン結晶の配位数	1-79	05:30
		イオン結晶の形は何によって決まるか①	1-80	02:30
		イオン結晶の形は何によって決まるか②	1-81	04:00
		4問 分子結晶と共有結合の結晶	1-82	03:00
		氷の結晶構造	1-83	04:00
		黒鉛	1-84	03:00
		ダイヤモンドの結晶の単位格子と密度	1-85	03:00
		章末まとめ①	1-88	03:30
		章末まとめ②	1-87	03:00
		章末問題	1-88	06:00
		導入	1-89	02:00
2編 化学反応とエネルギー	1章 化学反応と熱・光	1問 反応とエンタルピー変化	1-90	03:30
		反応エンタルピーの符号	1-91	04:00
		エンタルピーの変化	1-92	03:30
		状態変化に伴うエンタルピー変化	1-93	05:00
		いろいろな反応エンタルピー	1-94	02:30
		生成エンタルピーと反応エンタルピー	1-95	06:00
		温度と熱量の関係	1-96	04:00
		化学反応が自然に進む方向	1-97	04:00
		2問 ヘスの法則	1-98	04:00
		ヘスの法則の応用	1-99	02:30
		ヘスの法則の練習問題	1-100	08:30
		結合エンタルピー	1-101	02:30
		結合エンタルピーと反応エンタルピー	1-102	03:00
		ヘスの法則を検証しよう	1-103	04:30
		異物を解にする一歩 反応エンタルピーの意外な応用	1-104	04:30
		格子エンタルピー	1-105	02:00
		3問 光とエネルギー	1-106	03:00
		光の放出・吸収	1-107	05:00
		章末まとめ①	1-108	03:00
		章末まとめ②	1-109	04:00
		章末問題①	1-110	04:30
		章末問題②	1-111_1	03:30
		章末問題③	1-111_2	04:00
	2章 電池と電気分解	1問 電池	1-112	04:00
		金属のイオン化傾向とイオン化剤	1-113	02:30
		ダニエル電池の起電力を調べよう	1-114	05:30
		実用電池	1-115	01:30
		マンガン電池	1-116	02:00
		鉛蓄電池	1-117	03:30
		リチウムイオン電池	1-118	02:30
		燃料電池	1-119	04:30
		2問 電気分解	1-120	02:00
		電気分解における反応	1-121	04:00
		水の電気分解	1-122	04:30
		赤銅化ナトリウムの製造	1-123	04:00
		銅の電気精錬	1-124	04:30
		アルミニウムの溶解電気分解	1-125	04:00
		電気分解の法則	1-126	03:30
		素天ダニエル電池でファラデー定数とアボガドロ定数を確認しよう	1-127	06:00
		実験7 まとめ (定数を求める)	1-128	04:00
		練習問題 (電気分解)	1-129	06:30
		章末まとめ①	1-130	03:30
		章末まとめ②	1-131	04:00
		章末問題	1-132	06:30
3編 化学反応の速さと平衡	1章 化学反応の速さ	導入	1-133	01:30
		1問 反応の速さ	1-134	03:00
		反応の速さの表し方	1-135	08:30
		練習問題 (反応速度)	1-136	03:00
		反応速度を求めよう	1-137	03:00
		実験8 まとめ (反応速度)	1-138	02:30
		練習問題 (反応速度)	1-139	06:30
		2問 反応速度を変える条件	1-140	04:00
		実験結果からの反応速度定数の求め方	1-141	02:30
		反応速度と温度	1-142	04:00
		反応速度と触媒	1-143	02:00
		均一触媒と不均一触媒	1-144	03:00
		反応速度を変えるほかの要因	1-145	04:00
		3問 反応のしくみ	1-146	03:30
		衝突理論と反応速度	1-147	06:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		活性化エネルギー	1-148	04:00
		触媒反応と活性化エネルギー	1-149	03:13
		活性化エネルギーと温度	1-150	03:00
		一時反応と半減期	1-151	04:10
		章末まとめ①	1-152	03:10
		章末まとめ②	1-153	02:15
		章末まとめ③	1-154	02:00
		章末問題	1-155	06:10
	2章 化学平衡	1節 可逆反応と化学平衡	1-156	03:10
		化学平衡	1-157	04:00
		平衡定数と化学平衡の法則	1-158	03:00
		平衡定数の値	1-159	04:10
		練習問題（平衡定数）	1-160	04:10
		平衡定数と気体の分圧の関係	1-161	06:10
		2節 平衡の移動	1-162	06:10
		濃度変化と平衡の移動	1-163	04:10
		圧力変化と平衡の移動	1-164	03:00
		圧力変化による平衡の移動のしくみ	1-165	04:10
		温度変化と平衡の移動	1-166	03:00
		触媒と平衡の移動	1-167	06:00
		平衡の移動を確認しよう	1-168	04:00
		ルシャトリエの原理の化学工業への応用	1-169	06:00
		章末まとめ①	1-170	02:10
		章末まとめ②	1-171	03:10
		章末問題①	1-172	06:00
		章末問題②	1-173	06:10
	3章 水溶液中の化学平衡	1節 電離平衡	1-174	03:10
		酸と塩基の電離定数	1-175	04:10
		電離定数	1-176	03:10
		酢酸の電離定数	1-177	04:10
		水の電離平衡	1-178	04:00
		pH	1-179	06:10
		2節 塩の水への溶解	1-180	04:10
		弱酸・弱塩基の加水分解と遊離	1-181	06:00
		練習問題（塩の水溶液）	1-182	06:10
		緩衝液	1-183	06:00
		緩衝液のpH	1-184	03:10
		緩衝作用と滴定曲線	1-185	03:10
		中和点のpHの算出法	1-186	06:00
		溶けにくい塩の溶解平衡	1-187	02:00
		溶解平衡と沈澱の生成	1-188	04:10
		溶解平衡と金属イオンの分離	1-189	04:10
		酸化水素の電離平衡と酸化物の沈澱	1-190	04:10
		緩衝のイオンの溶解度積の差を利用した電化物質イオンの定量法	1-191	04:10
		章末まとめ①	1-192	04:00
		章末まとめ②	1-193	06:00
		章末問題①	1-194_1	04:10
		章末問題②	1-194_2	03:00
4編 無機物質		導入	2-1	02:00
	1章 周期表と元素	1節 周期表と元素	2-6	03:10
		復習（元素の分類と周期表）	2-9	03:10
	2章 非金属元素の単体と化合物	1節 酸素とその化合物	2-10	03:00
		水素化合物	2-11	04:00
		2節 炭素	2-12	02:00
		3節 窒素とその化合物	2-13	03:10
		酸素の化合物①	2-14	04:10
		酸素の化合物②	2-15	02:10
		4節 ハロゲンとその化合物	2-16	03:10
		塩素・臭素	2-17	02:10
		ヨウ素	2-18	02:00
		ハロゲン（Cl, Br, I）の酸化力を比較しよう	2-19	04:10
		実験1 まとめ（ハロゲンの酸化力）	2-20	04:00
		ハロゲンの化合物	2-21	04:00
		フッ化水素・次亜塩素酸・ハロゲン化銀	2-22	04:00
		塩素系漂白剤と酸素系漂白剤を比較してみよう	2-23	03:10
		5節 硫黄とその化合物	2-24	03:10
		二酸化硫黄	2-25	06:00
		硫酸	2-26	04:00
		濃硫酸・希硫酸	2-27	06:00
		6節 窒素・リンとその化合物	2-28	06:10
		ハーバー・ボッシュ法	2-29	03:10
		一酸化窒素・二酸化窒素	2-30	03:10

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		硝酸	2-31	05:00
		リンとその化合物	2-32	03:00
		ハーバー・ボッシュ法がなかったら?	2-33	05:30
		7族 炭素・ケイ素とその化合物	2-34	02:30
		一般化炭素・二酸化炭素	2-35	04:00
		ケイ素 (単体)	2-36	05:00
		ケイ素 (化合物)	2-37	03:30
		国試化学 1 気体の発生と捕集方法①	2-38	02:00
		国試化学 1 気体の発生と捕集方法②	2-39	02:00
		章末まとめ①	2-40	05:30
		章末まとめ②	2-41	04:30
		章末問題①	2-42	06:30
		章末問題②	2-43	06:30
	3章 典型金属元素の単体と化合物	1節 アルカリ金属とその化合物	2-44	03:30
		アルカリ金属の性質	2-45	03:00
		水酸化ナトリウム	2-46	04:00
		炭酸ナトリウム	2-47	04:30
		炭酸水素ナトリウム	2-48	04:00
		アルカリ工業の変遷	2-49	04:00
		2節 アルカリ土類金属とその化合物	2-50	03:30
		アルカリ土類金属の化合物①	2-51	03:00
		アルカリ土類金属の化合物②	2-52	02:30
		アルカリ土類金属の性質を調べよう	2-53	05:00
		3節 1,2族以外の典型金属元素とその化合物	2-54	03:00
		アルミニウムの特徴	2-55	04:00
		アルミニウムの化合物	2-56	04:00
		アルミニウムの性質を調べよう	2-57	03:00
		スズ・鉛とその化合物	2-58	04:00
		鉛 (※) イオンの反応・合金	2-59	05:30
		カリウム・カルシウムの電子配置①	2-60	03:00
		カリウム・カルシウムの電子配置②	2-61	03:30
		章末まとめ①	2-62	04:30
		章末まとめ②	2-63	04:30
		章末問題	2-64	06:00
		国試化学 2 金属イオンの反応のまとめ	2-65	02:30
	4章 遷移元素の単体と化合物	1節 遷移元素の特徴	2-66	03:00
		鉄イオン	2-67	05:00
		2節 遷移元素とその化合物	2-68	03:30
		鉄とその化合物	2-69	04:00
		銅 (単体)	2-70	03:00
		銅 (化合物)	2-71	03:00
		銅 (※) イオンの反応	2-72	04:30
		銀とその化合物	2-73	05:00
		銀イオンの反応	2-74	03:00
		亜鉛とその化合物	2-75	04:30
		亜鉛イオンのさまざまな反応	2-76	04:30
		常温で唯一の液体の金属「水銀」	2-77	03:30
		クロムとその化合物	2-78	03:00
		マンガンとその化合物	2-79	04:00
		章末まとめ①	2-80	04:30
		章末まとめ②	2-81	04:00
		章末問題	2-82	06:00
		国試化学 3 金属イオンの反応のまとめ	2-83	03:00
		レアメタルと日本近海に漂着の汚染水処理①	2-84	02:30
		レアメタルと日本近海に漂着の汚染水処理②	2-85	03:00
		遷移元素はなぜいろいろな酸化数をとるのか①	2-86	03:00
		遷移元素はなぜいろいろな酸化数をとるのか②	2-87	03:00
	5章 金属イオンの分離と確認	1節 金属イオンが検出できる反応	2-88	03:00
		沈殿反応①	2-89	03:00
		沈殿反応②	2-90	03:30
		金属イオンの沈殿反応をまとめよう	2-91	03:30
		2節 金属イオンの系統分離と確認	2-92	04:00
		金属イオンを分離し、確認する方法を考えよう	2-93	04:00
		国試化学 4 金属イオンの分離と確認	2-94	03:00
		章末まとめ	2-95	04:00
		章末問題	2-97	04:30
		国試化学 5 有機物質と人間生活①	2-98	05:30
		国試化学 5 有機物質と人間生活②	2-99	03:00
		金属イオンを確認する方法を計画し、実験しよう	2-100	04:30
5章 有機化合物	1章 有機化合物の特徴と構造	導入	2-101	02:00
		1節 有機化合物の特徴	2-102	03:00
		有機化合物の特徴	2-103	02:30

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		炭化水素の分類	2-104	02:38
		官能基による分類	2-105	04:02
		有機化合物の表し方	2-106	04:02
		異性体	2-107	05:08
		2章 有機化合物の構造式の決定	2-108	05:32
		成分元素の確認	2-109	00:32
		元素分析	2-110	05:38
		組成式の決定	2-111	00:32
		分子式の決定	2-112	04:32
		構造式の決定	2-113	04:32
		章末まとめ①	2-114	05:02
		章末まとめ②	2-115	05:32
		章末問題	2-116	04:32
		核磁気共鳴法による構造式の決定	2-117	04:02
	2章 炭化水素	1節 飽和炭化水素	2-118	05:32
		アルカンの構造	2-119	05:02
		アルカンの性質	2-120	05:32
		アルカンの反応	2-121	02:32
		置換反応・シクロアルカン	2-122	02:32
		シクロアルカンのひずみとシクロヘキサンの立体構造	2-123	05:32
		2節 不飽和炭化水素	2-124	04:02
		シス・トランス異性体	2-125	04:02
		アルケンの製法と反応①	2-126	04:02
		アルケンの製法と反応②	2-127	03:02
		マルコフニコフ則	2-128	05:02
		アルケンの酸化反応	2-129	05:02
		アルキン	2-130	05:32
		アルキンの反応	2-131	05:02
		アセチリド	2-132	05:02
		炭化水素の分子式と構造（不飽和度について）	2-133	05:02
		メタンの正四面体構造—炭成軌道に基づく理解—	2-134	05:32
		エチン・アセチレンの分子構造—炭成軌道に基づく理解—	2-135	04:32
		章末まとめ①	2-136	05:32
		章末まとめ②	2-137	05:32
		章末問題	2-138	06:02
		石油と天然ガス	2-139	02:32
	3章 アルコールと関連化合物	1節 アルコールとエーテル	2-140	04:32
		アルコールの分類と性質	2-141	04:02
		さまざまなアルコール	2-142	02:32
		アルコールの反応	2-143	04:02
		脱水反応	2-144	04:02
		エタノールによる衛生管理	2-145	03:02
		エーテル	2-146	04:02
		アルコールの性質を調べよう	2-147	03:02
		2節 アルデヒドとケトン	2-148	05:02
		アルデヒドの性質	2-149	03:02
		さまざまなアルデヒド	2-150	02:32
		アルデヒドの性質を調べよう	2-151	04:32
		ケトン	2-152	02:32
		ヨードホルム反応	2-153	04:02
		3節 カルボン酸	2-154	05:32
		カルボン酸の分類と性質	2-155	03:32
		さまざまなカルボン酸	2-156	02:32
		オレイン酸・パルミ酸	2-157	02:32
		脂肪酸の性質	2-158	03:02
		脂肪酸の性質と不斉中心	2-159	03:02
		4節 エステル・油脂・セッケン	2-160	05:02
		酢酸エチル・カルボン酸以外のエステル	2-161	04:02
		エステル化の反応機構	2-162	02:32
		油脂	2-163	05:02
		油脂の性質	2-164	06:02
		界面活性（けん化とヨウ素価）—セッケン	2-165	05:02
		セッケンの洗浄作用	2-166	04:02
		合成洗剤	2-167	02:32
		章末まとめ①	2-168	03:32
		章末まとめ②	2-169	05:02
		章末問題①	2-170_1	04:02
		章末問題②	2-170_2	04:32
		有機化学 6 有機炭素化合物の反応	2-171	03:02
	4章 芳香族化合物	1節 芳香族炭化水素	2-172	02:32
		ベンゼン	2-173	05:02
		芳香族炭化水素	2-174	02:32

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		芳香族炭化水素の反応	2-175	03:38
		実験13 ニトロベンゼンを合成しよう	2-176	03:00
		トルエンのニトロ化・付加反応	2-177	03:05
		2節 フェノール類と芳香族カルボン酸	2-178	02:38
		フェノール類の性質①	2-179	02:35
		フェノール類の性質②	2-180	03:35
		フェノールの製法	2-181	04:05
		フェノールの反応	2-182	01:30
		芳香族カルボン酸①	2-183	04:00
		芳香族カルボン酸②	2-184	02:05
		芳香族カルボン酸③	2-185	03:30
		ザリチン酸メチルを合成してみよう	2-186	03:05
		芳香族化合物の置換基の配向性	2-187	03:30
		3節 芳香族アミンとアゾ化合物	2-188	03:00
		芳香族アミン	2-189	03:35
		アゾ化合物	2-190	03:00
		クロスカップリングー有機分子を組み立てるー	2-191	03:00
		4節 芳香族化合物の分離	2-192	04:35
		酸の物性による分離・酢酸・酢酸基の分離	2-193	03:00
		芳香族化合物の分離の例	2-194	03:35
		実験14 芳香族化合物を分離してみよう	2-195	04:35
		実験15 芳香族化合物の分離方法を考えてみよう	2-196	02:30
		図説化学 7	2-197	02:30
		図説化学 8	2-198	04:00
		章末まとめ①	2-200	03:30
		章末まとめ②	2-201	03:35
		章末問題①	2-202	06:00
		章末問題②	2-203	06:00
		図説化学 9 有機化合物と人間生活①	2-204	03:35
		図説化学 9 有機化合物と人間生活②	2-205	03:00
		図説化学 9 有機化合物と人間生活③	2-206	03:00
		図説化学 9 有機化合物と人間生活④	2-207	04:05
		図説化学 9 有機化合物と人間生活⑤	2-208	02:30
6編 高分子化合物		導入	2-209	01:30
	1章 高分子化合物とは何か	1節 高分子化合物の種類と特徴	2-210	04:35
		高分子化合物の構造・天然高分子化合物の種類と特徴	2-211	03:00
		合成高分子化合物の種類と特徴①	2-212	04:30
		合成高分子化合物の種類と特徴②	2-213	02:35
		合成高分子化合物の種類と特徴③	2-214	03:00
		章末まとめ	2-215	03:35
	2章 高分子化合物とは何か	1節 単糖類と二糖類	2-216	03:00
		単糖類①	2-217	04:35
		単糖類②	2-218	04:05
		単糖類③	2-219	03:00
		二糖類①	2-220	04:35
		二糖類②	2-221	05:35
		2節 多糖類	2-222	04:05
		デンプンとグリコーゲン	2-223	03:30
		実験16 デンプンを加水分解してみよう	2-224	04:05
		セルロース	2-225	03:00
		セルロースの制御①	2-226	03:30
		セルロースの制御②	2-227	03:30
		実験17 銅アンモニアレーン合成しよう	2-228	03:00
		天然繊維	2-229	04:00
		3節 アミノ酸	2-230	04:30
		アミノ酸の種類	2-231	03:35
		アミノ酸の性質と反応①	2-232	04:35
		アミノ酸の性質と反応②	2-233	03:00
		等電点と滴定曲線	2-234	03:35
		ペプチド	2-235	04:35
		4節 タンパク質	2-236	04:00
		タンパク質の分類	2-237	03:00
		タンパク質の構造	2-238	02:30
		タンパク質の性質	2-239	03:30
		タンパク質の着色反応	2-240	03:30
		実験18 タンパク質の着色反応を確認しよう	2-241	03:30
		酵素①	2-242	04:00
		酵素②	2-243	03:00
		酵素の構造	2-244	01:30
		DNAの構造とはたらき	2-245	04:00
		章末まとめ①	2-246	05:35
		章末まとめ②	2-247	04:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間		
	3章 合成高分子化合物	章末問題①	2-248	18:55		
		章末問題②	2-249	05:00		
		1節 合成樹脂	2-250	03:00		
		縮合重合・開環重合と合成繊維①	2-251	03:00		
		縮合重合・開環重合と合成繊維②	2-252	03:00		
		縮合重合・開環重合と合成繊維③	2-253	05:10		
		付加重合と合成繊維	2-254	03:10		
		ゼウタゲリオンゲルと高分子ゲル	2-255	04:00		
		2節 合成樹脂	2-256	03:00		
		熱可塑性樹脂	2-257	03:30		
		熱硬化性樹脂①	2-258	03:00		
		熱硬化性樹脂②	2-259	04:00		
		イオン交換樹脂①	2-260	03:30		
		イオン交換樹脂②	2-261	03:00		
		3節 ゴム	2-262	03:10		
		天然ゴム	2-263	03:00		
		合成ゴム	2-264	03:00		
		章末まとめ①	2-265	04:00		
		章末まとめ②	2-266	03:00		
		章末問題①	2-267	05:10		
		章末問題②	2-268	04:10		
		章末問題③	2-269	04:00		
		国際化学 1B 高分子化合物と人間生活①	2-270	04:10		
		国際化学 1B 高分子化合物と人間生活②	2-272	03:00		
		国際化学 1B 高分子化合物と人間生活③	2-273	02:00		
		7編 化学が果たす役割	1章 化学的性質の利用と工業的製法	導入	2-274	01:00
				1節 化学的性質の利用と工業的製法	2-275	03:30
				塩素の濃度を調べる	2-277	05:00
				二酸化硫黄の物質量を調べる	2-278	04:00
				2節 物質の工業的製法	2-279	02:00
銅の製造	2-280			02:30		
アルミニウムの製造	2-281			03:30		
有機工業化学	2-282			02:30		
高分子化合物	2-283			02:30		
2章 未来を創る化学	1節 物質を通して未来を創る			2-284	04:00	
	元素と物質と機能			2-285	02:30	
	2節 物質を通して未来を考える①			2-286	03:00	
	物質を通して未来を考える②			2-287	02:00	
	物質を通して未来を考える③			2-288	02:10	
			総時間	29:16:30		

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
理科	物理	4単位	1 2	7	東京書籍 物理	

学習の目標

物理的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験を行うことを通して、必要な資質・能力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容
第1回	加速度、重力、剛体、相対速度、有効数字
第2回	力積と運動量、はね返り係数、回転運動
第3回	単振動、ケプラーの法則、万有引力やそれらを応用した宇宙速度
第4回	気体の性質（気体分子の運動と状態方程式）、熱力学第1法則と熱力学第2法則

第5回	波の伝わり方、音の性質とドップラー効果
第6回	光の伝わり方・回折と干渉、レンズと鏡
第7回	静電気、電場と電位、コンデンサー
第8回	電流、電気抵抗、半導体
第9回	電流が作る磁場（磁界）、ローレンツ力について
第10回	電磁誘導と電磁波
第11回	電子と光、X線、波動性と粒子性について
第12回	原子の構造、原子核、核反応と核エネルギー

面接指導	学習内容
1時間	平面内の運動
2時間	円運動
3時間	万有引力
4時間	音
5時間	光
6時間	電場と電位
7時間	電流

メディア視聴	学習内容
1時間	運動量
2時間	気体分子の運動
3時間	波の伝わり方
4時間	光
5時間	電流
6時間	電磁誘導と電磁波
7時間	電子と光
8時間	原子と原子核
9時間	核反応と核エネルギー

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	物理的な事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解することができる。
思考・判断・表現	物理現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成して予想をしたり、仮説を立てたりして科学的に探究できる。
主体的に学習に取り組む態度	・物理的な事物・現象に対する興味関心を持っている。 ・これからの物理的な事物、現象との関わり方について主体的、意欲的に探究を行う。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に7単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

物理 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

（別紙教科書解説動画映像参照）

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
1部 さまざまな運動	1章 平直内の運動	導入	7	04:10
		1章に入る前に	8	05:00
		1節 平直内の運動	9	06:11
		速度・加速度	10	06:10
		ベクトルの成分表示	11	06:18
		ベクトルの成分表示の練習問題	12	06:18
		合成速度	13	06:10
		相対速度	14	07:00
		ニュートンの運動の3法則	15	04:11
		ニュートンの運動の3法則の練習問題	16	05:10
		2節 放物運動	17	07:00
		水平放物	18	06:11
		斜方投射	19	06:10
		斜方投射の練習問題	20	05:10
		空気抵抗(1)	21	06:10
		空気抵抗(2)	22	05:10
		1章の最後に①	023-1	04:10
		1章の最後に②	023-2	04:11
		章末問題①	024-1	05:10
		章末問題②	024-2	05:11
	2章 剛体のつり合い	2章に入る前に	25	04:10
		1節 剛体と力のモーメント	26	05:11
		剛体のつり合い	27	03:10
		力のモーメント	28	04:10
		実験1 棒とバランス①	29	05:10
		実験1 棒とバランス②	30	05:11
		実験1 棒とバランス③	31	05:10
		剛体のつり合い	32	05:11
		剛体のつり合いの練習問題	33	06:11
		剛体にはたらく2力の合力	34	06:10
		重心①	35	04:10
		重心②	36	05:11
		3物体以上の重心	37	05:10
		重心の練習問題	38	05:10
		物体が転倒しない条件	39	04:11
		物体が転倒しない条件の練習問題	40	05:10
		2章の最後に	41	05:10
		章末問題①	042-1	06:10
		章末問題②	042-2	04:10
	3章 運動量	3章に入る前に	43	04:10
		1節 力積と運動量	44	05:10
		力積	45	04:10
		力積と運動量	46	06:10
		運動量	47	05:10
		慣性と平均の力	48	05:11
		運動量と力積の練習問題	49	06:10
		2節 運動量の保存	50	05:10
		実験① 直線上での力学台車の衝突や分離①	51	04:10
		実験② 直線上での力学台車の衝突や分離②	52	04:11
		直線上での運動量の保存	53	05:10
		運動量の保存	54	05:10
		運動量の保存の練習問題	55	06:11
		衝突と重心の運動	56	05:10
		3節 反発係数	57	03:10
		床や壁との衝突	58	05:10
		反発係数	59	05:10
		斜め衝突	60	05:10
		直線上の2物体の衝突	61	06:11
		運動量と力学的エネルギー	62	06:10
		2物体の衝突における力学的エネルギーの変化	63	05:10
		特例 運動量保存の法則	64	05:11
		運動量保存の法則の練習問題①	65	04:10
		運動量保存の法則の練習問題②	66	05:10
		運動量保存の法則の練習問題③	67	05:10
		運動量保存の法則の練習問題④	68	05:10
		3章の最後に①	069-1	06:10
		3章の最後に②	069-2	04:10
		章末問題①	070-1	07:10
		章末問題②	070-2	02:11
	4章 円運動	4章に入る前に	71	03:10
		1節 円運動	72	05:10
		角速度	73	06:11

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
物理		加速度	74	05:00
		円運動に必要な力	75	04:00
		向心力	76	05:00
		鉛直円内での円運動	77	05:30
		2節 慣性力	78	05:00
		直線運動における慣性力	79	05:30
		円運動における慣性力	80	04:00
		离心力	81	05:00
		慣性力の練習問題①	082-1	04:30
		慣性力の練習問題②	082-2	05:00
		4章の最後に	83	05:00
		章末問題①	084-1	06:00
		章末問題②	084-2	04:30
	5章 単振動	5章に入る前に	85	03:30
		1節 単振動	86	05:00
		単振動の表し方	87	03:00
		単振動の式①	88	05:00
		単振動の式②	89	05:00
		2節 さまざまな単振動	90	04:30
		実験3 鉛直ばね振り子①	91	05:00
		実験3 鉛直ばね振り子②	92	04:30
		実験3 鉛直ばね振り子③	93	07:00
		ばね振り子の練習問題	94	05:00
		単振動を引き起こす力と単振動の周期	95	05:00
		単振動の練習問題	96	05:30
		実験4 単振り子①	97	04:30
		実験4 単振り子②	98	04:00
		実験4 単振り子③	99	05:00
		振り子の等時性	100	05:30
		振り子の練習問題	101	05:30
		宇宙ステーション内で体重をはかるには	102	04:30
		3節 単振動のエネルギー①	103	03:30
		単振動のエネルギー②	104	04:00
		5章の最後に	105	05:30
		章末問題	106	06:00
	6章 万有引力	6章に入る前に	107	03:00
		1節 惑星の運動①	108	05:30
		惑星の運動②	109	03:00
		ケプラーの法則	110	03:00
		2節 万有引力	111	04:30
		万有引力の法則	112	04:30
		重力	113	05:00
		人工衛星	114	04:30
		万有引力による位置エネルギー①	115	05:00
		万有引力による位置エネルギー②	116	04:00
		第2宇宙速度	117	05:00
		第3宇宙速度	118	05:00
		6章の最後に	119	04:30
		章末問題	120	07:00
	7章 気体分子の運動	7章に入る前に	121	03:30
		1節 気体の性質	122	04:30
		ボイル・シャルルの法則①	123	05:30
		ボイル・シャルルの法則②	124	04:30
		ボイル・シャルルの法則③	125	05:30
		ボイル・シャルルの法則④	126	04:30
		理想気体の状態方程式	127	03:00
		理想気体の状態変化	128	05:00
		ボイルとシャルル	129	04:00
		2節 気体分子の運動と状態方程式	130	05:30
		気体分子の運動と圧力①	131	05:00
		気体分子の運動と圧力②	132	05:00
		気体分子の運動と絶対温度	133	05:00
		気体分子の運動と気体の内部エネルギー	134	05:30
		単原子分子理想気体と二原子分子理想気体	135	04:00
		統計力学とボルツマン	136	05:00
		3節 熱力学第1法則と気体の状態変化	137	03:30
		気体の仕事	138	05:30
		実験5 気体の圧縮①	139	04:00
		実験5 気体の圧縮②	140	05:30
		熱力学第1法則と気体の状態変化	141	05:00
		定積変化・定圧変化	142	05:30
		気体のモル熱容量	143	06:30

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		定圧モル熱容量①	144	00:10
		定圧モル熱容量②	145	04:10
		気体の状態変化の練習問題	146	00:10
		気体の状態変化のまとめ	147	04:10
		4節 熱力学第2法則と熱機関	148	04:10
		熱力学第2法則と熱効率、可逆変化、不可逆変化	149	05:10
		熱力学第2法則の例の表し方	150	04:00
		熱機関の練習問題	151	07:10
		等温変化と断熱変化による熱機関のサイクル(カルノーサイクル) ①	152	05:10
		等温変化と断熱変化による熱機関のサイクル(カルノーサイクル) ②	153	07:10
		7章の最後に	154	04:10
		章末問題①	155	00:10
		章末問題②	156	00:00
		記憶問題	157	04:10
		模範 PLUS	158	03:10
2編 波	1章 波の伝わり方	導入	159	02:10
		1章に入る前に	160	03:10
		1節 波の表し方	161	05:10
		正弦波を表す式	162	05:00
		位相	163	03:10
		正弦波の練習問題	164	05:10
		2節 波の伝わり方	165	03:10
		回折・反射	166	03:00
		屈折	167	04:10
		ホイヘンスの原理	168	06:00
		ホイヘンスの原理による反射と屈折の説明	169	05:10
		干渉	170	04:00
		波の干渉条件①	171	04:10
		波の干渉条件②	172	00:00
		1章の最後に	173	05:10
		章末問題	174	00:00
	2章 音	2章に入る前に	175	03:10
		1節 音の性質	176	05:00
		音の屈折・回折・干渉	177	05:10
		音の干渉についての実験と練習問題	178	04:00
		2節 ドップラー効果①	179	05:10
		ドップラー効果②	180	05:10
		ドップラー効果③	181	05:10
		ドップラー効果④	182	04:10
		ドップラー効果⑤	183	00:00
		音の反射とドップラー効果	184	04:10
		ドップラー効果の練習問題	185	04:10
		風があるときのドップラー効果・斜め方向のドップラー効果	186	05:00
		2章の最後に	187	04:00
		章末問題	188	07:00
	3章 光	3章に入る前に	189	03:10
		1節 光の伝わり方	190	05:00
		ものが見えるということ	191	03:00
		光の速さ	192	00:00
		反射と屈折①	193	04:10
		反射と屈折②	194	04:00
		光の屈折の練習問題	195	03:10
		全反射	196	04:00
		分散	197	05:00
		偏光	198	03:00
		顕微鏡と顕微鏡のしくみ	199	03:00
		散乱	200	05:00
		2節 光の回折と干渉①	201	04:00
		光の回折と干渉②	202	05:00
		実験 6 ヤングの2重スリットの実験①	203	04:10
		実験 6 ヤングの2重スリットの実験②	204	04:10
		回折格子①	205	05:10
		回折格子②	206	03:10
		回折格子③	207	04:00
		薄膜による干渉①	208	05:10
		薄膜による干渉②	209	05:00
		湿気層による干渉①	210	00:00
		湿気層による干渉②	211	00:00
		ニュートンリング	212	04:10
		ニュートンリングの練習問題	213	05:00
		3節 レンズと鏡	214	04:10
		レンズを通る光の進み方	215	04:10

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		凸レンズによる像①	216	06:15
		凸レンズによる像②	217	07:18
		凸レンズによる像の練習問題	218	03:15
		凹レンズによる像	219	03:15
		組み合わせたレンズ	220	05:11
		レンズの式	221	04:15
		平面鏡と球面鏡	222	04:11
		球面鏡による像①	223	04:15
		球面鏡による像②	224	04:15
		球面鏡の式	225	03:15
		反射望遠鏡	226	03:15
		3章の最後に	227	05:15
		章末問題①	228-1	03:15
		章末問題②	228-2	04:15
		記述問題	229	09:15
		探究 PLUS	230	03:11
3編 電気と磁気	1章 電場と電位	導入	231	02:15
		1章に入る前に	232	03:15
		1節 静電気	233	03:01
		電気量保存の法則	234	04:05
		クーロンの法則①	235	05:01
		クーロンの法則②	236	05:15
		クーロンの法則の練習問題	237	05:15
		2節 電場(電界)①	238	04:15
		電場(電界)②	239	05:15
		点電荷がつくる電場①	240	03:15
		点電荷がつくる電場②	241	04:15
		電気力線①	242	04:15
		電気力線②	243	04:15
		電気力線と電場の向き	244	04:15
		ガウスの法則の練習問題	245	05:15
		3節 電位	246	03:15
		電位と電位差①	247	05:15
		電位と電位差②	248	06:01
		放電機	249	04:05
		一様な電場の中での電位の変化	250	05:11
		一様な電場の中での電位	251	05:15
		点電荷のまわりの電位①	252	04:15
		点電荷のまわりの電位②	253	04:15
		点電荷のまわりの電位の練習問題	254	05:15
		4節 電場の中の物体	255	04:15
		電場の中の導体①	257	05:11
		電場の中の導体②	258	04:15
		電場の中の不導体①	259-1	05:01
		電場の中の不導体②	259-2	04:15
		5節 コンデンサー	260	03:15
		電気を蓄える	261	04:15
		コンデンサーの電気容量	262	04:11
		平行板コンデンサーの電気容量	263	03:05
		誘電体のはたらき	264	06:01
		コンデンサーの充電	265	05:05
		コンデンサーに蓄えられるエネルギー	266	05:05
		コンデンサーの接続①	267	04:15
		コンデンサーの接続②	268	06:15
		コンデンサーの接続の練習問題①	269	05:05
		コンデンサーの接続の練習問題②	270	04:11
		コンデンサーの接続の練習問題③	271	05:15
		1章の最後に	272	05:15
		章末問題①	273-1	07:15
		章末問題②	273-2	07:15
		章末問題③	274	05:05
	2章 電流	2章に入る前に①	275-1	03:11
		2章に入る前に②	275-2	04:15
		1節 電流	276	05:01
		電気回路の基礎変化	277	03:01
		自由電子の運動と電流(モデル化)①	278	04:15
		自由電子の運動と電流(モデル化)②	279	04:15
		自由電子の運動と電流(モデル化)③	280	04:11
		2節 直列回路	281	05:15
		キルヒホッフの法則①	282	04:11
		キルヒホッフの法則②	283	05:15
		電池の内抵抗と端子電圧	284	06:15

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		実験7 電池の端子電圧と内部抵抗①	285	05:11
		実験7 電池の端子電圧と内部抵抗②	286	02:11
		電池の端子電圧と内部抵抗	287	06:11
		電流計・電圧計の内部抵抗①	288	05:11
		電流計・電圧計の内部抵抗②	289	07:11
		ホイートストンブリッジ	290	02:11
		電位差系(ポテンションメーター)	291	04:11
		コンデンサーを含む回路①	292-1	06:11
		コンデンサーを含む回路②	292-2	04:11
		コンデンサーの練習問題①	294	06:11
		コンデンサーの練習問題②	295	04:11
		半導体①	296	05:11
		半導体②	297	03:11
		半導体ダイオードの練習問題	298	04:11
		トランジスタのはたらき①	299	03:11
		トランジスタのはたらき②	300	04:11
		2章の最後に	301	05:11
		章末問題①	312-1	05:11
		章末問題②	312-2	04:11
	3章 電流と磁場	3章に入る前に	303	02:11
		1節 磁場(磁界)	304	04:11
		磁場(磁界)の向きと強さ	305	04:11
		磁力線	306	03:11
		磁性の起源①	307	03:11
		磁性の起源②	308	05:11
		2節 電流がつくる磁場	309	04:11
		直線状の電流がつくる磁場	310	04:11
		ビオ・サバールの法則	311	02:11
		曲線上の電流がつくる磁場	312	03:11
		電流による磁場の練習問題	313	05:11
		3節 電流が磁場から受ける力(電磁力)	314	03:11
		電磁気力を基準として磁場を表す	315	04:11
		磁束	316	03:11
		平行電流が及ぼしあう力	317	05:11
		4節 ローレンツ力①	318	03:11
		ローレンツ力②	319	04:11
		磁場中の荷電粒子の運動①	320	04:11
		磁場中の荷電粒子の運動②	321	04:11
		ローレンツ力の利用ー円形加速器	322	04:11
		ホール効果	323	02:11
		ホール素子の身近な利用	324	04:11
		3章の最後に	325	04:11
		章末問題	326	03:11
	4章 電磁誘導と電磁波	4章に入る前に	327	04:11
		1節 電磁誘導	328	02:11
		実験8 電磁誘導①	329	04:11
		実験8 電磁誘導②	330	02:11
		電磁誘導の法則	331	06:11
		電磁誘導はどのように説明されるか①	332	04:11
		電磁誘導はどのように説明されるか②	333	04:11
		電磁誘導はどのように説明されるか③	334	06:11
		電磁誘導とエネルギー保存の法則	335	04:11
		誘電体	337	05:11
		2節 自己誘導と相互誘導	338	04:11
		自己インダクタンス	339	02:11
		コイルを含む回路①	340	03:11
		コイルを含む回路②	341	04:11
		コイルに蓄えられるエネルギー	342	04:11
		相互誘導	343	05:11
		3節 交流	344	04:11
		交流電圧	345	05:11
		抵抗と交流①	346	03:11
		抵抗と交流②	347	04:11
		コイルと交流①	348	03:11
		コイルと交流②	349	05:11
		コンデンサーと交流	350	04:11
		コンデンサーの容量リアクタンス	351	05:11
		交流における抵抗、コイル、コンデンサーの特性	352	03:11
		変圧器と電力伝送	353	04:11
		RLC直列回路①	354	02:11
		RLC直列回路②	355	04:11
		RLC直列回路③	356	05:11

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		RLC並列回路	357	04:10
		RLC回路の練習問題	358	04:10
		電気振動①	359	03:00
		電気振動②	360	03:10
		電気振動の練習問題	361	04:00
		4節 電磁波	362	02:00
		電磁波の発生	363	03:10
		電磁波の性質	364	04:00
		電磁波の性質を調べる実験	365	03:00
		電磁波の総論	366	03:10
		4章の最後に	368	05:10
		章末問題①	369-1	05:00
		章末問題②	369-2	14:00
		章末問題③	370	05:10
		記述問題	371	03:10
		探究PLUS	372	03:10
4編 原子	1章 電子と光	導入	373	02:00
		1章に入る前に	374	03:10
		1節 電子	375	04:00
		電子の比電荷	376	02:10
		トムソンの実験	377	06:10
		電気量	378	04:10
		ミリカンの実験の練習問題	379	04:10
		2節 光の粒子性	380	04:10
		光電効果の実験結果と波動性による説明	381	04:10
		光子（光量子）と光電効果	382	04:10
		電子ボルト	383	03:10
		3節 X線	384	05:00
		X線の発生	385	02:10
		X線の波動性	386	14:00
		X線の粒子性	387	04:00
		コンプトン効果	388	04:00
		4節 波動性と粒子性	389	03:10
		物質波と電子線の回折・干渉	390	04:00
		量子力学とハイゼンベルグの不確定性原理	391	05:00
		粒子の波動性とは何なのか	392	03:10
		1章の最後に	393	04:00
		章末問題	394	05:10
	2章 原子と原子核	2章に入る前に	395	03:10
		1節 原子の構造	396	03:00
		原子核の発見	397	03:10
		原子核の大きさ	398	03:00
		水素原子のスペクトル	399	02:10
		水素原子のボーア模型①	400	04:10
		水素原子のボーア模型②	401	04:00
		水素原子のボーア模型③	402	03:00
		水素原子のボーア模型④	403	14:10
		水素原子のボーア模型⑤	404	02:10
		水素原子のスペクトル	405	04:00
		フランクとヘルツの実験	406	14:00
		2節 原子核	407	03:10
		同位体	408	05:10
		統一原子質量単位・原子量	409	05:10
		3節 原子核の崩壊	410	04:10
		放射線	411	05:10
		半減期と崩壊系列	412	02:00
		ニュートリノの発見	413	04:00
		放射線の性質とその利用①	414	03:00
		放射線の性質とその利用②	415	04:10
		4節 核反応と核エネルギー	416	04:10
		核反応	417	04:00
		等価性と結合エネルギー①	418	03:00
		等価性と結合エネルギー②	419	04:10
		核分裂①	420	04:00
		核分裂②	421	03:10
		核融合	422	05:10
		5節 素粒子	423	03:00
		素粒子の種類①	424	03:10
		素粒子の種類②	425	04:10
		素粒子の種類③	426	14:00
		4つの基本的な力	427	04:00
		素粒子の反応	428	03:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		標準模型	429	03:10
		素粒子と宇宙	430	03:00
		2重の最後	431	05:10
		巻末問題①	432-1	04:10
		巻末問題②	432-2	03:00
		記述問題	433	04:10
終章	物理学が語る未来	宇宙の歴史と新しい宇宙観測	434	05:10
		量子力学とコンピュータ	436	05:10
		新しい時計が未来の物理と社会を変える	438	05:10
		人工知能研究に活かされる物理学	440	04:10
		生物の知能を再現し未知の能力に挑戦する	442	04:10
		誰もが物理学を学べるために	444	04:10
		探究PLUS	446	03:10
巻末資料		巻末問題①	447	02:00
		巻末問題②	448	03:10
		巻末問題③	449	03:00
		巻末問題④	450	01:20
		巻末問題⑤	451	03:10
		巻末問題⑥	453	02:00
		巻末問題⑦	454	01:10
		巻末問題⑧	455	02:00
		科学と私たち(社会)とのつながり	456	05:10
			総時間	33:25:30

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
保健体育	体育1	3単位	3	6	大修館 現代高等保健体育	

学習の目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体と捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容
第1回	・スポーツの始まりと変遷 ・文化としてのスポーツ
第2回	・オリンピックとパラリンピックの意義 ・スポーツが経済に及ぼす効果
第3回	・スポーツの高潔さとドーピング ・スポーツと環境

面接指導	学習内容
1時間 2時間	1. 体づくり運動（スポーツテスト） 2. 本時の学習 (1) 目標 運動する心地よさや仲間と関わって運動する楽しさを味わい、健康を維持するための運動や様々なスポーツを行う上で必要となる体力を高めることができる。
3時間 4時間	1. 陸上競技 2. 本時の学習 (1) 目標 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身につけることができる。
5時間 6時間	1. 球技（卓球・バドミントン） 2. 本時の学習 (1) 目標 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを深く味わい、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開することができる。

メディア視聴	学習内容
1時間	スポーツの始まりと変遷
2時間	オリンピックとパラリンピックの意義
3時間	スポーツが経済に及ぼす効果
4時間	スポーツと環境
5時間	陸上競技
6時間	水泳競技
7時間	器械運動
8時間	球技（テニス）
9時間	球技（ソフトテニス）

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方を理解しているか。 ・スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解しているか。
思考・判断・表現	・知識を活用し、技能向上につなげることができる。 ・自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫することができる。 ・運動を継続したり、体力や技術向上をするための計画を考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	公正、協力、責任、参画などの態度を身に付けることができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全3回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に6単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

体育1 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

（別紙教科書解説動画映像参照）

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
《保健編》	保健編1 単元 現代社会と健康	01 健康の考え方をと組み立てよう①	6	03:44
		01 健康の考え方をと組み立てよう②	7	03:03
		02 私たちの健康のすがた①	8	03:40
		02 私たちの健康のすがた②	9	02:40
		03 生活習慣病の予防と回復①	12	04:12
		03 生活習慣病の予防と回復②	13	01:40
		04 がんの原因と予防①	14	03:33
		04 がんの原因と予防②	15	02:17
		05 がんの診断と回復①	16	03:12
		05 がんの診断と回復②	17	02:35
		06 運動と健康①	20	02:31
		06 運動と健康②	21	03:34
		07 食事と健康①	22	04:30
		07 食事と健康②	23	03:06
		08 休息・睡眠と健康①	24	03:58
		08 休息・睡眠と健康②	25	02:41
		09 喫煙と健康①	28	03:21
		09 喫煙と健康②	29	02:18
		10 飲酒と健康①	30	04:15
		10 飲酒と健康②	31	02:27
		11 薬物乱用と健康①	32	03:24
		11 薬物乱用と健康②	33	02:36
		12 精神疾患の特徴①	36	04:17
		12 精神疾患の特徴②	37	03:48
		13 精神疾患の予防①	38	03:49
		13 精神疾患の予防②	39	02:54
		14 精神疾患からの回復①	40	02:20
		14 精神疾患からの回復②	41	03:16
		15 現代の感染症①	44	03:09
		15 現代の感染症②	45	03:25
		16 感染症の予防①	46	03:34
		16 感染症の予防②	47	02:51
		17 性感染症・エイズとその予防①	48	04:30
		17 性感染症・エイズとその予防②	49	03:12
		18 健康に関する意思決定・行動選択①	52	03:32
		18 健康に関する意思決定・行動選択②	53	03:45
		19 健康に関する環境づくり①	54	03:16
		19 健康に関する環境づくり②	55	02:47
	保健編2 単元 安全な社会生活	01 事故の現状と発生要因①	60	02:39
		01 事故の現状と発生要因②	61	03:39
		02 安全な社会の形成①	62	03:31
		02 安全な社会の形成②	63	03:19
		03 交通における安全①	64	04:13
		03 交通における安全②	65	02:59
		04 応急手当ての意義とその基本①	68	03:35
		04 応急手当ての意義とその基本②	69	03:35
		05 日常的な応急手当て①	70	03:19
		05 日常的な応急手当て②	71	03:08
		06 心臓蘇生法①	72	03:10
		06 心臓蘇生法②	73	03:32
		01 ライフステージと健康①	76	03:00
《保健編》	保健編3 単元 生涯を通じる健康	01 ライフステージと健康②	77	04:03
		02 青春期と健康①	78	04:01
		02 青春期と健康②	79	02:02
		03 性意識と性行動の選択①	80	04:12
		03 性意識と性行動の選択②	81	02:48
		04 妊娠・出産と健康①	82	03:36
		04 妊娠・出産と健康②	83	02:41
		05 避妊法と人工妊娠中絶①	84	04:18
		05 避妊法と人工妊娠中絶②	85	03:32
		06 結婚生活と健康①	88	02:40
		06 結婚生活と健康②	89	03:27
		07 中年期と健康①	90	04:00
		07 中年期と健康②	91	02:30
		08 働くことと健康①	92	03:52
		08 働くことと健康②	93	02:53
		09 労働災害と健康①	94	03:15
		09 労働災害と健康②	95	03:17
		10 健康的な職業生活①	96	03:01
		10 健康的な職業生活②	97	03:32
	保健編4 単元 健康を支える環境づくり	01 大気汚染と健康①	100	03:28
		01 大気汚染と健康②	101	03:28

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		02 水質汚濁、土壌汚染と健康①	102	02:54
		02 水質汚濁、土壌汚染と健康②	103	02:48
		03 職場と健康にかかわる対策①	104	02:51
		03 職場と健康にかかわる対策②	105	02:52
		04 ごみの処理と上下水道の整備①	106	03:07
		04 ごみの処理と上下水道の整備②	107	03:15
		05 食品の安全性①	110	02:56
		05 食品の安全性②	111	03:19
		06 食品衛生にかかわる活動①	112	02:59
		06 食品衛生にかかわる活動②	113	02:30
		07 保健サービスとその活用①	116	02:36
		07 保健サービスとその活用②	117	02:38
		08 医療サービスとその活用①	118	02:53
		08 医療サービスとその活用②	119	03:22
		09 医薬品の制度とその活用①	120	02:37
		09 医薬品の制度とその活用②	121	02:42
		10 さまざまな保健活動や社会的対策①	124	03:04
		10 さまざまな保健活動や社会的対策②	125	02:56
		11 健康に関する環境づくり(社会参加①)	126	02:39
		11 健康に関する環境づくり(社会参加②)	127	03:19
【体育編】	体育編 1 単元 スポーツの発展と発展	01 スポーツの始まりと変遷①	136	07:54
		01 スポーツの始まりと変遷②	137	04:21
		映像① 世界の民族スポーツについて調べてみよう①	138	02:13
		映像② 世界の民族スポーツについて調べてみよう②	139	01:41
		02 文化としてのスポーツ①	140	04:56
		02 文化としてのスポーツ②	141	05:04
		資料 1 スポーツの文化の発展		01:11
		映像③ 日本生まれのスポーツ	142	02:40
		映像④ 競技スポーツにおける競争の価値	143	02:06
		03 オリンピックとパラリンピックの意義①	144	06:06
		03 オリンピックとパラリンピックの意義②	145	05:04
		映像⑤ オリンピックの歴史	146	03:51
		映像⑥ パラリンピックの歴史	147	03:44
		04 スポーツが経済に及ぼす効果①	148	06:40
		04 スポーツが経済に及ぼす効果②	149	04:07
		資料 1 経済波及効果		01:31
		05 スポーツの商業とドーピング①	150	06:00
		05 スポーツの商業とドーピング②	151	05:26
		映像⑦ スポーツの価値について考えてみよう	152	04:44
		映像⑧ なぜドーピングは許されないのか	153	04:20
		06 スポーツと環境①	154	05:45
		06 スポーツと環境②	155	05:47
		映像⑨ スポーツとまちづくり	156	03:35
	体育編 2 単元 運動・スポーツの学び方	01 スポーツにおける技術と体力①	158	04:39
		01 スポーツにおける技術と体力②	159	05:45
		02 スポーツにおける技術と戦術①	160	04:54
		02 スポーツにおける技術と戦術②	161	07:15
		資料 1 個人・グループ・チームの戦術		01:52
		映像① スポーツルールはなぜ変わるのかを考えてみよう	162	03:07
		映像② スポーツとメディアの関係性	163	02:32
		03 技術の上達過程と練習①	164	06:29
		03 技術の上達過程と練習②	165	04:30
		資料 1 技術の上達過程 (テニスのフォアハンドストロークの例)		01:25
		資料 2 フォアハンドの活用方法 (バスケットボールのシュートの例)		01:30
		映像③ 競技における戦術の特徴を比較してみよう	166	03:10
		映像④ ゲームにおける戦術的評価	167	02:58
		04 効果的な運動のメカニズム①	168	09:36
		04 効果的な運動のメカニズム②	169	02:50
		資料 1 ATP合成のしくみ		01:35
		映像⑤ 運動・スポーツと脳	170	02:48
		映像⑥ 運動能力	171	02:59
		05 体カトレーニング①	172	05:55
		05 体カトレーニング②	173	05:37
		05 体カトレーニング③	174	04:32
		05 体カトレーニング④	175	05:10
		資料 5 ストレッチングと体の関係		01:44
		06 運動やスポーツでの安全の確保①	176	09:07
		06 運動やスポーツでの安全の確保②	177	02:20
		映像⑦ スポーツによるさまざまなリスクを考えてみよう	178	02:11
		映像⑧ スポーツ外傷・障害とその原因	179	02:14
		映像⑨ 健康づくりのために運動を実践してみよう	180	03:13
	体育編 3 単元 豊かなスポーツライフの設計	01 生涯スポーツの考え方①	182	06:02

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		01 生涯スポーツの発見・考え方①	183	04:58
		資料 2 ライフステージ別にみたスポーツの楽しみ方の例		02:02
		特設① スポーツ科学のすすめ	184	02:47
		特設② スポーツにかかわる職業	185	02:28
		02 ライフスタイルに応じたスポーツ①	186	05:09
		02 ライフスタイルに応じたスポーツ②	187	05:17
		資料 3 スポーツライフを規定している諸条件		02:40
		特設③ 身の丈がけの人のスポーツライフを調べてみよう	188	02:25
		特設④ 自分とスポーツライフを設計してみよう	189	02:23
		03 スポーツを推進する取り組み①	190	06:30
		03 スポーツを推進する取り組み②	191	04:39
		資料 2 トップスポーツと地域スポーツの好循環によるスポーツ推進		01:13
		特設⑤ 諸外国のスポーツを推進する取り組みを調べてみよう①	192	02:27
		特設⑥ 諸外国のスポーツを推進する取り組みを調べてみよう②	193	02:33
		04 豊かなスポーツライフの創造①	194	05:26
		04 豊かなスポーツライフの創造②	195	04:57
体育実技編	陸上競技	陸上競技	43	03:11
		陸上競技の特性 (A部運動、B部運動)	44	03:12
		陸上競技の特性 (C部運動)	45	03:12
		A: 部運動 (1周距離①)	46	03:12
		A: 部運動 (1周距離②)	47	02:58
		A2.中・長距離部	48	03:07
		A3部部	49	03:09
		A4ハードル部 (100MH、110MH) ①	50	02:52
		A4ハードル部 (100MH、110MH) ②	51	02:51
		A5スレー部部	52	03:29
		短距離部におけるピッチとストライド	53	03:10
		B: 部運動 (1部の幅広①)	54	02:50
		B: 部運動 (1部の幅広②)	55	03:09
		B2 三拍部	56	03:05
		B3走り部部①	57	02:52
		B3走り部部②	58	02:55
		B4部部部	59	02:55
		C: 部運動 (1部丸部)	60	03:11
		C2部部部	61	03:00
		C3部部部 C4ハンマー部	62	03:22
		1 部部部と用具①	63	03:09
		1 部部部と用具②	64	03:08
	水泳競技	水泳競技	65	03:04
		水泳の特性①	66	03:17
		水泳の特性②	67	03:05
		Aの部①	68	03:13
		Aの部②	69	02:57
		B部部①	70	03:04
		B部部②	71	03:01
		C部部①	72	02:53
		C部部②	73	03:07
		D(タフライ)①	74	03:01
		D(タフライ)②	75	02:51
		スタートとターン①	76	03:15
		スタートとターン②	77	03:16
		横泳部	78	02:58
		より前に、楽しく泳ぐために	79	03:09
	器械運動	器械運動①	81	02:58
		器械運動②	82	02:57
		器械運動③	83	03:07
		Aマット運動①	84	02:52
		Aマット運動②	85	03:05
		Aマット運動③	86	03:01
		Aマット運動④	87	03:08
		B部部運動①	88	03:13
		B部部運動②	89	02:58
		B部部運動③	90	03:02
		B部部運動④	91	03:02
		C平均台運動①	92	03:04
		C平均台運動②	93	03:28
		C平均台運動③	94	03:10
		C平均台運動④	95	03:00
		D部部部運動①	96	03:02
		D部部部運動②	97	03:01
		D部部部運動③	98	03:01
	バスケットボール	バスケットボール①	101	02:53

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		バスケットボール①	102	03:16
		戦術に対する考え方、安全に対する注意点	103	03:07
		戦術にシュートを決める①	104	03:14
		戦術にシュートを決める②	105	02:54
		アウトサイドから決める①	106	02:53
		アウトサイドから決める②	107	02:56
		アウトサイドからフェイクを使って決める	108	02:36
		インサイドをとる	109	03:04
		インサイドで決める	110	02:44
		インサイドでフェイクを使って決める	111	03:02
		1対1のディフェンス（マンツーマンディフェンス）	112	02:39
		ボール保持者と非ボール保持者の役割	113	02:59
		コンビネーションプレーで決める①	114	02:39
		コンビネーションプレーで決める②	115	02:48
		早く決める（ファストブレイク）①	116	03:04
		早く決める（ファストブレイク）②	117	02:37
		ゾーンディフェンスとその決め方	118	02:46
		ルールと審判法	120	03:07
	ハンドボール	ハンドボール①	125	02:52
		ハンドボール②	126	02:49
		戦術の概要	127	03:09
		ボールを運んでシュート①	128	02:56
		ボールを運んでシュート②	129	03:03
		速攻からアウトナンバーで決める	130	02:58
		ゴールキーピングの技術	131	02:50
		1対1で決める	132	02:40
		1対1のディフェンス技術	133	02:41
		ポストプレーとサイド攻撃	134	02:57
		カットインプレー	135	02:54
		チームで協力して攻撃する①	136	03:01
		チームで協力して攻撃する②	137	03:00
		ルールと審判法	139	03:04
	サッカー	サッカー①	143	03:01
		サッカー②	144	03:12
		サッカーの学び方	145	03:14
		ボールに対するコーリングを身につける	146	02:56
		ドリブルでボールを運ぶ	147	02:53
		スクリーン＆ターン	148	02:56
		キック	149	03:17
		パス＆コントロール①	150	03:00
		パス＆コントロール②	151	02:54
		ヘディング	152	02:48
		シュート	153	02:47
		1対1で決める	154	02:44
		パスのコンビネーションで決める	156	02:58
		数的優位な状態で決める	157	03:02
		守備	158	02:45
		ゴールキーパー	159	03:02
		作戦の立案	160	02:56
		ルールと審判法	161	03:09
	ラグビー	ラグビー	167	03:01
		ラグビー	168	03:04
		攻撃に関する戦術の視点	169	03:09
		ボールキャリアーが決める①	170	03:05
		ボールキャリアーが決める②	171	02:53
		サポートプレーヤーと協力して決める①	172	02:42
		サポートプレーヤーと協力して決める②	173	02:48
		ライン攻撃とその特徴①	174	03:04
		ライン攻撃とその特徴②	175	02:57
		ボールの押し合いと圧力の形成①	176	02:54
		ボールの押し合いと圧力の形成②	177	02:54
		スクラムとラインアウトの導入	178	02:56
		フルラグビーに必要な個人プレー	179	02:54
		フルラグビーに必要な集団プレー	180	02:51
		作戦の立案	183	02:57
		ルールと審判法	184	03:02
	バレーボール	バレーボール①	187	02:54
		バレーボール②	188	03:04
		バレーボール③	189	03:01
		パスを使って決める①	190	03:07
		パスを使って決める②	191	02:58
		サーブで決める①	192	02:55

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		サーブで攻める①	193	02:57
		スパイクとブロックを構った攻め①	194	02:52
		スパイクとブロックを構った攻め②	195	02:41
		三段攻撃①	196	03:08
		三段攻撃②	197	02:59
		速く攻める①	198	02:52
		速く攻める②	199	02:57
		チームのフォーメーションプレー①	200	02:53
		チームのフォーメーションプレー②	202	02:57
		作戦の立案	203	02:48
		ルールと審判法	204	03:03
	テニス	テニス①	209	03:00
		テニス②	210	03:01
		横面に返球する	211	03:02
		ラリーに耐えるエラーを少なくする	212	02:59
		相手の弱み（チャンスを作る）	213	02:47
		相手の追い込み	214	02:54
		ダブルスの攻め	215	03:07
		ルールと審判法	217	03:17
	ソフトテニス	ソフトテニス①	219	02:59
		ソフトテニス②	220	02:51
		横面に返球する（ラリーを続ける）	221	03:11
		ラリーを組み立てる	222	03:05
		コンビネーションプレーを有効にする	223	03:08
		ボレーで主導権を握る（3球目攻撃）	224	02:53
		レシーブで主導権を握る	225	02:52
		作戦の立案	226	02:54
	卓球	卓球①	229	02:52
		卓球②	230	03:17
		ラリーを続ける	231	03:00
		ラリーをつないでチャンスを作る	232	02:56
		サーブから三段攻撃	234	02:50
		レシーブから三段攻撃	235	02:34
		作戦を立ててゲーム展開ができるようになる	236	03:16
		ルールと審判法①	237	03:26
	バドミントン	ルールと審判法②	238	02:40
		バドミントン①	239	02:59
		バドミントン②	240	03:07
		横面に返球する	241	03:00
		ラリーを組み立てる①	242	03:04
		ラリーを組み立てる②	243	02:59
		サーブで主導権を握る	244	02:46
		フォーメーションを組んでの攻め（ダブルス）	245	02:46
	ソフトボール	ルールと審判法	247	03:05
		ソフトボール①	249	03:03
		ソフトボール②	250	02:50
		ソフトボール③	251	02:35
		止まっているボールを打つ	252	02:59
		下手投げのボールを打つ	253	02:51
		横面に投げ、横面に捕る	254	03:28
		横面に合わせた守備体制	255	02:54
		正式なピッチング技術で投球する	256	03:12
		スローピッチのゲームの進め方と作戦の立案	257	02:46
		ルールと審判法	259	02:55
	柔道	柔道①	267	03:06
		柔道②	268	02:39
		柔道③	269	03:11
		基本動作と対人的技術を関連づけて身につける①	270	03:29
		基本動作と対人的技術を関連づけて身につける②	271	02:59
		基本動作と対人的技術を関連づけて身につける③	272	03:18
		基本動作と対人的技術を関連づけて身につける④	273	03:04
		基本動作と対人的技術を関連づけて身につける⑤	274	02:48
		技を系統別にまとめて学ぶ①	275	03:15
		技を系統別にまとめて学ぶ②	276	03:22
		技を系統別にまとめて学ぶ③	277	03:11
		技を系統別にまとめて学ぶ④	278	03:18
	剣道	技を系統別にまとめて学ぶ⑤	279	02:58
		技を系統別にまとめて学ぶ⑥	280	03:21
		技を系統別にまとめて学ぶ⑦	281	03:22
		技を系統別にまとめて学ぶ⑧	282	03:03
		技を系統別にまとめて学ぶ⑨	283	02:55
		ルールと審判法	285	03:06

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		前進①	287	03:05
		前進②	288	03:26
		前進③	289	03:07
		基本動作：対人的格闘と関連づけて基本動作を身につける①	290	03:16
		基本動作：対人的格闘と関連づけて基本動作を身につける②	291	03:20
		基本動作：対人的格闘と関連づけて基本動作を身につける③	292	02:58
		基本動作：対人的格闘と関連づけて基本動作を身につける④	293	03:07
		基本動作：対人的格闘と関連づけて基本動作を身につける⑤	294	03:06
		基本動作：対人的格闘と関連づけて基本動作を身につける⑥	295	03:03
		基本動作：対人的格闘と関連づけて基本動作を身につける⑦	296	03:05
		基本動作：対人的格闘と関連づけて基本動作を身につける⑧	297	03:17
		基本動作：練習の仕方を工夫して基本動作をみがぐ①	298	02:51
		基本動作：練習の仕方を工夫して基本動作をみがぐ②	299	03:04
		ルールと審判法①	302	03:16
		ルールと審判法②	303	03:11
体育実技映像集	器械運動	マット運動 / 大決り前転	1	00:58
		マット運動 / 前転	2	01:08
		マット運動 / 倒立	3	01:21
		マット運動 / 倒立	4	01:12
		マット運動 / 開脚前転	5	01:12
		マット運動 / 伸脚前転	6	01:09
		マット運動 / 倒立前転	7	01:59
		マット運動 / 開脚後転	8	01:11
		マット運動 / 伸脚後転	9	01:11
		鉄棒運動 / 逆上がり	10	01:07
		鉄棒運動 / 前方支持回転	11	01:01
		鉄棒運動 / 踏み跳し下り	12	01:04
		鉄棒運動 / 後方支持回転	13	01:04
		平均台運動 / 前方歩	14	01:20
		平均台運動 / 後方歩	15	01:46
		平均台運動 / 前方サーステップ	16	00:57
		平均台運動 / 後方歩	17	00:52
		跳び箱運動 / 開脚跳び	18	00:50
		跳び箱運動 / かき込み跳び	19	00:51
		跳び箱運動 / かき込み跳び（跳び箱・横向き）	20	00:52
		跳び箱運動 / 台上前転	21	01:09
	陸上競技	短距離走 / クラウチングスタート	1	01:42
		短距離走 / 中継走	2	00:54
		短距離走 / フィニッシュ	3	00:36
		ルレー / バトンパス（横向き方法）	4	00:59
		ルレー / バトンパス（アンダーハンドパス）	5	01:09
		長距離走 / ビーチ走法	6	01:59
		長距離走 / ストライド走法	7	01:53
		長距離走 / ハードル走	8	01:31
		走り幅跳び / かき込み跳び	9	01:35
		走り幅跳び / そり跳び	10	01:31
		走り高跳び / はきみ跳び	11	01:08
		走り高跳び / 背越跳び	12	01:13
	水泳	クロール	1	01:16
		クロール（水中・男子）	2	01:42
		クロール（水中・女子）	3	01:45
		平泳ぎ	4	02:02
		平泳ぎ（水中）	5	01:56
		背泳ぎ	6	01:50
		背泳ぎ（水中）	7	01:36
		バタフライ（女子）	8	02:00
		バタフライ（男子）	9	02:10
		バタフライ（水中・女子）	10	02:12
		バタフライ（水中・男子）	11	01:56
		スタート	12	00:55
		クロールのターン	13	01:33
	バスケットボール	クイックストップ	1	00:48
		ストライドストップ	2	00:46
		ドリブル	3	00:48
		セットシュート	4	00:53
		ジャンプシュート	5	00:55
		レイアップシュート	6	01:03
		レイバックシュート	7	01:00
	ハンドボール	リーチバックシュート	8	01:02
		ジャンプシュート	1	01:02
		ステップシュート	2	01:03
		ドリブル	3	00:37

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		バスケット (上のボール)	4	00:33
		バスケット (下のボール)	5	00:21
		シュートパス	6	00:49
		シュートへのブロック	7	00:38
		フットワークによるフェイント	8	01:01
	サッカー	インサイドキック	1	02:00
		インステップキック	2	01:00
		ドリブル (インサイド)	3	01:10
		ドリブル (アウトサイド)	4	01:10
		ドリブル (ソール)	5	01:44
		トラッピング (アウトサイド)	6	00:45
		トラッピング (インサイド)	7	00:47
		トラッピング (サウ)	8	00:48
		トラッピング (動画)	9	01:00
		インフントキック	10	01:13
		アウトサイドキック	11	00:33
	ラグビー	キックボール	1	01:19
		サイドステップ	2	00:44
		スクワ	3	00:50
		キックからパス	4	00:37
		トップスピードで出し切る	5	00:45
		タッチ	6	00:40
		タックル	7	00:47
	バレーボール	アンダーハンドサーブ	1	00:47
		アンダーハンドパス	2	00:47
		トス	3	00:49
		強攻のトス	4	00:47
		ブローサーブ	5	00:44
		バウフルなアタック	6	00:49
		ブロック	7	00:47
	テニス	フォアハンドストローク (女子)	1	01:00
		フォアハンドストローク (男子)	2	00:45
		バックハンドストローク (右手)	3	00:39
		バックハンドストローク (両手・女子)	4	00:46
		バックハンドストローク (両手・男子)	5	00:43
		フォアボレー (男子)	6	00:40
		フォアボレー (女子)	7	00:39
		バックボレー (女子)	8	00:42
		バックボレー (男子)	9	00:40
		サービス (男子)	10	01:32
		サービス (女子)	11	01:05
	ソフトテニス	フォアハンドストローク	1	01:01
		バックハンドストローク	2	00:55
		オーバーヘッドサービス	3	01:04
		フォアカットサービス	4	00:57
		シュルターサービス	5	00:46
		フォアボレー	6	00:38
		バックボレー	7	00:37
	卓球	フォアハンドストローク (女子)	1	00:48
		フォアハンドストローク (男子)	2	00:49
		バックボレー (男子)	3	00:44
		バックボレー (女子)	4	00:46
		ショートカットフォア (女子)	5	00:55
		ショートカットフォア (男子)	6	00:58
		ショートカットバック (男子)	7	00:58
		ショートカットバック (女子)	8	00:58
		カットサービス (フォア)	9	00:47
		スマッシュ (女子)	10	00:49
		スマッシュ (男子)	11	00:43
	バドミントン	ロングハイサービス (女子)	1	00:47
		ロングハイサービス (男子)	2	00:55
		ショートサービス (フォアハンド・女子)	3	00:51
		ショートサービス (フォアハンド・男子)	4	00:51
		ショートサービス (バックハンド・男子)	5	00:56
		ショートサービス (バックハンド・女子)	6	01:00
		オーバーヘッドストローク (男子)	7	01:51
		オーバーヘッドストローク (女子)	8	01:51
		スマッシュ	9	02:01
	ソフトボール	ドロップ	10	01:32
		素振り	1	01:02
		オーバーハンドスロー	2	01:01
		キャッチング	3	00:40

体育1

教科書解説動画映像一覧

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		バットイング	4	01:05
		30度の構球から送球	5	01:07
		外野フライの構球から送球	6	00:55
		スタンダード投法	7	00:47
		ワインドミット投法	8	01:08
	柔道	膝車	1	01:23
		安えり込み	2	01:07
		小内刈り	3	01:01
		大内刈り〔女子〕	4	00:56
		大内刈り〔男子〕	5	00:58
		大外刈り	6	01:02
		体落とし	7	01:02
		太腰	8	01:12
		袴色い投げ	9	01:02
		袴色い投げ〔左組み〕	10	00:49
	剣道	払い廻	11	00:52
		廻打ち	1	00:45
		小手打ち	2	00:44
		廻打ち	3	00:52
		小手→廻	4	00:53
		引き廻	5	00:45
		引き廻	6	00:45
		廻→廻	7	00:51
		小手踏み廻	8	00:38
		廻後廻	9	00:42

10:57:27

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
保健体育	体育2	2単位	2	4	大修館 現代高等保健体育	

学習の目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体と捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容
第1回	・スポーツにおける技術と体力 ・スポーツにおける技術と戦術 ・技能の上達過程と練習
第2回	・効果的な動きのメカニズム ・体力トレーニング ・運動やスポーツでの安全の確保

面接指導	学習内容
1時間 2時間	1. 体づくり運動（スポーツテスト） 2. 本時の学習 （1）目標 運動する心地よさや仲間と関わって運動する楽しさを味わい、健康を維持するための運動や様々なスポーツを行う上で必要となる体力を高めることができる。
3時間 4時間	1. 球技（卓球・バドミントン） 2. 本時の学習 （1）目標 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを深く味わい、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開することができる。

メディア視聴	学習内容
1時間	スポーツの学び方
2時間	球技（バスケットボール）
3時間	球技（ハンドボール）
4時間	球技（卓球）
5時間	球技（バドミントン）
6時間	剣道

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方を理解しているか。 ・スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解しているか。
思考・判断・表現	・知識を活用し、技能向上につなげることができる。 ・自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫することができる。 ・運動を継続したり、体力や技術向上をするための計画を考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	公正、協力、責任、参画などの態度を身に付けることができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全2回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

体育2 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

（別紙教科書解説動画映像参照）

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
〔保健編〕	保健編 1 単元 現代社会と健康	01 健康の考え方の確立①	6	03:44
		01 健康の考え方の確立②	7	03:03
		02 私たちの健康のすがた①	8	03:40
		02 私たちの健康のすがた②	9	02:40
		03 生活習慣病の予防と回復①	12	04:12
		03 生活習慣病の予防と回復②	13	01:40
		04 がんの原因と予防①	14	03:33
		04 がんの原因と予防②	15	02:17
		05 がんの診断と回復①	16	03:12
		05 がんの診断と回復②	17	02:35
		06 運動と健康①	20	02:31
		06 運動と健康②	21	03:34
		07 食事と健康①	22	04:30
		07 食事と健康②	23	03:06
		08 休養・睡眠と健康①	24	03:58
		08 休養・睡眠と健康②	25	02:41
		09 喫煙と健康①	28	03:21
		09 喫煙と健康②	29	02:18
		10 飲酒と健康①	30	04:15
		10 飲酒と健康②	31	02:27
		11 薬物乱用と健康①	32	03:24
		11 薬物乱用と健康②	33	02:36
		12 精神疾患の特徴①	36	04:17
		12 精神疾患の特徴②	37	03:48
		13 精神疾患の予防①	38	03:49
		13 精神疾患の予防②	39	02:54
		14 精神疾患からの回復①	40	02:20
		14 精神疾患からの回復②	41	03:16
		15 現代の感染症①	44	03:09
		15 現代の感染症②	45	03:25
		16 感染症の予防①	46	03:34
		16 感染症の予防②	47	02:51
		17 性感染症・エイズとその予防①	48	04:30
		17 性感染症・エイズとその予防②	49	03:12
		18 健康に関する意思決定・行動選択①	52	03:32
		18 健康に関する意思決定・行動選択②	53	03:45
		19 健康に関する環境づくり①	54	03:16
		19 健康に関する環境づくり②	55	02:47
	保健編 2 単元 安全な社会生活	01 事故の現状と発生要因①	60	02:39
		01 事故の現状と発生要因②	61	03:39
		02 安全な社会の形成①	62	03:31
		02 安全な社会の形成②	63	03:19
		03 交通における安全①	64	04:13
		03 交通における安全②	65	02:59
		04 応急手当の意義とその基本①	68	03:35
		04 応急手当の意義とその基本②	69	03:35
		05 日常的な応急手当①	70	03:19
		05 日常的な応急手当②	71	03:08
		06 心臓蘇生法①	72	03:10
		06 心臓蘇生法②	73	03:32
	保健編 3 単元 生涯を通じる健康	01 ライフステージと健康①	76	03:00
		01 ライフステージと健康②	77	04:03
		02 若年期と健康①	78	04:01
		02 若年期と健康②	79	02:02
		03 性意識と性行動の選択①	80	04:12
		03 性意識と性行動の選択②	81	02:48
		04 妊娠・出産と健康①	82	03:36
		04 妊娠・出産と健康②	83	02:41
		05 避妊法と人工妊娠中絶①	84	04:18
		05 避妊法と人工妊娠中絶②	85	03:32
		06 結婚生活と健康①	88	02:40
		06 結婚生活と健康②	89	03:27
		07 中高年期と健康①	90	04:00
		07 中高年期と健康②	91	02:30
		08 働くことと健康①	92	03:52
		08 働くことと健康②	93	02:53
		09 労働災害と健康①	94	03:15
		09 労働災害と健康②	95	03:17
		10 健康的な職業生活①	96	03:01
		10 健康的な職業生活②	97	03:32
	保健編 4 単元 健康を支える環境づくり	01 大気汚染と健康①	100	03:20
		01 大気汚染と健康②	101	03:28

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		02 水質汚濁、土壌汚濁と健康①	102	02:54
		02 水質汚濁、土壌汚濁と健康②	103	02:48
		03 電磁と健康にかかわる対策①	104	02:51
		03 電磁と健康にかかわる対策②	105	02:52
		04 ごみの処理と上下水道の整備①	106	03:07
		04 ごみの処理と上下水道の整備②	107	03:15
		05 食品の安全性①	110	02:56
		05 食品の安全性②	111	03:19
		06 食品衛生にかかわる活動①	112	02:59
		06 食品衛生にかかわる活動②	113	02:30
		07 保健サービスとその活用①	116	02:38
		07 保健サービスとその活用②	117	02:38
		08 医療サービスとその活用①	118	02:53
		08 医療サービスとその活用②	119	03:23
		09 医療費の負担とその活用①	120	02:37
		09 医療費の負担とその活用②	121	02:42
		10 さまざまな保健活動や社会的対策①	124	03:04
		10 さまざまな保健活動や社会的対策②	125	02:56
		11 健康に関する環境づくりと社会参加①	126	02:39
		11 健康に関する環境づくりと社会参加②	127	03:19
《体育Ⅱ》	体育Ⅱ 1 単元 スポーツの発展と発展①	01 スポーツの発展と変遷①	136	07:54
		01 スポーツの発展と変遷②	137	04:21
		情景① 世界の民族スポーツについて調べてみよう①	138	02:13
		情景② 世界の民族スポーツについて調べてみよう②	139	01:41
		02 文化としてのスポーツ①	140	04:56
		02 文化としてのスポーツ②	141	05:04
		資料 1 スポーツの文化の内部		01:11
		情景③ 日本生まれのスポーツ	142	02:40
		情景④ 競技スポーツにおける競争の意味	143	02:06
		03 オリンピックとパラリンピックの意義①	144	06:06
		03 オリンピックとパラリンピックの意義②	145	05:04
		情景⑤ オリンピックの歴史	146	03:51
		情景⑥ パラリンピックの歴史	147	03:44
		04 スポーツが経済に及ぼす効果①	148	06:40
		04 スポーツが経済に及ぼす効果②	149	04:07
		資料 1 経済波及効果		01:31
		05 スポーツの発展とドーピング①	150	06:00
		05 スポーツの発展とドーピング②	151	05:26
		情景⑦ スポーツの発展について考えてみよう	152	04:44
		情景⑧ なぜドーピングは許されないのか	153	04:20
		06 スポーツと環境①	154	05:45
		06 スポーツと環境②	155	05:47
		情景⑨ スポーツとまちづくり	156	03:35
	体育Ⅱ 2 単元 運動・スポーツの学び方	01 スポーツにおける技術と体力①	158	04:39
		01 スポーツにおける技術と体力②	159	05:45
		02 スポーツにおける技術と戦術①	160	04:54
		02 スポーツにおける技術と戦術②	161	07:15
		資料 1 個人・グループ・チームの戦術		01:52
		情景① スポーツルールはなぜ変わるのか考えてみよう	162	03:07
		情景② スポーツとメディアの関係性	163	02:32
		03 技術の上達過程と練習①	164	06:29
		03 技術の上達過程と練習②	165	04:30
		資料 1 技術の上達過程（テニスのフォアハンドストロークの例）		01:25
		資料 2 フォアハンドの活用方法（バスケットボールのシュートの例）		01:30
		情景③ 競技における戦術の特徴を比較してみよう	166	03:10
		情景④ ゲームにおける戦術的利点	167	02:58
		04 効果的な運動のメカニズム①	168	09:36
		04 効果的な運動のメカニズム②	169	02:50
		資料 1 ATP合成のしくみ		01:35
		情景⑤ 運動・スポーツと脳	170	02:48
		情景⑥ 動きと力	171	02:59
		05 体力トレーニング①	172	05:55
		05 体力トレーニング②	173	05:37
		05 体力トレーニング③	174	04:32
		05 体力トレーニング④	175	05:10
		資料 5 ストレッチと体の関節		01:44
		06 運動やスポーツでの安全の確保①	176	09:07
		06 運動やスポーツでの安全の確保②	177	02:20
		情景⑦ スポーツによるさまざまなリスクを考えてみよう	178	02:11
		情景⑧ スポーツ外傷・障害とその原因	179	02:14
		情景⑨ 健康づくりのために運動を継続してみよう	180	03:13
	体育Ⅱ 3 単元 豊かなスポーツライフの設計	01 生涯スポーツの視点・考え方を①	182	06:02

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		01 生活スポーツの考え方・考えかた①	183	04:58
		資料 2 ライフスタイルに応じたスポーツの楽しみかたの例		02:02
		特別④ スポーツ科学のすすめ	184	02:47
		特別⑤ スポーツにかかわる職業	185	02:28
		02 ライフスタイルに応じたスポーツ①	186	09:09
		02 ライフスタイルに応じたスポーツ②	187	09:17
		資料 3 スポーツライフを規定している諸条件		02:40
		特別⑥ 身のまわりの人のスポーツライフを調べてみよう	188	02:25
		特別⑦ 自分でスポーツライフを設計してみよう	189	02:23
		03 スポーツを推進する取り組み①	190	06:30
		03 スポーツを推進する取り組み②	191	04:39
		資料 2 トップスポーツと地域スポーツの好循環によるスポーツ推進		01:13
		特別⑧ 諸外国のスポーツを推進する取り組みを調べてみよう①	192	02:27
		特別⑨ 諸外国のスポーツを推進する取り組みを調べてみよう②	193	02:33
		04 豊かなスポーツライフの創造①	194	09:26
		04 豊かなスポーツライフの創造②	195	04:57
体育実技編	陸上競技	陸上競技	43	03:11
		陸上競技の特性（A走運動、B跳運動）	44	03:12
		陸上競技の特性（C投運動）	45	03:12
		A: 走運動 1短距離①	46	03:12
		A: 走運動 1短距離②	47	02:58
		A2: 中・長距離①	48	03:07
		A3 競争	49	03:09
		A4ハーフマラソン（100MH、110MH）①	50	02:52
		A4ハーフマラソン（100MH、110MH）②	51	02:51
		A5フルマラソン	52	03:29
		短距離走におけるピッチとストライド	53	03:10
		B: 跳運動 1走り幅跳び①	54	02:50
		B: 跳運動 1走り幅跳び②	55	03:09
		B2 三枚跳び	56	03:05
		B3走り高跳び①	57	02:52
		B3走り高跳び②	58	02:55
		B4棒高跳び	59	02:55
		C: 投運動 1鉛丸投げ	60	03:11
		C2やり投げ	61	03:00
		C3円盤投げ C4ハンマー投げ	62	03:22
		1 競技施設と用具①	63	03:09
		1 競技施設と用具②	64	03:08
	水泳競技	水泳競技	65	03:04
		水泳の特性①	66	03:17
		水泳の特性②	67	03:05
		Aクロール①	68	03:13
		Aクロール②	69	02:57
		B平泳ぎ①	70	03:04
		B平泳ぎ②	71	03:01
		C背泳ぎ①	72	02:53
		C背泳ぎ②	73	03:07
		Dバタフライ①	74	03:01
		Dバタフライ②	75	02:51
		スタートとターン①	76	03:15
		スタートとターン②	77	03:16
		横泳ぎ	78	02:58
		より楽しく泳ぐために	79	03:09
	器械運動	器械運動①	81	02:58
		器械運動②	82	02:57
		器械運動③	83	03:07
		Aマット運動①	84	02:52
		Aマット運動②	85	03:05
		Aマット運動③	86	03:01
		Aマット運動④	87	03:08
		B鉄棒運動①	88	03:13
		B鉄棒運動②	89	02:56
		B鉄棒運動③	90	03:02
		B鉄棒運動④	91	03:02
		C平均台運動①	92	03:04
		C平均台運動②	93	03:28
		C平均台運動③	94	03:10
		C平均台運動④	95	03:00
		D跳び箱運動①	96	03:02
		D跳び箱運動②	97	03:01
		D跳び箱運動③	98	03:01
	バスケットボール	バスケットボール①	101	02:53

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		バスケットボール①	102	03:16
		戦術に対する考え方、安全に対する観戦点	103	03:07
		戦術にシュートを決める①	104	03:14
		戦術にシュートを決める②	105	02:54
		アウトサイドから決める①	106	02:53
		アウトサイドから決める②	107	02:56
		アウトサイドからフィイクを誘って決める	108	02:36
		インサイドを止る	109	03:04
		インサイドで決める	110	02:44
		インサイドでフィイクを誘って決める	111	03:02
		1対1のディフェンス（マンツーマンディフェンス）	112	02:39
		ボール保持者と非ボール保持者の役割	113	02:59
		コンビネーションプレーで決める①	114	02:39
		コンビネーションプレーで決める②	115	02:48
		早く決める（ファストブレイク）①	116	03:04
		早く決める（ファストブレイク）②	117	02:37
		ゾーンディフェンスとその決め方	118	02:46
		ルールと審判法	120	03:07
	ハンドボール	ハンドボール①	125	02:52
		ハンドボール②	126	02:49
		戦術の観戦	127	03:09
		ボールを運んでシュート①	128	02:56
		ボールを運んでシュート②	129	03:03
		速攻からアウトナンバーで決める	130	02:58
		ゴールキーピングの技術	131	02:50
		1対1で決める	132	02:40
		1対1のディフェンス技術	133	02:41
		ポストプレーとサイド攻撃	134	02:57
		カットインプレー	135	02:54
		チームで協力して攻撃する①	136	03:01
		チームで協力して攻撃する②	137	03:00
		ルールと審判法	139	03:04
	サッカー	サッカー①	143	03:01
		サッカー②	144	03:12
		サッカーの学び方	145	03:14
		ボールに対するフィードバックを身につける	146	02:56
		ドリブルでボールを運ぶ	147	02:53
		スクリーン＆ターン	148	02:56
		キック	149	03:17
		パス＆コントロール①	150	03:00
		パス＆コントロール②	151	02:54
		ヘディング	152	02:48
		シュート	153	02:47
		1対1で決める	154	02:44
		パスのコンビネーションで決める	156	02:58
		数的優位な状態で決める	157	03:02
		守備	158	02:45
		ゴールキーパー	159	03:02
		作戦の立案	160	02:56
		ルールと審判法	161	03:09
	ラグビー	ラグビー	167	03:01
		ラグビー	168	03:04
		攻撃に関する戦術の観戦	169	03:09
		ボールキャリアーが決める①	170	03:05
		ボールキャリアーが決める②	171	02:53
		サポートプレーヤーと協力して決める①	172	02:42
		サポートプレーヤーと協力して決める②	173	02:48
		ライン攻撃とその新設①	174	03:04
		ライン攻撃とその新設②	175	02:57
		ボールの繋い合いと密集の形成①	176	02:54
		ボールの繋い合いと密集の形成②	177	02:54
		スクラムとラインアウトの導入	178	02:56
		フルラグビーに必要な個人プレー	179	02:54
		フルラグビーに必要な集団プレー	180	02:51
		作戦の立案	183	02:57
		ルールと審判法	184	03:02
	バレーボール	バレーボール①	187	02:54
		バレーボール②	188	03:04
		バレーボール③	189	03:01
		パスを使って決める①	190	03:07
		パスを使って決める②	191	02:50
		サーブで決める①	192	02:55

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		サーブと攻める①	193	02:57
		スライク・フックを使った攻め①	194	02:52
		スライク・フックを使った攻め②	195	02:41
		三拍攻撃①	196	03:06
		三拍攻撃②	197	02:59
		強く攻める①	198	02:52
		強く攻める②	199	02:57
		チームのフォーメーションプレー①	200	02:53
		チームのフォーメーションプレー②	202	02:57
		作戦の立案	203	02:48
テニス		ルールと審判法	204	03:03
		テニス①	209	03:00
		テニス②	210	03:01
		網裏に返球する	211	03:02
		ラリーにおけるミスを少なくする	212	02:59
		相手を崩す（チャンスを作る）	213	02:47
		相手を追い込む	214	02:54
		ダブルスの攻め	215	03:07
		ルールと審判法	217	03:17
ソフトテニス		ソフトテニス①	219	02:59
		ソフトテニス②	220	02:51
		網裏に返球する（ラリーを続ける）	221	03:11
		ラリーを組み立てる	222	03:05
		コンビネーションプレーを習得する	223	03:08
		スロープで主導権を握る（3拍目攻撃）	224	02:53
		レシーブで主導権を握る	225	02:52
		作戦の立案	226	02:54
卓球		卓球①	229	02:52
		卓球②	230	03:17
		ラリーを続ける	231	03:00
		ラリーをつないでチャンスを作る	232	02:56
		サービスから三拍攻撃	234	02:50
		レシーブから4拍攻撃	235	02:34
		作戦を立ててゲーム展開ができるようになる	236	03:16
		ルールと審判法①	237	03:26
		ルールと審判法②	238	02:40
バドミントン		バドミントン①	239	02:59
		バドミントン②	240	03:07
		網裏に返球する	241	03:00
		ラリーを組み立てる①	242	03:04
		ラリーを組み立てる②	243	02:59
		サービスで主導権を握る	244	02:46
		スマッシュを使っての攻め（ダブルス）	245	02:46
		ルールと審判法	247	03:05
ソフトボール		ソフトボール①	249	03:03
		ソフトボール②	250	02:50
		ソフトボール③	251	02:35
		止まっているボールを打つ	252	02:59
		下半身のボールを打つ	253	02:51
		捕球に投げ捕球に捕る	254	03:28
		捕球に合わせた守備技術	255	02:54
		正式なピッチング技術で投球する	256	03:12
		スローピッチのゲームの進め方と作戦の立案	257	02:46
		ルールと審判法	259	02:55
剣道		剣道①	267	03:06
		剣道②	268	02:39
		剣道③	269	03:11
		基本動作と対人的技術を習得して身につける①	270	03:29
		基本動作と対人的技術を習得して身につける②	271	02:59
		基本動作と対人的技術を習得して身につける③	272	03:18
		基本動作と対人的技術を習得して身につける④	273	03:04
		基本動作と対人的技術を習得して身につける⑤	274	02:48
		技を系統別にまとめて学ぶ①	275	03:15
		技を系統別にまとめて学ぶ②	276	03:22
		技を系統別にまとめて学ぶ③	277	03:11
		技を系統別にまとめて学ぶ④	278	03:18
		技を系統別にまとめて学ぶ⑤	279	02:58
		技を系統別にまとめて学ぶ⑥	280	03:21
		技を系統別にまとめて学ぶ⑦	281	03:22
		技を系統別にまとめて学ぶ⑧	282	03:03
		技を系統別にまとめて学ぶ⑨	283	02:55
剣道		ルールと審判法	285	03:06

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		新道①	287	03:05
		新道②	288	03:26
		新道③	289	03:07
		基本動作：対人的格闘と関連づけて基本動作を身につける①	290	03:16
		基本動作：対人的格闘と関連づけて基本動作を身につける②	291	03:20
		基本動作：対人的格闘と関連づけて基本動作を身につける③	292	02:58
		基本動作：対人的格闘と関連づけて基本動作を身につける④	293	03:07
		基本動作：対人的格闘と関連づけて基本動作を身につける⑤	294	03:06
		基本動作：対人的格闘と関連づけて基本動作を身につける⑥	295	03:03
		基本動作：対人的格闘と関連づけて基本動作を身につける⑦	296	03:05
		基本動作：対人的格闘と関連づけて基本動作を身につける⑧	297	03:17
		基本動作：練習の仕方を工夫して基本動作をみがく①	298	02:51
		基本動作：練習の仕方を工夫して基本動作をみがく②	299	03:04
		ルールと審判法①	302	03:16
		ルールと審判法②	303	03:11
体育実技映像集	新体操	マット運動 / 大まな回転	1	00:58
		マット運動 / 回転	2	01:08
		マット運動 / 倒立	3	01:21
		マット運動 / 倒立	4	01:12
		マット運動 / 開脚前転	5	01:12
		マット運動 / 併進前転	6	01:00
		マット運動 / 倒立前転	7	01:59
		マット運動 / 開脚後転	8	01:11
		マット運動 / 併進後転	9	01:11
		鉄棒運動 / 逆上がり	10	01:07
		鉄棒運動 / 前方を何回転	11	01:01
		鉄棒運動 / 踏み跳し下り	12	01:04
		鉄棒運動 / 後方を何回転	13	01:04
		平均台運動 / 前方歩	14	01:20
		平均台運動 / 後方歩	15	01:46
		平均台運動 / 前方サーステップ	16	00:57
		平均台運動 / 前方走	17	00:52
		跳び箱運動 / 賛助跳び	18	00:50
		跳び箱運動 / カガミ込み跳び	19	00:51
		跳び箱運動 / カガミ込み跳び（跳び箱・橋向き）	20	00:52
	陸上競技	跳び箱運動 / 台上前転	21	01:09
		短距離走 / タラシダダスタート	1	01:42
		短距離走 / 中盤疾走	2	00:54
		短距離走 / フィニッシュ	3	00:36
		リレー / バトンパス（振り向き方法）	4	00:59
		リレー / バトンパス（アンダーハンドパス）	5	01:09
		長距離走 / ビーチ走法	6	01:59
		長距離走 / ストライト走法	7	01:53
		長距離走 / ハードル走	8	01:31
		走り幅跳び / カガミ跳び	9	01:35
		走り幅跳び / モリ跳び	10	01:31
		走り高跳び / はさみ跳び	11	01:08
	水泳	走り高跳び / 荷重跳び	12	01:13
		クロール	1	01:16
		クロール（水中・男子）	2	01:42
		クロール（水中・女子）	3	01:45
		平泳ぎ	4	02:02
		平泳ぎ（水中）	5	01:56
		背泳ぎ	6	01:50
		背泳ぎ（水中）	7	01:36
		バタフライ（女子）	8	02:09
		バタフライ（男子）	9	02:10
		バタフライ（水中・女子）	10	02:12
		バタフライ（水中・男子）	11	01:56
		スタート	12	00:55
	バスケットボール	クロールのターン	13	01:33
		クイックストップ	1	00:48
		ストライドストップ	2	00:46
		ドリブル	3	00:48
		セットシュート	4	00:53
		ジャンプシュート	5	00:55
		レイアップシュート	6	01:03
		レイバックシュート	7	01:00
	ハンドボール	リーチバックシュート	8	01:02
		ジャンプシュート	1	01:02
		ステップシュート	2	01:03
		ドリブル	3	00:37

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
サッカー	パス	パスキック (上のボール)	4	00:33
		パスキック (下のボール)	5	00:21
		ショルダーパス	6	00:49
		シュートへのドリブル	7	00:38
		フットワークによるフライント	8	01:01
	インサイドキック	インサイドキック	1	02:00
		インステップキック	2	01:00
		ドリブル (インサイド)	3	01:10
		ドリブル (アウトサイド)	4	01:10
		ドリブル (ソール)	5	01:44
		トラッピング (アウトサイド)	6	00:45
		トラッピング (インサイド)	7	00:47
		トラッピング (胸)	8	00:48
		トラッピング (脚)	9	01:00
		インフロンキック	10	01:13
		アウトサイドキック	11	00:33
	ラグビー	キックボール	1	01:19
		サイドステップ	2	00:44
		スクープ	3	00:50
		キックからパス	4	00:37
		トップスピードでのスクープ	5	00:45
		タッチ	6	00:40
		ターン	7	00:47
	バレーボール	アンダーハンドサーブ	1	00:47
		アンダーハンドパス	2	00:47
		トス	3	00:49
		連投のトス	4	00:47
		フローターサーブ	5	00:44
		バウンスアタック	6	00:49
		ブロック	7	00:47
	テニス	フォアハンドストローク (女子)	1	01:00
		フォアハンドストローク (男子)	2	00:45
		バックハンドストローク (男子)	3	00:39
		バックハンドストローク (男子・女子)	4	00:46
		バックハンドストローク (男子・男子)	5	00:43
		フォアボレー (男子)	6	00:40
		フォアボレー (女子)	7	00:39
		バックボレー (女子)	8	00:42
		バックボレー (男子)	9	00:40
		サービス (男子)	10	01:32
		サービス (女子)	11	01:05
	ソフトテニス	フォアハンドストローク	1	01:01
		バックハンドストローク	2	00:55
		オーバーヘッドサービス	3	01:04
		フォアカットサービス	4	00:57
		ショルダーサービス	5	00:46
		フォアボレー	6	00:38
		バックボレー	7	00:37
	卓球	フォアハンドストローク (女子)	1	00:48
		フォアハンドストローク (男子)	2	00:49
		バックボレー (男子)	3	00:44
		バックボレー (女子)	4	00:46
		ショートカットフォア (女子)	5	00:55
		ショートカットフォア (男子)	6	00:58
		ショートカットバック (男子)	7	00:58
		ショートカットバック (女子)	8	00:58
		カットサービス (フォア)	9	00:47
		スマッシュ (女子)	10	00:49
		スマッシュ (男子)	11	00:43
	バドミントン	ロングハイサービス (女子)	1	00:47
		ロングハイサービス (男子)	2	00:55
		ショートサービス (フォアハンド・女子)	3	00:51
		ショートサービス (フォアハンド・男子)	4	00:51
		ショートサービス (バックハンド・男子)	5	00:56
		ショートサービス (バックハンド・女子)	6	01:00
		オーバーヘッドストローク (男子)	7	01:51
		オーバーヘッドストローク (女子)	8	01:51
		スマッシュ	9	02:01
		ドロップ	10	01:32
ソフトボール	素振り	素振り	1	01:02
		オーバーハンドスロー	2	01:01
		キャッチング	3	00:40

体育2

教科書解説動画映像一覧

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		バッティング	4	01:05
		二塁の捕球から送球	5	01:07
		外野フライの捕球から送球	6	00:55
		スタンダード投法	7	00:47
		ウインドミル投法	8	01:08
	柔道	懸垂	1	01:23
		立ち回り込み足	2	01:07
		小内蹴り	3	01:01
		大内蹴り(女子)	4	00:56
		大内蹴り(男子)	5	00:58
		大外蹴り	6	01:02
		体落とし	7	01:02
		大腰	8	01:12
		踏出し受け	9	01:02
		踏出し受け(左組み)	10	00:49
		払い腰	11	00:52
	剣道	面打ち	1	00:45
		小手打ち	2	00:44
		胴打ち	3	00:52
		小手一面	4	00:53
		可成胴	5	00:45
		可成面	6	00:45
		腰一面	7	00:51
		小手抜き置	8	00:38
		蹴踏両側	9	00:42

10:57:27

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
保健体育	体育3	2単位	2	4	大修館 現代高等保健体育	

学習の目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体と捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容
第1回	生涯スポーツの見方・考え方 ライフスタイルに応じたスポーツ
第2回	スポーツを推進する取り組み 豊かなスポーツライフの創造

面接指導	学習内容
1時間 2時間	1. 体づくり運動（スポーツテスト） 2. 本時の学習 （1）目標 運動する心地よさや仲間と関わって運動する楽しさを味わい、健康を維持するための運動や様々なスポーツを行う上で必要となる体力を高めることができる。
3時間 4時間	1. 球技（卓球・バドミントン） 2. 本時の学習 （1）目標 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを深く味わい、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開することができる。

メディア視聴	学習内容
1時間	運動・スポーツの学び方
2時間	豊かなスポーツライフの設計
3時間	球技（サッカー）
4時間	球技（ラグビー）
5時間	球技（バレーボール）
6限界	球技（ソフトボール）・柔道

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方を理解しているか。 ・スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解しているか。
思考・判断・表現	・知識を活用し、技能向上につなげることができる。 ・自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫することができる。 ・運動を継続したり、体力や技術向上をするための計画を考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	公正、協力、責任、参画などの態度を身に付けることができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全2回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

体育3 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

（別紙教科書解説動画映像参照）

体育3

教科書解説動画映像一覧

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
《保健編》	保健編 1 単元 現代社会と健康	01 健康の考え方と成り立ち①	6	03:44
		01 健康の考え方と成り立ち②	7	03:03
		02 私たちの健康のすがた①	8	03:40
		02 私たちの健康のすがた②	9	02:40
		03 生活習慣病の予防と回復①	12	04:12
		03 生活習慣病の予防と回復②	13	01:40
		04 がんの要因と予防①	14	03:33
		04 がんの要因と予防②	15	02:17
		05 がんの治療と回復①	16	03:12
		05 がんの治療と回復②	17	02:35
		06 運動と健康①	20	02:31
		06 運動と健康②	21	03:34
		07 食事と健康①	22	04:30
		07 食事と健康②	23	03:06
		08 休息・睡眠と健康①	24	03:58
		08 休息・睡眠と健康②	25	02:41
		09 喫煙と健康①	28	03:21
		09 喫煙と健康②	29	02:18
		10 節酒と健康①	30	04:15
		10 節酒と健康②	31	02:27
		11 薬物乱用と健康①	32	03:24
		11 薬物乱用と健康②	33	02:36
		12 精神疾患の概観①	36	04:17
		12 精神疾患の概観②	37	03:48
		13 精神疾患の予防①	38	03:49
		13 精神疾患の予防②	39	02:54
		14 精神疾患からの回復①	40	02:20
		14 精神疾患からの回復②	41	03:16
		15 現代の感染症①	44	03:09
		15 現代の感染症②	45	03:25
		16 感染症の予防①	46	03:34
		16 感染症の予防②	47	02:51
		17 性感染症・エイズとその予防①	48	04:30
		17 性感染症・エイズとその予防②	49	03:12
		18 健康に関する意思決定・行動選択①	52	03:32
		18 健康に関する意思決定・行動選択②	53	03:45
		19 健康に関する環境づくり①	54	03:16
		19 健康に関する環境づくり②	55	02:47
	保健編 2 単元 安全な社会生活	01 事故の現状と発生要因①	60	02:39
		01 事故の現状と発生要因②	61	03:39
		02 安全な社会の形成①	62	03:21
		02 安全な社会の形成②	63	03:19
		03 交通における安全①	64	04:13
		03 交通における安全②	65	02:59
		04 防災手当の意義とその基本①	68	03:35
		04 防災手当の意義とその基本②	69	03:35
		05 日常的な防災手当①	70	03:19
		05 日常的な防災手当②	71	03:08
		06 心筋梗塞①	72	03:10
		06 心筋梗塞②	73	03:32
	保健編 3 単元 生涯を通じる健康	01 ライフステージと健康①	76	03:00
		01 ライフステージと健康②	77	04:03
		02 思春期と健康①	78	04:01
		02 思春期と健康②	79	02:02
		03 性意識と性行動の選択①	80	04:12
		03 性意識と性行動の選択②	81	02:48
		04 妊娠・出産と健康①	82	03:36
		04 妊娠・出産と健康②	83	02:41
		05 避妊法と人工妊娠中絶①	84	04:18
		05 避妊法と人工妊娠中絶②	85	03:32
		06 結婚生活と健康①	88	02:40
		06 結婚生活と健康②	89	03:27
		07 中年期と健康①	90	04:00
		07 中年期と健康②	91	02:30
		08 高齢者と健康①	92	03:52
		08 高齢者と健康②	93	02:53
		09 労働生活と健康①	94	03:15
		09 労働生活と健康②	95	03:17
		10 創発的な健康生活①	96	03:01
		10 創発的な健康生活②	97	03:32
《保健編》	保健編 4 単元 健康を支える環境づくり	01 大気汚染と健康①	100	03:29
		01 大気汚染と健康②	101	03:28

体育3

教科書解説動画映像一覧

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		02 水質汚濁、土壌汚染と健康①	102	02:54
		02 水質汚濁、土壌汚染と健康②	103	02:48
		03 環境と健康にかかわる対策①	104	02:51
		03 環境と健康にかかわる対策②	105	02:52
		04 ごみの処理と上下水道の整備①	106	03:07
		04 ごみの処理と上下水道の整備②	107	03:15
		05 食品の安全性①	110	02:56
		05 食品の安全性②	111	03:19
		06 食品衛生にかかわる活動①	112	02:59
		06 食品衛生にかかわる活動②	113	02:30
		07 保健サービスとその活用①	116	02:38
		07 保健サービスとその活用②	117	02:38
		08 医療サービスとその活用①	118	02:53
		08 医療サービスとその活用②	119	03:23
		09 医薬品の効果とその活用①	120	02:37
		09 医薬品の効果とその活用②	121	02:42
		10 まがまがな保健活動や社会的対策①	124	03:04
		10 まがまがな保健活動や社会的対策②	125	02:56
		11 健康に関する環境づくりと社会参加①	126	02:39
		11 健康に関する環境づくりと社会参加②	127	03:19
【体育欄】	体育欄1 単元 スポーツの発展と発展	01 スポーツの発展と変遷①	136	07:54
		01 スポーツの発展と変遷②	137	04:21
		特設① 世界の発展スポーツについて調べてみよう①	138	02:13
		特設② 世界の発展スポーツについて調べてみよう②	139	01:41
		02 文化としてのスポーツ①	140	04:56
		02 文化としてのスポーツ②	141	05:04
		資料1 スポーツの文化の発展		01:13
		特設③ 日本のスポーツの発展	142	02:40
		特設④ 競技スポーツにおける競争の意義	143	02:06
		03 オリンピックとパラリンピックの意義①	144	06:05
		03 オリンピックとパラリンピックの意義②	145	05:04
		特設⑤ オリンピックの歴史	146	03:51
		特設⑥ パラリンピックの歴史	147	03:44
		04 スポーツが経済に与える効果①	148	06:40
		04 スポーツが経済に与える効果②	149	04:07
		資料1 経済波及効果		01:31
		05 スポーツの発展とドーピング①	150	06:00
		05 スポーツの発展とドーピング②	151	05:26
		特設⑦ スポーツの発展について考えてみよう	152	04:44
		特設⑧ ドーピングは許されないのか	153	04:20
		06 スポーツと環境①	154	05:45
		06 スポーツと環境②	155	05:47
		特設⑨ スポーツとまちづくり	156	03:35
	体育欄2 単元 運動・スポーツの学び方	01 スポーツにおける運動と体力①	158	04:39
		01 スポーツにおける運動と体力②	159	05:45
		02 スポーツにおける運動と健康①	160	04:54
		02 スポーツにおける運動と健康②	161	07:15
		資料1 個人・グループ・チームで運動		01:52
		特設⑩ スポーツルールはなぜ必要なのか考えてみよう	162	03:07
		特設⑪ スポーツとメディアの関係性	163	02:32
		03 技術の上達過程と練習①	164	06:29
		03 技術の上達過程と練習②	165	04:30
		資料1 技術の上達過程「テニスのフォアハンドストロークの例」		01:25
		資料2 フォードバウの活用方法「バスケットボールのシュートの例」		01:30
		特設⑫ 技術における運動の特性を比較してみよう	166	03:10
		特設⑬ ゲームにおける戦術的判断	167	02:58
		04 効果的な動きのメカニズム①	168	09:36
		04 効果的な動きのメカニズム②	169	02:50
		資料1 ATP合成のしくみ		01:35
		特設⑭ 運動・スポーツと脳	170	02:48
		特設⑮ 動きと力	171	02:59
		05 体力トレーニング①	172	05:55
		05 体力トレーニング②	173	05:37
		05 体力トレーニング③	174	04:32
		05 体力トレーニング④	175	05:10
		資料1 ストレッチングと体の関節		01:44
		06 運動やスポーツでの安全の確保①	176	09:07
		06 運動やスポーツでの安全の確保②	177	02:20
		特設⑯ スポーツによるさまざまなリスクを考えてみよう	178	02:11
		特設⑰ スポーツ外傷・障害とその要因	179	02:14
		特設⑱ 練習づくりのために運動を実践してみよう	180	03:13
	体育欄3 単元 豊かなスポーツライフの設計	01 生涯スポーツの現状・考えかた①	182	06:02

体育3

教科書解説動画映像一覧

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		01 生涯スポーツの役割・考えかた①	183	04:58
		資料 2 ライフステージ別にみたスポーツの楽しみ方の例		02:02
		特設① スポーツ科学のすすめ	184	02:47
		特設② スポーツにかかわる職業	185	02:28
		02 ライフスタイルに活かすスポーツ①	186	05:09
		02 ライフスタイルに活かすスポーツ②	187	05:17
		資料 3 スポーツライフを規定している諸条件		02:40
		特設③ 身のまわりの人のスポーツライフを調べてみよう	188	02:25
		特設④ 自分でのスポーツライフを設計してみよう	189	02:23
		03 スポーツを推進する取り組み①	190	06:30
		03 スポーツを推進する取り組み②	191	04:39
		資料 2 トップスポーツと地域スポーツの好循環によるスポーツ推進		01:13
		特設⑤ 諸外国のスポーツを推進する取り組みを調べてみよう①	192	02:27
		特設⑥ 諸外国のスポーツを推進する取り組みを調べてみよう②	193	02:33
		04 豊かなスポーツライフの創造①	194	05:26
		04 豊かなスポーツライフの創造②	195	04:57
体育実技編	陸上競技	陸上競技	43	03:11
		陸上競技の特性（A走運動、B跳運動）	44	03:12
		陸上競技の特性（C投運動）	45	03:12
		A：走運動 1短距離①	46	03:12
		A：走運動 1短距離②	47	02:58
		A2.中・長距離走	48	03:07
		A3競歩	49	03:09
		A4ハート走（100M・1100M）①	50	02:52
		A4ハート走（100M・1100M）②	51	02:51
		A5ルーラー走	52	03:29
		1短距離走におけるピッチとストライド	53	03:10
		B：跳運動 1走り幅跳び①	54	02:50
		B：跳運動 1走り幅跳び②	55	03:09
		B2 三投跳び	56	03:05
		B3走り幅跳び①	57	02:52
		B3走り幅跳び②	58	02:55
		B4棒高跳び	59	02:55
		C：投運動 1鉄丸投げ	60	03:11
		C2やり投げ	61	03:00
		C3円盤投げ C4ハンマー投げ	62	03:22
		1 競技施設と用具①	63	03:09
		1 競技施設と用具②	64	03:08
	水泳競技	水泳競技	65	03:04
		水泳の特性①	66	03:17
		水泳の特性②	67	03:09
		Aクロール①	68	03:13
		Aクロール②	69	02:57
		B平泳ぎ①	70	03:04
		B平泳ぎ②	71	03:01
		C背泳ぎ①	72	02:53
		C背泳ぎ②	73	03:07
		Dバタフライ①	74	03:01
		Dバタフライ②	75	02:51
		スタートとターン①	76	03:15
		スタートとターン②	77	03:16
		種泳ぎ	78	02:58
		より速に、楽しく泳ぐために	79	03:09
	器械運動	器械運動①	81	02:58
		器械運動②	82	02:57
		器械運動③	83	03:07
		Aマット運動①	84	02:52
		Aマット運動②	85	03:05
		Aマット運動③	86	03:01
		Aマット運動④	87	03:08
		B鉄棒運動①	88	03:13
		B鉄棒運動②	89	02:56
		B鉄棒運動③	90	03:02
		B鉄棒運動④	91	03:02
		C吊り台運動①	92	03:04
		C吊り台運動②	93	03:28
		C吊り台運動③	94	03:10
		C吊り台運動④	95	03:00
		D間びろ運動①	96	03:02
		D間びろ運動②	97	03:01
		D間びろ運動③	98	03:01
	バスケットボール	バスケットボール①	101	02:53

体育3

教科書解説動画映像一覧

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		バスケットボール①	102	03:16
		戦術に対する考え方、安全に対する留意点	103	03:07
		陣型にシュートを決める①	104	03:14
		陣型にシュートを決める②	105	02:54
		アウトサイドから決める①	106	02:53
		アウトサイドから決める②	107	02:56
		アウトサイドからフィイクを使って決める	108	02:36
		リバウンドをとる	109	03:04
		インサイドで決める	110	02:44
		インサイドでフィイクを使って決める	111	03:07
		1対1のディフェンス（マンツーマンディフェンス）	112	02:39
		ボール保持者と非ボール保持者の役割	113	02:59
		コンビネーションプレーで決める①	114	02:39
		コンビネーションプレーで決める②	115	02:48
		早く決める（ファストブレイク）①	116	03:04
		早く決める（ファストブレイク）②	117	02:37
		ゾーンディフェンスとその意味	118	02:46
		ルールと審判法	120	03:07
	ハンドボール	ハンドボール①	125	02:52
		ハンドボール②	126	02:49
		戦術の原則	127	03:09
		ボールを運んでシュート①	128	02:56
		ボールを運んでシュート②	129	03:03
		遠投からアウトオブプレーで決める	130	02:58
		ゴールキーピングの技術	131	02:50
		1対1で決める	132	02:40
		1対1のディフェンス技術	133	02:41
		ポストプレーとサイド攻撃	134	02:57
		カットインプレー	135	02:54
		チームで協力して攻撃する①	136	03:01
		チームで協力して攻撃する②	137	03:00
		ルールと審判法	139	03:04
	サッカー	サッカー①	143	03:01
		サッカー②	144	03:12
		サッカーの守り方	145	03:14
		ボールに対するフィードバックを身につける	146	02:56
		ドリブルでボールを運ぶ	147	02:53
		スクリーン＆ターン	148	02:56
		キック	149	03:17
		パス＆コントロール①	150	03:00
		パス＆コントロール②	151	02:54
		ヘディング	152	02:48
		シュート	153	02:47
		1対1で決める	154	02:44
		パス＆コンビネーションで決める	156	02:58
		数的優位な状態で決める	157	03:02
		守備	158	02:48
		ゴールキーパー	159	03:02
		作戦の立案	160	02:56
		ルールと審判法	161	03:09
	ラグビー	ラグビー	167	03:01
		ラグビー	168	03:04
		攻撃に関する戦術の原則	169	03:09
		ボールキャリアーが決める①	170	03:05
		ボールキャリアーが決める②	171	02:53
		サポートプレーヤーと協力して決める①	172	02:42
		サポートプレーヤーと協力して決める②	173	02:48
		ライン攻撃とその特徴①	174	03:04
		ライン攻撃とその特徴②	175	02:57
		ボールの押し合いと密集の形成①	176	02:54
		ボールの押し合いと密集の形成②	177	02:54
		スクラムとラインアウトの導入	178	02:56
		フルラグビーに必要な個人プレー	179	02:54
		フルラグビーに必要な集団プレー	180	02:51
		作戦の立案	183	02:57
		ルールと審判法	184	03:02
	バレーボール	バレーボール①	187	02:54
		バレーボール②	188	03:04
		バレーボール③	189	03:01
		パスを運んで決める①	190	03:07
		パスを運んで決める②	191	02:50
		セーブで決める①	192	02:55

体育3

教科書解説動画映像一覧

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		サーブで決める①	193	02:57
		スライクとブロックを使った攻め①	194	02:52
		スライクとブロックを使った攻め②	195	02:41
		三段攻撃①	196	03:06
		三段攻撃②	197	02:59
		速く決める①	198	02:52
		速く決める②	199	02:57
		チームのフォーメーションプレー①	200	02:53
		チームのフォーメーションプレー②	202	02:57
		作戦の立案	203	02:48
テニス		ルールと審判法	204	03:03
		テニス①	209	03:00
		テニス②	210	03:01
		権限に訴求する	211	03:02
		ラリーにおけるエラーを少なくする	212	02:59
		相手を崩す（チャンスを作る）	213	02:47
		相手を追い込む	214	02:54
		ダブルスの攻め	215	03:07
		ルールと審判法	217	03:17
ソフトテニス		ソフトテニス①	219	02:59
		ソフトテニス②	220	02:51
		権限に訴求する（ラリーを続ける）	221	03:11
		ラリーを組み立てる	222	03:05
		コンビネーションプレーを駆使する	223	03:08
		ダブルスで主導権を握る（3球目攻撃）	224	02:53
		レシーブで主導権を握る	225	02:52
		作戦の立案	226	02:54
卓球		卓球①	229	02:52
		卓球②	230	03:17
		ラリーを続ける	231	03:00
		ラリーをつないでチャンスを作る	232	02:56
		サービスから三段攻撃	234	02:50
		レシーブから4段攻撃	235	02:34
		作戦を立ててゲーム展開ができるようになる	236	03:16
		ルールと審判法①	237	03:26
		ルールと審判法②	238	02:40
バドミントン		バドミントン①	239	02:59
		バドミントン②	240	03:07
		権限に訴求する	241	03:00
		ラリーを組み立てる①	242	03:04
		ラリーを組み立てる②	243	02:59
		サービスで主導権を握る	244	02:46
		フォーメーションを停ての攻め（ダブルス）	245	02:46
		ルールと審判法	247	03:05
ソフトボール		ソフトボール①	249	03:03
		ソフトボール②	250	02:50
		ソフトボール③	251	02:35
		止まっているボールを打つ	252	02:59
		下手投げのボールを打つ	253	02:51
		権限に訴求し確実に捕る	254	03:28
		捕球に合わせた守備技術	255	02:54
		正式なバッティング技術で投球する	256	03:12
		スローピッチのゲームの進め方と作戦の立案	257	02:46
		ルールと審判法	259	02:55
柔道		柔道①	267	03:06
		柔道②	268	02:39
		柔道③	269	03:11
		基本動作と対人的技術を関連づけて身につける①	270	03:29
		基本動作と対人的技術を関連づけて身につける②	271	02:59
		基本動作と対人的技術を関連づけて身につける③	272	03:18
		基本動作と対人的技術を関連づけて身につける④	273	03:04
		基本動作と対人的技術を関連づけて身につける⑤	274	02:48
		技を系統別にまとめて学ぶ①	275	03:15
		技を系統別にまとめて学ぶ②	276	03:22
剣道		技を系統別にまとめて学ぶ③	277	03:11
		技を系統別にまとめて学ぶ④	278	03:18
		技を系統別にまとめて学ぶ⑤	279	02:58
		技を系統別にまとめて学ぶ⑥	280	03:21
		技を系統別にまとめて学ぶ⑦	281	03:27
		技を系統別にまとめて学ぶ⑧	282	03:03
		技を系統別にまとめて学ぶ⑨	283	02:55
		ルールと審判法	285	03:06

体育3

教科書解説動画映像一覧

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		剣道①	287	03:05
		剣道②	288	03:26
		剣道③	289	03:07
		基本動作：対人的技術と関連づけて基本動作を身につける①	290	03:16
		基本動作：対人的技術と関連づけて基本動作を身につける②	291	03:20
		基本動作：対人的技術と関連づけて基本動作を身につける③	292	02:58
		基本動作：対人的技術と関連づけて基本動作を身につける④	293	03:07
		基本動作：対人的技術と関連づけて基本動作を身につける⑤	294	03:06
		基本動作：対人的技術と関連づけて基本動作を身につける⑥	295	03:03
		基本動作：対人的技術と関連づけて基本動作を身につける⑦	296	03:05
		基本動作：対人的技術と関連づけて基本動作を身につける⑧	297	03:17
		基本動作：練習の仕方を用いて基本動作をみがく①	298	02:53
		基本動作：練習の仕方を用いて基本動作をみがく②	299	03:04
		ルールと審判法①	302	03:16
		ルールと審判法②	303	03:11
体育実技指導書	新体操	マット運動 / 大きな前転	1	00:58
		マット運動 / 後転	2	01:08
		マット運動 / 前倒立	3	01:21
		マット運動 / 横立	4	01:12
		マット運動 / 側転前転	5	01:12
		マット運動 / 側転前転	6	01:00
		マット運動 / 横立前転	7	01:59
		マット運動 / 側転後転	8	01:11
		マット運動 / 側転後転	9	01:11
		鉄棒運動 / ぶら下がり	10	01:07
		鉄棒運動 / 前方支持回転	11	01:01
		鉄棒運動 / 踏み越え下り	12	01:04
		鉄棒運動 / 後方支持回転	13	01:04
		平均台運動 / 前方歩	14	01:20
		平均台運動 / 後方歩	15	01:46
		平均台運動 / 前方ターンステップ	16	00:57
		平均台運動 / 前方歩	17	00:52
		跳び箱運動 / 開脚跳び	18	00:50
		跳び箱運動 / かき込み跳び	19	00:51
		跳び箱運動 / かき込み跳び（跳び箱・横向き）	20	00:52
		跳び箱運動 / 台上前転	21	01:09
	陸上競技	短距離走 / クラウチングスタート	1	01:42
		短距離走 / 中距離走	2	00:54
		短距離走 / フォイユージュ	3	00:36
		バレー / バトンパス（船の向き方法）	4	00:59
		バレー / バトンパス（アンダーハンドパス）	5	01:09
		長距離走 / ビーチ走法	6	01:59
		長距離走 / ストライト走法	7	01:53
		長距離走 / ハード走法	8	01:31
		走り幅跳び / かき込み跳び	9	01:35
		走り幅跳び / 走り跳び	10	01:31
		走り高跳び / はさみ跳び	11	01:08
		走り高跳び / 背高跳び	12	01:13
	水泳	クロール	1	01:16
		クロール（水中・男子）	2	01:42
		クロール（水中・女子）	3	01:45
		平泳ぎ	4	02:02
		平泳ぎ（水中）	5	01:56
		背泳ぎ	6	01:50
		背泳ぎ（水中）	7	01:36
		バタフライ（女子）	8	02:00
		バタフライ（男子）	9	02:10
		バタフライ（水中・女子）	10	02:12
		バタフライ（水中・男子）	11	01:56
		スタート	12	00:55
		クロールのターン	13	01:33
	バスケットボール	クイックストップ	1	00:48
		ストライドストップ	2	00:46
		ドリブル	3	00:48
		セットシュート	4	00:53
		ジャンプシュート	5	00:55
		レイアップシュート	6	01:03
		レイバックシュート	7	01:00
	ハンドボール	リーチバックシュート	8	01:02
		ジャンプシュート	1	01:02
		ステップシュート	2	01:03
		ドリブル	3	00:37

体育3

教科書解説動画映像一覧

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		バスマーチ（上のボール）	4	00:33
		バスマーチ（下のボール）	5	00:23
		シールドバース	6	00:49
		シュートへのアプローチ	7	00:38
		ポストワークによるフェイント	8	01:01
	サッカー	インサイドキック	1	02:00
		インステップキック	2	01:00
		ドリブル（インサイド）	3	01:10
		ドリブル（アウトサイド）	4	01:10
		ドリブル（ソール）	5	01:44
		トラッピング（アウトサイド）	6	00:45
		トラッピング（インサイド）	7	00:47
		トラッピング（両足）	8	00:48
		トラッピング（胸元）	9	01:00
		インフレントキック	10	01:13
		アウトサイドキック	11	00:33
	ラグビー	キックボール	1	01:19
		サイドステップ	2	00:44
		スロープ	3	00:50
		キックのバリエーション	4	00:37
		トップスピードでのスロープ	5	00:45
		タッチ	6	00:40
		ターン	7	00:47
	バレーボール	アンダーハンドサーブ	1	00:47
		アンダーハンドバース	2	00:47
		トス	3	00:49
		連続のトス	4	00:47
		ブローカーサーブ	5	00:44
		バリエーションアタック	6	00:49
		ブロック	7	00:47
	テニス	フォアハンドストローク（女子）	1	01:00
		フォアハンドストローク（男子）	2	00:45
		バックハンドストローク（片手）	3	00:39
		バックハンドストローク（両手・女子）	4	00:46
		バックハンドストローク（両手・男子）	5	00:43
		フォアハンドレシーブ（女子）	6	00:40
		フォアハンドレシーブ（男子）	7	00:39
		バックハンドレシーブ（女子）	8	00:42
		バックハンドレシーブ（男子）	9	00:40
		サービス（男子）	10	01:32
		サービス（女子）	11	01:05
	ソフトテニス	フォアハンドストローク	1	01:03
		バックハンドストローク	2	00:55
		オーバーヘッドサービス	3	01:04
		フォアハンドサービス	4	00:57
		シールドサービス	5	00:46
		フォアハンドレシーブ	6	00:38
		バックハンドレシーブ	7	00:37
	卓球	フォアハンドストローク（女子）	1	00:48
		フォアハンドストローク（男子）	2	00:49
		バックハンドレシーブ（男子）	3	00:44
		バックハンドレシーブ（女子）	4	00:46
		ショートカットフォア（女子）	5	00:55
		ショートカットフォア（男子）	6	00:58
		ショートカットバック（男子）	7	00:58
		ショートカットバック（女子）	8	00:58
		カットサービス（男子）	9	00:47
		スマッシュ（女子）	10	00:49
		スマッシュ（男子）	11	00:43
	バドミントン	ロングハイサービス（女子）	1	00:47
		ロングハイサービス（男子）	2	00:55
		ショートサービス（フォアハンド・女子）	3	00:51
		ショートサービス（フォアハンド・男子）	4	00:51
		ショートサービス（バックハンド・男子）	5	00:56
		ショートサービス（バックハンド・女子）	6	01:00
		オーバーヘッドストローク（男子）	7	01:53
		オーバーヘッドストローク（女子）	8	01:51
		スマッシュ	9	02:03
		ドロップ	10	01:32
	ソフトボール	牽制	1	01:02
		オーバーハンドスロー	2	01:01
		キャッチング	3	00:40

体育3

教科書解説動画映像一覧

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		バレーイング	4	01:05
		ゴロの捕球から送球	5	01:07
		外野フライの捕球から送球	6	00:55
		スラングート投法	7	00:47
		フイットには投法	8	01:08
	基礎	捕球	1	01:23
		キャッチボール	2	01:07
		小外回り	3	01:01
		大内回り（右子）	4	00:56
		大内回り（左子）	5	00:58
		大外回り	6	01:02
		休養とし	7	01:02
		大縄	8	01:12
		背負い上げ	9	01:02
		背負い上げ（左側み）	10	00:49
		跳びこ	11	00:52
	創造	素打ち	1	00:45
		小素打ち	2	00:44
		素打ち	3	00:52
		小素一画	4	00:53
		生決闘	5	00:45
		生決闘	6	00:45
		素一画	7	00:51
		小素拍子唄	8	00:38
		素拍子唄	9	00:42

10:57:21

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
保健体育	保健	2単位	6	1	大修館 現代高等保健体育	

学習の目標

保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容
第1回	「現代社会と健康」 ・健康の考え方と成り立ち・私たちの健康のすがた・生活習慣病の予防と回復・がんの原因と予防・がんの治療と回復・運動と健康・食事と健康・休養、睡眠と健康・喫煙と健康・飲

	酒と健康・薬物乱用と健康
第2回	「現代社会と健康」 ・精神疾患の特徴・精神疾患の予防・精神疾患からの回復・現代の感染症・感染症の予防・性感染症、エイズとその予防・健康に関する意思決定、行動選択・健康に関する環境づくり
第3回	「安全な社会生活」 ・事故の現状と発生要因・安全な社会の形成・交通における安全・応急手当の意義とその基本・日常的な応急手当・心肺蘇生法
第4回	「生涯を通じる健康」 ・ライフステージと健康・思春期と健康・性意識と性行動の選択・妊娠、出産と健康・避妊法と人工妊娠中絶・結婚生活と健康・中高年期と健康
第5回	「生涯を通じる健康」 ・働くことと健康・労働災害と健康・健康的な職業生活 「健康を支える環境づくり」 ・大気汚染と健康・水質汚濁、土壌汚染と健康・環境と健康にかかわる対策・ごみの処理と上下水道の整備
第6回	「健康を支える環境づくり」 ・食品の安全性・食品衛生にかかわる活動・保健サービスとその活用・医療サービスとその活用・医薬品の制度とその活用・さまざまな保健活動や社会的対策・健康に関する環境づくりと社会参加

面接指導	学習内容
1 時間	1. 健康に関する意思決定・行動選択 2. 本時の学習 (1) 目標 意思決定・行動選択に影響を与える要因や、健康に関する適切な意思決定・行動選択の際の工夫について例をあげて説明できる。

メディア視聴	学習内容
1 時間	健康の考え方と成り立ち・生活習慣病の予防と回復など

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	社会生活における自他の健康・安全について理解することができ、その技能も獲得することができる。
思考・判断・表現	自他や社会における課題を発見し、合理的・計画的に解決するよう、自ら考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	健康の保持増進について理解し、明るく豊かで活力ある生活を目指す姿が見られる。積極的に話し合いに参加し、自他の課題解決に取り組む姿勢がある。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

保健 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

（別紙教科書解説動画映像参照）

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
〔保健編〕	保健編1 単元 現代社会と健康	01 健康の考え方と成り立ち①	6	03:44
		01 健康の考え方と成り立ち②	7	03:03
		02 私たちの健康のすがた①	8	03:40
		02 私たちの健康のすがた②	9	02:40
		03 生活習慣病の予防と回復①	12	04:12
		03 生活習慣病の予防と回復②	13	01:40
		04 がんの原因と予防①	14	03:33
		04 がんの原因と予防②	15	02:17
		05 がんの診断と治療①	16	03:12
		05 がんの診断と治療②	17	02:35
		06 運動と健康①	20	02:31
		06 運動と健康②	21	03:34
		07 食事と健康①	22	04:30
		07 食事と健康②	23	03:06
		08 休養・睡眠と健康①	24	03:58
		08 休養・睡眠と健康②	25	02:41
		09 喫煙と健康①	26	03:21
		09 喫煙と健康②	29	02:18
		10 飲酒と健康①	30	04:15
		10 飲酒と健康②	31	02:27
		11 薬物乱用と健康①	32	03:24
		11 薬物乱用と健康②	33	02:36
		12 精神疾患の特徴①	36	04:17
		12 精神疾患の特徴②	37	03:48
		13 精神疾患の予防①	38	03:49
		13 精神疾患の予防②	39	02:54
		14 精神疾患からの回復①	40	02:20
		14 精神疾患からの回復②	41	03:16
		15 現代の感染症①	44	03:09
		15 現代の感染症②	45	03:25
		16 感染症の予防①	46	03:34
		16 感染症の予防②	47	02:51
		17 性感染症・エイズとその予防①	48	04:30
		17 性感染症・エイズとその予防②	49	03:12
		18 健康に関する意思決定・行動選択①	52	03:32
		18 健康に関する意思決定・行動選択②	53	03:45
		19 健康に関する環境づくり①	54	03:16
		19 健康に関する環境づくり②	55	02:47
	保健編2 単元 安全な社会生活	01 事故の現状と発生要因①	60	02:39
		01 事故の現状と発生要因②	61	03:39
		02 安全な社会の形成①	62	03:31
		02 安全な社会の形成②	63	03:19
		03 交通における安全①	64	04:13
		03 交通における安全②	65	02:59
		04 応急手当ての意義とその基本①	66	03:35
		04 応急手当ての意義とその基本②	69	03:35
		05 日常的な応急手当て①	70	03:19
		05 日常的な応急手当て②	71	03:08
		06 心肺蘇生法①	72	03:10
		06 心肺蘇生法②	73	03:32

02:44:21

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
〔保健編〕	保健編3 单元：生活を通じる健康	01 ライフステージと健康①	76	03:00
		01 ライフステージと健康②	77	04:03
		02 思春期と健康①	78	04:01
		02 思春期と健康②	79	02:02
		03 性意識と性行動の選択①	80	04:12
		03 性意識と性行動の選択②	81	02:48
		04 妊娠・出産と健康①	82	03:36
		04 妊娠・出産と健康②	83	02:41
		05 避妊法と人工妊娠中絶①	84	04:18
		05 避妊法と人工妊娠中絶②	85	03:32
	保健編4 单元：健康を支える環境づくり	06 結婚生活と健康①	88	02:40
		06 結婚生活と健康②	89	03:27
		07 中高年層と健康①	90	04:00
		07 中高年層と健康②	91	02:30
		08 働くことと健康①	92	03:52
		08 働くことと健康②	93	02:53
		09 自然災害と健康①	94	03:15
		09 自然災害と健康②	95	03:17
		10 健康的な職業生活①	96	03:01
		10 健康的な職業生活②	97	03:32
	保健編4 单元：健康を支える環境づくり	01 大気汚染と健康①	100	03:20
		01 大気汚染と健康②	101	03:28
		02 水質汚濁、土壌汚染と健康①	102	02:54
		02 水質汚濁、土壌汚染と健康②	103	02:48
		03 騒音と健康にかかわる対策①	104	02:51
		03 騒音と健康にかかわる対策②	105	02:52
		04 ごみの処理と上下水道の整備①	106	03:07
		04 ごみの処理と上下水道の整備②	107	03:15
		05 食品の安全性①	110	02:56
		05 食品の安全性②	111	03:19
	保健編4 单元：健康を支える環境づくり	06 食品衛生にかかわる活動①	112	02:59
		06 食品衛生にかかわる活動②	113	02:30
		07 保健サービスとその活用①	115	02:38
		07 保健サービスとその活用②	117	02:38
		08 医療サービスとその活用①	118	02:53
		08 医療サービスとその活用②	119	03:23
		09 医薬品の制度とその活用①	120	02:37
		09 医薬品の制度とその活用②	121	02:42
		10 さまざまな保健活動や社会的対策①	124	03:04
		10 さまざまな保健活動や社会的対策②	125	02:56
	保健編4 单元：健康を支える環境づくり	11 健康に関する環境づくりと社会参加①	126	02:39
		11 健康に関する環境づくりと社会参加②	127	03:19

02:11:48

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
芸術	書道Ⅰ	2単位	6	4	東京書籍 書道Ⅰ	

学習の目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容
第1回	書写から書道へ 楷書、行書、配列、用具・用材、姿勢のそれぞれの基本
第2回	漢字の成り立ちと変遷 古典に基づく学習 楷書「九成宮醴泉銘」「孔子廟堂碑」「雁塔聖教序」「自書告身」「牛橛造像記」
第3回	行書「蘭亭序」「争坐位文稿」「風信帖」
第4回	草書「真草千字文」 隸書「曹全碑」 篆書「泰山刻石」
第5回	仮名の書「蓬莱切」「高野切第三種」「関戸本古今和歌集」「三色紙」
第6回	漢字仮名交じりの書 用具・用材による表現 生活に広げた書 篆刻・落款

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 書写から書道へ 2. 本時の学習 (1) 目標 ・楷書、行書、配列、用具・用材、姿勢のそれぞれの基本を確認し、書写から書道への転換を意識し、導入を学ぶ。
2時間	1. 単元（題材）名 漢字の成り立ちと変遷 楷書 2. 本時の学習 (1) 目標 ・漢字の成り立ちから書体の変遷を学ぶ。 ・臨書を行う上で、楷書の筆の運びや配列を身につける。
3時間	1. 単元（題材）名 仮名の書 2. 本時の学習 (1) 目標 ・臨書を行う上で古典に基づいた練習により、行書の筆の運びや配列を身につける。
4時間	1. 単元（題材）名 生活に広げた書 2. 本時の学習 (1) 目標 ・生活の中で相手や目的を意識して文字を書くことを身につける。 ・現代においても書が生活の中に息づいていることを意識する。

メディア視聴	学習内容
1時間	漢字の成立と変遷、古典に基づく学習

2時間	行書の特徴、隸書の特徴
3時間	漢字仮名交じりの所の変遷
4時間	変体仮名、連綿

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・目的や用途に即した効果的な表現を理解している。 ・書体や書風と用筆・運筆との関わりを理解している。 ・書の変遷や歴史、古典作品などの特徴を理解している。
思考・判断・表現	・作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えることが出来る。 ・書の伝統と文化の意味を考えて、古典の書体や書風に即した用筆・運筆・字形・構成を理解している。 ・生活や社会における書の効用を理解している。
主体的に学習に取り組む態度	・感性を高め、書の伝統と文化に親しむことができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

書道Ⅰ 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

（別紙教科書解説動画映像参照）

大分類	中分類	小分類	ページ	動画
原字から書道へ	漢の書を生かした	書に親しみ、漢の書を知ろうことについて	0	03:00
		書写で学んできたこと①(楷書の基本)	4	04:30
		書写で学んできたこと②(行書の基本)	5	05:30
		書写で学んできたこと③(肥前と肥後の基本と効果的に書くための工夫)	6	05:30
		書道で学ぶこと(鑑賞の視点)	7	05:00
		用具・用材	8	05:00
		姿勢・執筆法	10	06:30
漢字の書		漢字の書(高等学校の書道とは/漢書を学ぶとは)	12	05:00
		漢字・漢字の成立と変遷	14	05:30
		紙と筆	16	05:00
	楷書	楷書の種類	17	05:30
		楷書の書風①	18	05:00
		楷書の書風②(楷書の字形「書勢と肉勢」、楷書の用筆「方筆と円筆」)	19	05:00
		書風を比べよう(九代高麗書風の「光風」と元子蘭書風の「光風」)	20	05:30
		「九代高麗書風」(古典作品)	22	05:30
		「元子蘭書風」(古典作品)	23	05:00
		「九代高麗書風」の概要	24	05:00
		「九代高麗書風」の書風の特色、人物と時代	25	05:00
		「元子蘭書風」の概要	26	05:00
		「元子蘭書風」の書風の特色、人物と時代	27	05:00
		「羅刹聖教序」(古典作品)	28	05:30
		「羅刹聖教序」(古典作品)	29	05:00
		「羅刹聖教序」の概要	30	05:30
		「羅刹聖教序」の書風の特色、人物と時代	31	05:00
		「羅刹聖教序」の概要	32	04:30
		「羅刹聖教序」の書風の特色、人物と時代	33	05:30
		コクム：唐の四大聖①(顔真卿、柳公権)	34	05:30
		コクム：唐の四大聖②(柳公権、顔真卿)	35	04:30
		「柳公権聖教序」の概要と書風の特色と時代①	36	05:30
		「柳公権聖教序」の概要と書風の特色と時代②	37	05:00
		「柳公権聖教序」の概要と書風の特色	38	05:00
		コクム：唐を創りだした仏教と王羲之の書	39	05:00
		参考 臨存心経	40	05:30
	行書	行書の種類	42	05:30
		コクム：王羲之の神化された書風	43	05:00
		「王羲之(神龍半日帖)」の概要	44	05:30
		「王羲之(神龍半日帖)」(古典作品)	45	04:30
		「王羲之(神龍半日帖)」の書風の特色	46	05:00
		「王羲之(神龍半日帖)」(古典作品)	47	05:00
		「王羲之(神龍半日帖)」の概要	48	04:30
		「王羲之(神龍半日帖)」の書風の特色	49	05:00
		「王羲之(神龍半日帖)」(古典作品)	50	05:00
		「王羲之(神龍半日帖)」の概要	51	04:30
		「王羲之(神龍半日帖)」の書風の特色	52	05:00
		「王羲之(神龍半日帖)」の概要と人物と時代	53	05:00
		「王羲之(神龍半日帖)」(古典作品)	54	04:30
		「王羲之(神龍半日帖)」の書風の特色	55	05:00
	草書	草書の種類	56	05:30
		「草書千字文」の概要と書風の特色と時代	57	04:30
		「草書千字文」(古典作品)	58	05:00
	隷書	隷書の種類①	59	05:00
		隷書の種類②	60	07:00
		「隷書千字文」の概要と書風の特色と人物と時代	61	05:30
		「隷書千字文」(古典作品)	62	05:00
	篆書	篆書の種類	63	05:30
		コクム：篆書と文字	64	04:30
		「篆書千字文」の概要と書風の特色と人物と時代	65	05:00
		「篆書千字文」(古典作品)	66	05:00
		創作一(篆書を学ぶ上の一)	67	05:00
		創作二(篆書を学ぶ上の一)	68	05:00
		鑑賞一(篆書の美や価値を味わおう)	69	05:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		仮名の成立①「万葉仮名、草仮名」	80	05:00
		仮名の成立②「草体、現在の平仮名、片仮名」	81	05:00
		仮名を漢字で表す①「両見・用付」	82	05:00
		仮名を漢字で表す②「基本がな順の書き方」	83	04:30
		平仮名の書体①	84	05:30
		平仮名の書体②	85	05:30
		片仮名の書体①	86	05:00
		片仮名の書体②	87	05:00
		連続①「形連」	88	05:00
		連続②「形連と草連」	89	05:30
	仮名の書	「連続切」(本業作品)	90	05:30
		「連続切」の書写と表現の特徴と人物と時代	91	04:30
		「連続切第二種」(本業作品)	92	05:00
		「連続切第二種」(本業作品)	93	05:00
		「連続切第二種」の書写の特徴	94	05:00
		「連続切第二種」の書写と人物と時代	95	05:00
		「開戸本古今枕詞集」(本業作品)	96	05:30
		「開戸本古今枕詞集」の書写の特徴と人物と時代	97	05:30
		仮名の全体的構成①文字の展開の工夫	98	05:00
		仮名の全体的構成②行の構成の工夫	99	05:30
		参考：二行紙の配りし書き①「丹色紙、御色紙」	100	05:00
		参考：二行紙の配りし書き②「寸紙尾紙紙」	101	05:00
		創作一書装をまかそうー1.2	102	05:00
		創作一書装をまかそうー1.4	103	05:30
		鑑賞一書装の美や風趣を味わおうー①	104	05:00
		鑑賞一書装の美や風趣を味わおうー②	105	05:00
		コラム：受け継がれる書装①	106	05:00
		コラム：受け継がれる書装②	107	05:30
漢字仮名交じりの書		漢字仮名交じりの書	108	05:00
		漢字仮名交じりの書の史通(古墳時代～平安時代)	110	05:00
		漢字仮名交じりの書の史通(鎌倉時代～現代)	111	04:00
		表紙を比べよう(陽の日は雨を愛そう①)	112	05:30
		表紙を比べよう(陽の日は雨を愛そう②)	113	04:30
		表紙の工夫1 縁による表紙(リズミカル、整然)	114	05:00
		表紙の工夫2 縁による表紙(厚み、書体)	115	05:00
		表紙の工夫3 肩書・肩付による表紙(紙、墨色による変化)	116	05:00
		表紙の工夫4 肩書・肩付による表紙(筆による変化)	117	05:00
		表紙の工夫5 肩書・肩付による表紙(筆による変化)	118	05:30
		表紙の工夫6 肩書・肩付による表紙(筆による変化)	119	05:30
		表紙の工夫7 表紙の構成①行間・行末の変化	120	05:30
		表紙の工夫8 表紙の構成②行間・行末の変化	121	05:30
		表紙の工夫9 表紙の構成③まじりの変化	122	05:30
		表紙の工夫10 表紙の構成④傾きや大小の変化	123	05:30
		創作一書装と書を調和させようー1.2	124	07:00
		創作一書装と書を調和させようー1.4	125	05:30
		鑑賞一書装の美や風趣を味わおうー①	126	05:00
		鑑賞一書装の美や風趣を味わおうー②	127	05:30
		本表に広げる(表紙の裏面や裏表紙)	128	07:30
		本表に広げる(表紙の裏面や裏表紙)	129	07:30
		本表に広げる(表紙の裏面や裏表紙)	130	07:00
		本表に広げる(表紙の裏面や裏表紙)	131	05:30
		本表に広げる(表紙の裏面や裏表紙)	132	07:00
		本表に広げる(表紙の裏面や裏表紙)	133	05:00
		本表に広げる(表紙の裏面や裏表紙)	134	05:00
原刻・刷字		原刻・刷字	135	05:00
		原刻と写本	136	05:00
		創作一書装と書を調和させようー1.2	137	05:30
		創作一書装と書を調和させようー1.4	138	05:30
		創作一書装と書を調和させようー1.6	139	05:30
		創作一書装と書を調和させようー1.8	140	07:00
		鑑賞一書装の美や風趣を味わおうー	141	05:00
		創作一書装と書を調和させようー	142	04:30

総時間 11:39:30

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
芸術	美術Ⅰ	2単位	6	4	光村図書 美術1	

学習の目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容
第1回	絵画・彫刻1 さまざまな画材、葛飾北斎について、パブロ・ピカソについて、技法や用具の扱いについて
第2回	絵画・彫刻2 絵画・彫刻の作家や作品について、技法や用具の扱いについて
第3回	絵画・彫刻3 絵画・彫刻の作家や作品、技法について、技法や用具の扱いについて
第4回	デザイン1 作家や作品について、文字のデザインや色について
第5回	デザイン2 ル・コルビュジエについて、デザインの歴史について、色について
第6回	映像メディア表現 映像メディア表現の作家や作品について、映像メディア表現の用具の扱いについて、カメラの機能について

面接指導	学習内容
1時間	デッサンの描き方と基礎技法
2時間	着彩画（人工物の描写）
3時間	着彩画（自然物の描写）
4時間	着彩画（自然物の描写）

メディア視聴	学習内容
1時間	諸国瀧廻り 下野黒髪山きりふりの滝について
2時間	鳥獣人物戯画 甲巻について
3時間	水墨画のさまざまな技法について
4時間	色の対比、色の同化について

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度が養われている。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4単位時間以上出席

3 単位認定試験の得点 席することが必要。
: 所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

美術 I 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

(別紙教科書解説動画映像参照)

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
絵画・彫刻	身近なものを描く	色鉛筆のタッチの違い	P 6-7	01:26
		水彩の技法		03:46
		身近なものを描く（水彩絵の具）		02:02
		身近なものを描く（色鉛筆）		02:06
		身近なものを描く（パステル）		02:09
		フロッタージュ		01:35
		マーブリング		03:26
		スパッタリング		01:51
		デカルコマニー		01:34
		ドリップング		01:34
		吹き流し		01:52
	墨で描く	水墨画のさまざまな技法	P 12-14、19	04:46
	鉛筆で描く	カッターナイフで鉛筆を削る	P 80	01:28
		鉛筆で静物を描く	P 80-81	04:38
		鉛筆で静物を描く（ロング版）		15:12
		鉛筆で石膏像を描く	P 82-83	05:00
		鉛筆で石膏像を描く（ロング版）		15:58
資料	水彩絵の具で動く	水彩絵の具で風景を描く	P 84-85	03:06
		水彩絵の具で風景を描く（ロング版）		15:19
	油絵の具で描く	油絵の具で静物を描く	P 86-87	06:32
		油絵の具で静物を描く（ロング版）		15:56
	アクリル絵の具で描く	平塗りでリンゴを描く	P 88-89	03:55
		平塗りでリンゴを描く（ロング版）		15:19
	日本画の絵の具で描く	日本画の絵の具で花を描く	P 90-91	05:53
	彫刻（塑像）の技法	粘土で手の彫刻をつくる（ロング版）	P 96-97	14:05
	文字をデザインする	レタリングの基本	P 98-99	05:26
絵画・彫刻	比べて鑑賞する 樹や点で描く	「樹花鳥獸図屏風」（伊藤若冲）	P 10-11	02:20
		「グランド・ジャット島の日曜日の午後」（ジョルジュ・スーラ）		02:51
	墨で描く	「雲龍図」（曾我蕭白）	P 12-14、19	02:20
	絵巻物を楽しむ 鳥獣人物戯画	「鳥獣人物戯画 甲巻」	P 15-18	02:52
	作家の生涯と作品 葛飾北斎	「諸国濺廻り 下野黒髪山きりふきの濺」（葛飾北斎）	P 20-21	02:22
	比べて鑑賞する 組み合わせる	「夏」（ジュゼッペ・アルチンボルド）	P 30-31	02:38
		「みかけはこはゐがとんだいゝ人だ」（歌川国芳）		02:26
	仏像の美	「四天王立像」	P 36-37	02:46
デザイン	作家の生涯と作品 ル・コルビュジエ	「ノートル・ダム・デュ・オー礼拝堂」（ル・コルビュジエ）	P 64-65	02:32
絵画・彫刻	作家の手法	画家・浅井裕介 インタビュー	P 4-5	04:22
	創造した世界を描く	画家・遠藤彰子 制作過程	P 28-29	03:42
	生命観をあらわす	彫刻家・舟越桂 ドキュメンタリー	P 38-41	13:13
		彫刻家・三沢厚彦 制作過程		02:05
		彫刻家・三沢厚彦 ドキュメンタリー		10:27
映像メディア表現	アニメーションをつくる	アニメーションってそもそも何？	P 74-76	03:51
		「もじゅうりょくのレイヤード」	P 98-99	00:49
	文字をデザインする	吉岡徳仁「虹の教会」	P 120、125	01:55
資料	色の性質	色立体を知ろう	P 114-115	03:39
	色の効果	色の対比	P 116-117	01:18
		色の同化		01:40

総時間 3:46:02

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3単位	9	5	東京書籍 ALL Aboard! English Communication I	

学習の目標

英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと（やり取り・発表）、書くことの5つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、資質・能力を一体的に育成することを目標とする。聞くことについては、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようになる。読むことについては、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようになる。話すこと（やり取り）については、日常的な話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。話すこと（発表）については、日常的な話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。書くことについては、日常的な話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。

添削指導	学習内容
第1回	「過去形」 be 動詞・一般動詞 「進行形」 現在進行形・過去進行形
第2回	「助動詞」 can、will
第3回	「to 不定詞」 名詞・副詞・形容詞の働き
第4回	「動名詞」 目的語などになる、前置詞の後ろにくる
第5回	「受け身」 by…を使う場合、by 以外を使う場合
第6回	「比較表現」 ～よりも…（比較級）、いちばん～（最上級）、 ～と同じくらい…（原級）
第7回	「現在完了形」 経験、継続、完了
第8回	「名詞を後ろから説明する分詞」 現在分詞、過去分詞
第9回	「関係代名詞」 人について説明を加える who 人以外の物について説明を加える which

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元「Breakfast around the World」 「Australia' s Cute Quokkas」 「過去形」 be 動詞、一般動詞 2. 本時の学習 （1）目標 Be 動詞と一般動詞の違いがわかる
2時間	1. 単元「Breakfast around the World」 「Australia' s Cute Quokkas」 「進行形」 現在進行形、過去進行形 2. 本時の学習 （1）目標 現在形、過去形と現在進行系、過去進行形の違いを学ぶ
3時間	1. 単元「Life with Spade」 「助動詞」 can、will 2. 本時の目標 （1）助動詞の働きを学ぶ
4時間	1. 単元「A Miracle Mirror」 「to 不定詞」 2. 本時の目標 （1）to 不定詞はどのような働きをするのかについて学ぶ
5時間	1. 単元「A Dream Engine」

	「動名詞」 2. 本時の目標 (1) 動名詞の働きについて学ぶ (2) to 不定詞と動名詞の違いについて学ぶ
--	---

メディア視聴	学習内容
1 時間	◆Warm-Up 1 アルファベット (1) 内容 英語のアルファベットを使ってスーパーマーケットの食材を選ぶ ◆Warm-Up 2 教室で使う表現 (1) 内容 授業で用いる表現を学ぶ ◆Warm-Up 3 辞書の使い方 / 疑問詞 (1) 内容 英語の辞書の使い方を学び、単語を調べる
2 時間	◆Lesson 1 Breakfast around the World (1) 内容 単語 ◆Lesson 2 Australia' s Cute Quokkas (1) 内容 英語の発音 ◆Lesson 3 Life with Spade (1) 内容 助動詞を用いた丁寧な表現
3 時間	◆Lesson 4 A Miracle Mirror (1) 内容 to 不定詞の3つの働き (名詞・副詞・形容詞) について学ぶ それらを使って英文が書ける
4 時間	◆Lesson 5 A Dream Engine (1) 内容 動名詞の働きを学ぶ 文型について学ぶ
5 時間	◆Reading 1 Short Stories in English (1) 内容 英語のイントネーションについて学ぶ (2) 内容 疑問文に Yes、No で答える (3) 内容 英語の強弱 (4) 内容 英語のスペルと発音の関係について学ぶ
6 時間	◆Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period (1) 内容 好きな絵について英語で述べることができる。 (2) 内容 受動態 (受け身) 形と意味を学ぶ by 以外を使う受動態 (受け身) の形を学ぶ ◆Lesson 7 A Diary of Hope

	(1) 内容 比較表現を用いて英語で述べることができる。 (2) 内容 関心のある人物について、英語で説明することができる。
7時間	◆Lesson 8 A Door to a New Life (1) 内容 現在完了形を用いて英語で述べることができる。 (2) 内容 関心のある人物について、英語で説明することができる。

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・学習した表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・学習した表現を活用し、相手とコミュニケーションできる技能を身につけている。
思考・判断・表現	・学習した表現について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使っている。 ・自分の考えをまとめるために、相手が理解しやすいように情報を整理し、考えや気持ちを話したり書いたりして伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	・学習した表現について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使おうとしている。 ・自分の考えをまとめるために、相手が理解しやすいように情報を整理し、考えや気持ちを話したり書いたりして伝え合おうとしている。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全9回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に5単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

英語コミュニケーションⅠ 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

（別紙教科書解説動画映像参照）

大分類	中分類	小分類	ページ	時間	
Warm-up	Warm-up1	アルファベット	4	5:00	
	Warm-up2	教室で使う表現①	6	4:00	
		教室で使う表現②	7	4:00	
	Warm-up3	授業の進め方①	8	4:30	
		授業時間	9	4:30	
Pre-Lesson	Pre-Lesson1	My Name is Hiroko Target ②a練習	10 11	5:00 5:00	
	Pre-Lesson2	I Like Junk Food 1 Target ①（一般動詞）	12 13	4:30 5:00	
	Communication1	自己紹介	14	4:30	
	英文のしくみ1	主語+動詞、主語+動詞+補語、主語+動詞+目的語	15	4:30	
	Lesson1		Breakfast around the World 本文①	16 18	4:30 5:00
		本文②	19	5:00	
		Review	20	5:00	
		Activity	21	4:30	
		Grammar 過去形	22	4:30	
		Exercise	23	5:00	
Lesson2		Lesson2	Australia's Cute Quokkas 本文①	24 26	4:30 5:00
			本文②	27	5:00
		Review	28	5:00	
		Activity	29	4:30	
		Grammar 進行形	30	4:30	
		Exercise	31	4:30	
	本文のまとめ1	2a練習と一般動詞/否定文と疑問文/過去形/進行形	32	4:30	
			33	4:30	
Lesson3		Life with Spade 本文①	34 36	3:30 5:00	
		本文②	37	5:00	
		Review	38	5:00	
		Activity	39	4:30	
		Grammar 助動詞	40	4:30	
		Exercise	41	5:00	
	Communication2	通帳内	42	4:30	
	Let's Listen1	名詞上の前置	43	4:30	
	Lesson4	Lesson4	A British Mirror 本文①	44 46	4:30 5:00
			本文②	47	5:00
		Review①	48	5:00	
		Review②	49	4:30	
		Activity①	50	3:00	
		Activity②	51	3:30	
		Grammar 助動詞	52	4:30	
		Exercise	53	5:00	
英文Eメールの書き方		英文Eメールの書き方	54	4:30	
Extra Target1		人物について①ズ 一般動詞	55	4:30	
Lesson5		A Dream Engine 本文①	56 58	3:30 5:00	
		本文②	59	4:30	
		Review①	60	5:00	
		Review②	61	3:30	
		Activity①	62	3:00	
		Activity②	63	4:30	
		Grammar 助動詞	64	4:30	
		Exercise	65	5:00	
	Let's Listen2	案内/アクション	66	4:30	
	英文のしくみ2	主語+動詞+目的語/目的語+目的語	67	5:30	
	本文のまとめ2	助動詞/否定形/	68	4:30	
		動名詞/受動形	69	4:30	
Reading1		Short Stories in English① Short Stories in English② Short Stories in English③	70 71 72	4:30 4:30 4:30	
	Extra Target2	仮定動詞 COULD---するのかもしれない	73	4:30	
	Lesson6		A Funny Picture from the Edo Period 本文①	74 76	4:30 5:00
			本文②	77	5:00
		Review①	78	5:00	
		Review②	79	4:30	
		Activity①	80	3:00	
		Activity②	81	4:30	
		Grammar 受け身	82	4:30	
		Exercise	83	4:30	
Lesson7			A Diary of Hope 本文①	84 86	4:30 5:00
		本文②	87	5:00	
		Review①	88	5:00	
		Review②	89	4:30	

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
Lesson8		Activity①	90	4:00
		Activity②	91	4:00
		Grammar 比較表現	92	4:30
		Exercise	93	5:00
		A Door to a New Life	94	4:00
		本文①	96	5:00
		本文②	97	5:00
		Review①	98	5:00
		Review②	99	3:30
		Activity①	100	3:30
		Activity②	101	4:30
		Grammar 現在完了形	102	4:30
		Exercise	103	4:30
	Communication3	フリーマーケットで買い物	104	4:00
	英文のしくみ3	主語+動詞+目的語+補語	105	4:30
	文法のまとめ3	受け身/比較表現/	106	4:30
Lesson9		完了形	107	4:30
		Ghosts in the Ocean	108	4:30
		本文①	110	5:30
		本文②	111	4:30
		本文③	112	5:30
		Review①	114	5:00
		Review②	115	3:30
		Activity①	116	3:30
		Activity②	117	4:00
		Grammar 分詞	118	4:30
		Exercise	119	5:00
Lesson10		Pigs from across the Sea	120	4:30
		本文①	122	5:00
		本文②	123	5:00
		本文③	124	5:00
		Review①	126	5:30
		Review②	127	4:00
		Activity①	128	3:00
		Activity②	129	4:30
		Grammar 関係代名詞	130	4:30
		Exercise	131	5:30
Reading2		Mujina①	132	4:30
		Mujina②	133	5:00
		Mujina③	134	4:00
		Mujina④	135	4:30
		Mujina⑤	136	4:30
		Mujina⑥	137	5:00
	Extra Target3	仮定法過去 もし私が○○なら	138	4:00
	Big Yellow Taxi	Big Yellow Taxi	139	4:30
	文法のまとめ4	名詞を後ろから説明する分詞/関係詞/	140	5:00
		句読法/文における区切り	141	5:00

総時間 09:22:30

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
外国語	英語コミュニケーションⅡ	4単位	1 2	7	東京書籍 ALL Aboard! English Communication II	

学習の目標

英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと（やり取り・発表）、書くことの5つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、資質・能力を一体的に育成することを目標とする。聞くことについては、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようになる。読むことについては、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようになる。話すこと（やり取り）については、日常的な話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。話すこと（発表）については、日常的な話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。書くことについては、日常的な話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落からなる文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。

添削指導	学習内容
第1回	「関係代名詞」 what 「～すること、～するもの」
第2回	「比較表現」 more … than 「～よりも…」 (比較級) the most … in [of] 「～の中でいちばん…」 (最上級)
第3回	「it の用法」 It is … (for -) to 「(―にとって) ～することは…です」 It is … that 「～ということは…です」
第4回	「間接疑問文」 be 動詞の場合：(疑問詞＋主語＋be 動詞) 一般動詞の場合：(疑問詞＋主語＋一般動詞)
第5回	「to 不定詞を含む表現」 want＋目的語 A＋to … 「A に～してもらいたい」 ask＋目的語 A＋to … 「A に～するように頼む」 tell＋目的語 A＋to … 「A に～するように言う」
第6回	「江戸時代を舞台にした怪談を読み、情景や登場人物の心情を読み取る」 「文法のまとめ」 間接疑問文 to 不定詞を含む表現 動詞の形と「時」の関係
第7回	「動詞の目的語になる if 節」 wonder＋if 「…だろうかと思う」 ask＋人＋if … 「…かどうか (人) に尋ねる」
第8回	「関係副詞」 where 「場所」について説明を加える when 「時」について説明を加える
第9回	「知覚動詞」 知覚動詞＋目的語 A＋動詞の原形 「A が…するのを～する」 知覚動詞＋目的語 A＋動詞の-ing 形 「A が…しているのを～する」
第10回	「使役動詞」 make＋目的語 A＋動詞の原形 「A に…させる」 let ＋目的語 A＋動詞の原形 「A に…させておく (あげる)」 have＋目的語 A＋動詞の原形 「A に…してもらう」
第11回	「分詞構文」 ~ing 「…しながら」 ~ing 「…のとき」「…すると」
第12回	「朗読劇の結末を考えて読み、それを演じて発表する」

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元「A Colorful Island」 「関係代名詞」 what 2. 本時の学習 (1) 目標

	関係代名詞「what」が「～すること、～するもの」という名詞の働きをすることを学ぶ
2時間	1. 単元「With the Beatles」 「比較表現」 more、the most 2. 本時の学習 (1) 目標 比較級、最上級
3時間	1. 単元「Wild Men」 「it の用法」 2. 本時の学習 (1) 目標 It を用いた文形を学ぶ。
4時間	1. 単元「Little Hero」 「関係疑問文」 2. 本時の学習 (1) 目標 「関係疑問文」 疑問詞を含んだ疑問文がほかの文の一部になるときの語順について学ぶ。
5時間	1. 単元「Special Makeup in Kabuki」 「to 不定詞を含む表現」 2. 本時の学習 (1) 目標 「動詞と to 不定詞の間に目的語を必要とする動詞」について学ぶ。
6時間	1. 単元「Seeds for Future Generations」 「動詞の目的語になる if 節」 2. 本時の学習 (1) 目標 「～かどうか」という意味を表す if 節について学ぶ。
7時間	1. 単元「Over the Wall」 「関係副詞」 2. 本時の学習 (1) 目標 「場所」や「時」などについて説明を加える働きをする関係副詞について学ぶ。

メディア視聴	学習内容
1時間	人を励ます表現について学習する。
2時間	「私の友人のうちの一人」という表現を学ぶ。
3時間	「テストで悪い点を取る」という表現を学ぶ。
4時間	人を励ます英文を日本語で理解できる。
5時間	自分の好きな場所について、英語で述べることができる。
6時間	関係副詞について学ぶ。
7時間	関係代名詞について学ぶ。
8時間	外国人旅行客との会話文を理解できる。
9時間	海外の観光地についての魅力を学ぶ。

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・英語の特徴やきまりを理解し、それに基づき一定の支援を活用しながら適切な文を作ることができる。
思考・判断・表現	・話し手や書き手の意図を的確にとらえ、一定の支援を活用しながら情報を整理しまとめることができる。 ・話し手や書き手の意図を的確にとらえ、一定の支援を活用しながら自分なりの考えを伝えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	・日常的な話題や社会的な話題について、自分の意見を伝えようとしたり、相手の意見を理解しようとするなど、積極的にコミュニケーションを図ることができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導） : 全12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング） : 実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に7単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点 : 所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

英語コミュニケーションⅡ 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

（別紙教科書解説動画映像参照）

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
Pre-Lesson	My Plans for This Year	今年やってみたいこと①	8	00:30
		今年やってみたいこと②	9	00:30
Lesson 1	A Colorful Island	導入 Listening	10	00:30
		本文①	12	00:00
		本文②	13	00:00
		Review①	14-1	00:30
		Review②	14-2	00:00
		Activity	15	00:00
		Grammar 関係代名詞 what	16	00:00
		Exercise	17	01:00
	Let's Listen	ホテルにチェックイン	18	00:30
	Communication	病院で診察	19	00:00
Lesson 2	With the Beatles	導入 Listening	20	00:00
		本文①	22	00:30
		本文②	23	00:30
		Review①	24-1	01:30
		Review②	24-2	00:30
		Activity	25	00:00
		Grammar 比較表現	26	01:00
		Exercise	27	01:30
	Word Box 1	Feelings and Emotions①	28	01:00
		Feelings and Emotions②	29	01:30
Lesson 3	Wild Men	導入 Listening	30	00:30
		本文①	32	01:00
		本文②	33	00:30
		Review①	34-1	01:00
		Review②	34-2	00:00
		Review③	35	00:30
		Activity①	36	00:30
		Activity②	37	01:00
		Grammar itの用法	38	00:30
		Exercise	39	01:00
	文法のまとめ 1	関係代名詞/	40-1	00:30
		比較表現	40-2	01:00
		itの用法	41	01:00
Lesson 4	Little Hero	導入 Listening	42	00:00
		本文①	44	00:30
		本文②	45	00:30
		Review①	46-1	00:30
		Review②	46-2	00:00
		Review③	47	01:00
		Activity①	48	00:30
		Activity②	49	00:30
		Grammar 間接疑問文	50	01:00
		Exercise	51	01:00
	Let's Listen 2	世界自然遺産	52	00:00
	Extra Target 1	現在完了進行形	53	00:30
	Word Box 2	A Day in English:Part1①	54	01:00
		A Day in English:Part1②	55	01:00
Lesson 5	Special Makeup in Kabuki	導入 Listening	56	00:30
		本文①	58	00:30
		本文②	59	00:30
		本文③	60	00:30
		Review①	62-1	00:30
		Review②	62-2	00:30
		Review③	63	00:30
		Activity①	64	00:00
		Activity②	65	00:30

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
Reading 1		Grammar to不定詞を含む表現	66	06:30
		Exercise	67	07:00
		Word Box3		
		The Body and Clothes①	68	07:00
	Reading 1	The Body and Clothes②	69	07:00
		Mujina①	70	06:00
		Mujina②	71	06:30
		Mujina③	72	06:30
		Mujina④	73	06:00
		Mujina⑤	74	06:30
		Mujina⑥	75	06:00
Lesson 6	Seeds for Future Generations	文法のまとめ 2		
		間接疑問文	76-1	06:30
		to不定詞	76-2	07:00
		時制	77	06:30
		導入 Listening	78	06:00
		本文①	80	07:00
		本文②	81	06:30
		本文③	82	06:30
		Review①	84-1	07:00
		Review②	84-2	06:00
Lesson 7	Over the Wall	Review③	85	06:30
		Activity①	86	06:00
		Activity②	87	06:30
		Grammar 動名詞の目的語になる if 節	88	06:30
		Exercise	89	07:00
	Word Box4	Various Jobs①	90	06:00
		Various Jobs②	91	06:00
	Communication 2	導入 Listening	92	06:00
		本文①	94	06:30
		本文②	95	06:30
		本文③	96	06:00
		Review①	98-1	07:00
		Review②	98-2	06:00
		Review③	99	06:00
		Activity①	100	06:00
		Activity②	101	06:00
		Grammar 関係副詞	102	06:30
Lesson 8	Inspiration from Nature	Exercise	103	06:30
		Getting the necessary information	104	06:00
		ロンドンの地下鉄	105	06:00
		導入 Listening	106	06:00
		本文①	108	06:00
		本文②	109	06:00
		本文③	110	06:30
		Review①	112-1	06:30
		Review②	112-2	06:00
		Review③	113	07:00
Lesson 9	The Bitter Truth behind Chocolate	Activity①	114	06:00
		Activity②	115	06:30
		Grammar 知覚動詞	116	07:00
		Exercise	117	06:30
	文法のまとめ 3	動名詞の目的語になる if 節	118-1	07:00
		関係副詞	118-2	06:30
		知覚動詞	119	06:30
	The Bitter Truth behind Chocolate	導入 Listening	120	06:00
		本文①	122	06:00
		本文②	123	06:30
		本文③	124	06:00
		本文④	125	06:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		Review①	126-1	07:00
		Review②	126-2	06:00
		Review③	127	06:30
		Activity①	128	06:00
		Activity②	129	06:30
		Grammar 使役動詞	130	07:00
		Exercise	131	07:00
	エッセイライティング	エッセイライティング	132	05:30
	Extra Target 2	仮定法過去	133	06:30
Lesson 10	Fighting Angel	導入 Listening	134	06:00
		本文①	136	06:00
		本文②	137	06:00
		本文③	138	06:30
		本文④	139	06:30
		Review①	140-1	06:30
		Review②	140-2	05:30
		Review③	141	06:30
		Activity①	142	06:00
		Activity②	143	06:00
		Grammar 分詞構文	144	06:00
		Exercise	145	06:30
	文法のまとめ4	使役動詞	146	06:30
		分詞構文	147	06:30
Reading 2	Bear's Pie	本文①	148	06:00
		本文②	149	05:30
		本文③	150	06:00
		シナリオを書いてみよう	151	06:00
		本文④	152	06:00
		本文⑤	153	06:00
	Word Box 5	A Day in English:Part2①	154	06:30
		A Day in English:Part2②	155	07:00

総時間 15:39:10

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
外国語	論理・表現Ⅰ	2単位	6	4	東京書籍 NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅰ	

学習の目標

英語学習の特質を踏まえ、話すこと（やり取り・発表）、書くことの3つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、資質・能力を一体的に育成することを目標とする。話すこと（やり取り）については、日常的な話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。話すこと（発表）については、日常的な話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。書くことについては、日常的な話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。

添削指導	学習内容
第1回	1. 料理について「褒める」、「勧める」、「断る」などの表現について学ぶ。 2. 「提案する」、「依頼する」、「道順を説明する」などの表現について学ぶ。 3. 「身近な人を紹介する」、「注意を引く」などの表現について学ぶ。
第2回	1. 体調について「伝える」、「尋ねる」「指示・アドバイスをする」などの表現について学ぶ。 2. 「描写する」、「相槌を打つ」などの表現について学ぶ。 3. 「希望を述べる」、「理由を述べる」などの表現について学ぶ。
第3回	1. 「誘う」、「誘いを受ける」、「誘いを断る」などの表現について学ぶ。 2. 「状況を説明する」、「手助けを申し出る」、「助言・提案する」、「感謝を伝える」などの表現について学ぶ。 3. 映画や本について、「あらすじを要約する」、「登場人物などを紹介する」、「感想や批評を述べる」などの表現について学ぶ。
第4回	1. 相手に対して「謝る」、「許す」、「励ます」などの表現について学ぶ。 2. 「共感を述べる」、「残念な気持ちを述べる」、「解決策を提案する」などの表現について学ぶ。 3. 「要望や主張を述べる」、「理由を述べる」などの表現について学ぶ。
第5回	1. 「理由を述べる」、「例を挙げる」などの表現について学ぶ。 2. 「相手の意見に反駁する」、「相手の意見を引用する」などの表現について学ぶ。 3. 「出来事を描写する」、「経験をもとにアドバイスする」などの表現について学ぶ。 4. 「ルールや手順を順序立てて説明する」、などの表現について学ぶ。
第6回	1. 「事実と意見を区別して述べる」、「文化や習慣を説明する」などの表現について学ぶ。 2. 「利点と欠点を述べる」、「話題を発展させる」、「話題を変える」などの表現について学ぶ。 3. 「主張する自分の主張について理由を説明する」、「理由を要約する」などの表現について学ぶ。 4. 「人の発言を直接引用する」、「条件を出して意見を述べる」、「説得する」などの表現について学ぶ。

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元 Lesson 1 初めての食事 「褒める」、「勧める」、「断る」表現 2. 本時の学習 (1) 目標

	料理を褒めたり、おかわりを勧めるといったやり取りをロールプレイングで演じることができる。
2時間	1. 単元 Lesson 2 道に迷う 「提案する」、「依頼する」、「道順を説明する」表現 2. 本時の学習 (1) 目標 道に迷っている、説明するやり取りをロールプレイングで演じることができる。
3時間	1. 単元 Lesson 3 人物紹介 「身近な人を紹介する」、「注意を引く」表現 2. 本時の学習 (1) 目標 身近な人について紹介するスピーチを作成し、発表することができる。
4時間	1. 単元 Lesson 4 体調が悪い 「体調を伝える」、「体調を尋ねる」、「指示・アドバイスをする」表現 2. 本時の学習 (1) 目標 体調の悪い人や薬剤師の役を演じ、やり取りをすることができる。

メディア視聴	学習内容
1時間	「褒める」、「勧める」、「断る」などの表現について学ぶ。
2時間	「希望を述べる」、「理由を述べる」などの表現について学ぶ。
3時間	「共感を述べる」、「残念な気持ちを述べる」などの表現について学ぶ。
4時間	「ルールや手順を順序立てて説明する」などの表現について学ぶ。

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・外国語の音声や語彙、表現、文法の知識を身に付け、実際のコミュニケーションを通して4技能をバランスよく運用できる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	・幅広い話題について、学習した内容を使って、情報や考えなどを端的にまとめて、かつ詳細に伝えようとしている。
主体的に学習に取り組む態度	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に学習した内容を用いてコミュニケーションを図るとともに、他者に配慮して自分の意見や考えを表現しようとしている。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

論理・表現Ⅰ 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

（別紙教科書解説動画映像参照）

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
	英語で表現するには	英語には主語が必要、主語の後に動詞をおこう	6	5:00
		動詞は2種類	7	5:00
		be動詞or一般動詞？	8	5:00
		疑問文と否定文	9	5:00
		内容をはる工夫	10	5:00
		品詞と句と節	11	6:00
	COLUMN	英語の句読法	12	5:00
Unit1	Lesson 1 初めての食事	導入	13	5:30
		Warm-up	14	4:00
		Model	15	4:30
		Word Focus	16	5:30
		Expression Focus	17	4:30
		Make Your Own	18	4:00
	Lesson 2 道に迷う	Warm-up	20	4:30
		Model	21	5:30
		Word Focus	22	5:00
		Expression Focus	23	5:00
		Make Your Own	24	4:00
	Lesson 3 人物紹介	Warm-up	26	4:30
		Model	27	5:00
		Word Focus	28	4:30
		Expression Focus	29	4:30
		Make Your Own	30	4:00
	Lesson 4 体調が悪い	Warm-up	32	4:30
		Model	33	4:30
		Word Focus	34	5:00
		Expression Focus	35	4:30
		Make Your Own	36	4:30
	Lesson 5 買い物	Warm-up	38	4:30
		Model	39	5:00
		Word Focus	40	5:30
		Expression Focus	41	5:30
		Make Your Own	42	4:30
	Lesson 6 行ってみたい場所	Warm-up	44	4:30
		Model	45	4:30
		Word Focus	46	5:30
		Expression Focus	47	4:00
		Make Your Own	48	4:30
	Lesson 7 イベントに誘われる	Warm-up	50	5:00
		Model	51	4:30
		Word Focus	52	4:30
		Expression Focus	53	4:30
		Make Your Own	54	5:00
	Lesson 8 スクールカウンセラーに相談	Warm-up	56	5:00
		Model	57	5:00
		Word Focus	58	5:00
		Expression Focus	59	4:30
		Make Your Own	60	4:30
	Lesson 9 お気に入りを紹介	Warm-up	62	4:30
		Model	63	4:30
		Word Focus	64	5:30
		Expression Focus	65	5:00
		Make Your Own	66	5:00
	Lesson 10 待ち合わせに遅刻	Warm-up	68	4:30
		Model	69	4:30
		Word Focus	70	5:00
		Expression Focus	71	4:30
		Make Your Own	72	4:30
	Lesson 11 家庭でのディスカッション	Warm-up	74	4:30
		Model	75	4:30

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
	Lesson 12 英字新聞に掲載	Warm-up	80	5:00
		Model	81	5:00
		Word Focus	82	5:30
		Expression Focus	83	5:30
		Make Your Own	84	5:00
	COLUMN	ディベートを学ぶにあたって	86	4:00
Unit2	Lesson 1 クラスでディベート①	導入	87	3:30
		Warm-up	88	4:00
		Model①	089-1	5:00
		Model②	089-2	4:00
		Word Focus	90	5:00
		Expression Focus	91	5:00
		Make Your Own	92	4:30
	Lesson 2 クラスでディベート②	Warm-up	94	4:30
		Model①	095-1	5:00
		Model②	095-2	4:30
		Word Focus	96	5:00
		Expression Focus	97	5:00
		Make Your Own	98	4:30
	Lesson 3 経験談のスピーチ	Warm-up	100	4:00
		Model①	101-1	4:30
		Model②	101-2	4:30
		Word Focus	102	4:30
		Expression Focus	103	5:00
		Make Your Own①	104	4:30
		Make Your Own②	105	4:30
	Lesson 4 遊びやスポーツを紹介	Warm-up	106	4:30
		Model①	107-1	4:30
		Model②	107-2	5:00
		Word Focus	108	5:00
		Expression Focus	109	5:00
		Make Your Own	110	4:00
	Lesson 5 日本をPR	Warm-up	112	4:30
		Model①	113-1	4:30
		Model②	113-2	4:30
		Word Focus	114	5:00
		Expression Focus	115	5:00
		Make Your Own	116	3:30
	Lesson 6 物事の両面を伝える	Warm-up	118	4:00
		Model①	119-1	4:30
		Model②	119-2	4:30
		Word Focus	120	5:00
		Expression Focus	121	5:00
		Make Your Own	122	4:00
	Lesson 7 読み手を納得させる	Warm-up	124	4:00
		Model①	125-1	4:30
		Model②	125-2	4:00
		Word Focus	126	4:30
		Expression Focus	127	4:00
		Make Your Own	128	4:30
	Lesson 8 読み手を説得する	Warm-up	130	4:00
		Model①	131-1	4:30
		Model②	131-2	4:30
		Word Focus	132	4:30
		Expression Focus	133	4:30
		Make Your Own	134	4:30
	COLUMN	数字の読み方	136	6:30
<付録>ちがいがわかる 伝える術	ちがいがわかる 伝える英文法01	現在形と進行形①	138	4:30
		現在形と進行形②	139	6:30
	ちがいがわかる 伝える英文法02	現在完了形と過去形①	140	7:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
	ちがいがわかる 使える英文法04	仮定法とは①	144	5:30
		仮定法とは②	145	5:00
	ちがいがわかる 使える英文法05	数えられる名詞と数えられない名詞①	146	6:00
		数えられる名詞と数えられない名詞②	147	5:30
	ちがいがわかる 使える英文法06	冠詞と人称代名詞①	148	4:30
		冠詞と人称代名詞②	149	4:30
	ちがいがわかる 使える英文法07	前置修飾①	150	5:30
		前置修飾②	151	4:30
	ちがいがわかる 使える英文法08	後置修飾①	152	5:30
		後置修飾②	153	7:30
	ちがいがわかる 使える英文法09	受動態①	154	6:00
		受動態②	155	5:30
	ちがいがわかる 使える英文法10	使役動詞①	156	4:30
		使役動詞②	157	5:00
	ちがいがわかる 使える英文法11	できたばcouldじゃないの？①	158	5:00
		できたばcouldじゃないの？②	159	5:00
	ちがいがわかる 使える英文法12	不定詞と動名詞①	160	4:30
		不定詞と動名詞②	161	6:30
	ちがいがわかる 使える英文法13	名詞を無生物主語①	162	4:30
		名詞を無生物主語②	163	6:00
	ちがいがわかる 使える英文法14	否定語の使い方①	164	5:30
		否定語の使い方②	165	4:30
	ちがいがわかる 使える英文法15	接続詞の使い方①	166	4:30
		接続詞の使い方②	167	4:30

総時間 12:04:30

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
外国語 (学校設定科目)	英語探究	1単位	3	2	東京書籍 Power On English Communication I	

学習の目標

基礎的な英語4技能（読む・聞く・書く・話す）について、活用しながら身に付け、主体的に英語を学ぼうとする意欲を高め、自ら楽しんで英語学習をしていこうとする態度を育てることを目標とする。

添削指導	学習内容
第1回	be 動詞、一般動詞の過去形、過去進行形の文について。
第2回	to 不定詞、比較、最上級の文について。
第3回	動名詞、関係代名詞、関係副詞の文について

面接指導	学習内容
1時間	be 動詞、一般動詞、過去進行形について。
2時間	to 不定詞、比較、動名詞について。
メディア視聴	学習内容
1時間	過去形、過去進行形、to 不定詞について。
2時間	比較、最上級、動名詞について。

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	話す、書くなどのやり取りを通して、一定の支援を活用しながら必要な情報を得ることができる。
思考・判断・表現	一定の支援を活用しながら日常の会話や社会的な話題について、情報を得て、自分自身で表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	ディベートやディスカッションで使う表現など場に応じた表現を積極的に使うことができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全3回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

英語探究 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

(別紙教科書解説動画映像参照)

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
現在分詞・過去分詞	現在分詞	進行形	18-19	19:13
		後置修飾	58-59	
	過去分詞	受動態	30-31	
		後置修飾	60-61	
to不定詞	名詞的用法	～すること	44	23:39
	形容詞的用法	～するための	45	
		S seems to	82-83	
	副詞的用法	～するために	46	
現在完了	基本文型	S have +過去分詞	32-36	16:58
	完了	～したところだ		13:10
	経験	～したことがある		
	継続	ずっと～している		
動名詞	～すること	主語	48-49	20:20
		目的語		
		補語		
比較	比較級	…よりも～だ	62-63	22:14
	最上級	最も～だ		

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
家庭	家庭基礎	2単位	6	2	東京書籍 家庭基礎 自立・共存・創造	

学習の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容
第1回	「生涯を見通す」 人生は展望する・目標を持って生きる 「人生をつくる」 人生をつくる・家族、家庭を見つめる・これからの家庭生活と社会
第2回	「子どもと共に育つ」 命を育む・子どもの育つ力を知る・子どもと関わる・これからの保育環境 「超高齢社会を共に生きる」 超高齢社会、大衆長寿社会の到来・高齢期の心身の特徴・これからの超高齢社会
第3回	「共に生き、共に支える」 私たちの生活と福祉・社会保障の考え方・共に生きる 「食生活をつくる」 食生活の課題について考える・食事と栄養、食品の選択と安全・生涯の健康を見通した食事計画・調理の基礎
第4回	「食生活をつくる」 食生活の文化と知恵・これからの食生活 「衣生活をつくる」 被服の役割を考える・被服を入手する・被服を管理する・衣生活の文化と知恵・これからの衣生活
第5回	「住生活をつくる」 住生活の変遷と住居の機能・安全で快適な住生活の計画・住生活の文化と知恵・これからの住生活
第6回	「経済生活を営む」 情報の収集、比較と意思決定・購入、支払いのルールと方法・消費者の権利と責任・生涯の経済生活を見通す・これからの経済生活 「持続可能な生活を営む」 持続可能な社会を目指して 「これからの生活を創造する」 生活をデザインする 「第1回～第6回のまとめ」

面接指導	学習内容
1時間	1.「超高齢社会を共に生きる」これからの超高齢社会 2.本時の学習 (1) 目標 高齢者の自立を支えるために私たちには何ができるか、適切な支援の方法や関わり方を考えることができる。そして、超高齢社会の課題を踏まえて、自分自身の高齢期をよりよく生きられるようにするとともに、地域社会の一員として高齢者との関わり方を考え、行動することができる。

2時間	1.「経済生活を営む」 2.本時の学習 (1) 目標 自立した責任ある消費者として、よりよい意思決定ができるよう、現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について理解できる。
-----	---

メディア視聴	学習内容
1時間	(1) 人生をつくる 家族・家庭について 家庭生活について
2時間	(2) 食生活をつくる 食事の意義について 食生活の変化について

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・人の一生と家族、および福祉などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識を身に付け、実践しようとしている。
思考・判断・表現	・普段の生活から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想、実践しようとしている。
主体的に学習に取り組む態度	・様々な人々と共同し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上をはかり、実践しようとする態度が見られる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。
- 3 単位認定試験の得点：所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

家庭基礎 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

（別紙教科書解説動画映像参照）

大分類	中分類	小分類	ページ	時間	
	小学校、中学校の学習のつながり	小学校、中学校の学習のつながり	3	5:00	
		家庭に活かそう	4	5:30	
		ホームプロジェクト実践例	6	4:30	
		学校家庭クラブ活動の取り組み	8	5:00	
		自分の意見を文章にまとめるよう	10	5:30	
「第1章 生涯を見通す」で学ぶこと		もくじ	12-1	2:00	
第1章 生涯を見通す	1 人生を展望する	導入	12-2	4:30	
		人は生涯を通して発達する	14	5:30	
		ライフステージ課題の例	15	5:00	
		青年期の課題	16	4:30	
		5つの自立	17	5:30	
	2 目標を持って生きる	人は意思決定の連続	18	4:30	
		未来予想図を描く	19	5:00	
TRY 生涯設計の学習を通して生涯設計をしよう	生涯設計をしよう	20	4:30		
「第2章 人生をつくる」で学ぶこと		導入	22-1	1:30	
第2章 人生をつくる	1 人生をつくる	「人生100年」時代を生きる	22-2	4:30	
		一人で暮らす、パートナーと生きる	24	5:30	
		子どもと暮らす・親を支える、多様なライフスタイルを知る	25	5:30	
	2 家族・家庭を見つめる	家族・家庭をどう捉えるか①	26	4:30	
		家族・家庭をどう捉えるか②	27	4:00	
		社会の中の家族・家庭	28	6:00	
		家族と法律①	29	5:30	
		家族と法律②	30	5:30	
		家族と法律③	31	6:30	
	3 これからの家庭生活と社会	家庭生活を知ろう①	32	5:00	
		家庭生活を知ろう②	33	5:00	
		家庭生活を知ろう③	34	5:00	
		家庭生活と地域・福祉	35	5:00	
		ホームプロジェクト	36	5:00	
		私のキャリア サヘル・ローズさん	37	4:30	
導入		38-1	1:30		
第3章 子どもと共に育つ	1 世を育む	次世代の育成、青年期の責任	38-2	5:00	
		時の経過	40	5:00	
		2 子どもを育つ力を知る	子どもの育つ力、生まれてから持っている能力	41	4:30
	身体の発達		42	5:30	
	心の発達①		43	5:30	
	心の発達②		44	5:30	
	子どもと遊び		45	5:30	
	乳幼児期の発達のはり		46	6:00	
	3 子どもと関わる	子どもの発達と保育①	48	5:00	
		子どもの発達と保育②	49	5:00	
		子どもの生活と保育①	50	5:30	
		子どもの生活と保育②	51	5:30	
	4 子どもとの触れ合いから学ぶ	触れ合いから得られるもの	52	5:00	
		子どもとの触れ合い力	53	5:00	
	TRY 子どもと触れあおう	子どもと触れあおう	54	5:00	
	5 これからの保育環境	子育ての課題と子育て支援①	56	5:00	
		子育ての課題と子育て支援②	57	4:30	
		地域や社会の関わり①	58	5:00	
		地域や社会の関わり②	59	5:00	
		子どもの福祉と権利①	60	5:00	
		子どもの福祉と権利②	61	4:30	
		ホームプロジェクト	62	4:00	
		私のキャリア 寺島樹さん	63	4:30	
	「第4章 超高齢社会を共に生きる」で学ぶこと		導入	64-1	2:00
	第4章 超高齢社会を共に生きる	1 超高齢・次世代社会を捉えて	少子化・高齢化の進行、ライフステージとしての高齢期	64-2	7:00
身近な高齢者へのインタビューとライフコース			66	5:30	
老化と成熟			67	5:00	
2 高齢期の心身の状態		高齢期の健康と自立①	68	6:00	
		高齢期の健康と自立②	69	5:30	
		高齢期の健康と自立③	70	4:00	
		高齢期の健康と自立④	71	5:00	
3 これからの超高齢社会		高齢者の自立を支える	72	6:00	
		介護を体験しよう	73	5:30	
		高齢者と共に地域をつくる	74	5:00	
		誰もが暮らしやすい社会を目指して	75	5:30	
		ホームプロジェクト	76	4:30	
		私のキャリア G3sawing・藤藤樹さん	77	5:00	
	導入	78-1	1:30		
第5章 共に生き、共に支える	1 私たちの生活と福祉	リスクに備える、福祉の捉え方の変化	78-2	6:00	
		社会保険とは	80	5:30	
	2 社会保障の考え方	税金や社会保険料を払う意味	81	5:30	
		社会保険を目指して	82	6:00	
	3 共に生きる	要援生活と地域福祉	83	6:30	
		地域の防災意識を高めよう	84	6:00	
「第6章 食生活をつくる」で学ぶこと		導入	86-1	2:00	
第6章 食生活をつくる	1 食生活の課題について考える	青年期の食生活の課題	86-2	5:30	
		「食べる」とは	87	5:00	
		食生活の課題	88	6:00	
		食生活の変化	89	5:30	
		栄養と栄養素	90	6:00	
	2 食生活と栄養・食品				

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
		炭水化物①	91	5:30
		炭水化物②	92	4:30
		炭水化物③	93	4:30
		脂質①	94	5:30
		脂質②	95	4:30
		たんぱく質①	96	4:30
		たんぱく質②	97	5:30
		無機質	98	4:30
		ビタミン①	99	5:30
		ビタミン②	100	5:30
		その他の食品	101	5:30
	3 食品の選択と安全	食品の選択	102	5:30
		食品の保存	103	4:30
		食品の加工	104	5:30
		食品の衛生と安全①	105	5:30
		食品の衛生と安全②	106	4:30
		食品の衛生と安全③	107	5:30
	4 生涯の健康を考えた食事計画	栄養バランスのよい食事①	108	5:30
		栄養バランスのよい食事②	109	4:30
		栄養バランスのよい食事③	110	5:30
		栄養バランスのよい食事④	111	5:30
		食事計画①	112	7:30
		食事計画②	113	4:30
	5 調理の基礎	調理法や味付けのバランス	114	5:30
		食事の場面を考えた調理	115	4:30
		調理実習の基本①	116	4:30
		調理実習の基本②	118	7:30
		調理実習の基本③	119	7:30
	6 食生活の文化と変遷	日本の食文化	128	5:30
		世界の食文化	129	4:30
	7 これからの食生活	食料生産と食料問題①	130	4:30
		食料生産と食料問題②	131	5:30
		持続可能な食生活①	132	5:30
		持続可能な食生活②	133	5:30
		ホームプロジェクト	134	5:30
		私のキャリア 南山賢美さん	135	4:30
「第7章 食生活をつくる」で学ぶこと		導入	136-1	2:30
第7章 食生活をつくる	1 健康の役割を考える	あるとは	136-2	4:30
		健康の保健衛生的機能①	138	4:30
		健康の保健衛生的機能②	139	4:30
		健康の社会的機能①	140	4:30
		健康の社会的機能②	141	4:30
	2 健康を入手する	健康の入手	142	4:30
		健康と表示	143	4:30
		健康の材料①	144	4:30
		健康の材料②	145	7:30
		健康の材料③	146	7:30
		健康材料の性質	147	4:30
		健康材料の性質の改善①	148	4:30
		健康材料の性質の改善②	149	4:30
	3 健康を管理する	健康の手入れ①	150	4:30
		健康の手入れ②	151	4:30
		丸剤と原白剤の働き①	152	7:30
		丸剤と原白剤の働き②	153	4:30
		仕上げ、保管①	154	7:30
		仕上げ、保管②	155	4:30
	4 食生活の文化と変遷	健康の形成	156	4:30
		食生活と健康	157	4:30
		食生活をみてみよう	158	4:30
	5 これからの食生活	持続可能な食生活①	159	4:30
		持続可能な食生活②	160	5:30
		職場に配慮した食生活①	161	5:30
		職場に配慮した食生活②	162	5:30
		細身に配慮した食生活②	163	5:30
		ホームプロジェクト	164	4:30
		私のキャリア 池田健太さん	165	4:30
「第8章 住生活をつくる」で学ぶこと		導入	166-1	1:30
第8章 住生活をつくる	1 住生活の環境と住居の機能	住居の機能と変化	166-2	4:30
		平屋図を解説する	168	5:30
		平屋図を使って考えよう①	169-1	5:30
		平屋図を使って考えよう②	169-2	4:30
		住居の計画	170	4:30
		誰もが住みやすい住居とまち	171	4:30
	2 安全で快適な住生活の計画	住居の設計①	172	4:30
		住居の設計②	173	4:30
		健康な住生活①	174	5:30
		健康な住生活②	175	4:30
	3 住生活の文化と変遷	伝統的な日本の住居	176	5:30
		さまざまな住居形式	177	4:30
	4 これからの住生活	日本の住居政策	178	4:30
		持続可能な住生活①	179	5:30

大分類	中分類	小分類	ページ	時間	
第9章 経済生活を営む	1 情報の収集・比較と意思決定 2 購入・支払いのルールと方法 3 消費者の権利と責任 4 本月の経済生活を反通す 5 これからの経済生活	持続可能な生活①	180	5:30	
		社会環境と生活	181	5:00	
		ホームプロジェクト	182	4:30	
		私のキャリア 金巻とも子さん	183	4:30	
		TRY 衣生活とライフステージの関わりを考えよう	184	6:00	
		導入	185-1	2:00	
		消費生活と意思決定①	185-2	6:30	
		消費生活と意思決定②	188	6:00	
		購入と契約	189	5:00	
		多様化する支払い方法①	190	5:30	
		多様化する支払い方法②	191	5:30	
		多様化する支払い方法③	192	5:00	
		多様化する支払い方法④	193	6:00	
		消費者の権利をまかす①	194	5:00	
		消費者の権利をまかす②	195	5:00	
		安定した経済生活を営む、家計をマネジメントする①	196	5:30	
		家計をマネジメントする②	197	6:00	
		家計をマネジメントする③	198	6:00	
		家計をマネジメントする④	199	5:30	
		家計資産のマネジメント①	200	5:30	
		家計資産のマネジメント②	201	5:30	
		家計と経済①	202	7:00	
		家計と経済②	203	6:00	
		ホームプロジェクト	204	4:30	
		私のキャリア 石山アツジェさん	205	3:30	
「第10章 持続可能な生活を営む」で学ぶこと		導入	206-1	2:00	
第10章 持続可能な生活を営む	1 持続可能な生活を目指して	大量消費社会の限界	206-2	8:00	
		持続可能な世界に向けて	208	5:00	
		毎日の生活を持続可能にする①	209	5:00	
		毎日の生活を持続可能にする②	210	5:30	
		毎日の生活を持続可能にする③	211	5:30	
		私のキャリア 前元聖賢さん	212	4:00	
		私のキャリア 島崎恭晴さん	213	4:00	
		導入	214-1	2:00	
		生活設計をする	214-2	6:00	
		自立し共に生きるために①	216	5:00	
第11章 これからの生活を創造する	1 生活をデザインする	自立し共に生きるために②	217	5:00	
		これからの社会を創造する①	218	6:00	
		これからの社会を創造する②	219	7:00	
		課題を解決しよう①	220	5:30	
		課題を解決しよう②	221	5:30	
		課題を解決しよう			
	総時間				17:59:00

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
情報	情報Ⅰ	2単位	6	2	東京書籍 新編情報Ⅰ	

学習の目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成することを目標とする。

添削指導	学習内容
第1回	・情報とメディアの特徴について ・問題解決の流れと発想法を学び、学びにつなげる ・情報モラル、情報技術の発展を理解する
第2回	・画像や動画のデジタル表現 ・ネットコミュニケーションについて ・情報デザインについて知識を深める
第3回	・コンピュータの構成 ・演算の仕組み、応用問題 ・プログラムとシミュレーション
第4回	・ネットワークとインターネットについて ・情報セキュリティ ・データ分析について
第5回	・情報社会におけるさまざまな活動について ・プレゼンテーションについて
第6回	・情報分析ツールについて ・電子メール利用時の注意点 ・さまざまな事柄について

面接指導	学習内容
1時間	情報モラルについて
2時間	演算の仕組みについて

メディア視聴	学習内容
1時間	情報とメディアの特性・個人情報・著作権について
2時間	コンピュータとはなにか。ソフトウェア・演算の仕組み。プログラムの基本構造

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	・情報と情報技術に関する基本的な知識と技能を身につけることができる。
思考・判断・表現	・様々な事象を情報と結び付けて考察し、問題の発見・解決に向けて効果的な情報活用をすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	・情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い、望ましい情報社会を構築するために情報社会に主体的に参画しようとするすることができる。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。

3 単位認定試験の得点 : 所定以上の得点を修めること。

【映像視聴について】

情報Ⅰ 教科書解説動画

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

(別紙教科書解説動画映像参照)

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
基礎	中学校の振り返り	中学校の振り返り①	2	5:30
		中学校の振り返り②	3	6:00
	コンピュータの基本操作	コンピュータの基本操作①	4	4:30
		コンピュータの基本操作②	5	6:00
		1章の導入	7	5:30
1章 情報で問題を解決する	1 情報とメディアの特性	情報の特性	8	6:00
		メディアの特性	9	6:00
	2 問題解決の流れ	問題解決のプロセス	10	7:00
		問題解決と情報技術	11	6:00
	3 発想法	発想法の考え・ブレインストーミング	12	6:00
		KJ法・マインドマップ	13	6:30
	4 情報モラル	情報モラルとは	14	6:30
		マナーとルール	15	6:30
	5 個人情報保護	個人情報とは	16	7:00
		個人が特定される仕組み	17	6:00
	6 備つかない備つけないために	被害者にならないために	18	6:00
		加害者にならないために	19	6:00
	7 知的財産権	知的財産権	20	6:30
		著作権	21	7:30
	8 情報技術の発展	情報技術の発展①	22	7:00
		情報技術の発展②	23	5:30
	9 情報化と私たちの生活の変化	情報化と私たちの生活の変化①	24	6:00
		情報化と私たちの生活の変化②	25	8:00
	10 よりよい情報社会へ	よりよい情報社会へ①	26	5:30
		よりよい情報社会へ②	27	6:00
	章末資料	1章 章末①	28	7:00
		1章 章末②	29	6:00
		1章 章末③	30	6:30
	私の問題解決	1章 私の問題解決	31	5:00
		1章 章末問題①	032-1	6:30
		1章 章末問題②	032-2	7:00
		1章 章末問題③	033-1	6:30
		1章 章末問題④	033-2	7:00
	1章のまとめ	1章のまとめ①	034-1	6:00
		1章のまとめ②	034-2	6:30
2章 情報を伝える		2章の導入	35	7:00
	11 コミュニケーション手段の変化	コミュニケーション手段の変化①	36	5:30
		コミュニケーション手段の変化②	37	6:00
	12 ネットコミュニケーションの特徴	匿名性・記録性	38	7:00
		アクセス記録の活用	39	6:30
	13 デジタルの世界へ	アナログとデジタル	40	5:30
		デジタル化の利点と欠点	41	6:30
	14 数値と文字のデジタル表現	2進法	42	7:00
		文字のデジタル表現	43	7:30
	15 音と画像のデジタル表現	音のデジタル化	44	7:30
		画像のデジタル化	45	6:30
	16 色と動画のデジタル表現	色のデジタル化	46	8:00
		動画のデジタル化	47	7:30
	17 目的に応じたデジタル化	情報の圧縮	48	6:30
		ラスタデータとベクタデータ	49	7:00
	18 情報デザイン	情報デザイン・概念化	50	8:00
		抽象化・可視化	51	6:30
	19 ユニバーサルデザイン	ユニバーサルデザイン	52	6:00
		ユーザインタフェース	53	6:00
	20 情報デザインの流れ	コミュニケーションと情報デザイン	54	6:00
		デザイン思考	55	5:30
	章末資料	2章 章末①	56	6:30
		2章 章末②	57	7:00
		2章 章末③	58	8:00
	私の問題解決	2章 私の問題解決	59	7:00

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
2章 数値表現	2章のまとめ	2章 数値表現①	261-2	5:30
		2章のまとめ①	262-1	6:30
		2章のまとめ②	262-2	7:00
3章 コンピュータを活用する	3章の導入	3章の導入	63	6:00
		コンピュータの情報処理	64	7:00
		ハードウェアとソフトウェア	65	6:30
	21 コンピュータとは何か	プログラム	66	6:30
		プログラムの動作の仕組み	67	6:00
	22 ソフトウェアの仕組み	プログラムの動作の仕組み	67	6:00
		コンピュータの足し算	68	7:30
	23 変数の仕組みとコンピュータの計算	演算回路	69	6:00
		コンピュータの足し算	69	6:00
	24 アルゴリズムの表現	アルゴリズムとフローチャート	70	5:30
		アロディビティ図	71	6:30
	25 プログラムの基本構造①	プログラムの基本構造	72	6:30
		変数	73	6:30
	26 プログラムの基本構造②	分岐構造	74	6:00
		反復構造	75	6:30
	27 プログラミングの工夫	制御構造の組み合わせ	76	7:30
		リストと配列	77	7:30
	28 発展的なプログラム	配列	78	6:30
		関数	79	7:30
	29 モデル化とシミュレーション	モデル	80	6:00
		シミュレーション	81	7:00
	30 シミュレーションの活用	コンピュータを利用したシミュレーション	82	6:00
		プログラムによるシミュレーション	83	7:00
	章末資料	3章 章末①	84	7:00
		3章 章末②	85	7:00
		3章 章末③	86	6:30
	6. の問題解決	3章 6. の問題解決	87	5:30
	章末問題	3章 章末問題①	88-1	7:30
		3章 章末問題②	88-2	6:30
		3章 章末問題③	89-1	6:00
		3章 章末問題④	89-2	7:30
	3章のまとめ	3章のまとめ①	90-1	6:30
		3章のまとめ②	90-2	6:00
4章 データを活用する	4章の導入	4章の導入	91	7:30
		ネットワークとインターネット	92	5:30
	31 ネットワークとインターネット	LANとWAN	93	6:00
		プロトコル	94	7:00
	32 インターネットの仕組み	TCPとIP	95	6:30
		サーバとクライアント	96	6:30
	33 サーバとクライアント	DNSサーバ	97	6:30
		WWWとURL	98	6:30
	34 インターネット上のサービス	電子メール	99	7:00
		情報セキュリティの3要素・機密性	100	7:30
	35 情報セキュリティ	完全性・可用性	101	6:30
		データの活用とデータベース	102	6:00
	36 データの活用とデータベース	データベース	103	6:30
		データモデル	104	6:00
	37 および主なデータモデル	データベース管理システム(DBMS)	105	6:30
		データの形式	106	5:00
	38 データの形式	質的データと量的データ	107	7:30
		情報の明確化と計画	108	6:00
	39 データ分析の流れ	データの収集	109	7:00
		40 2つの事例の関与	110	6:30
	40 2つの事例の関与	情報活用	111	6:00
		同僚直結	112	7:00
	章末資料	4章 章末①	113	5:30
		4章 章末②	114	7:30
		4章 章末③	115	6:00
	6. の問題解決	4章 6. の問題解決	116-1	6:30
	章末問題	4章 章末問題①	116-2	6:30

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
5章 活用して授業する	4章のまとめ	4章のまとめ①	118-1	8:30
		4章のまとめ②	118-2	8:30
	5章 活用して授業する	5章の導入	119	7:00
		アイデアの大量生産	120	7:00
	41 起業人インタビュー	起業人インタビュー	121	5:30
	42 作るう！マイルール	作るう！マイルール	122	7:00
	44 言葉で図形を伝達	言葉で図形を伝達	123	5:30
	45 音楽ファイルを作成	音楽ファイルを作成①	124-1	8:00
		音楽ファイルを作成②	124-2	5:30
	46 データ量の見直し	データ量の見直し	125	8:00
	47 ビットグラム	ビットグラム	127	6:30
	48 図解表現	図解表現①	128-1	5:30
		図解表現②	128-2	4:30
	49 Webニュースページ	Webニュースページ①	130-1	8:00
		Webニュースページ②	130-2	8:30
	50 映像制作	映像制作①	132-1	8:00
		映像制作②	132-2	7:00
	51 加えてAI	加えてAI①	134	8:00
		加えてAI②	135	8:00
	52 お知らせセンサー	お知らせセンサー①	136-1	7:00
		お知らせセンサー②	136-2	5:30
	53 Myお天気キャスター	Myお天気キャスター①	138-1	8:30
		Myお天気キャスター②	138-2	5:30
	54 教室配置のシミュレーション	教室配置シミュレーション①	140-1	4:30
		教室配置シミュレーション②	140-2	4:30
	55 プログラムで動きを再現	プログラムで動きを再現	142	7:30
	56 パケット通信の体験	パケット通信の体験	143	8:30
	57 ネットワーク調べ	ネットワーク調べ	144	4:30
	58 検索のコツ	検索のコツ	145	8:00
	59 コンビニデータベース	コンビニデータベース①	146	8:00
		コンビニデータベース②	147	8:30
	60 クラスの実験調査	クラスの実験調査①	148-1	6:00
		クラスの実験調査②	148-2	8:00
	資料資料	5章 資料資料①	150	7:30
		5章 資料資料②	151	8:00
		5章 資料資料③	152	5:30
		5章 資料資料④	153	5:30
	私の問題解決	5章 私の問題解決	153	5:30
6章	文書処理ソフトウェアの操作	文書処理ソフトウェアの操作①	154-1	6:00
		文書処理ソフトウェアの操作②	154-2	5:30
	プレゼンテーションソフトウェアの操作	プレゼンテーションソフトウェアの操作①	156-1	6:30
		プレゼンテーションソフトウェアの操作②	156-2	4:30
	表計算ソフトウェアの操作	表計算ソフトウェアの操作①	158	5:30
		表計算ソフトウェアの操作②	159	7:30
		表計算ソフトウェアの操作③	160	5:00
		表計算ソフトウェアの操作④	161	7:00
	電子メールの基本	電子メールの基本	161	7:00
		問題解決のツール①	162	6:30
		問題解決のツール②	163	5:00
	問題解決のツール	問題解決のツール③	164	5:00
		問題解決のツール④	165	8:30
	ファイル形式の種類と特徴	ファイル形式の種類と特徴	165	8:30
		色彩の基礎知識①	166-1	6:30
	色彩の基礎知識	色彩の基礎知識②	166-2	5:30
		文字の基礎知識	168	5:30
	Webページの構造	Webページの構造	169	8:00
	いろいろな法律	いろいろな法律①	170	5:30
		いろいろな法律②	171	8:30
	個人の履歴書	個人の履歴書①	172	8:30
		個人の履歴書②	173	5:30
		個人の履歴書③	174	5:30
		個人の履歴書④	175	7:00
		個人の履歴書⑤	176	5:30

大分類	中分類	小分類	ページ	時間
	18進法の計算	18進法の計算	179	8:30
	ふりがなプログラミング手帳	ふりがなプログラミング手帳①	180-1	7:30
		ふりがなプログラミング手帳②	180-2	6:00
	調査によるデータ収集の注意例	調査によるデータ収集の注意例①	182-1	6:00
		調査によるデータ収集の注意例②	182-2	6:00
	データ分析の基礎	データ分析の基礎①	184	7:00
		データ分析の基礎②	185	6:00
	データ分析における結果の読み解き方	データ分析における結果の読み解き方①	186	5:00
		データ分析における結果の読み解き方②	187	6:00
総時間				21:20:00

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
総合的な探究の時間	総合的な探究の時間1	1単位	3	1	株式会社SRJ FUTURE	

学習の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目標とする。その上で、自分で課題を立て、情報を集め、整理分析して、まとめ、表現することができるようにする。

添削指導	学習内容
第1回	大人気のピザ（探究）
第2回	もし電気がつかえなくなったら（探究）
第3回	探究を体験してみよう
面接指導	学習内容
1時間	「多くの人が好きなピザ・大人気のピザ」に欠かせないポイントを5つ考える。

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	- 生徒自身が生活している地域には、見過ごされている魅力が多い。その魅力を様々な手段を使って自分の力で見つけることができる。 - 他者と協力し、情報を共有することで、他者の考え方を理解するとともに、幅広い知識を得ることができる。
思考・判断・表現	- 複雑な問題状況の中から適切に課題を設定できる。 - 仮説を立て、検証方法を考え、計画を立案できる。
主体的に学習に取り組む態度	- 探究的な活動を通して自己を見つめ、将来を考え、自分の個性や特徴に向き合おうとしている。 - 自分の意志で真摯に課題に向き合い、解決に向けて探究的な活動に取り組もうとしている。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全3回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
総合的な探究の時間	総合的な探究の時間2	1単位	3	1	株式会社SRJ FUTURE	

学習の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目標とする。その上で、自分で課題を立て、情報を集め、整理分析して、まとめ、表現することができるようにする。

面接指導	学習内容
1時間	ポスターのアピールポイントを「動物」「施設」「スタッフ」の3つの「内容面」をそれぞれについて考えてみよう。
メディア視聴	学習内容
1時間	おにぎりをバラバラにしよう。

2時間	動物園の宣伝ポスターをつくろう。
3時間	やりたい仕事の本質に迫ろう！

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	- 自分の生活している地域と本校のある柏崎の魅力を比較し、共通点や違いを見つけ出す。 - 地域を本校のある柏崎に絞り、地域の抱えた課題を見つけ出す。
思考・判断・表現	- 目的に応じて手段を選択し、情報を収集できる - 必要な情報を収集し、類別して蓄積できる。
主体的に学習に取り組む態度	- 探究的な活動を通して、異なる多様な意見や他者の考え方を受け入れ、尊重しようとしている。 - 自他のよさを認め、お互いの特徴を生かし、強度いして解決に向けた探究的な活動に取り組もうとしている。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全3回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクリーニング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
総合的な探究の時間	総合的な探究の時間3	1単位	3	1	株式会社SRJ FUTURE	

学習の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目標とする。その上で、自分で課題を立て、情報を集め、整理分析して、まとめ、表現することができるようにする。

面接指導	学習内容
1時間	集団での活動がスムーズに進むよう舵取りを行うことをトレーニングしよう

メディア視聴	学習内容
1時間	レジの前のチャンスを逃すな！
2時間	新設するなら〇〇レーン
3時間	ファシリテータートレーニング

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	- 自分で収集したものと、既存の資料を分析し、課題解決を探り、提案することができる。 - 将来目指す自分の進路（職業）と地域との関連を探り「地域貢献」できるテーマについて、論理的に文章化することができる。
思考・判断・表現	- 相手や目的、意図に応じて論理的に表現することができる。 - 国語科や外国語科、情報科等で身に着けた技能を活用して表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	- 探究的な活動を通して自己を見つめ、将来を考え、自分の個性や特徴に向き合おうとしている。 - 探究的な活動を通して、自己の在り方生き方を考えながら、社会の形成者としての自覚をもって社会に参画し、理想の社会を実現しようとしている。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全3回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクリーニング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
体験学習 (学校設定科目)	体験学習Ⅰ	1単位	1	1	日本文教出版 工芸Ⅰ	

学習の目標
SDGzの観点「作る責任、使う責任」の視点に立ち、設定した体験学習を通して、生徒一人ひとりの気づきを共有し、他者の教えを尊重する気持ちを養い、感じた気づきや学びを生徒一人ひとりの豊かな人格形成につなげていくことを目標とする。また地域講師の方々との交流も行い、地域理解も深める。

添削指導	学習内容
第1回	今までに行ったことのある体験活動を振り返ろう

面接指導	学習内容
1時間	クラフトキット制作

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	できるようになったことを明確につかみ、自己の変容や成長を実感し、学習意欲の向上に結び付けることができているか、自己評価と他者評価により客観的に相互評価を行う。
思考・判断・表現	生徒一人一人のよさや可能性、努力の様子などを踏まえて、製作物に寄せた生徒の興味・関心、目の付けどころ、発想や気付きなど、こだわりや学びの過程を評価する。
主体的に学習に取り組む態度	報告課題などの学習成果物の状況と、学習活動の過程とを合わせて総合的に評価する。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全1回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
体験学習 (学校設定科目)	体験学習Ⅱ	2単位	2	2	日本文教出版 工芸Ⅰ	

学習の目標	
SDGz の観点「作る責任、使う責任」の視点に立ち、設定した体験学習を通して、生徒一人ひとりの気づきを共有し、他者の教えを尊重する気持ちを養い、感じた気づきや学びを生徒一人ひとりの豊かな人格形成につなげていくことを目標とする。また地域講師の方々との交流も行い、地域理解も深める。	
添削指導	学習内容
第1回	今までに行ったことのある体験活動を振り返ろう
第2回	体験学習の振り返りから、新たな気づきや発見を今後の生活に生かすために考えよう

面接指導	学習内容
1時間	クラフトキット制作
2時間	SDGについて学ぶ

【学習評価】

評価観点	評価基準
------	------

知識・技能	できるようになったことを明確につかみ、自己の変容や成長を実感し、学習意欲の向上に結び付けることができているか、自己評価と他者評価により客観的に相互評価を行う。
思考・判断・表現	生徒一人一人のよさや可能性、努力の様子などを踏まえて、製作物に寄せた生徒の興味・関心、目の付けどころ、発想や気付きなど、こだわりや学びの過程を評価する。
主体的に学習に取り組む態度	報告課題などの学習成果物の状況と、学習活動の過程とを合わせて総合的に評価する。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全2回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	単位数	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
体験学習 (学校設定科目)	体験学習Ⅲ	2単位	2	2	日本文教出版 工芸Ⅰ	

学習の目標
SDGzの観点「作る責任、使う責任」の視点に立ち、設定した体験学習を通して、生徒一人ひとりの気づきを共有し、他者の教えを尊重する気持ちを養い、感じた気づきや学びを生徒一人ひとりの豊かな人格形成につなげていくことを目標とする。また地域講師の方々との交流も行い、地域理解も深める。

添削指導	学習内容
第1回	今まで行ったことのある体験活動
第2回	体験学習の振り返りから、新たな気づきや発見を今後の生活に生かすために考えよう

面接指導	学習内容
1時間	クラフトキット制作
2時間	SDGについて学ぶ

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	できるようになったことを明確につかみ、自己の変容や成長を実感し、学習意欲の向上に結び付けることができているか、自己評価と他者評価により客観的に相互評価を行う。
思考・判断・表現	生徒一人一人のよさや可能性、努力の様子などを踏まえて、製作物に寄せた生徒の興味・関心、目の付けどころ、発想や気付きなど、こだわりや学びの過程を評価する。
主体的に学習に取り組む態度	報告課題などの学習成果物の状況と、学習活動の過程とを合わせて総合的に評価する。

【単位修得認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：全2回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：実施校並びに通信教育連携協力施設で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	年間目安単 位時間	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
特別活動	特別活動1	10 単位時間	1	2		

学習の目標	
集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団生活に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、資質・能力を育成する。	
添削指導	学習内容
第1回	・本校について ・自分の将来について ・SNS の使い方について

面接指導	学習内容
1 時間	進路学習
2 時間	進路学習

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	よりよい生活や社会を構築するための知識・技能（生徒が特別活動を通じて身に付けた知識や技能を評価する。）
思考・判断・表現	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現（生徒が問題を発見し、解決策を考え、合意形成を行う能力を評価する。）
主体的に学習に取り組む態度	主体的に役割や責任を果たし、協働して人間関係をよりよく構築しようとする態度（生徒が自主的に学習に取り組む姿勢や態度を評価する。）

【特別活動 10 単位時間認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：卒業までに映像をすべて視聴した上で、映像視聴報告課題全1回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：卒業までに実施校で行われる面接指導に2 単位時間以上出席することが必要。

【映像視聴について】

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

・動画一覧

大分類	中分類	時間
特別活動1 映像視聴授業	本校について	46 : 39
	自分の将来について考える～進路の一步目を踏み出そう～	49 : 04
	進路別説明～皆さんの可能性について知ろう～	49 : 48
	新潟産業大学について	50 : 18
教材ビデオ	教材①ネットゲームに夢中になると...（全編）	9 : 41
	教材②身近にひそむネットの使い過ぎ...（全編）	10 : 21
	教材③そのページ、確認しなくて大丈夫？（全編）	8 : 04
	教材④ネット詐欺に巻き込まれないようにするために（全編）	12 : 30
	教材⑤写真や動画が流出する怖さを知ろう（全編）	9 : 07

◆令和8年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	年間目安単 位時間	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
特別活動	特別活動2	10 単位時間	1	2		

学習の目標	
集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団生活に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、資質・能力を育成する。	
添削指導	学習内容
第1回	・スクーリングについて ・進路について ・SNS の使い方について

面接指導	学習内容
1 時間	進路学習
2 時間	進路学習

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	よりよい生活や社会を構築するための知識・技能（生徒が特別活動を通じて身に付けた知識や技能を評価する。）
思考・判断・表現	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現（生徒が問題を発見し、解決策を考え、合意形成を行う能力を評価する。）
主体的に学習に取り組む態度	主体的に役割や責任を果たし、協働して人間関係をよりよく構築しようとする態度（生徒が自主的に学習に取り組む姿勢や態度を評価する。）

【特別活動 10 単位時間認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：卒業までに映像をすべて視聴した上で、映像視聴報告課題全 1 回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：卒業までに実施校で行われる面接指導に 2 単位時間以上出席することが必要。

【映像視聴について】

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

・動画一覧

大分類	中分類	時間
教材ビデオ	教材⑦ひとりよがりの使い方にならないように	9 : 16
	教材⑧情報の記録性、公開性の重大さ	7 : 37
	教材⑨SNS への書き込みの影響	8 : 03
	教材⑩軽はずみな SNS への投稿	9 : 35
	教材⑪パスワードについて考えよう	12 : 30
	教材⑫大切な情報を守るために	11 : 19
	教材⑬スマートフォンやタブレットの使いすぎ	9 : 11
	教材⑭スマートフォンやタブレットの利用マナー	7 : 04
	教材⑮著作物を公開するためには	10 : 28

スクーリングビデオ	特別活動 2 スクーリング	35 : 27
	特別活動 2 進路動画①	51 : 08
	特別活動 2 進路活動②	41 : 10

◆令和 8 年度 新潟産業大学附属高等学校通信制課程 教科指導計画

教科	科目	年間目安単 位時間	添削指導	面接指導	使用教科書	副教材
特別活動	特別活動 3	10 単位時間	1	2		

学習の目標	
集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団生活に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、資質・能力を育成する。	
添削指導	学習内容
第 1 回	・スクーリングについて ・進路について ・SNS の使い方について

面接指導	学習内容
1 時間	進路学習
2 時間	進路学習

【学習評価】

評価観点	評価基準
知識・技能	よりよい生活や社会を構築するための知識・技能（生徒が特別活動を通じて身に付けた知識や技能を評価する。）
思考・判断・表現	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現（生徒が問題を発見し、解決策を考え、合意形成を行う能力を評価する。）
主体的に学習に取り組む態度	主体的に役割や責任を果たし、協働して人間関係をよりよく構築しようとする態度（生徒が自主的に学習に取り組む姿勢や態度を評価する。）

【特別活動 10 単位時間認定基準】

- 1 報告課題（添削指導）：卒業までに映像をすべて視聴した上で、映像視聴報告課題全 1 回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 2 面接指導（スクーリング）：卒業までに実施校で行われる面接指導に 2 単位時間以上出席することが必要。

【映像視聴について】

指定されたすべての映像動画を視聴・学習すること。

・動画一覧

大分類	中分類	時間
教材ビデオ	教材⑥写真や動画が流出する怖さを知ろう（全編）	9 : 07
	教材⑭コミュニケーションの取り方を見直そう（全編）	7 : 07
	教材⑮SNS を通じた出会いの危険性（全編）	10 : 37
	教材⑰情報の真偽を確かめよう！SNS 闇バイト編（高校生）	6 : 58
	教材⑲うっかり入力？個人情報を守るとは～生成 AI 編～（中・高校生向け）	4 : 16

	教材①1つの情報で大丈夫？自分で考える情報選ぴとは～生成 AI 編～（中・高校生向け）	4：24
	【中級編】ネット上での誹謗中傷（中・高校生向け）	7：22
	【中級編】不適切な動画投稿（バイトテロ）（中・高校生向け）	7：00
	【中級編】不正アクセスによるゲームの乗っ取り（中・高校生向け）	5：36
スクーリングビデオ	特別活動3「スクーリングについて」	20：39
進路ビデオ	特別活動3_第2回動画	49：57
	特別活動3_第3回動画	46：56

6 教員及び職員の数その他教職員組織に関すること（2025.5.1 現在）

本務者	兼務者（全日制）
教頭1 教諭2 講師4 非常勤3 事務職員2	校長1 教諭4 講師2 非常勤3 養護教諭1 カウンセラー1

7 入学、退学、転学、休学及び卒業に関すること（2025.5.1 現在）

1年生	2年生	3年生	合計	2025 卒業	2025 転学	2025 退学
129 (73・56)	127 (59・68)	150 (72・78)	406 (204・202)	113	6	5

*（男・女）を表している。

8 進路状況

進学者数	就職者数	その他
大学 37 短大 3 専門学校 21 その他 3	24	25

9 校地、校舎等の施設及び設備その他の生徒の教育環境に関すること

通信制課程において、全日制課程校地並びに校舎設備を共用しております。講堂、普通教室、理科室、家庭科室、図書室、第1体育館、第2体育館、保健室他は共用、教務室は専用となっております。

10 授業料、入学料その他の費用徴収に関すること（2026.5.1 現在）

入学金	授業料*	施設設備費	初年度納付金合計	入学検定料
10,000	300,000	110,000	420,000	15,000

単位：円

*授業料については、1単位12,000円のため、取得単位数に応じて金額が変動します。表中は25単位を取得した場合のものになります。

1 1 生徒の学習活動、進路選択及び心身の健康等に係る支援の状況

学習活動
・レポートについて、LMS（ラーニングマネジメントシステム）を活用して、質問他を受け付けしている。 ・オンラインホームルームを月1回開催して、オリエンテーションや学習活動全般について連絡他を行い、学習意欲向上に努めている。 ・オンラインコーチング（個別面談）を行い、学習の進捗確認や学習計画と一緒に考え、単位修得・卒業に向けてのサポートを行っている。 ・スクーリングにおいて、様々なツールを使用し、学習に興味・関心を引き出す工夫の授業展開に心がけています。

進路選択
・オンライン進路サポートを行い、生徒一人ひとりの希望進路実現に向けて、個別サポートを行っています。 ・進路紹介会社による進路説明会や相談会などをオンラインにて定期的実施して、進路選択のサポートを行っています。

心身の健康
・スクールカウンセラーを配置し、対面やオンラインでの相談体制を整備しています。 ・教職員一人ひとりが、「Student First」として聞く、聴く、訊くの徹底を行い、生徒の心身の成長をサポートしていくことを実践している。 ・外部講師を招聘し、特別支援教育講習やゲートキーパー講習などを実施している。

1 2 通信教育連携協力施設

施設名	住所	定員
学校法人宝仙学園 宝仙学園中学校・高等学校	東京都中野区中央 2-28-3	60名
学校法人明星学苑 明星中学校・高等学校	東京都府中市栄町 1-1	60名
学校法人岩崎学園 横浜デジタルアーツ専門学校	神奈川県横浜市港北新横浜 3-22-17	30名
学校法人岩崎学園 情報科学専門学校	神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町 2-17 相鉄岩崎学園ビル	30名
学校法人追手門学院 追手門学院中・高等学校	大阪府茨木市太田東芝町 1-1	20名

1 3 学習等支援施設・サポート施設

施設名	住所
ライトシップ高等学院	新潟県上越市港町 1-9-1 直江津港佐渡汽船ターミナル2階

1 4 学校概要

学 校 名：学校法人 柏専学院 新潟産業大学附属高等学校

理 事 長：阿部 雅明

校 長：藤井 泰昭

創 立：1958年 新潟短期大学附属高等学校設立認可
1987年 新潟産業大学附属高等学校に校名変更

建学の精神：日本の再建・発展と平和で幸福な社会の建設のために若い人材を育成し、地域を支える人材は地域で育てよう

教育の目標：上品で逞しい生徒の育成

- ・人生観の指導と自信ある生活態度の育成
- ・学習意欲と能力の向上
- ・自律自治と社会連帯の精神涵養

教 育 方 針：(全日制)「生徒一人ひとりを大切に」を基本に捉え、「部活で燃えろ！進路で輝け」を合言葉に全国に名高い部活動・進学校を目指す
(通信制)「生徒一人ひとりを大切に」を基本に捉え、自主自律の精神を育み、人間性豊かな好奇心旺盛な生徒を育てる

住 所：新潟県柏崎市大字安田 2510 番地 2

電 話 番 号：0257-24-6644 (代表)
0257-41-6010 (通信制課程教務室)